

島根原子力発電所第2号機 審査資料	
資料番号	NS2-補-014 改 04
提出年月日	2023年3月15日

工事計画に係る補足説明資料

(その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備)

2023年3月

中国電力株式会社

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

1. 工事計画添付書類に係る補足説明資料
 添付書類の記載内容を補足するための資料を以下に示す。

資料 No.	補足説明資料（内容）	備考
	1-1 原子炉の安全停止に必要な機能を達成するための系統	
	1-2 火災区域の配置を明示した図面	
	1-3 内部火災に関する工事計画変更認可後の変更申請対象項目の抽出について	
	2-1 潤滑油及び燃料油の引火点, 室内温度及び機器運転時の温度について	
	2-2 保温材の使用状況について	
	2-3 建物内装材の使用状況について	
	2-4 難燃ケーブルの使用について	
	2-5 水素ガスの蓄積防止について	
	3-1 全域ガス消火設備について	
	3-2 ケーブルトレイ消火設備について	
1	3-3 消火用の照明器具の配置図	今回提出範囲
	3-4 消火栓及びガス系消火設備の必要容量について	
	3-5 煙の発生が抑制される火災区域又は火災区画についての可燃物管理	
	3-6 新燃料貯蔵庫未臨界性評価について	
	3-7 火災感知器の種類及び配置を明示した図面	
	3-8 設計基準事故対処設備及び重大事故等対処施設の消火設備の位置的分散に応じた独立性を備えた設計について	
	3-9 火災感知設備の電源確保について	
	3-10 火災感知器の種類の詳細について	
	4-1 火災の影響軽減のための系統分離対策について	
	4-2 中央制御室及び補助盤室制御盤の火災の影響軽減対策について	

資料 No.	補足説明資料（内容）	備考
1	4-3 火災を起因とした「運転時の異常な過渡変化」及び「設計基準事故」発生時の単一故障を考慮した原子炉停止について	
	4-4 中央制御室制御盤の火災を想定した場合の対応について	
	4-5 火災区域（区画）特性表について	
	4-6 原子炉格納容器内火災を想定した場合の対応について	
	4-7 影響軽減対策における火災耐久試験結果の詳細について	
	5-1 火災防護に関する説明書に記載する火災防護計画書に定め管理する事項について	

別紙 工認添付書類と設置許可まとめ資料との関係

工認添付書類と設置許可まとめ資料との関係
(工事計画に係る説明資料 (発電用原子炉施設の火災防護に関する説明書))

工認添付資料	設置許可まとめ資料			引用内容
発電用原子炉施設の火災防護に関する説明書	DB	第 8 条	火災による損傷の防止	資料の一部を引用
	SA	第 41 条	火災による損傷の防止	資料の一部を引用

発電用原子炉施設の火災防護に関する説明書
に係る補足説明資料

補足説明資料 3-7
火災感知器の種類及び配置を明示した図面

1. 目的

本資料は、VI-1-1-8 発電用原子炉施設の火災防護に関する説明書 5.1.2(1)b. 項に示す火災感知器の種類及び配置を示すために、補足説明資料として添付するものである。

2. 内容

火災感知器の選定においては、設置場所に対応する適切な火災感知器の種類を火災防護に関する説明書 5.1.2(1)b. 項に示す通り、消防法に準じて選定する設計とする。

火災感知器の取付方法や設置個数については、消防法施行規則第 23 条第 4 項に基づき設置する設計とする。

火災感知器の種類や設置に関する技術的な部分については消防法施行規則に則り設置する設計とする。

また、火災感知器の設置にあたっては消防設備士によって確認を行う。

なお、施工にあたっては消防法施行規則に則り設置する。

また、消防法に定められる型式適合検定に合格したもの（以下「検定品」という。）でない機器（以下「感知器と同等の機能を有する機器」という。）を採用する場合、消防法（火災報知設備の感知器及び発信機に係る技術上の規格を定める省令（昭和 56 年 6 月 20 日自治省令第 17 号））に定められる火災感知器の感知性能が同等以上を有していることを確認している。

以下 3. 項においては、火災感知器のうち、基本的な組み合わせとなるアナログ式の煙感知器及びアナログ式の熱感知器以外の火災感知器についての種類、仕様及び感知原理等を示す。

以下 4. 項においては、各火災感知器の具体的な設置条件及び、消防法に準じて火災感知器を設置した具体例を示す。

以下 5. 項においては、火災感知器の配置図を示す。

3. 基本的な組み合わせとなるアナログ式の煙感知器及びアナログ式の熱感知器以外の火災感知器について

(1) 検定品の火災感知器

a. 非アナログ式の防爆型煙感知器

(a) 非アナログ式の防爆型煙感知器の概要

非アナログ式の防爆型煙感知器の概要を図1に示す。動作原理は、発光回路で一定時間ごとにLED（発光素子）に対して電流を流し発光させ、発光した光は、レンズを通して防爆容器外部へ照射される。その光を、煙がチャンバー内に流入すると、煙に反射して散乱光を生じる。この散乱光を、レンズを通して受光素子が検知し、電気信号に変換し、受光回路でこれを検出する。受光回路で検出した信号は、マイコンで測定され、一定のレベルを越えると火災信号を受信機へ送信する。

非アナログ式の防爆型煙感知器は、全閉構造であり可燃性ガス又は引火性の蒸気が感知器内部に侵入して爆発を生じた場合に、当該感知器が爆発圧力に耐え、かつ、爆発による火炎が当該火災感知器の外部のガス又は蒸気に点火しない構造となっていることから、防爆性能（耐压防爆構造*）を有する。

(b) 消防法に定められる型式適合検定について

非アナログ式の防爆型煙感知器は、検定品であり、消防法（火災報知設備の感知器及び発信機に係る技術上の規格を定める省令（昭和56年6月20日自治省令第17号）第17条（光電式スポット型感知器の公称蓄積時間の区分及び感度））に定められる感知性能を満足している。

注記*：耐压防爆構造（「電気機械器具防爆構造規格」労働省告示第16号）全閉構造であつて、可燃性のガス（以下「ガス」という。）又は引火性の物の蒸気（以下「蒸気」という。）が容器の内部に侵入して爆発を生じた場合に、当該容器が爆発圧力に耐え、かつ、爆発による火炎が当該容器の外部のガス又は蒸気に点火しないようにしたものという。

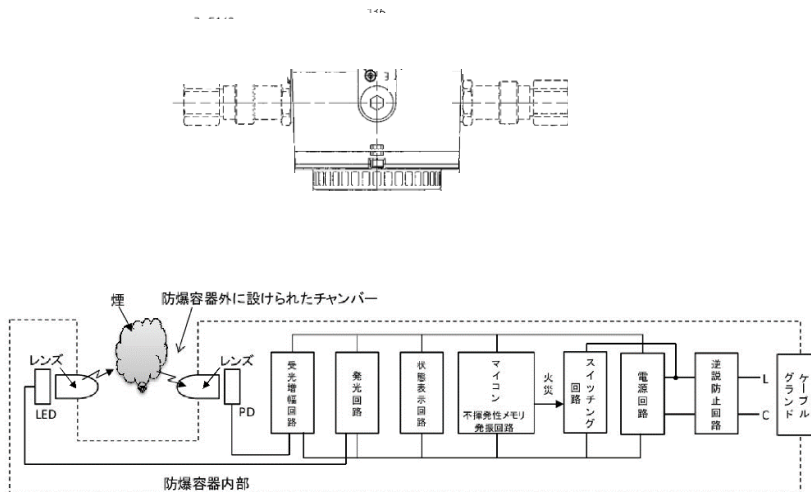


図1 非アナログ式の防爆型煙感知器の概要

b. 非アナログ式の防爆型熱感知器及び防爆型熱感知器（屋外仕様）

(a) 非アナログ式の防爆型熱感知器及び防爆型熱感知器（屋外仕様）の概要

非アナログ式の防爆型熱感知器及び防爆型熱感知器（屋外仕様）の概要を図2に示す。非アナログ式の防爆型熱感知器及び防爆型熱感知器（屋外仕様）は、感熱素子サーミスタを用いて熱を検出し、周囲温度が一定値以上になったときに受信機に火災信号を発する。サーミスタは温度変化により抵抗値が変化する素子で、一定周期で電流を流してサーミスタの両端にかかる電圧を測定し、温度検出回路にて変換した電圧値を内部制御回路に送り、制御回路にて一定時間内での温度上昇値を測定し、温度上昇率が設定値を超えた場合に火災と判断し、受信機に火災信号を発する。

非アナログ式の防爆型熱感知器及び防爆型熱感知器（屋外仕様）は、全閉構造であり可燃性ガス又は引火性の蒸気が感知器内部に侵入して爆発を生じた場合に、当該感知器が爆発圧力に耐え、かつ、爆発による火炎が当該火災感知器の外部のガス又は蒸気に点火しない構造となっていることから、防爆性能（耐圧防爆構造*）を有する。

(b) 消防法に定められる型式適合検定について

非アナログ式の防爆型熱感知器及び防爆型熱感知器（屋外仕様）は、検定品であり、消防法（火災報知設備の感知器及び発信機に係る技術上の規格を定める省令（昭和56年6月20日自治省令第17号）第14条（定温式感知器の公称作動温度の区分及び感度））に定められる感知性能を満足している。

注記*：耐圧防爆構造（「電気機械器具防爆構造規格」労働省告示第16号）全閉構造であつて、可燃性のガス（以下「ガス」という。）又は引火性の物の蒸気（以下「蒸気」という。）が容器の内部に侵入して爆発を生じた場合に、当該容器が爆発圧力に耐え、かつ、爆発による火炎が当該容器の外部のガス又は蒸気に点火しないようにしたものを用いる。

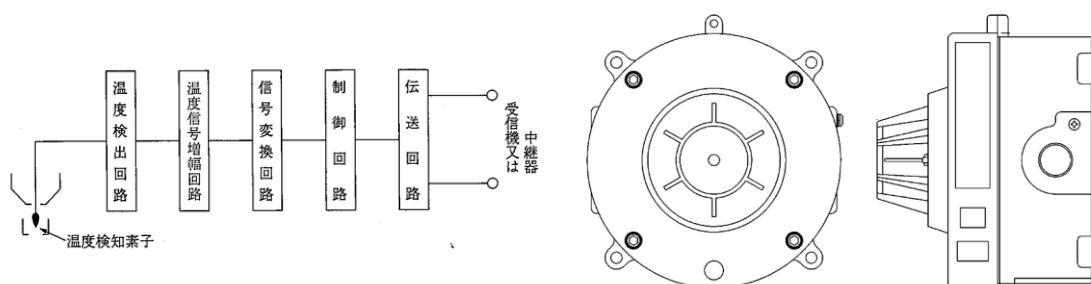


図2 非アナログ式の防爆型熱感知器及び防爆型熱感知器（屋外仕様）の概要

c. アナログ式の熱感知器（屋外仕様）

(a) アナログ式の熱感知器（屋外仕様）の概要

アナログ式の熱感知器（屋外仕様）の概要を図3に示す。動作原理は、温度検出素子を用いて熱を検出し、周囲の温度が一定の範囲内の温度になったときに、火災信号を受信機へ送信する。また、端子部分がコーキングされているため、屋外でも使用可能である。

(b) 消防法に定められる型式適合検定について

アナログ式の熱感知器（屋外仕様）は、検定品であり、消防法（火災報知設備の感知器及び発信機に係る技術上の規格を定める省令（昭和56年6月20日自治省令第17号）第14条（定温式感知器の公称作動温度の区分及び感度））に定められる感知性能を満足している。

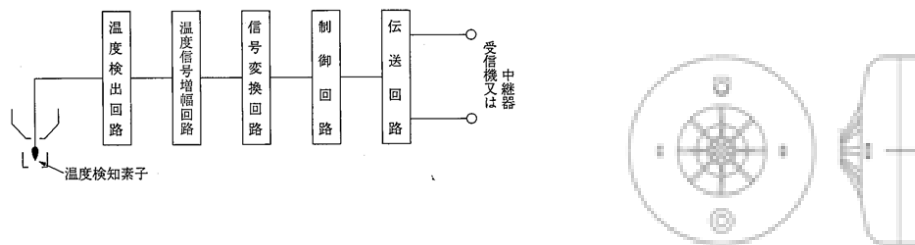


図3 アナログ式の熱感知器（屋外仕様）の概要

d. 非アナログ式の熱感知器（接点式）

(a) 非アナログ式の熱感知器（接点式）の概要

非アナログ式の熱感知器（接点式）の概要を図4に示す。動作原理は、バイメタルが受熱により反転して接点が閉じることで火災を検知し、火災信号を受信機へ送信する。また、炎が生じ、温度上昇した場合にも火災として検知し、火災信号を受信機へ送信する。

(b) 消防法に定められる型式適合検定について

非アナログ式の熱感知器（接点式）は、検定品であり、消防法（火災報知設備の感知器及び発信機に係る技術上の規格を定める省令（昭和56年6月20日自治省令第17号）第14条（定温式感知器の公称作動温度の区分及び感度））に定められる感知性能を満足している。

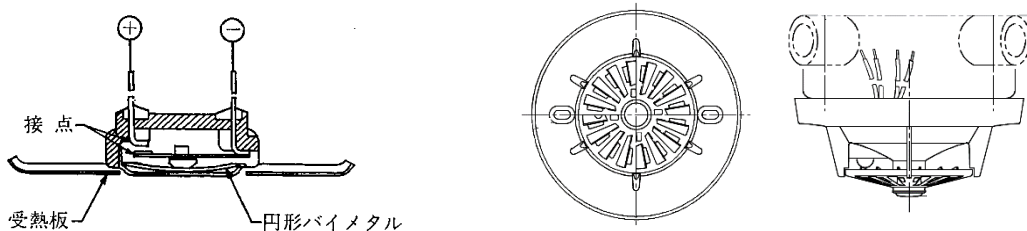


図4 非アナログ式の熱感知器（接点式）の概要

e. アナログ式の光電分離型煙感知器

(a) アナログ式の光電分離型煙感知器の概要

原子炉建物オペレーティングフロアに設置するアナログ式の光電分離型煙感知器の概要を図5に示す。アナログ式の光電分離型煙感知器は、光を発する送光部とそれを受ける受光部を5m～100mの距離に対向設置し、この光路上を煙が遮ったときの受光量の変化で火災を検出する。そのため、大空間での広く拡散した煙を検知することができる。アナログ式の光電分離型煙感知器の取付概要を図6に示す。消防法施行規則第23条（自動火災報知設備の感知器等）より、感知器の光軸の高さが80パーセント以上となるように設置する。

(b) 消防法に定められる型式適合検定について

アナログ式の光電分離型煙感知器は、検定品であり、消防法（火災報知設備の感知器及び発信機に係る技術上の規格を定める省令（昭和56年6月20日自治省令第17号）第17条の6（光電アナログ式分離型感知器の公称監視距離の区分、公称感知濃度範囲、連続応答性及び感度））に定められる感知性能を満足している。

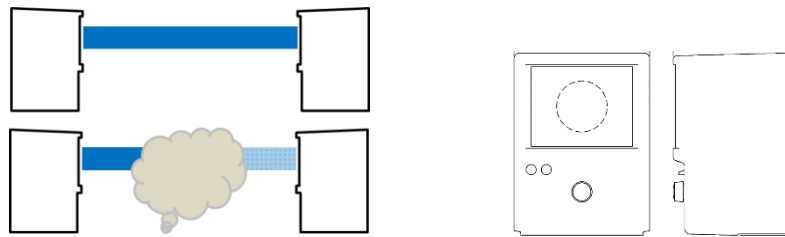


図5 アナログ式の光電分離型煙感知器の概要

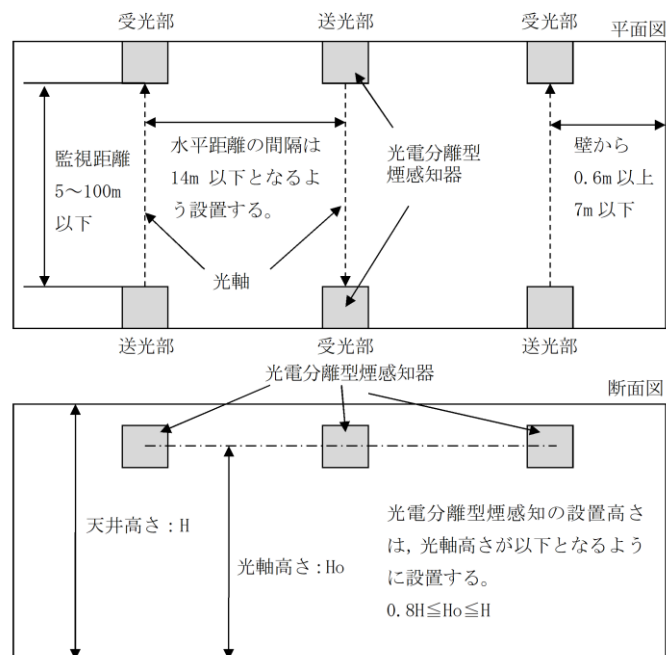


図6 アナログ式の光電分離型煙感知器の取付概要

f. 非アナログ式の炎感知器

(a) 非アナログ式の炎感知器の概要

原子炉建物オペレーティングフロアに設置する非アナログ式の炎感知器の概要を図7に示す。非アナログ式の炎感知器は感知原理に「赤外線3波長式」(物質の燃焼時に発生する特有な放射エネルギーの波長帯を3つ検出した場合にのみ発報する)を採用し、誤作動防止を図る。さらに、外光が当たらず、高温物体が近傍にない箇所に設置することで誤作動を防止する設計とする。

検知素子から出力される信号は連続的ではあるが、非アナログ式の炎感知器においては、この信号を連続的に処理することが可能なシステムが開発されていないため、非アナログ式である。

しかし、平常時から炎の波長の有無を連続監視し、火災現象(急激な環境変化)を把握できることから、アナログ式と同等の機能を有する。

(b) 消防法に定められる型式適合検定について

非アナログ式の炎感知器は、検定品であり、消防法(火災報知設備の感知器及び発信機に係る技術上の規格を定める省令(昭和56年6月20日自治省令第17号)第17条の8(炎感知器の公称監視距離の区分、感度及び視野角))に定められる感知性能を満足している。



図7 非アナログ式の炎感知器の概要

g. 非アナログ式の炎感知器（屋外仕様）

(a) 非アナログ式の炎感知器（屋外仕様）の概要

屋外に設置する非アナログ式の炎感知器の概要を図8に示す。非アナログ式の炎感知器は感知原理に「赤外線3波長式」（物質の燃焼時に発生する特有な放射エネルギーの波長帯を3つ検出した場合のみ発報する）を採用し、誤作動防止を図る。さらに、外光からの影響を考慮し、遮光カバーを設けることにより、誤作動を防止する設計とする。

検知素子から出力される信号は連続的ではあるが、非アナログ式の炎感知器においては、この信号を連続的に処理することが可能なシステムが開発されていないため、非アナログ式である。

しかし、平常時から炎の波長の有無を連続監視し、火災現象（急激な環境変化）を把握できることから、アナログ式と同等の機能を有する。

(b) 消防法に定められる型式適合検定について

非アナログ式の炎感知器（屋外仕様）は、検定品ではないが、消防法（火災報知設備の感知器及び発信機に係る技術上の規格を定める省令（昭和56年6月20日自治省令第17号）第17条の8（炎感知器の公称監視距離の区分、感度及び視野角））に定められる炎感知器の感度及び視野角の感知性能が同等以上を有していることを確認している。



図8 非アナログ式の炎感知器（屋外仕様）の概要

(2) 感知器と同等の機能を有する機器

a. 非アナログ式の防爆型炎感知器（屋外仕様）

(a) 非アナログ式の防爆型炎感知器（屋外仕様）の概要

非アナログ式の防爆型炎感知器（屋外仕様）の概要を図9に示す。非アナログ式の防爆型炎感知器（屋外仕様）は感知原理に「赤外線3波長式」（物質の燃焼時に発生する特有な放射エネルギーの波長帯を3つ検出した場合にのみ発報する）を採用し、誤作動防止を図る。さらに、外光が当たらず、高温物体が近傍にない箇所に設置することで誤作動を防止する設計とする。

検知素子から出力される信号は連続的ではあるが、非アナログ式の防爆型炎感知器（屋外仕様）においては、この信号を連続的に処理することが可能なシステムが開発されていないため、非アナログ式である。

しかし、平常時から炎の波長の有無を連続監視し、火災現象（急激な環境変化）を把握できることから、アナログ式と同等の機能を有する。

非アナログ式の防爆型炎感知器（屋外仕様）は、全閉構造であり可燃性ガス又は引火性の蒸気が感知器内部に侵入して爆発を生じた場合に、当該感知器が爆発圧力に耐え、かつ、爆発による火炎が当該火災感知器の外部のガス又は蒸気に点火しない構造となっていることから、防爆性能（耐圧防爆構造*）を有する。

(b) 消防法に定められる型式適合検定について

非アナログ式の防爆型炎感知器（屋外仕様）は、検定品ではないが、消防法（火災報知設備の感知器及び発信機に係る技術上の規格を定める省令（昭和56年6月20日自治省令第17号）第17条の8（炎感知器の公称監視距離の区分、感度及び視野角））に定められる炎感知器の感度及び視野角の感知性能が同等以上を有していることを確認している。

注記*：耐圧防爆構造（「電気機械器具防爆構造規格」労働省告示第16号）全閉構造であつて、可燃性のガス（以下「ガス」という。）又は引火性の物の蒸気（以下「蒸気」という。）が容器の内部に侵入して爆発を生じた場合に、当該容器が爆発圧力に耐え、かつ、爆発による火炎が当該容器の外部のガス又は蒸気に点火しないようにしたものという。

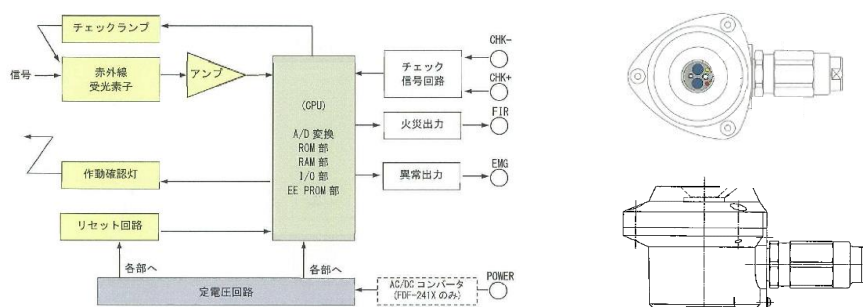


図9 非アナログ式の防爆型炎感知器（屋外仕様）の概要

b. アナログ式の煙吸引式検出設備

(a) アナログ式の煙吸引式検出設備の概要

高線量区域である主蒸気管室に設置するアナログ式の煙吸引式検出設備の概要を図10に示す。アナログ式の煙吸引式検出設備の感知原理は、一般的なアナログ式煙感知器と同様に、光による散乱光方式を用いて火災感知する。高線量区域にて発生する火災の煙を、内蔵ファンにてアナログ式の煙吸引式検出設備に取り込む。感知器内部の発光素子の光が、火災の煙流入により散乱することで煙を感知する。

アナログ式の煙吸引式検出設備は、アナログ式煙感知器と吸引装置を組み合わせた構成となっているため、平常時の状況(温度、煙の濃度)を監視し、火災現象(急激な温度や煙の濃度上昇)を把握することが可能であり、設定した煙の濃度にて警報を発する設計とする。

アナログ式の煙吸引式検出設備の故障時は、中央制御室に異常の警報を発する設計とする。また、煙吸引配管については、損傷等していないことを定期的に保守管理することを定め、アナログ式の煙吸引式検出設備を監視エリアの近傍に設置することで、監視エリア外における煙吸引配管の損傷リスクを可能な限り低減する設計とする。

高線量区域で使用するアナログ式の煙吸引式検出設備の仕様を表1に示す。

(b) 消防法に定められる型式適合検定について

アナログ式の煙吸引式検出設備は、検定品ではないが、消防法(火災報知設備の感知器及び発信機に係る技術上の規格を定める省令(昭和56年6月20日自治省令第17号)第17条の5(光電アナログ式スポット型感知器の公称感知濃度範囲、連続応答性及び感度))に定められる光電アナログ式スポット型感知器と同等の感知性能を有していることを確認している。

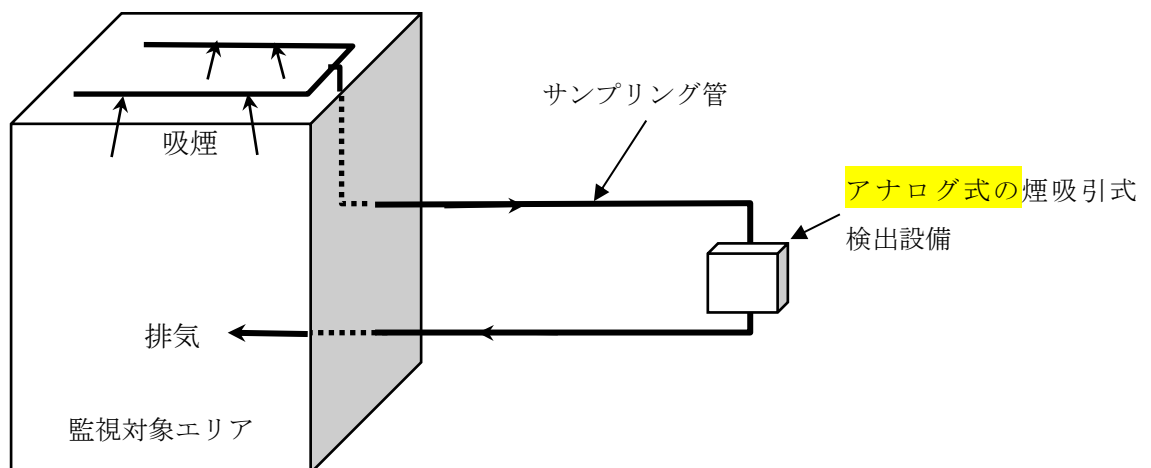


図10 アナログ式の煙吸引式検出設備の概要

表1 アナログ式の煙吸引式検出設備の仕様

項目	仕様
検知可能ライン数	1ライン
火災警報設定値	10%/m(光電式スポット型感知器2種相当)
煙濃度表示	0~20%/m バーグラフ表示
煙検知濃度	減光率 0.001~20%/m
検知時間	吸煙口からアナログ式の煙吸引式検出設備までの煙の検知時間に遅れがないよう、1分以内に早期に火災を検知する設計
フィルター	フィルター内蔵
吸煙配管サイズ	20A
吸煙配管長さ	最大1ライン 50m以内
吸煙口	孔径 2mm以上/孔ピッチ 500m以内
煙検知原理	エアースAMPLINGによる散乱光方式
ファンユニット	ファン内蔵
吐出配管サイズ	20A
警報	火災警報, 異常警報
電源盤	直流電源装置内蔵
安全対策	加振試験を行い, 正常な監視状態を継続出来る設計とする。

(c) アナログ式の煙吸引式検出設備の感知性能確認試験

主蒸気管室に設置するアナログ式の煙吸引式検出設備について、検定品である光電アナログ式スポット型煙感知器（1種）と同等の性能を有することの確認として煙検出性能の比較試験を実施した。

イ. 試験条件

主蒸気管室の一部を再現した部屋にて煙を発生させ、各機器の感知性能の比較を行うこととし、再現する個所として、火災時の発煙挙動に影響を与えることが予想される高さ 600mm 以上の梁を含めた区画を想定した試験を行った。

ロ. 試験方法

(イ) 火源

発煙材として、安定した燃焼性状と定量的な煙濃度が得られる発煙片を選定した。また、発煙片のみでは熱量が足りない可能性を考慮し、15cm 角火皿にアルコールを入れ、ともに燃焼させた。

(ロ) アナログ式の煙吸引式検出設備及び光電アナログ式スポット型煙感知器の設置

配置図を図 11 に示す。設置個数は、消防法施行規則第 23 条第 4 項第 7 号の煙感知器に対する設置個数の考え方を踏まえ、アナログ式の煙吸引式検出設備及び光電アナログ式スポット型煙感知器ともに 3 台ずつとした。

(ハ) 火点

火点位置を図 11 に示す。各煙感知器の直下、各煙感知器から見た最遠地点及び部屋中央の①～⑧の計 8 ケースとした。

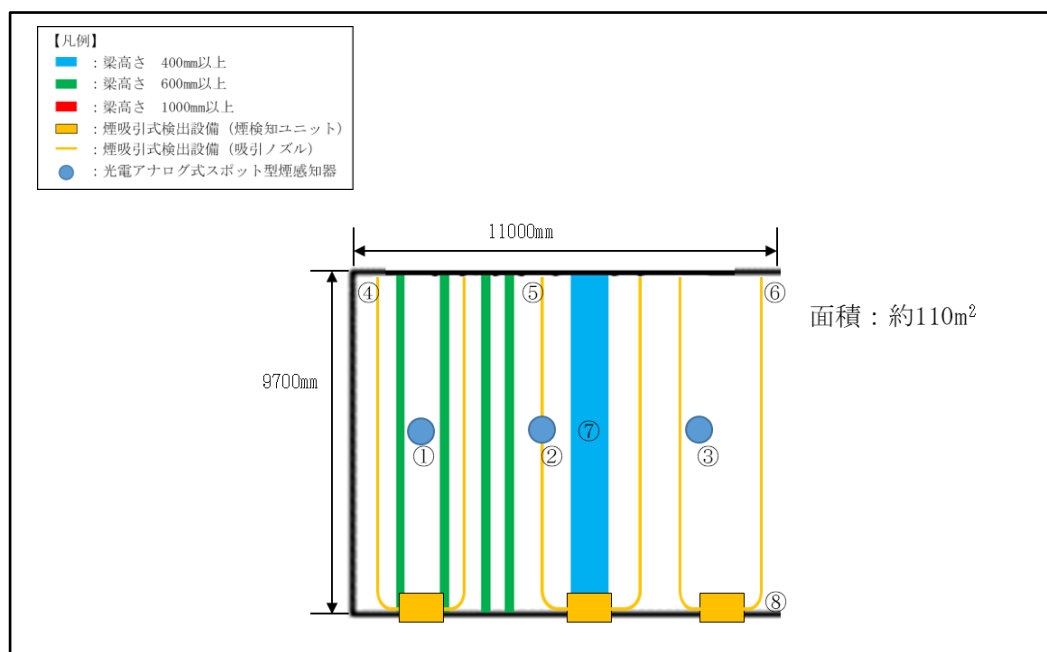


図 11 試験概要図

ハ. 試験結果

試験結果を表 2 に示す。アナログ式の煙吸引式検出設備は全てのケースで煙濃度が 5%/m に到達し、安定的に煙を検知できた。また、光電アナログ式スポット型煙感知器の煙濃度が 5%/m (煙感知器 1 種相当の検知濃度) に達しないケースがあったものの、煙検知時間には大きな差は見られなかった。

表 2 試験結果

試験ケース		試験結果 (各機器のうち最速値)	
		光電アナログ式スポット型 煙感知器 5%/m 到達時間[s]	アナログ式の煙吸引式検 出設備 5%/m 到達時間[s]
①	左側煙感知器直下	32	45
②	中央煙感知器直下	36	48
③	右側煙感知器直下	30	35
④	左側煙感知器最遠	68	45
⑤	中央煙感知器最遠	42	48
⑥	右側煙感知器最遠	—*	45
⑦	部屋中央	42	38
⑧	右側煙感知器最遠	—*	37

* : 感知器の煙濃度が 5%/m (煙感知器 1 種相当の検知濃度) に到達せず

d. アナログ式の熱感知カメラ

(a) アナログ式の熱感知カメラの概要

屋外に設置するアナログ式の熱感知カメラの画像と外観を図 12 に示す。アナログ式の熱感知カメラは、物体から発する赤外線の色別強度を利用して、温度マップとして画像に映すことにより、一定の温度に達すると警報を発する火災感知設備である。

(b) 消防法に定められる型式適合検定について

アナログ式の熱感知カメラは、検定品ではないが、赤外線感知機能により死角となる場所がないように熱感知カメラを適切に設置する。

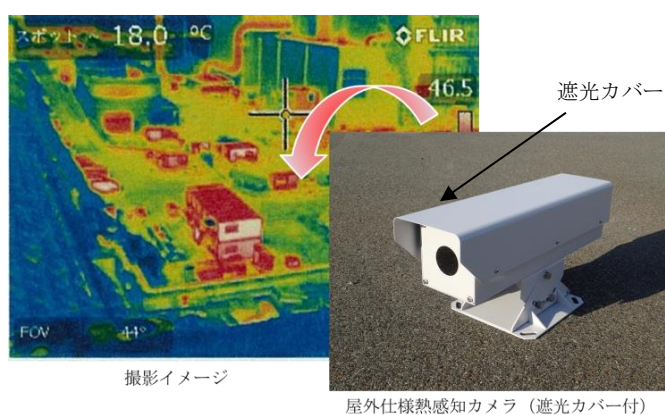


図 12 アナログ式の熱感知カメラの画像及び外観

4. 各火災感知器の設置条件及び具体例

4.1. 各火災感知器の設置条件

4.1.1. 火災感知器の種類と設置個数の考え方

各火災感知器の設置条件を表3に示す。

表3 火災感知器の種類と設置個数の考え方

火災感知器の種類			火災感知器の設置個数の考え方		消防法 施行規則
			取付面高さ	設置個数 当たりの 床面積	
煙感知器	光電アナログ式スポット型 及び 光電式スポット型 (防爆型含む)	1種及び 2種	4m未満	150m ²	第23条 第4項 第7号
			4m以上20m未満	75m ²	
		3種	4m未満	50m ²	
	光電アナログ式分離型	—	20m未満*2	— (光軸の水平距離が14m以下)	第23条 第4項 第7の3号
煙吸引式検出設備	—	センサ1台あたり100m ² 以内*3		消防法に適用されない	
熱感知器	熱アナログ式スポット型	—	4m未満	70m ² *1	第23条 第4項 第3号
			4m以上8m未満	35m ² *1	
	定温式スポット型 (屋外仕様, 防爆型含む)	特殊	4m未満	70m ² *1	
			4m以上8m未満	35m ² *1	
		1種	4m未満	60m ² *1	
			4m以上8m未満	30m ² *1	
2種	4m未満	20m ² *1			
	4m以上8m未満	—			
炎感知器	赤外線3波長式	公式監視 距離最大 45m以内	床面から1.2mの監視空間		第23条 第4項 第7の4号
	赤外線3波長式 (屋外仕様) (防爆型含む)	最大60m 以内	監視範囲に死角がないように設置		消防法に適用されない
熱感知カメラ	赤外線式	最大100m 以内	監視範囲に死角がないように設置		消防法に適用されない

注：上記に記載のない事項については、消防法施行規則等に基づく、火災感知器の設置方法に従う。

注記*1：主要構造部を耐火構造とした防火対象物又はその部分における設置個数当たりの床面積を示す。

*2：原子炉建物オペレーティングフロア（天井等の高さ20.5m）及びタービン室（天井等の高さ20.7m）については、天井等の高さ20m以上の場所であり、消防法施行規則第23条第4項の適用対象外となるが、火災の早期感知の観点から消防法施行規則に準じて設置する。

*3：設置対象となる主蒸気管室での火災を模擬した試験結果に基づく監視面積として設定した。

4.1.2. 煙感知器の設置条件

消防法施行規則第 23 条第 4 項第 7 号ハの規定により，梁等が天井より 0.6m 以上突出している場合は個別の区画とし，それぞれの床面積から煙感知器の必要個数を求める。(図 13 参照)

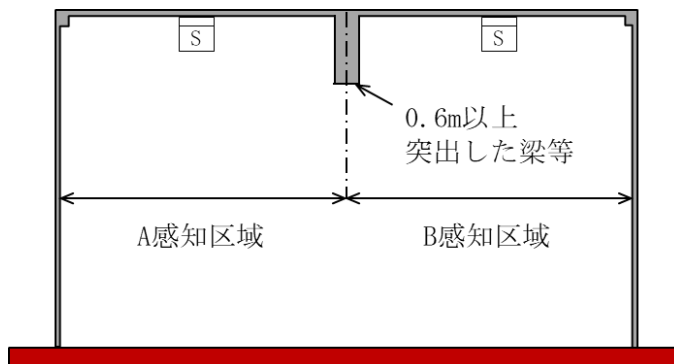


図 13 梁等が天井より 0.6m 以上突出している場合の解説図

消防法施行規則第 23 条第 4 項第 7 号ホの規定により，天井高さから，それぞれの床面積に必要な煙感知器の設置個数を算出し設置する設計とする。(表 4 参照)

表 4 天井高さから必要な煙感知器の設置個数を算出する場合の床面積

感知器の種別		取付面の高さ		
		4m 未満	4m 以上 15m 未満	15m 以上 20m 未満
煙感知器	1 種	150m ²	75m ²	75m ²
	2 種	150m ²	75m ²	—
	3 種	50m ²	—	—

消防法施行規則第 23 条第 4 項第 7 号ヘの規定により，煙感知器を廊下及び通路に設ける場合は，歩行距離 30m につき 1 個以上の個数を，階段及び傾斜路にあつては垂直距離 15m につき 1 個以上の個数を設置する設計とする。

一般建築物である島根原子力発電所2号機は、日本火災報知機工業会 自動火災報知設備工事基準書により、梁等の深さが0.6m以上1m未満で火災区画が連続する場合、下記図及び表で定める範囲の隣接する感知区域を当該部分を含めて1つの感知区域と見なすことができる。(表5, 図14参照)

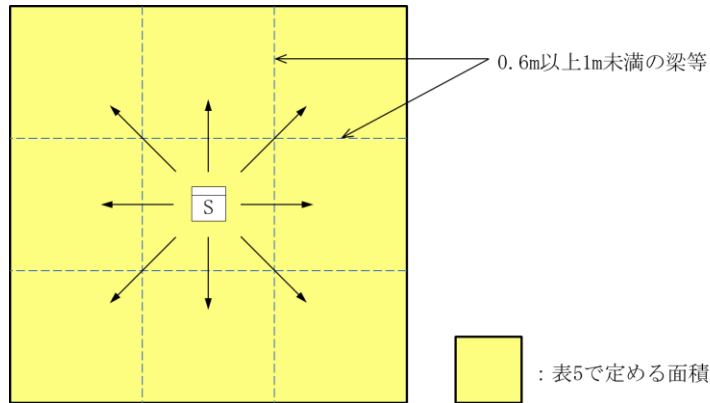


図14 煙感知器における1つの感知区域と見なすことができる解説図(1)

表5 煙感知器における1つの感知区域と見なすことができる面積

感知器の種別	感知面積の合計			
	4m未満	4m以上 8m未満	8m以上 15m未満	15m以上 20m未満
1種	60m ²	60m ²	40m ²	40m ²
2種	60m ²	60m ²	40m ²	—
3種	20m ²	—	—	—

一般建築物である島根原子力発電所2号機は、日本火災報知機工業会 自動火災報知設備工事基準書により、小区画が隣接している場合、梁等の深さが0.6m以上1m未満で区画された10m²以下の小区画が1つ隣接している場合は、当該部分を含めて1つの感知区域とすることができる。(図15参照)

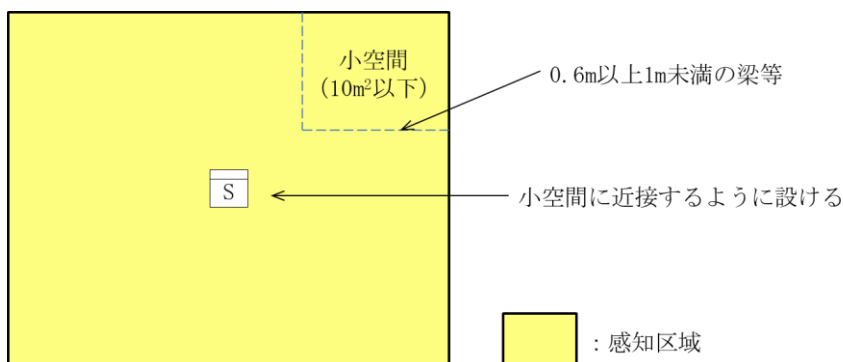


図15 煙感知器における1つの感知区域と見なすことができる解説図(2)

4.1.3. 熱感知器の設置条件

消防法施行規則第23条第4項第3号ロの規定により、梁等が天井より0.4m以上突出している場合は個別の区画とし、それぞれの床面積から熱感知器の必要個数を求める。(図16参照)

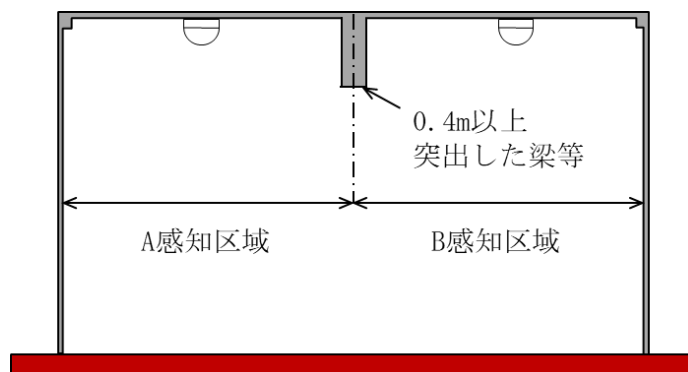


図16 梁等が天井より0.4m以上突出している場合の区画の解説図

消防法施行規則第23条第4項第3号ロの規定により、天井高さから、それぞれの床面積に必要な熱感知器の設置個数を算出する設計とする。(表6参照)

表6 天井高さから必要な熱感知器の設置個数を算出する場合の床面積

感知器の種別		取付面の高さ		4m未満		4m以上8m未満	
		建築物の構造		耐火	非耐火	耐火	非耐火
差動式スポット型	1種		90m ²	50m ²	45m ²	30m ²	
補償式スポット型	2種		70m ²	40m ²	35m ²	25m ²	
定温式スポット型	特殊		70m ²	40m ²	35m ²	25m ²	
	1種		60m ²	30m ²	30m ²	15m ²	
	2種		20m ²	15m ²	—	—	
熱アナログ式スポット型			70m ²	40m ²	35m ²	25m ²	

一般建築物である島根原子力発電所2号機は、日本火災報知機工業会 自動火災報知設備工事基準書により、定温式スポット型熱感知器(特殊)は、短辺が3m未満の細長い居室等に熱感知器を設置する場合は、歩行距離が13mにつき1個以上の個数を設置する設計とする。

一般建築物である島根原子力発電所2号機は、日本火災報知機工業会 自動火災報知設備工事基準書により、梁等の深さが0.4m以上1m未満で火災区画が連続する場合、下記図及び表で定める範囲の隣接する感知区域を当該部分を含めて1つの感知区域と見なすことができる。(表7, 図17 参照)

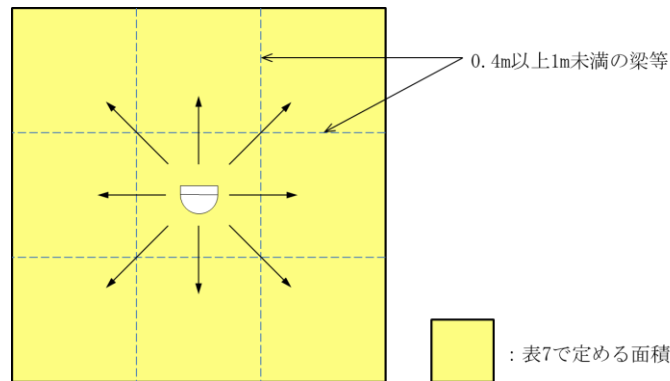


図17 熱感知器における1つの感知区域と見なすことができる解説図(1)

表7 熱感知器における1つの感知区域と見なすことができる面積

感知区域 建築物の構造		合計面積	
		耐火	非耐火
感知器の種類			
差動式スポット型	1種	20m ²	15m ²
補償式スポット型	2種	15m ²	10m ²
定温式スポット型	特殊	15m ²	10m ²
	1種	13m ²	8m ²
熱アナログ式スポット型		15m ²	10m ²

一般建築物である島根原子力発電所2号機は、日本火災報知機工業会 自動火災報知設備工事基準書により、小区画が隣接している場合、梁等の深さが0.4m以上1m未満で区画された5m²以下の小区画が1つ隣接している場合は、当該部分を含めて1つの感知区域とすることができる。(図18 参照)

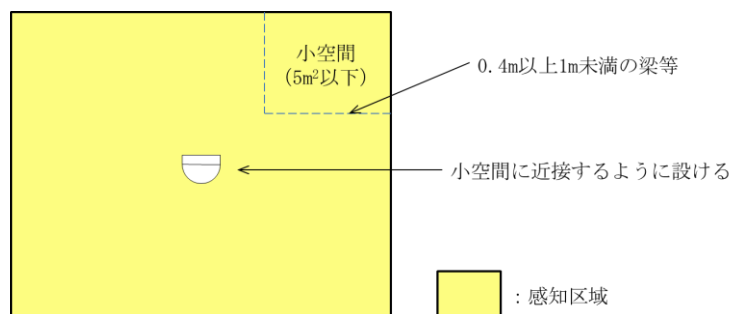


図18 熱感知器における1つの感知区域と見なすことができる解説図(2)

4.2. 火災感知器を設置した具体例

4.2.1. 消防法に準じて煙感知器，熱感知器及び炎感知器を設置した具体例

消防法施行規則第23条第4項に基づき，建物等に設置する熱感知器，煙感知器及び炎感知器について，各建物等の火災区域毎に整理した一覧表と配置図を別紙1に示す。

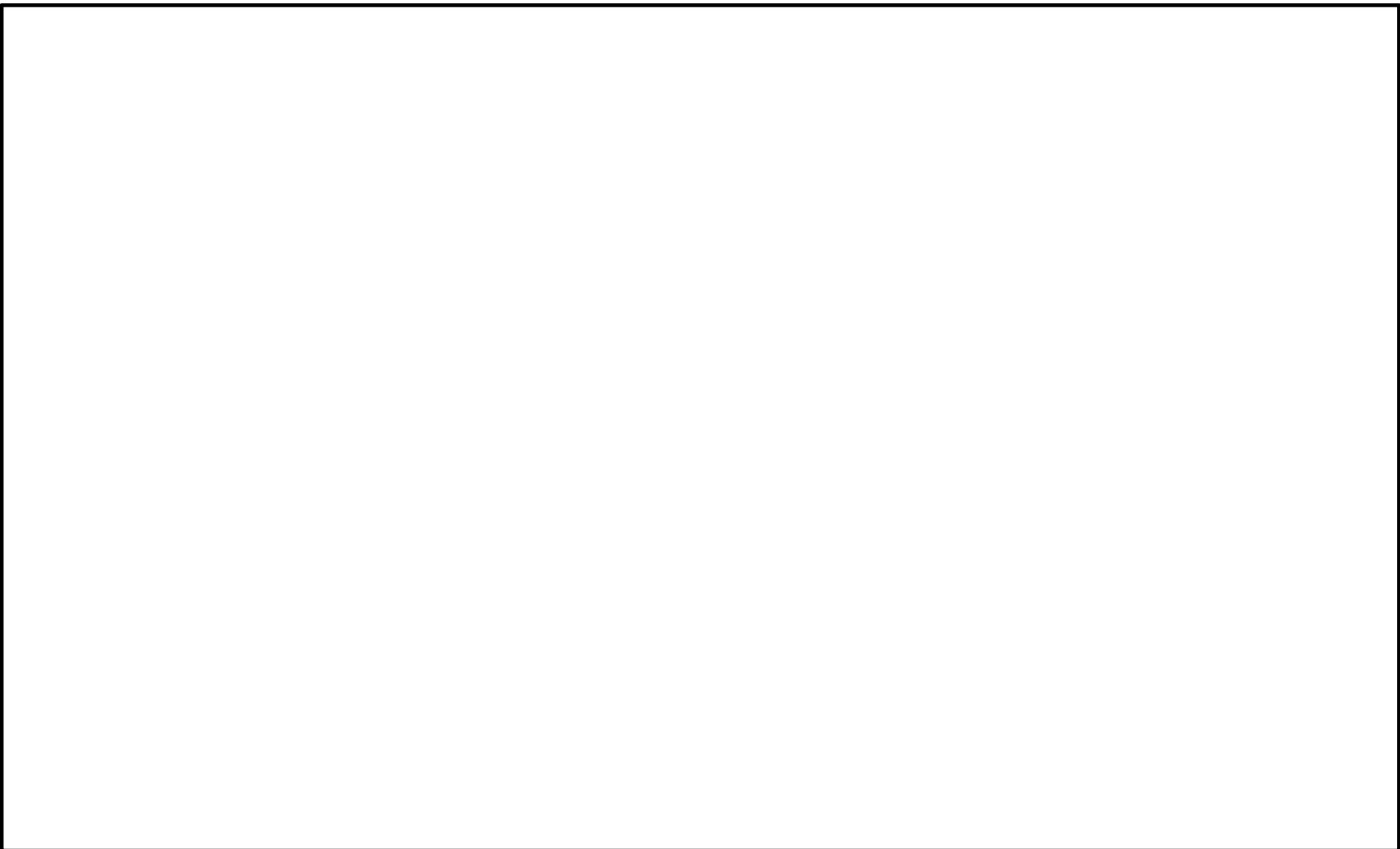
なお，消防法施行規則第23条第4項第8号の規定による火災感知器は，換気口等の空気吹出し口から1.5m以上の離隔距離を満足する設計とする。

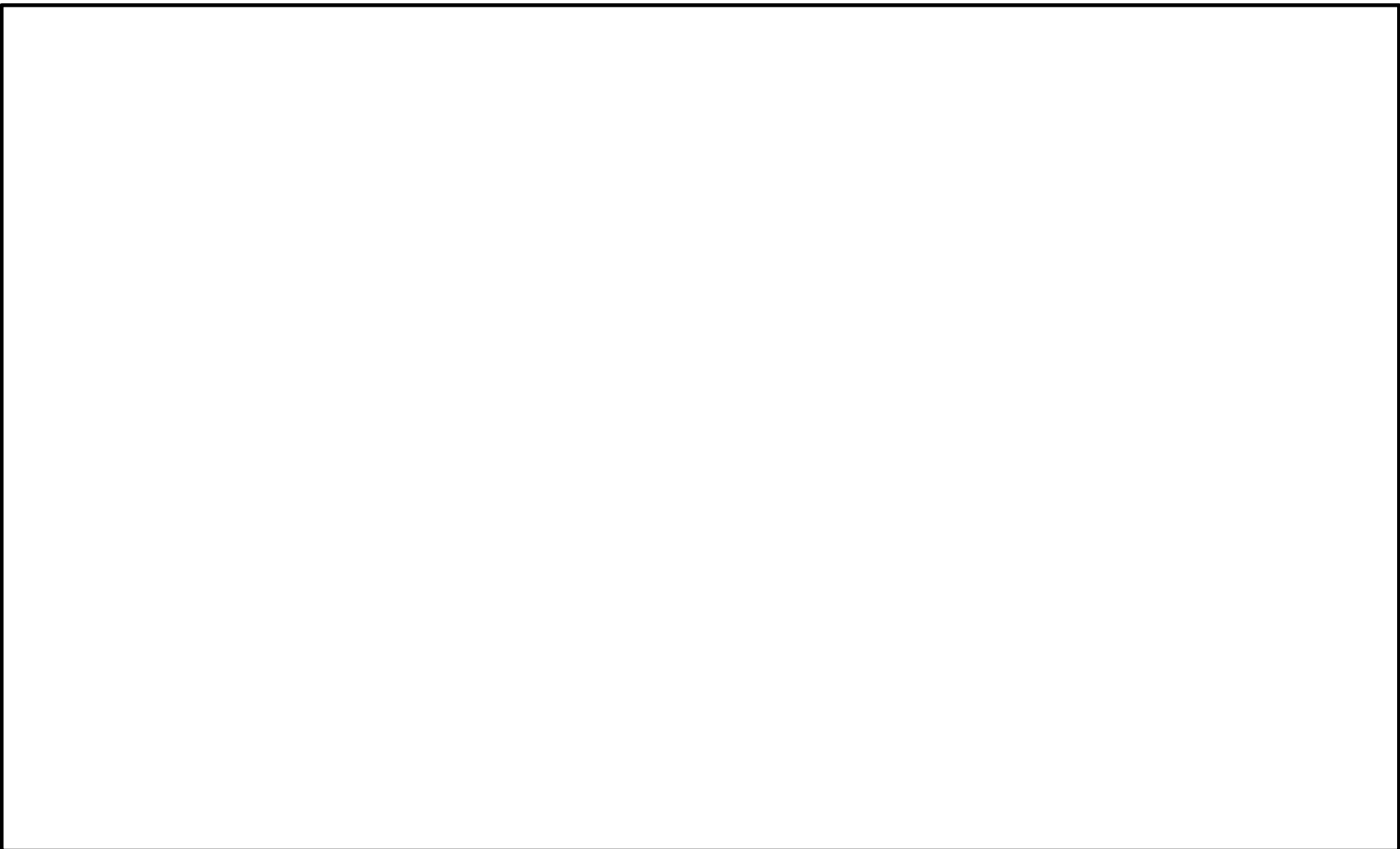
4.2.2. その他エリアの火災感知器を設置した具体例

その他エリアとして，屋外に設置する屋外仕様炎感知器及び熱感知カメラ，主蒸気管室に設置する煙吸引式検出設備並びに原子炉建物オペレーティングフロア及びタービン室に設置する光電分離型煙感知器について，配置図を別紙2に示す。

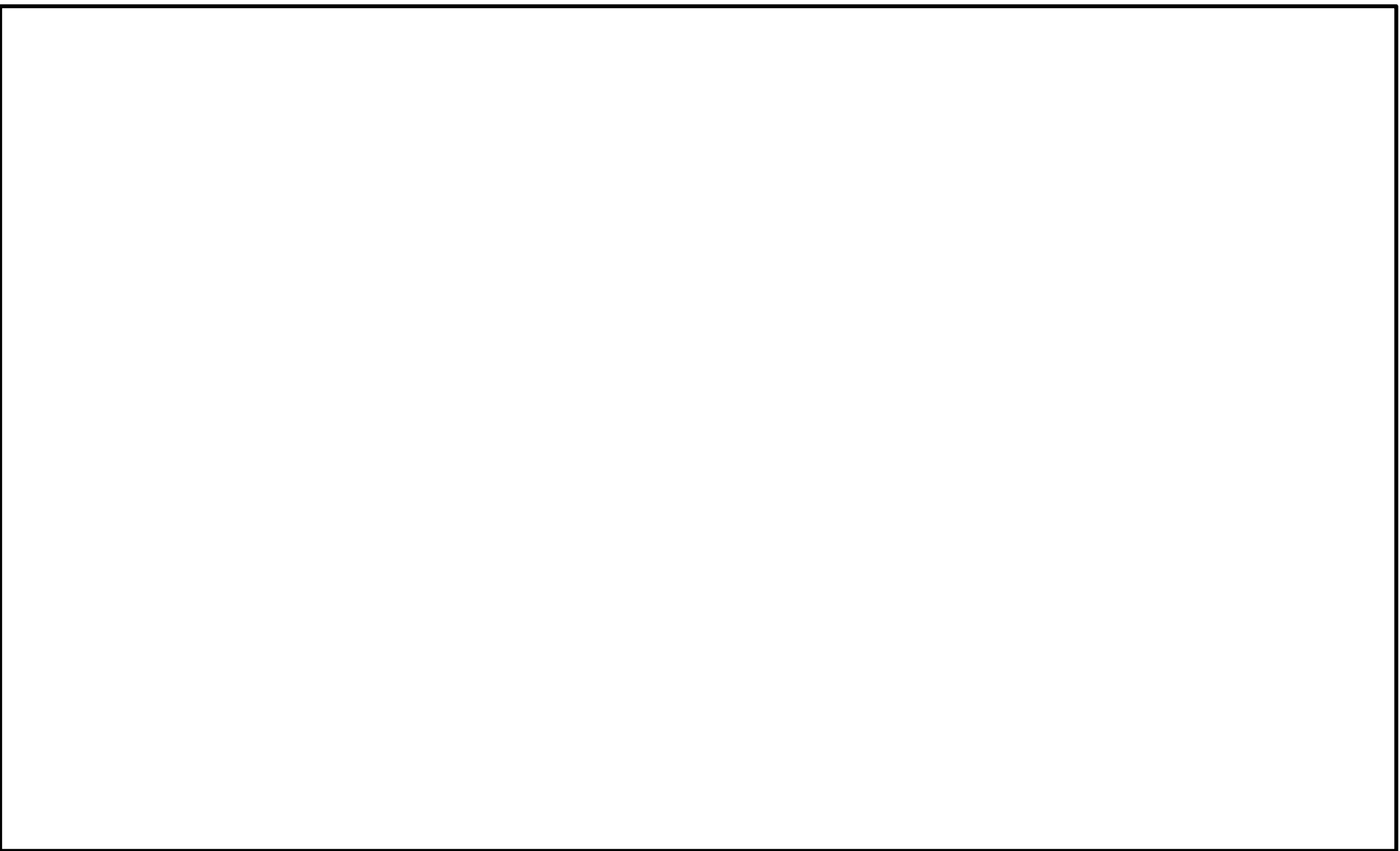
5. 各火災感知器の配置図

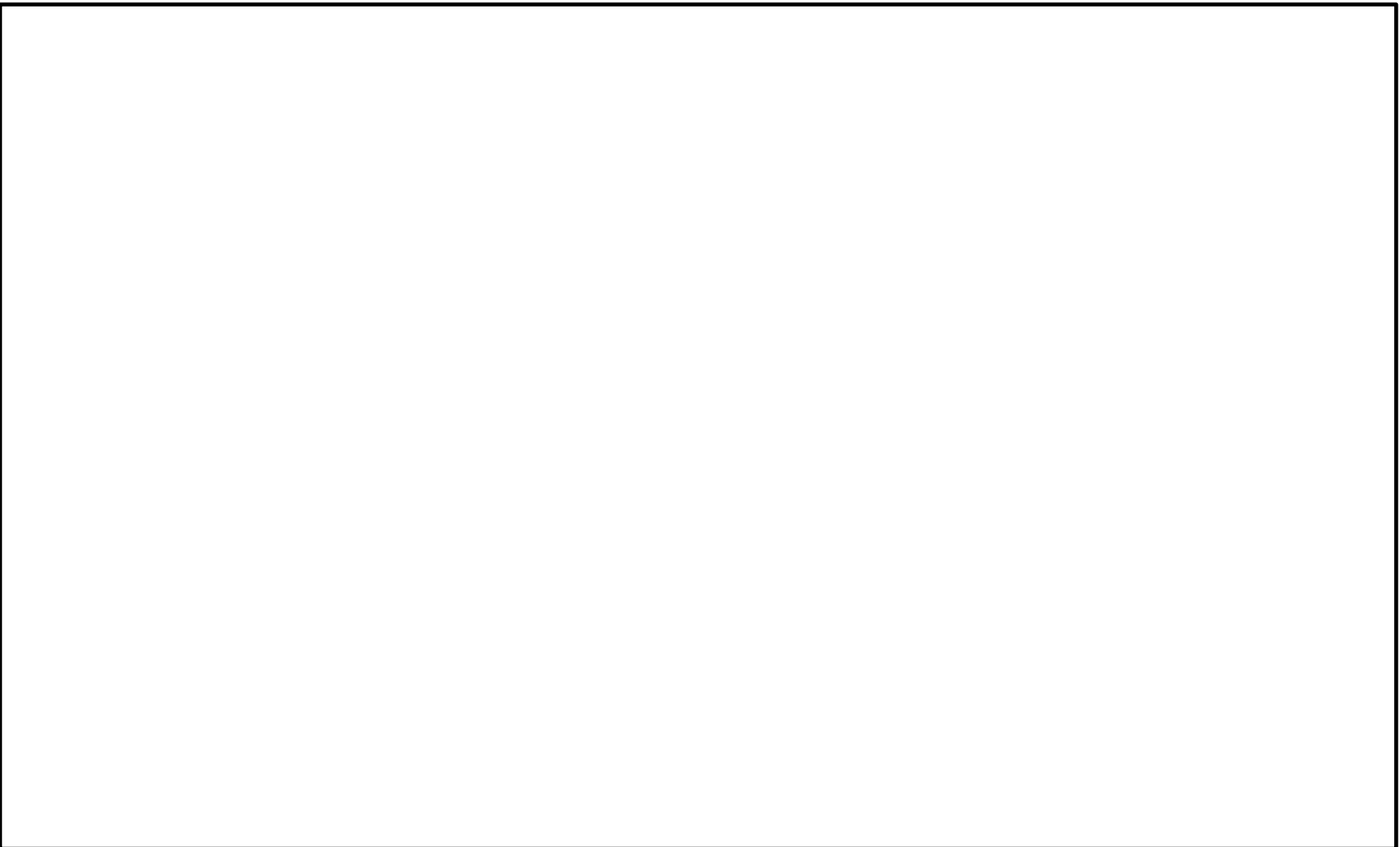
各火災感知器の配置図を次頁以降に示す。

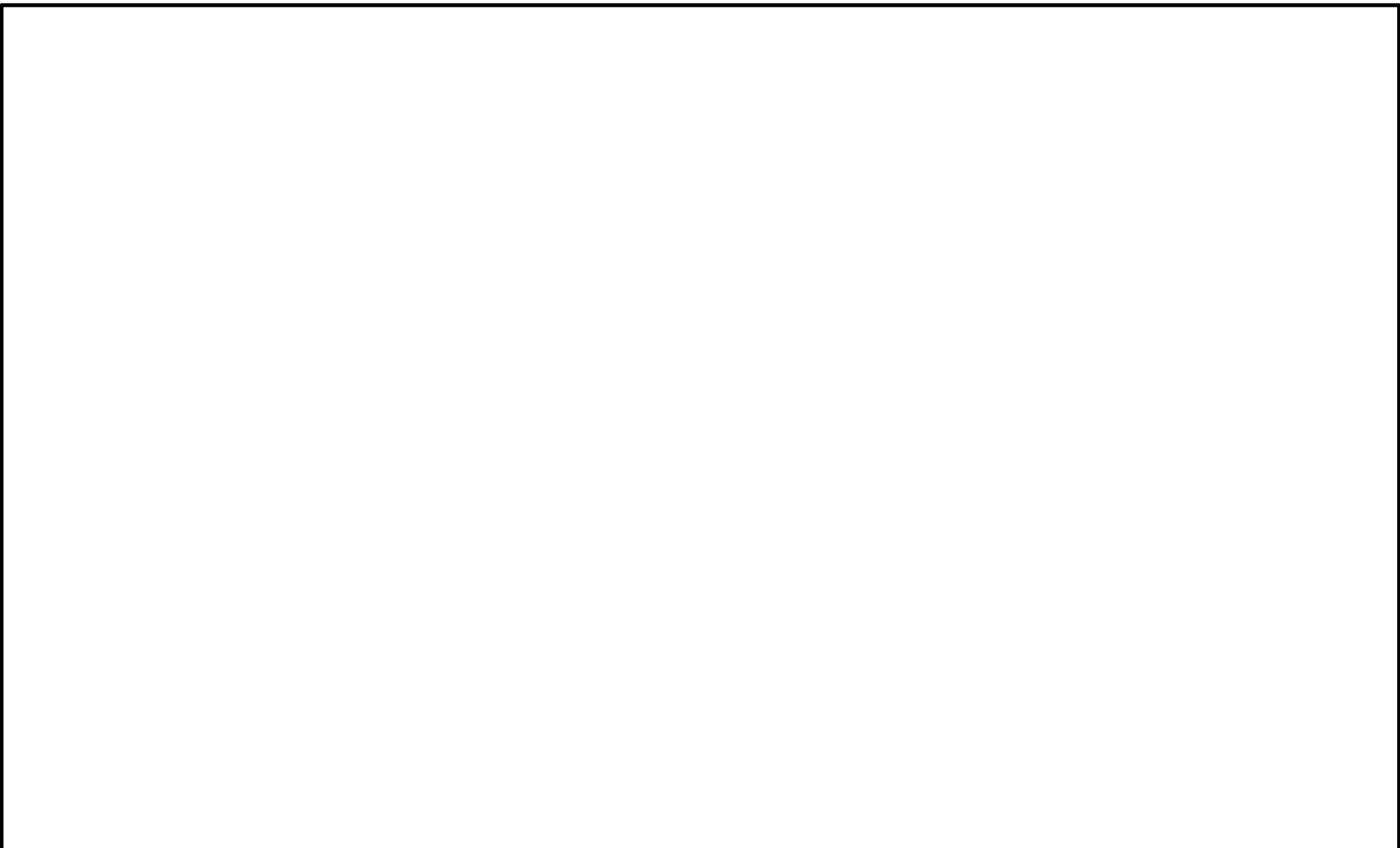


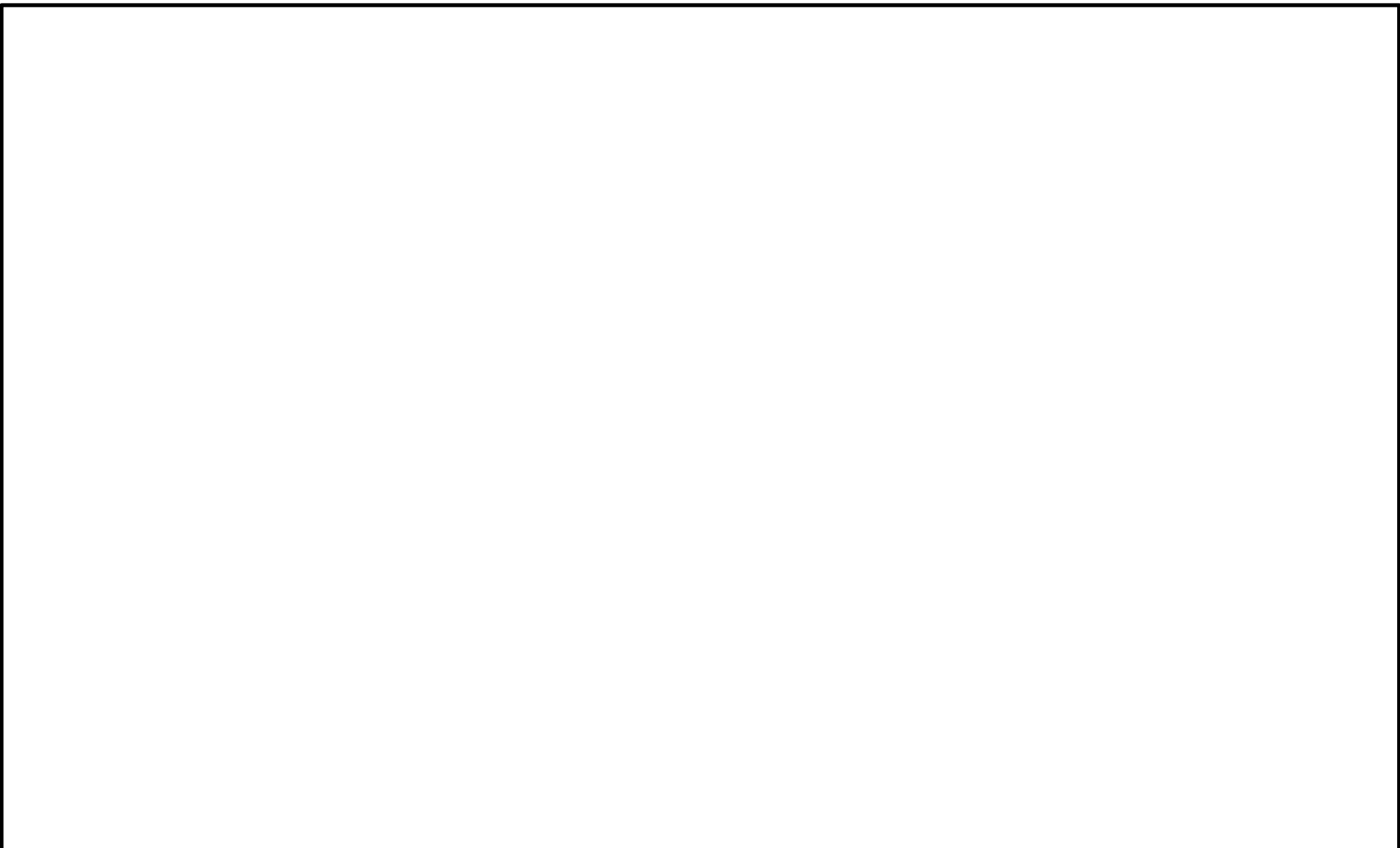


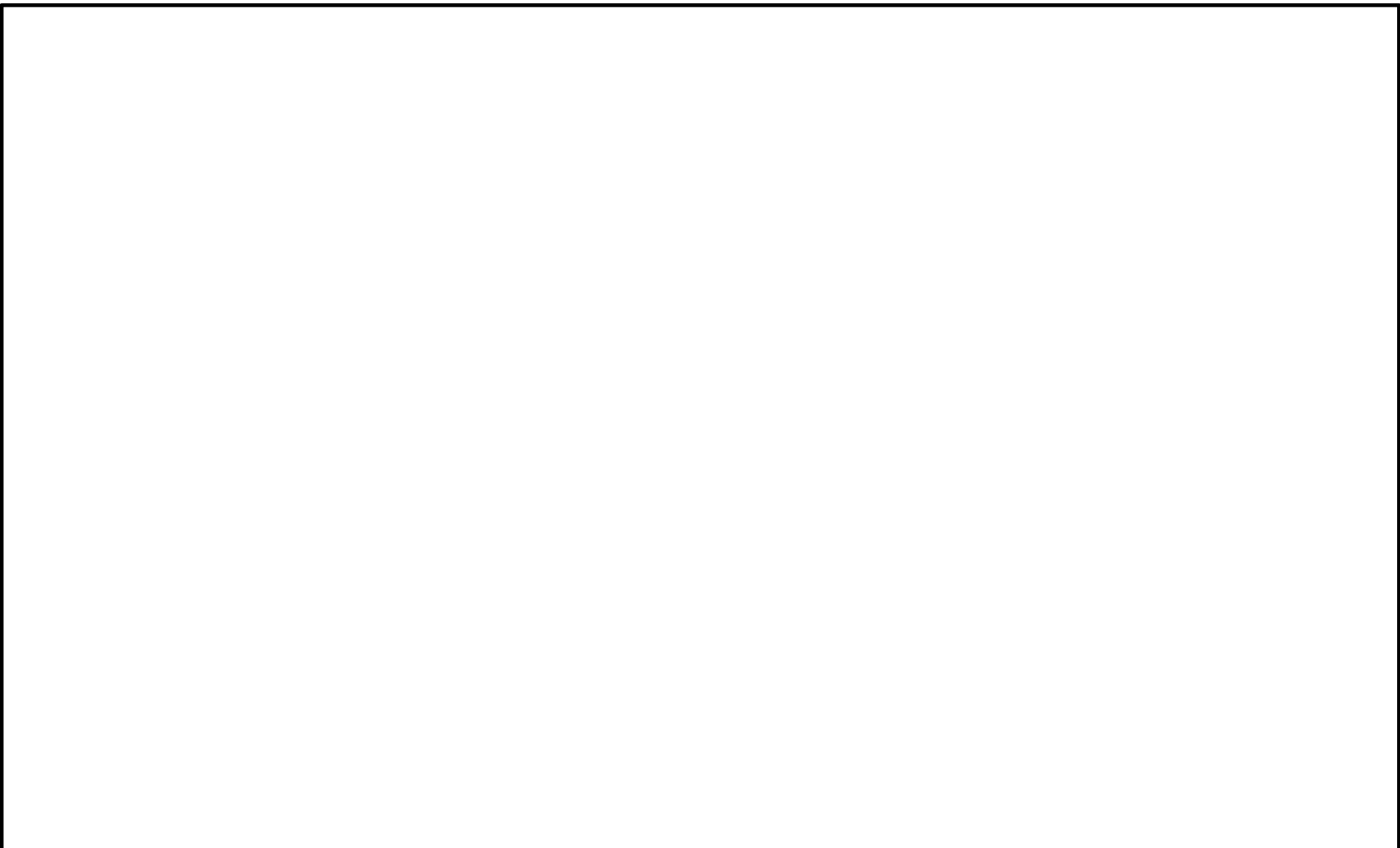
補-3-7-24

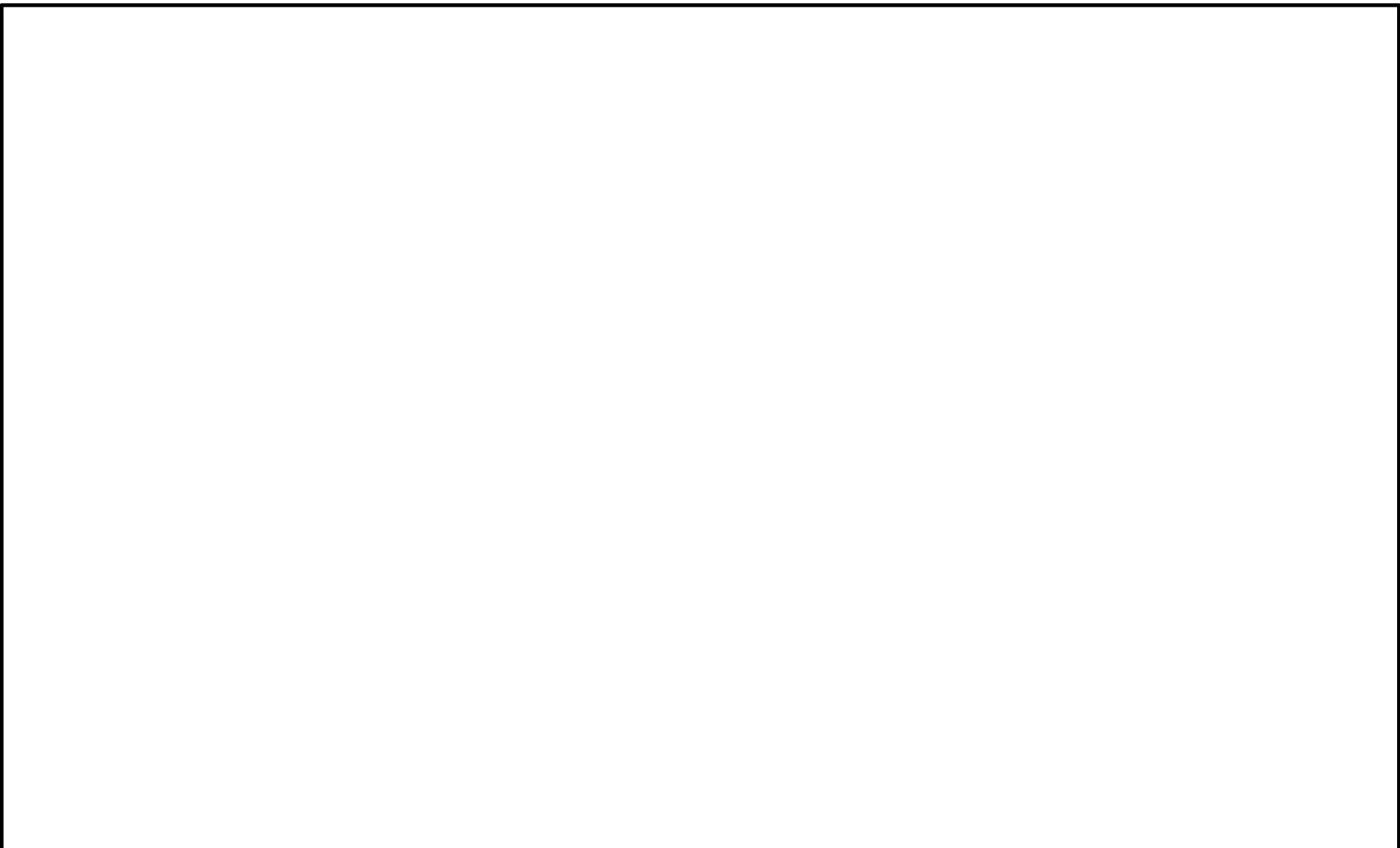


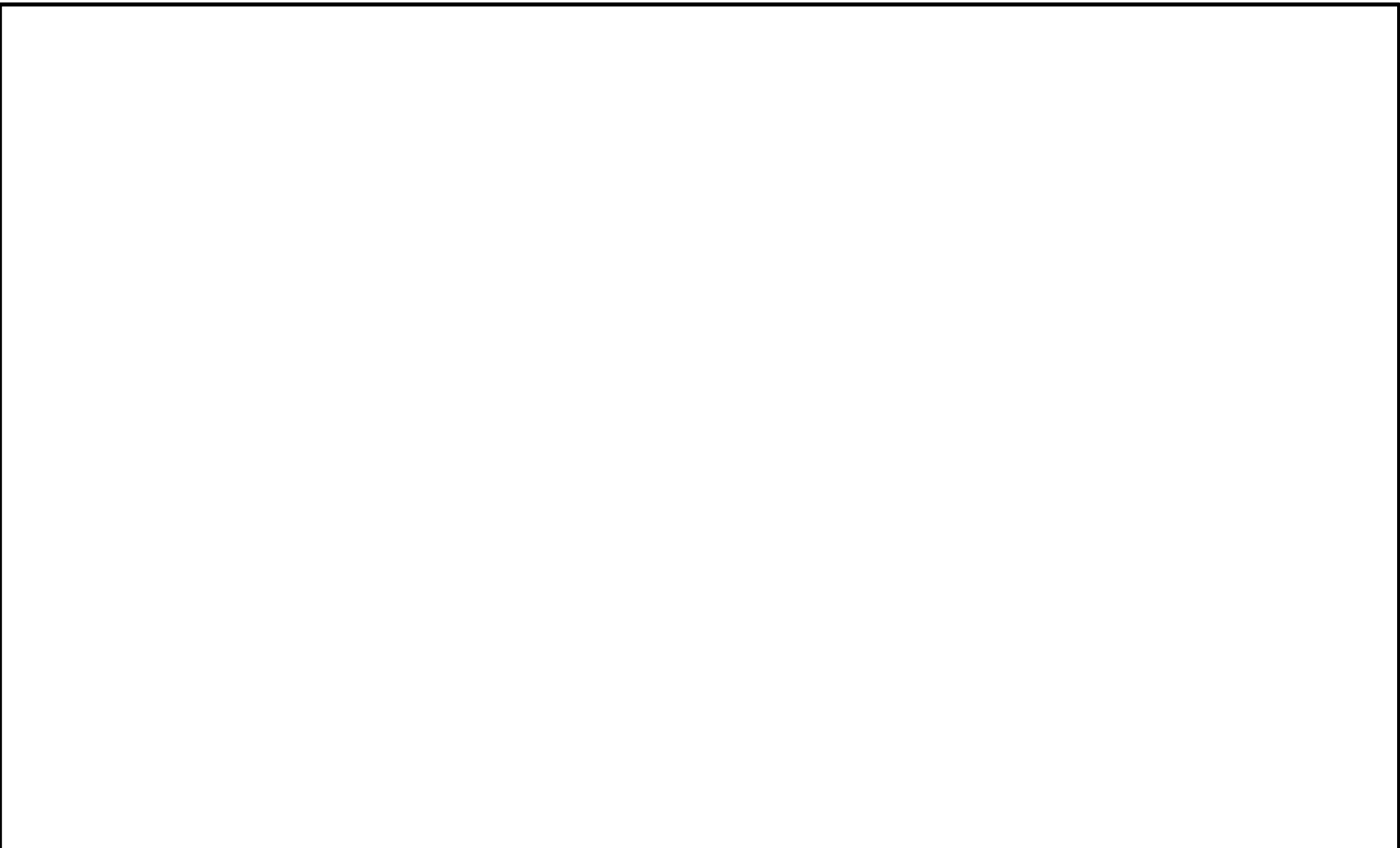


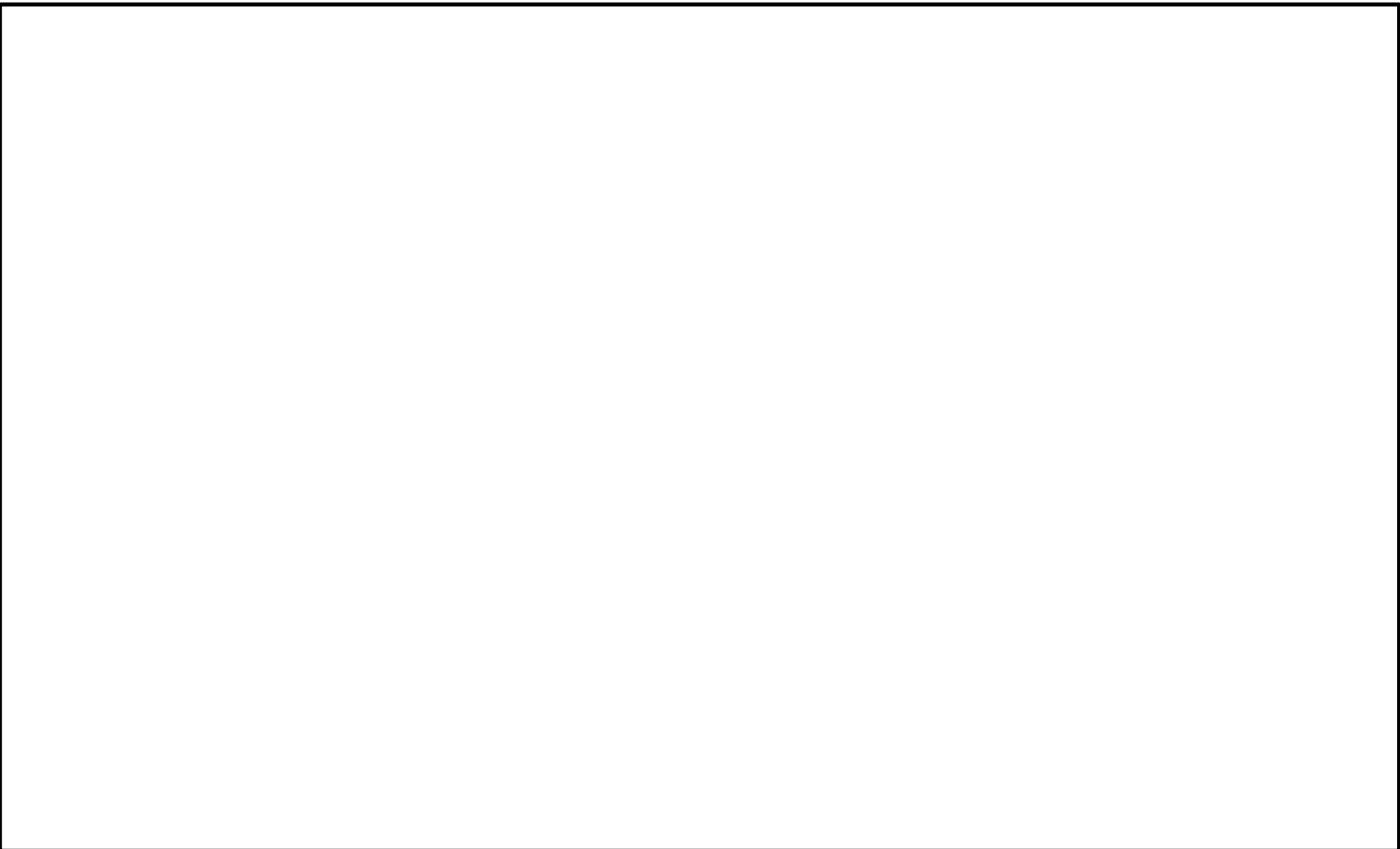


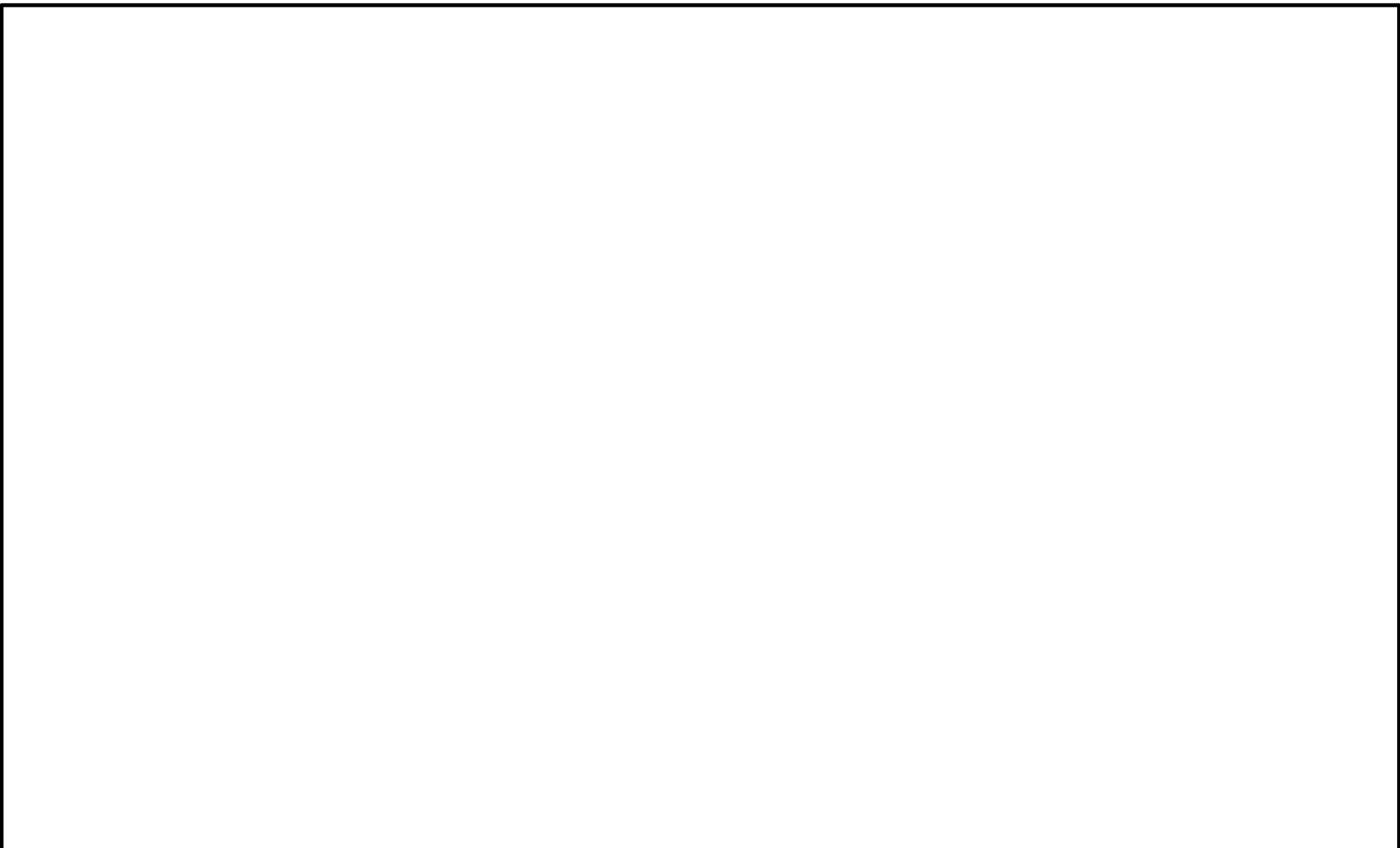


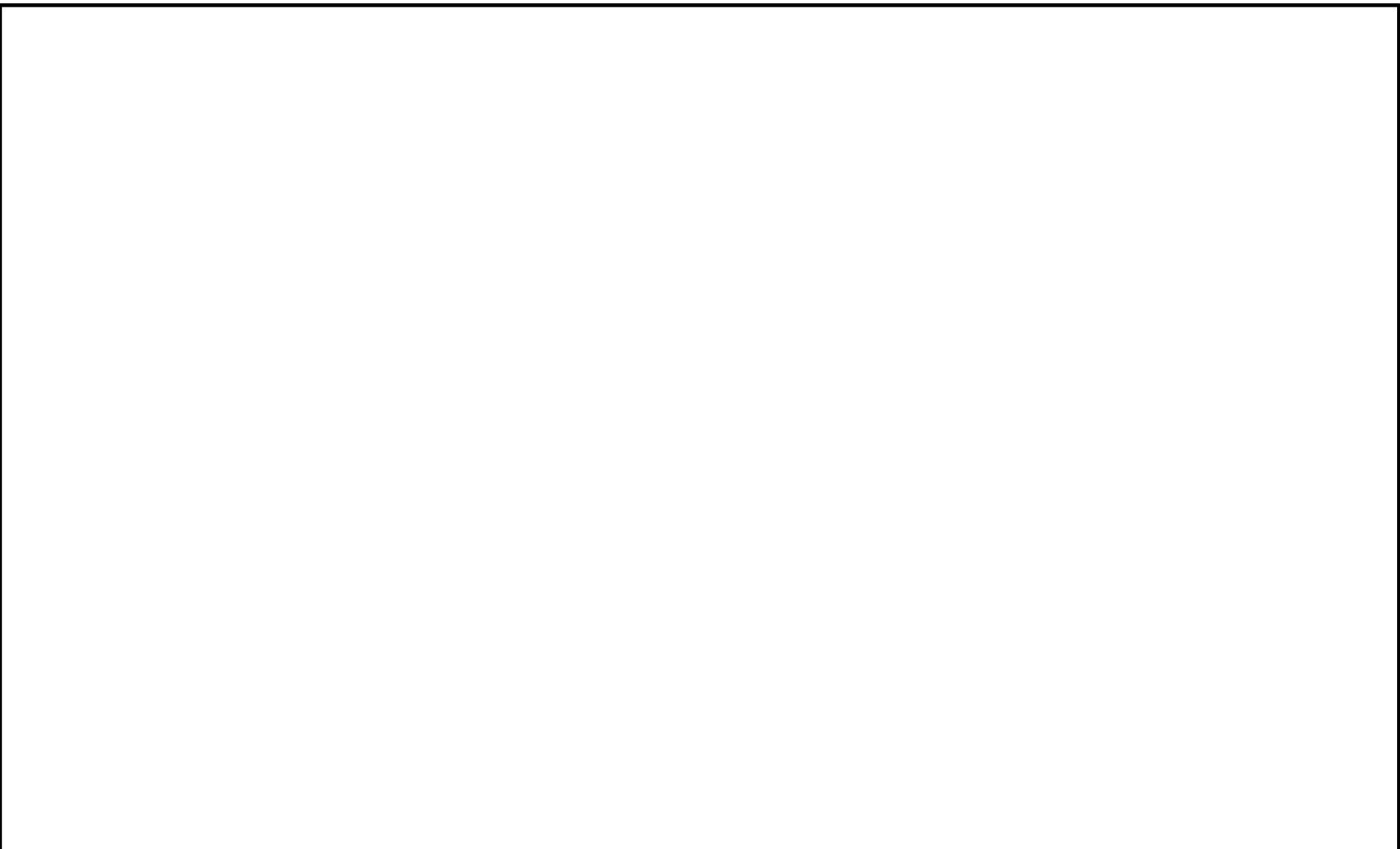


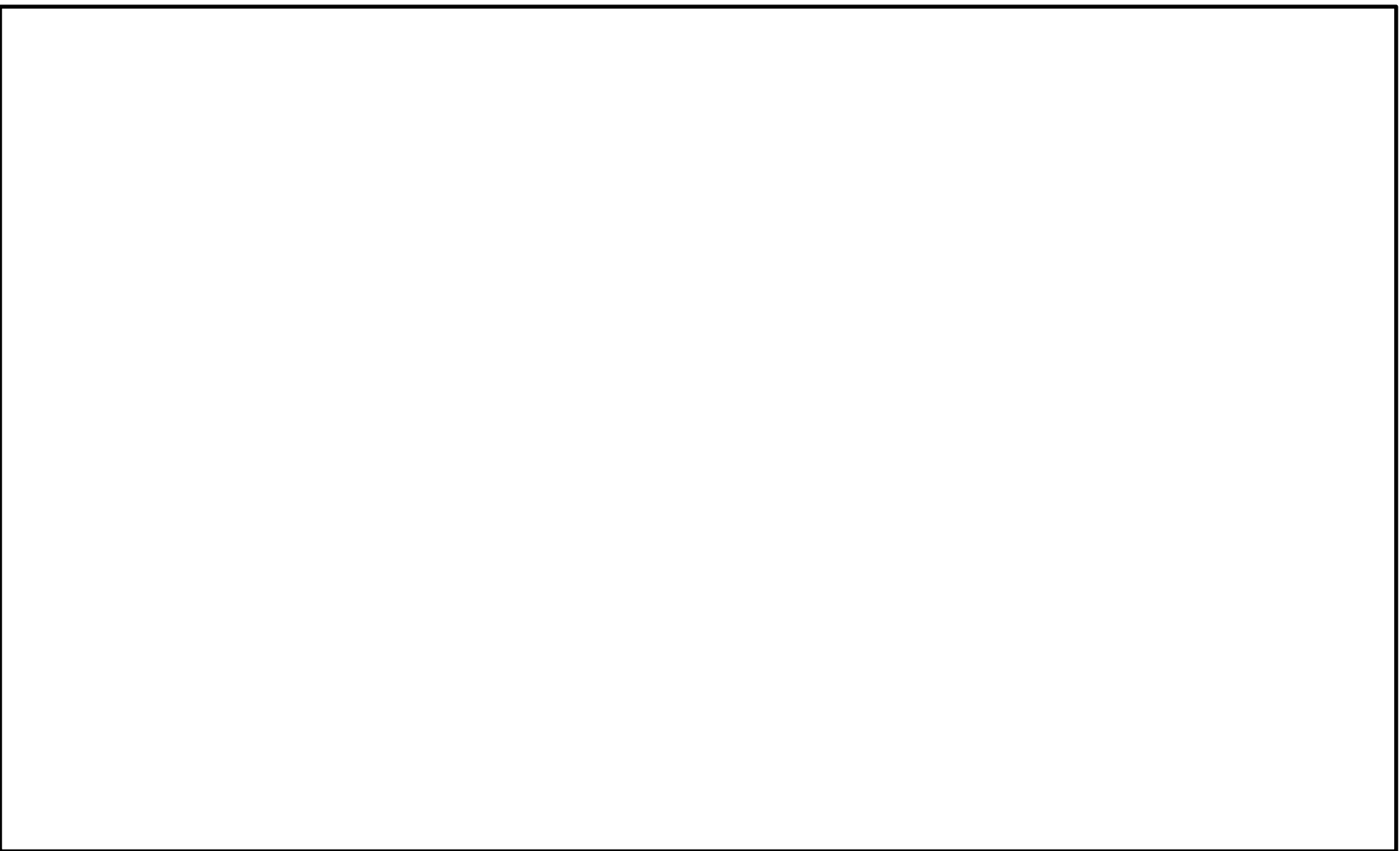


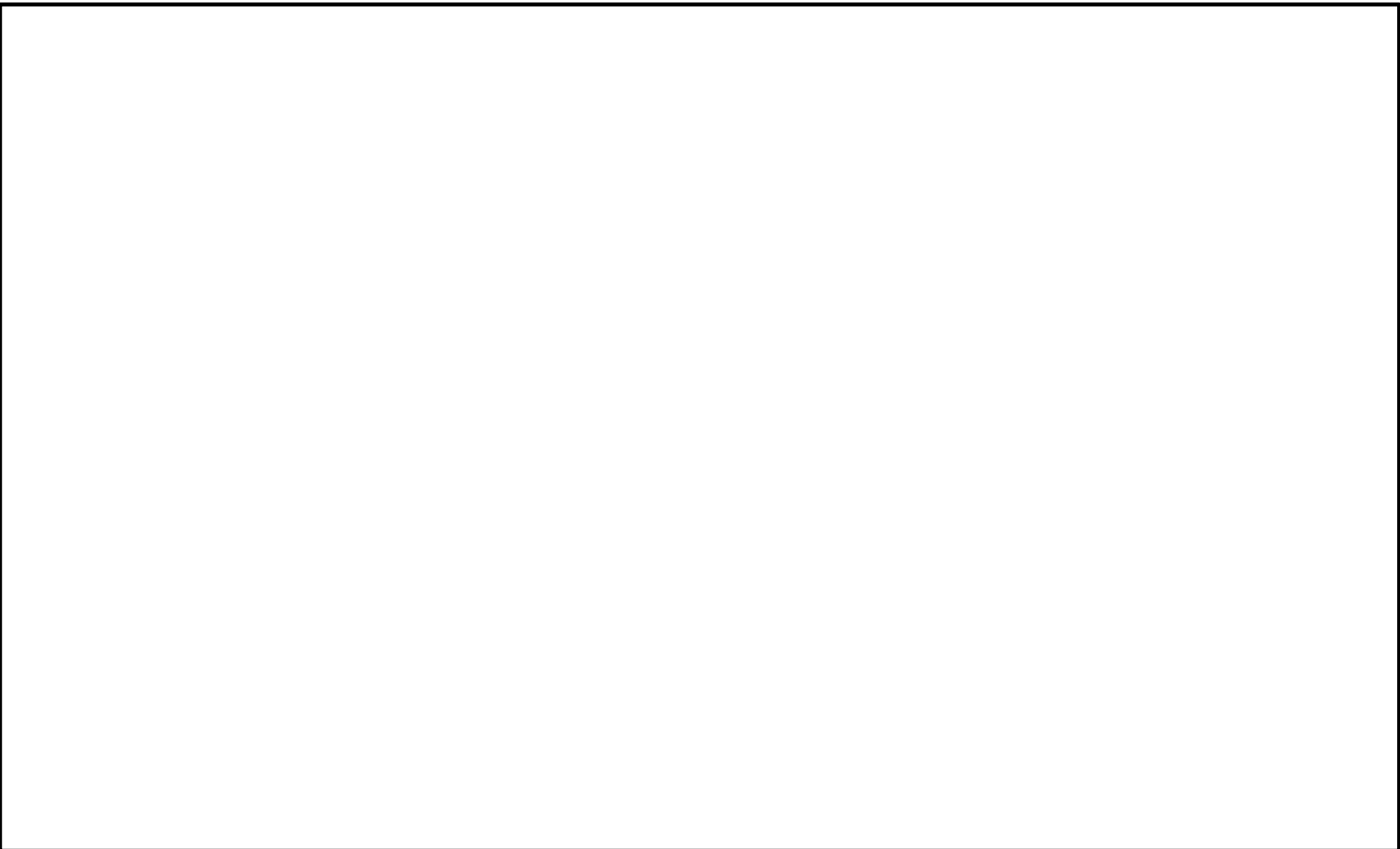


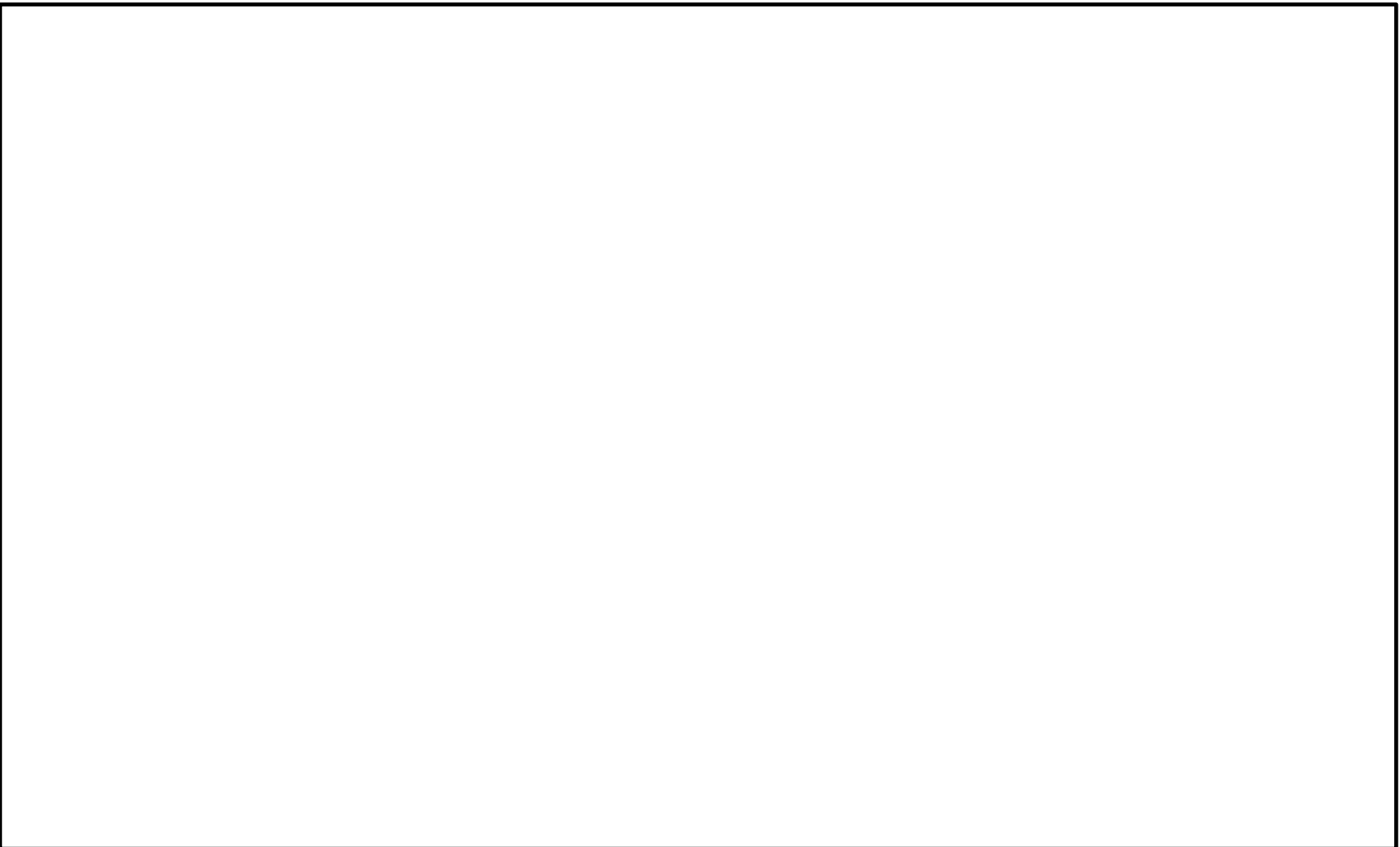


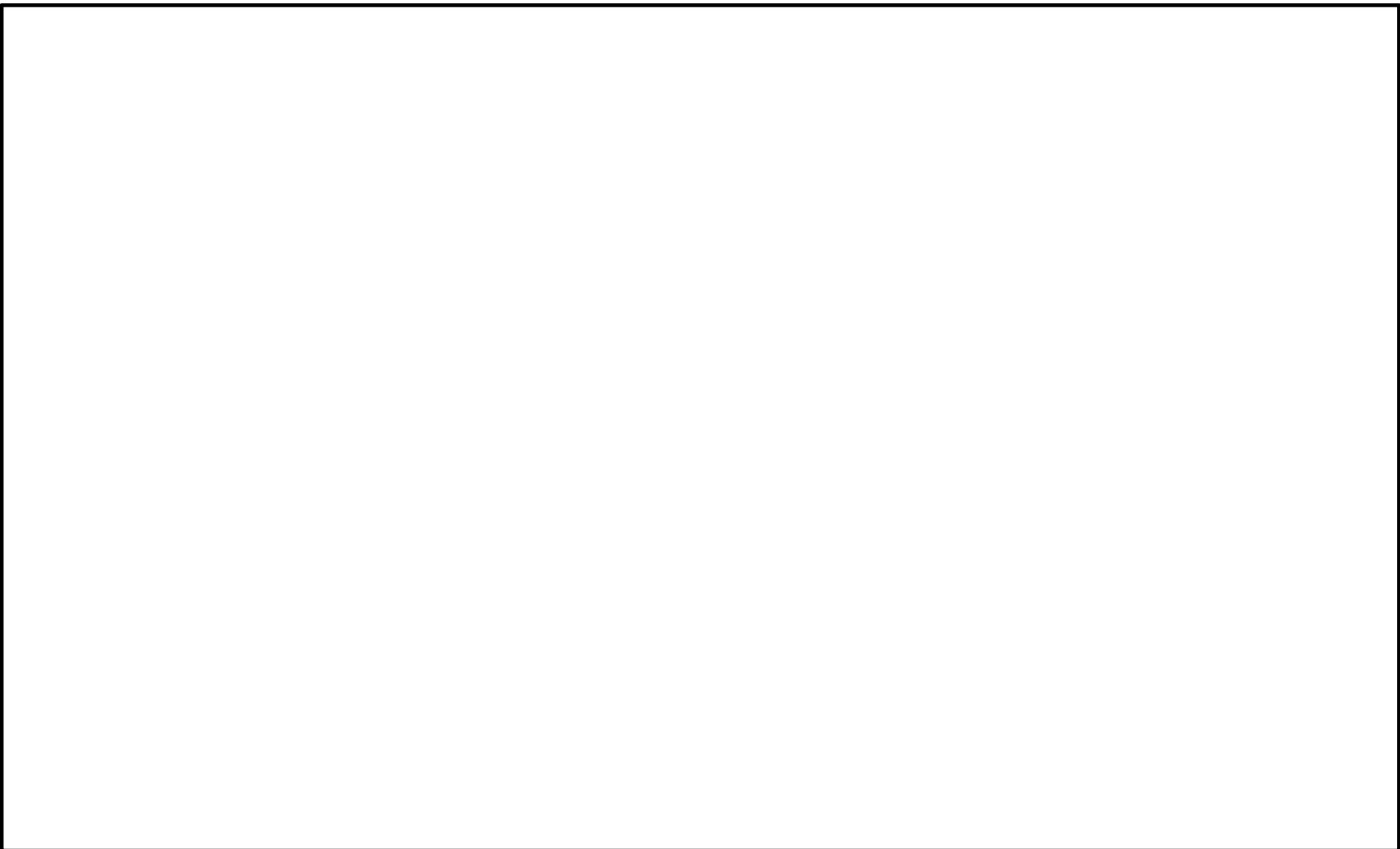


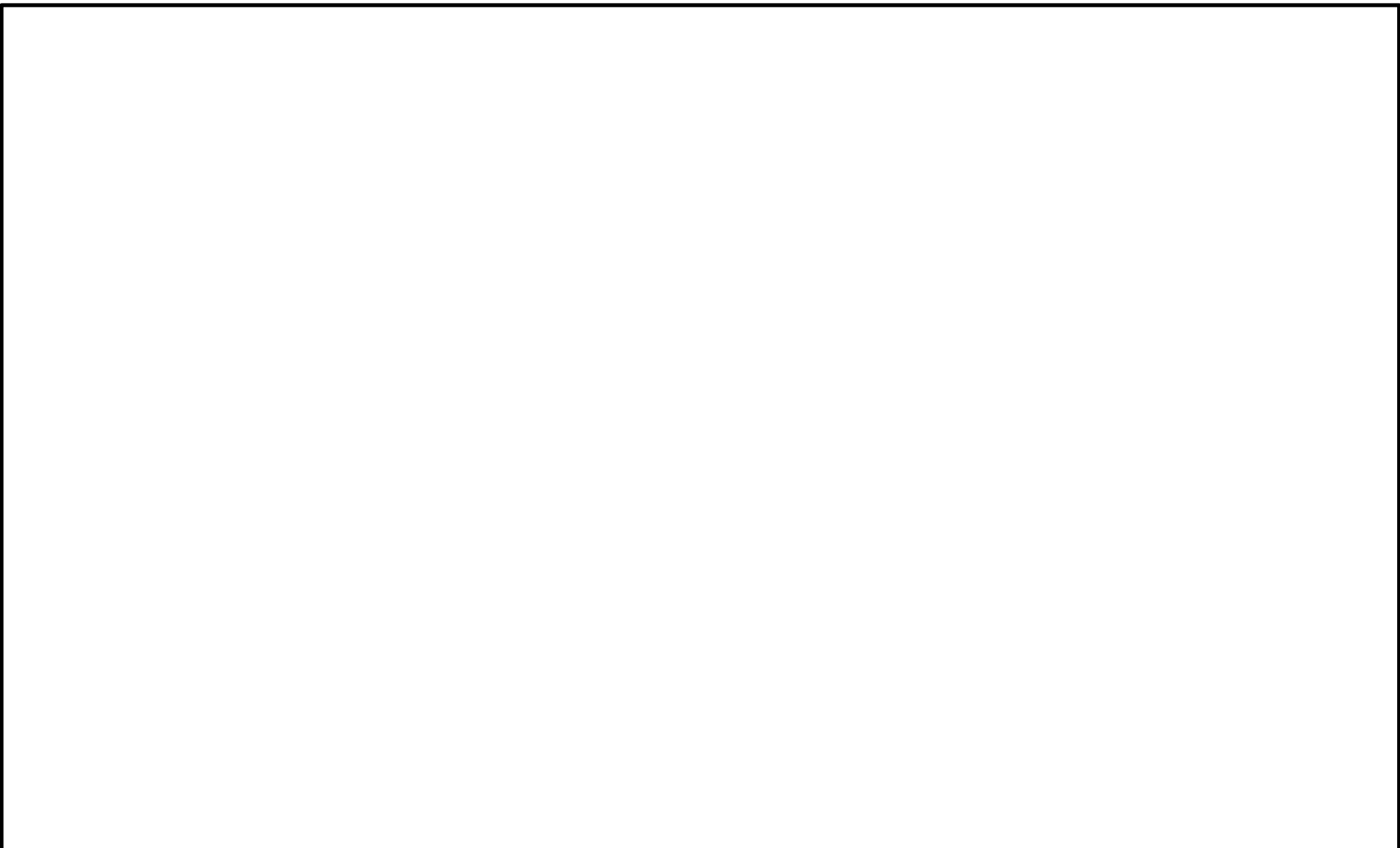




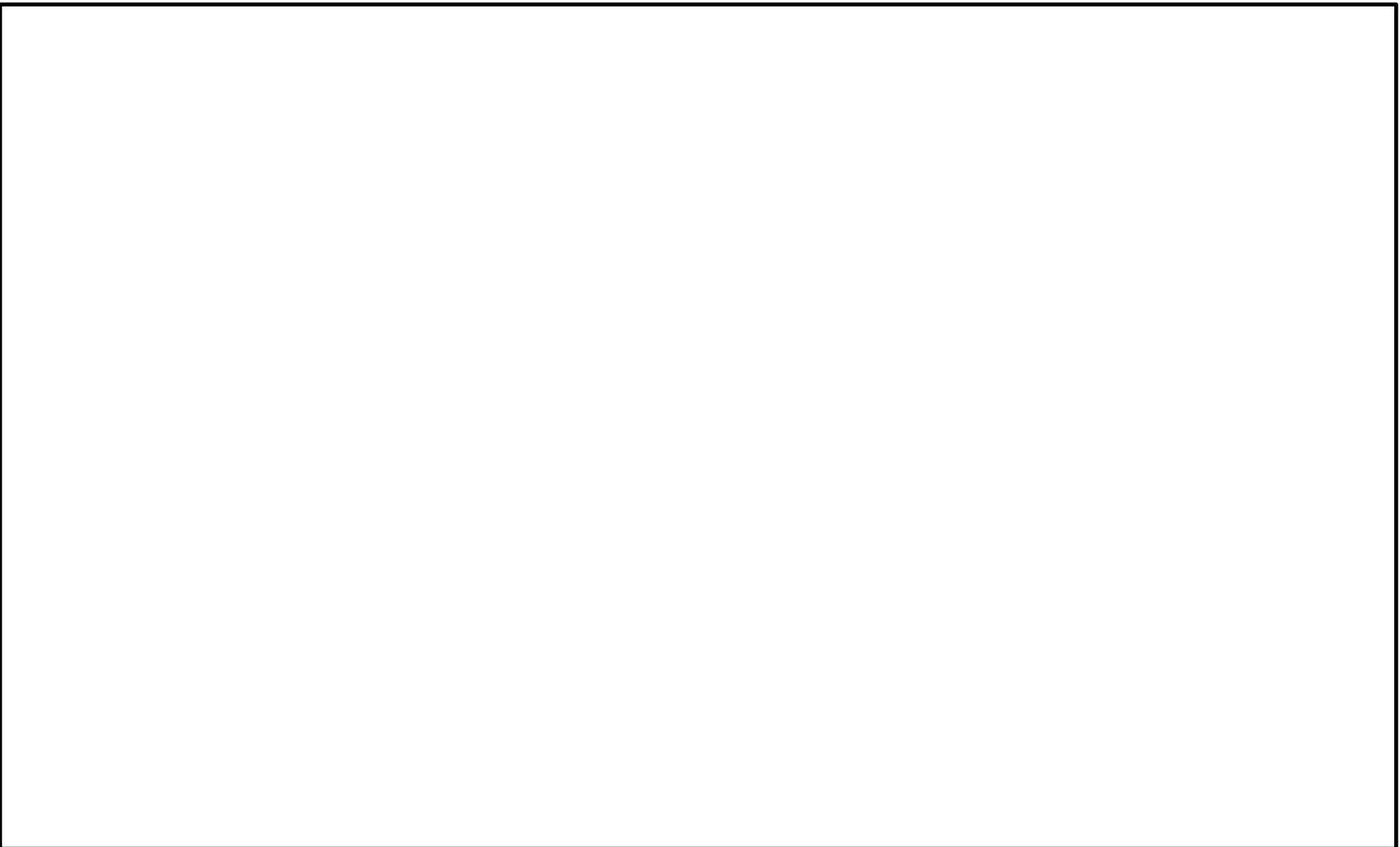


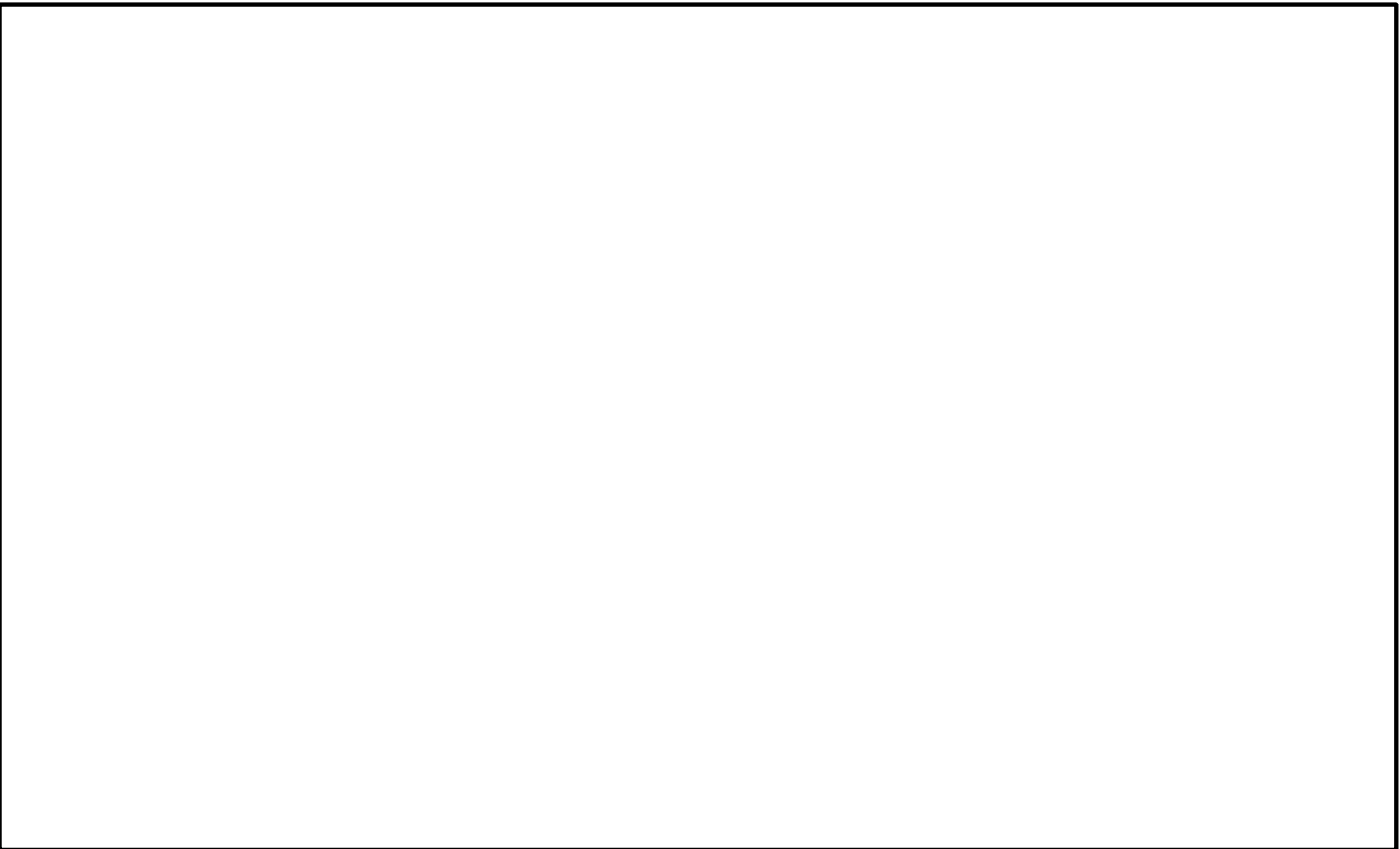


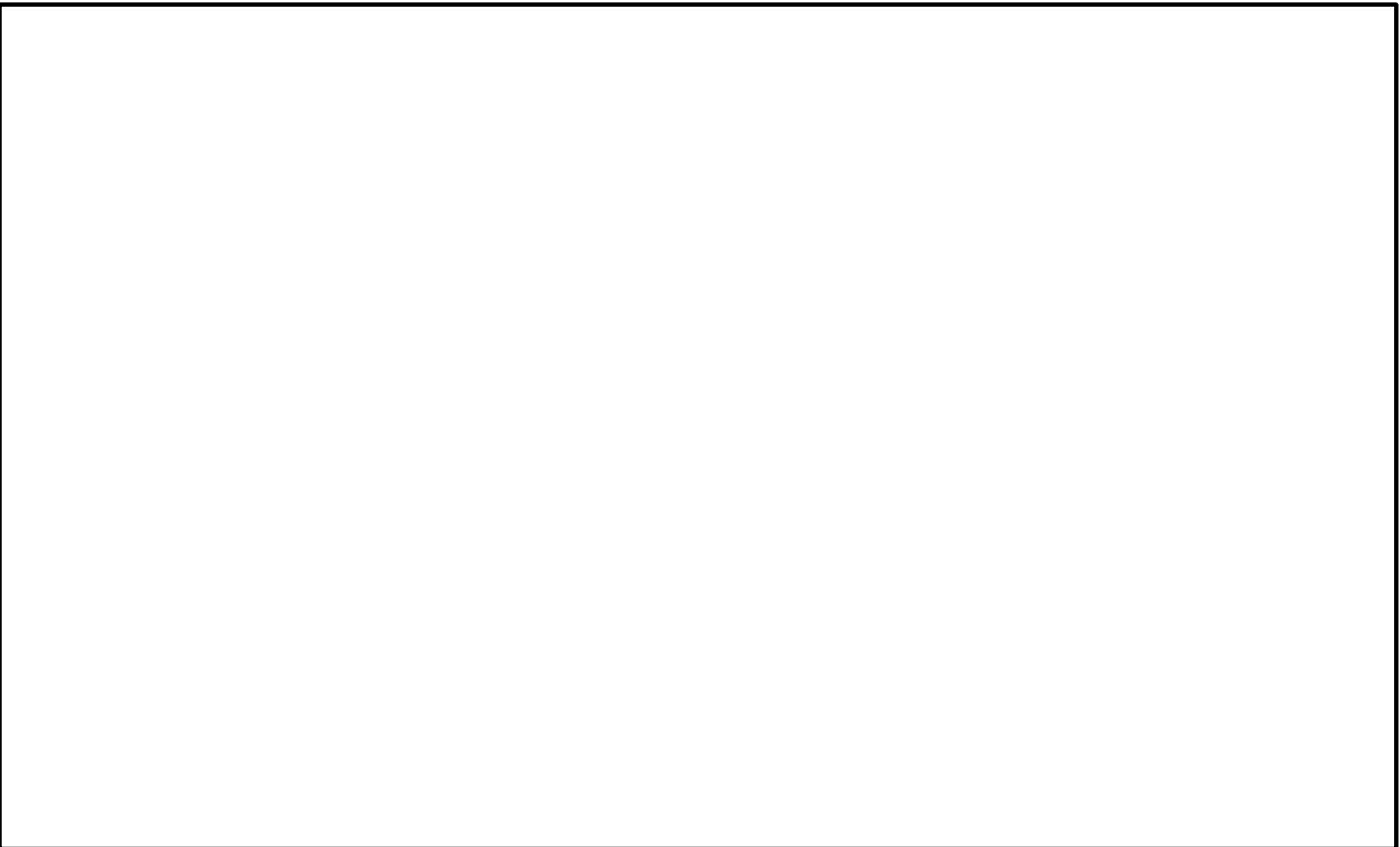


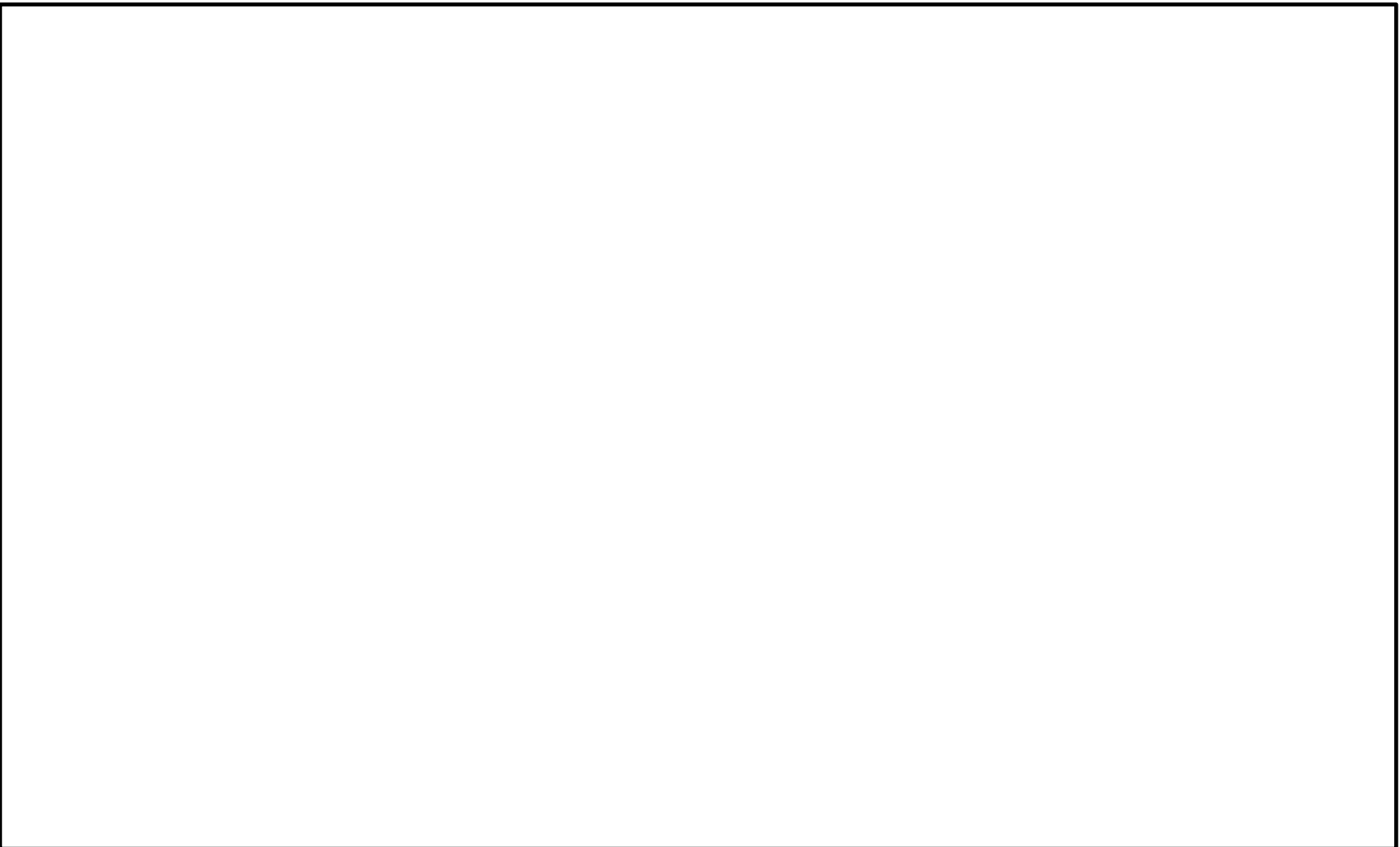


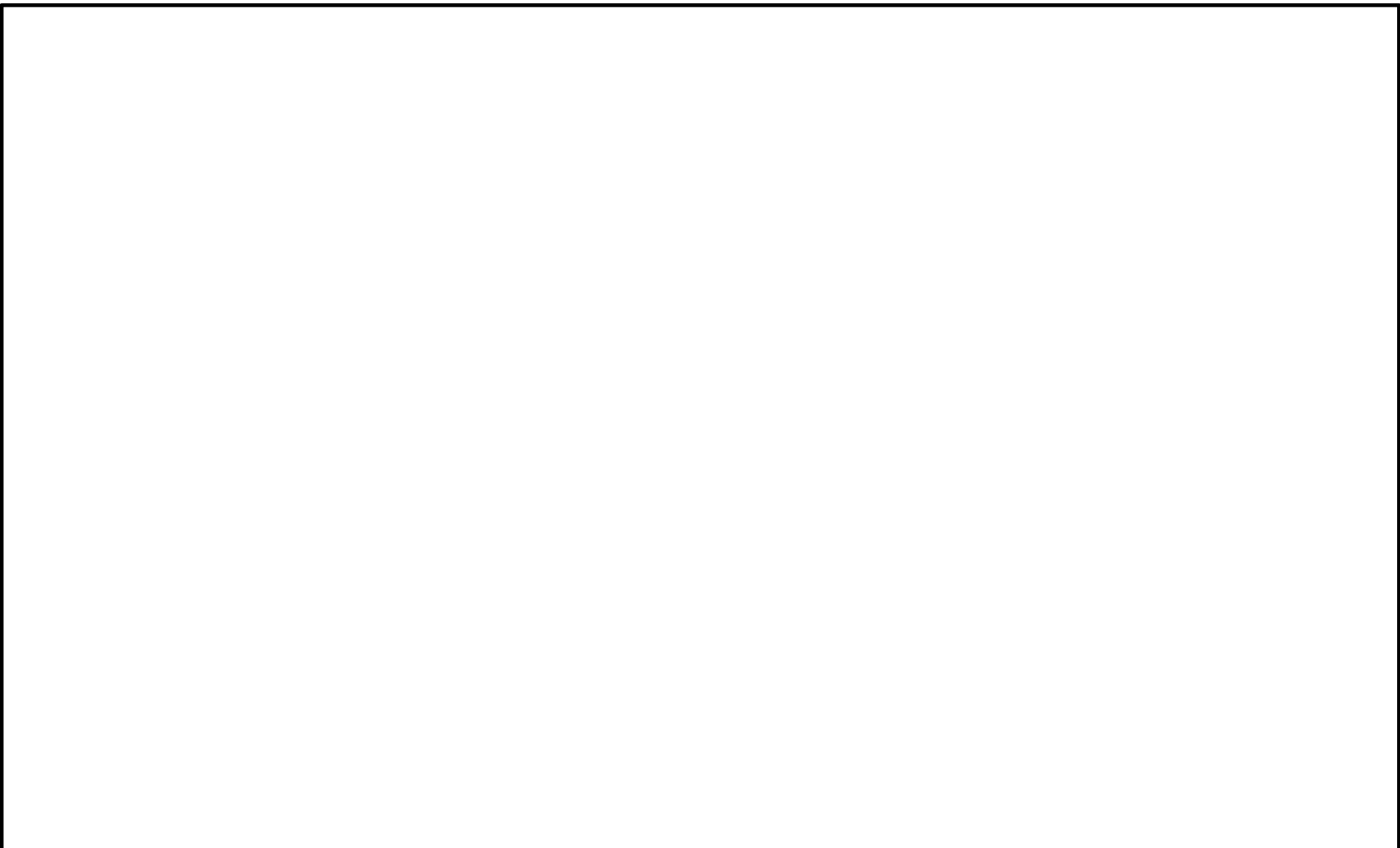
補-3-7-40

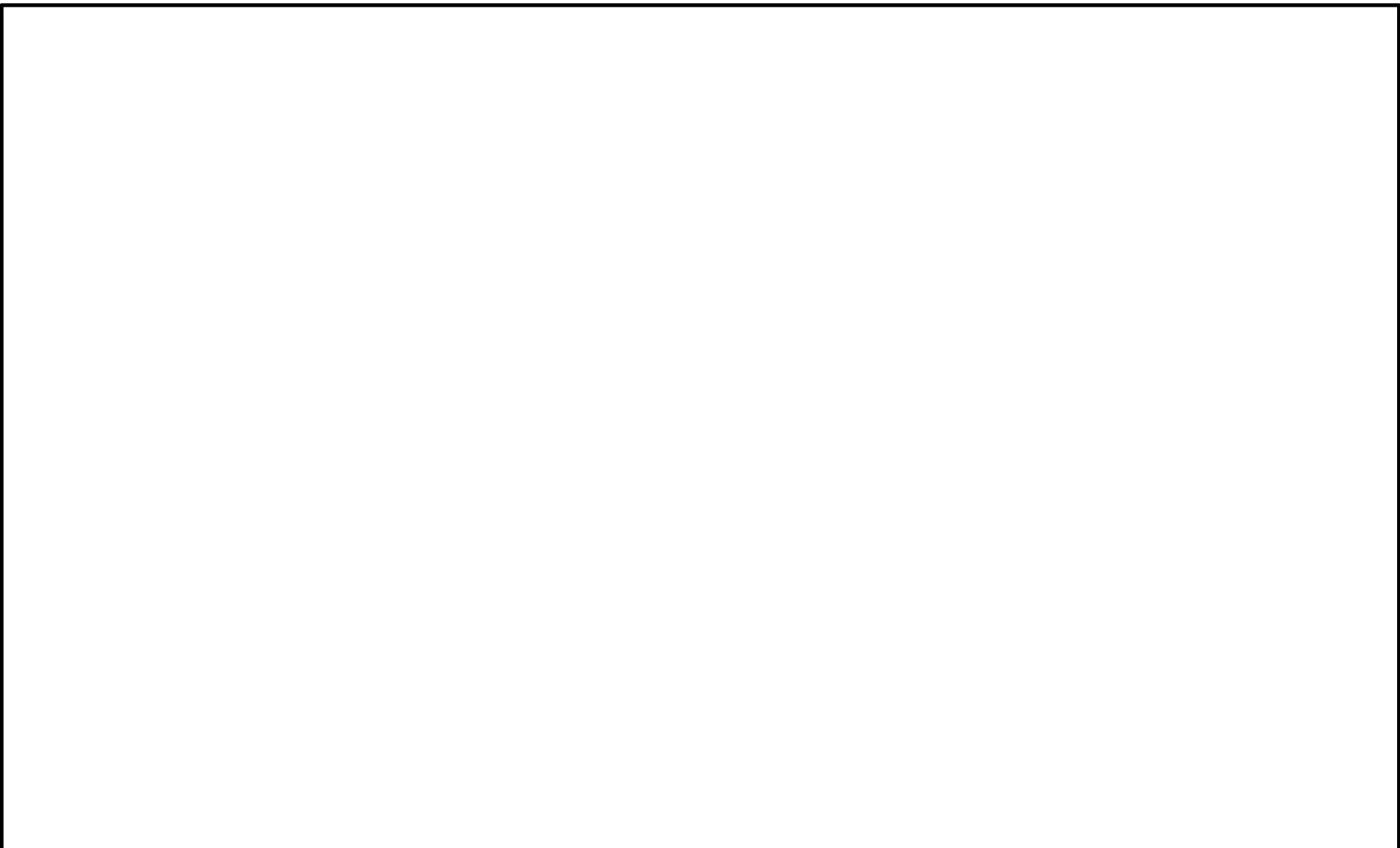




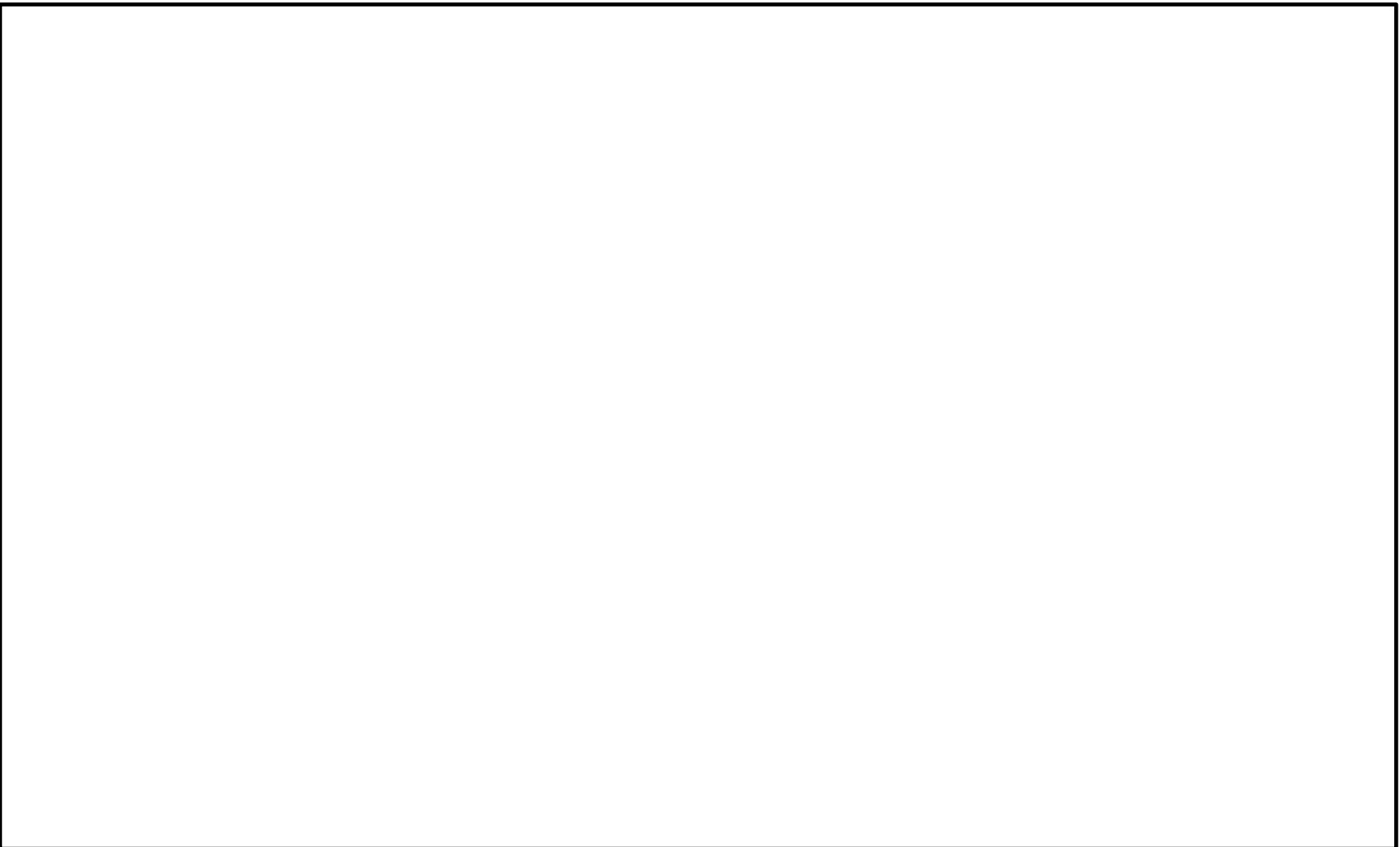


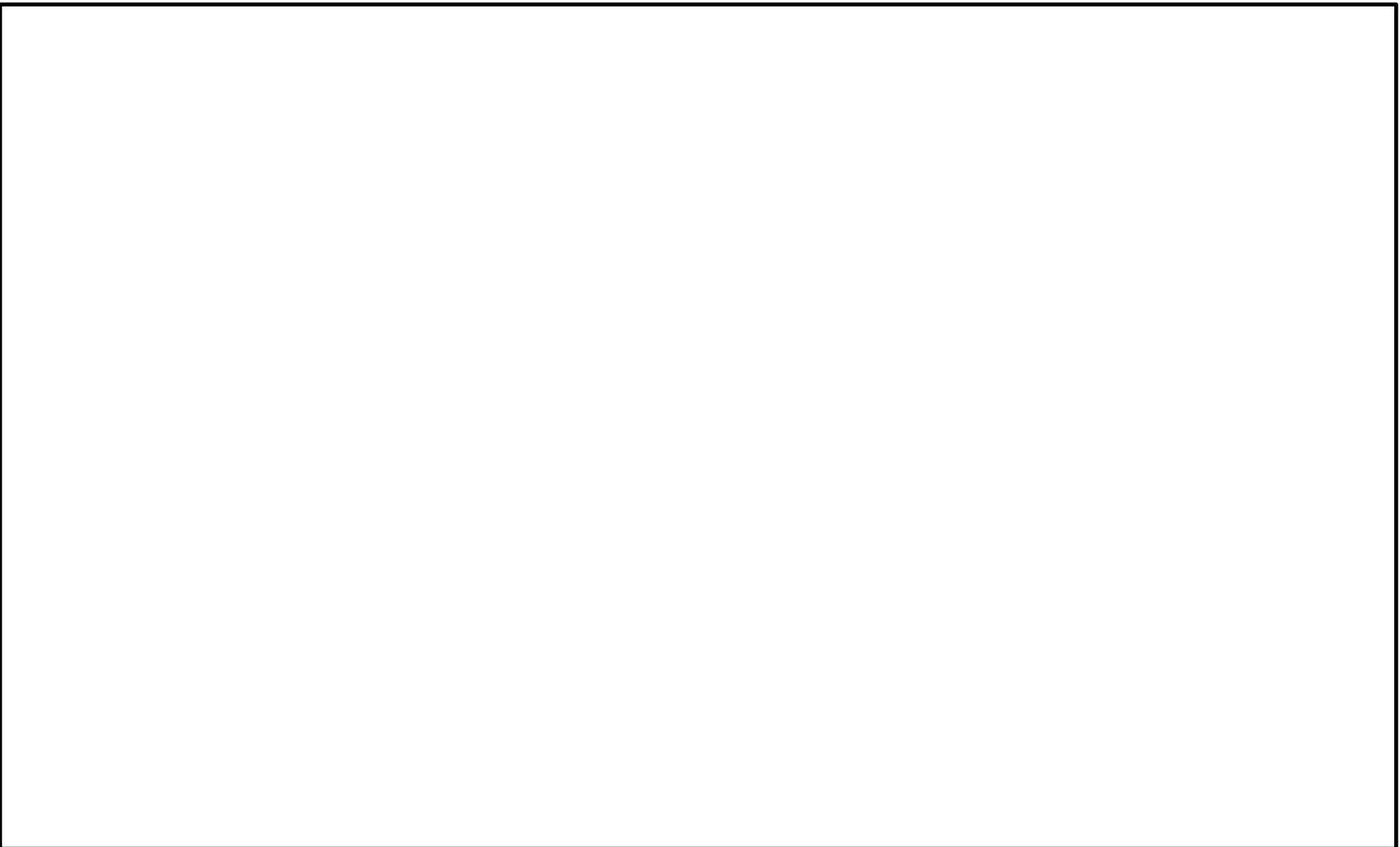


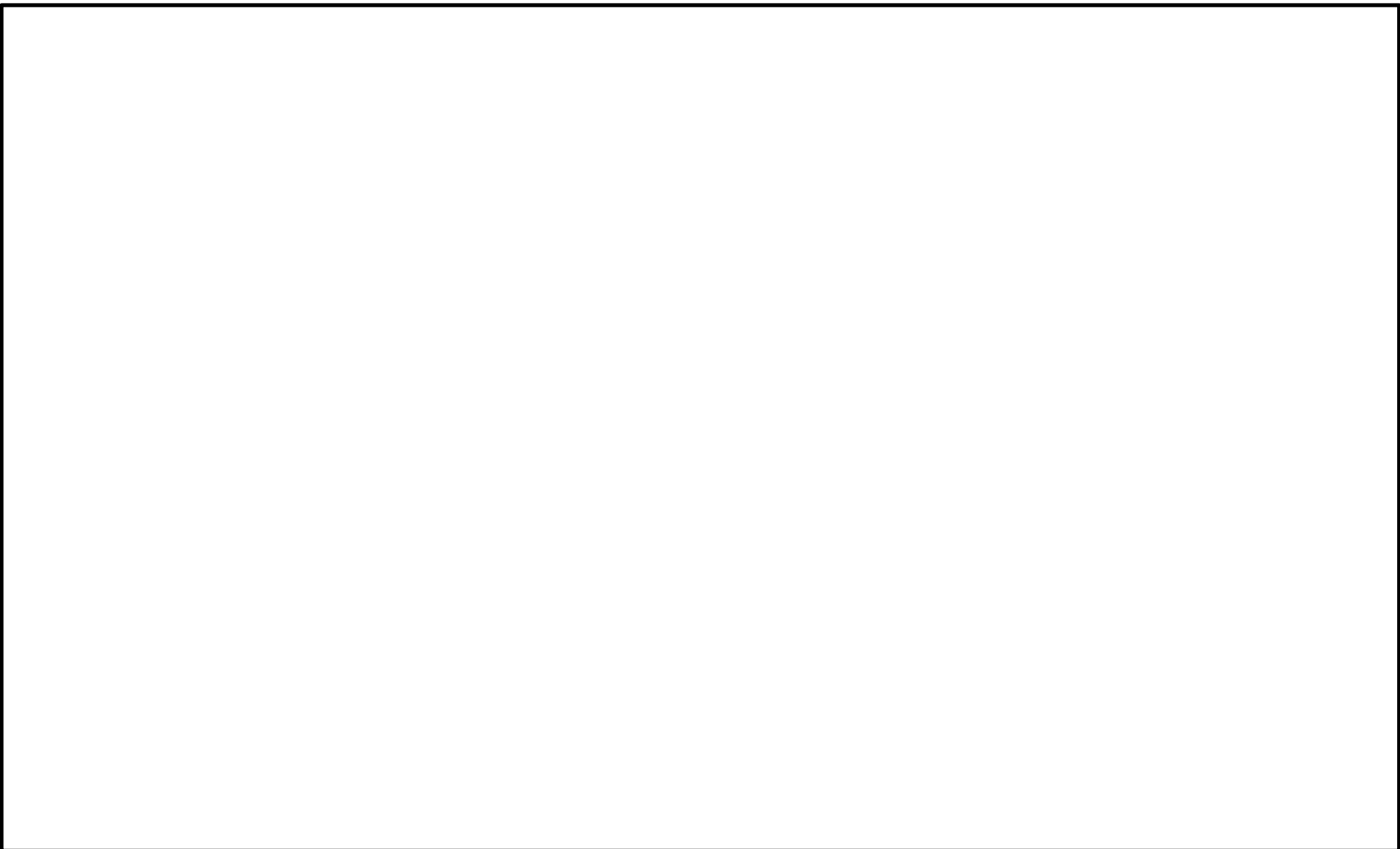


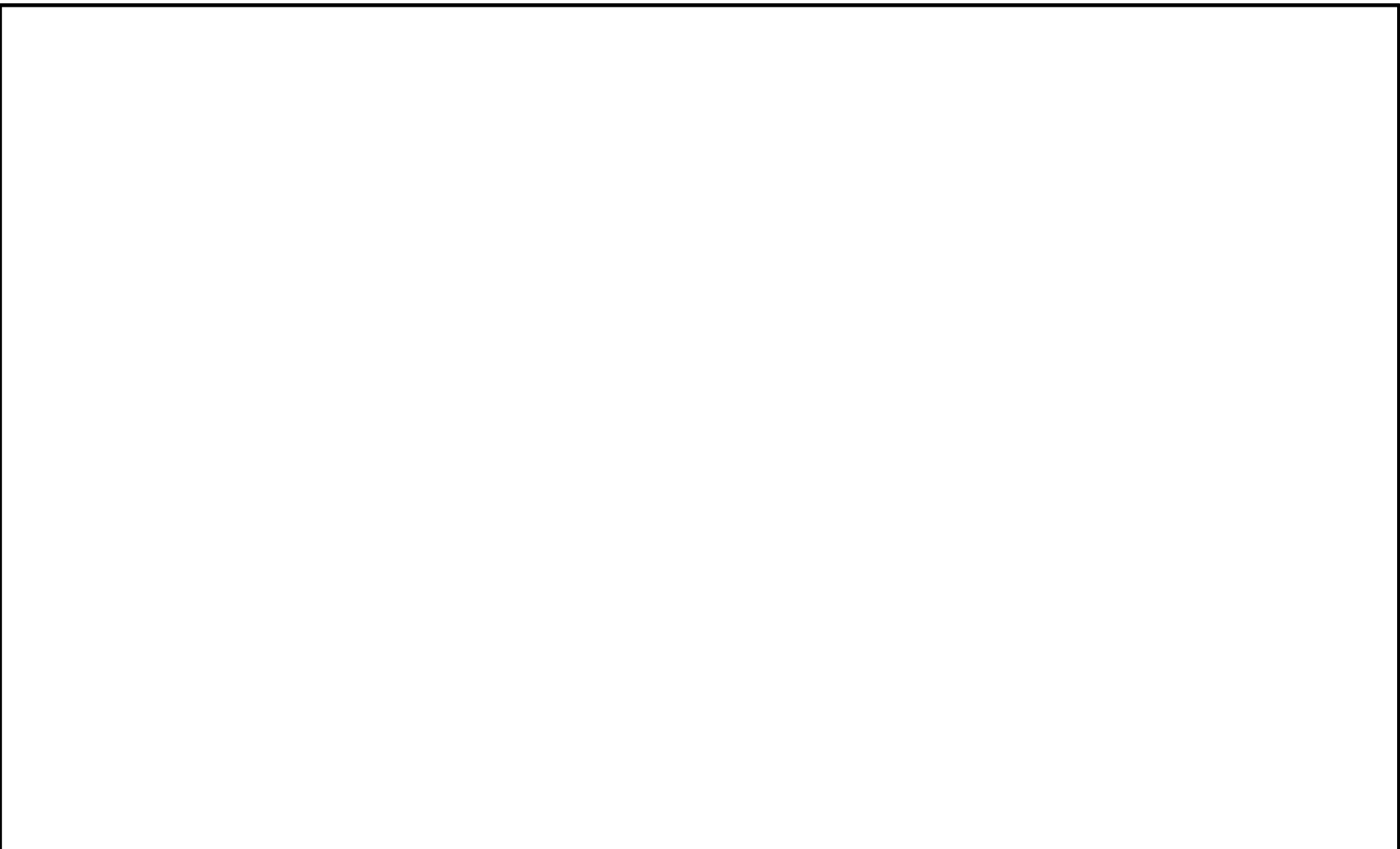


補-3-7-47









別紙 1

消防法施行規則第 23 条第 4 項に従い設置された
火災感知器の設置状況について

火災感知器について、建物等毎に火災感知器の配置を示した一覧表と火災感知器の配置図について以下に示す。なお、建物毎に代表 1 箇所の断面図を示す。

消防法に準拠した火災感知器の配置を示した一覧表（対象：消防法施行規則 第23条第4項に該当する火災感知器）

R-B2F-07	HPCS-DG室	1	-	-	○	-	21.2	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1	7	12	1	-	-	○	-	21.2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1						
		2	-	-	○	-	18.3	1	○	-	-	-	-	-	-	-	1			1	2	-	-	○	-	18.3	1	○	-	-	-	-	-	-	1	1						
		3	○	-	○	-	10.7	1	○	○	-	-	-	-	-	-	-			0	0	3	○	-	○	-	10.7	1	○	○	-	-	-	-	-	-	1	1				
		4	○	-	○	-	14.6	1	○	○	-	-	-	-	-	-	-			1	1	4	-	-	○	-	14.6	1	○	○	-	-	-	-	-	-	-	2	2			
		5	-	-	○	-	29.7	1	○	-	-	-	-	-	-	-	-			-	1	1	5	-	-	○	-	29.7	1	○	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1		
		6	-	-	○	-	36.4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-			-	1	1	6	-	-	○	-	36.4	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2		
		7	-	-	○	-	35.7	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-			-	1	1	7	-	-	○	-	35.7	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2		
		8	-	-	○	-	30.2	1	○	○	-	-	-	-	-	-	-			-	1	1	8	-	-	○	-	30.2	1	○	○	-	-	-	-	-	-	-	1	1		
		9	-	-	○	-	12.4	1	○	○	-	-	-	-	-	-	-			-	1	1	9	-	-	○	-	12.4	1	○	○	-	-	-	-	-	-	-	1	1		
		10	-	-	○	-	10.5	1	○	○	-	-	-	-	-	-	-			-	1	1	10	-	-	○	-	10.5	1	○	○	-	-	-	-	-	-	-	1	1		
		11	-	-	○	-	8.4	1	○	○	-	-	-	-	-	-	-			-	0	0	11	-	-	○	-	8.4	1	○	○	-	-	-	-	-	-	-	1	1		
R-B2F-08	B-非常用DG電気室	1	-	-	○	-	17.4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	6	6	1	-	-	○	-	17.4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1					
		2	-	-	○	-	16.3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1			1	2	-	-	○	-	16.3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1				
		3	-	-	○	-	21.1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1			1	3	-	-	○	-	21.1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1				
		4	-	-	○	-	20.1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			1	1	4	-	-	○	-	20.1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1		
		5	-	-	○	-	19.8	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			1	1	5	-	-	○	-	19.8	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1		
		6	-	-	○	-	13.4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			1	1	6	-	-	○	-	13.4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1		
R-B2F-09	LPCSポンプ室	1	-	-	○	-	24.2	1	○	-	-	-	-	-	-	-	1	1	2	2	1	-	-	○	-	24.2	1	○	-	-	-	-	-	-	-	1	1					
		2	-	-	○	-	27.8	1	○	-	-	-	-	-	-	-	-	1			1	2	-	-	○	-	27.8	1	○	-	-	-	-	-	-	-	1	1				
R-B2F-10	HPCSポンプ室	1	-	-	○	-	21.6	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	2	3	1	-	-	○	-	21.6	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1			
		2	-	-	○	-	31.2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1			2	-	-	○	-	31.2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2				
R-B2F-11	HPCS-DG電気室	1	-	-	○	-	20.3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	9	12	1	-	-	○	-	19.5	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1			
		2	-	-	○	-	20.3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1			1	2	-	-	○	-	20.3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1			
		3	-	-	○	-	28.8	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1			1	3	-	-	○	-	28.8	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1		
		4	-	-	○	-	21.2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1			1	4	-	-	○	-	21.2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1		
		5	-	-	○	-	23.4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1			1	5	-	-	○	-	23.4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1		
		6	-	-	○	-	22.1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1			1	6	-	-	○	-	22.1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1		
		7	-	-	○	-	27.6	1	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	1			1	0	0	7	-	-	○	-	27.6	1	○	○	-	-	-	-	-	-	-	1	1
		8	-	-	○	-	14.3	1	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	1			0	0	8	-	-	○	-	14.3	1	○	○	-	-	-	-	-	-	-	1	0	0
		9	-	-	○	-	20.0	1	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	1			0	0	9	-	-	○	-	20.0	1	○	○	-	-	-	-	-	-	-	1	0	0
		10	-	-	○	-	20.2	1	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	1			1	1	10	-	-	○	-	20.2	1	○	○	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1
		11	-	-	○	-	17.2	1	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	1			0	0	11	-	-	○	-	17.2	1	○	○	-	-	-	-	-	-	-	1	0	0
		12	-	-	○	-	17.2	1	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	1			1	1	12	-	-	○	-	17.2	1	○	○	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1
R-B2F-12	HPCW熱交換器室	1	-	-	○	-	28.6	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	3	5	1	-	-	○	-	28.6	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1			
		2	-	-	○	-	37.5	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1			1	2	-	-	○	-	37.5	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2			
		3	-	-	○	-	21.5	1	○	○	-	-	-	-	-	-	-	1	1			1	3	-	-	○	-	21.5	1	○	○	-	-	-	-	-	-	1	1	1		
		4	-	-	○	-	11.6	1	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	1			0	0	4	-	-	○	-	11.6	1	○	○	-	-	-	-	-	-	-	1	0	0
R-B2F-13	HPCS(ワッパ)室	1	-	-	○	-	18.4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	○	-	18.4	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1							
R-B2F-14	HPCS電気室	1	-	-	○	-	36.9	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	3	5	1	-	-	○	-	36.9	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2			
		2	-	-	○	-	42.8	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1			1	2	-	-	○	-	42.8	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2			
		3	-	-	○	-	34.6	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1			1	3	-	-	○	-	34.6	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1		
R-B2F-15	B-RHRポンプ室	1	-	-	○	-	21.4	1	○	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	3	3	1	-	-	○	-	21.4	1	○	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1			
		2	-	-	○	-	32.9	1	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1			1	2	-	-	○	-	32.9	1	○	-	-	-	-	-	-	-	1	1			
		3	-	-	○	-	21.7	1	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1			1	3	-	-	○	-	21.7	1	○	-	-	-	-	-	-	-	1	1			
R-B2F-16	通路	1	-	-	○	-	28.8	1	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	17	23	1	-	-	○	-	28.8	1	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	
		2	-	-	○	-	11.4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1			2	-	-	○	-	11.4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1			
		3	-	-	○	-	37.6	1	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0			0	3	-	-	○	-	37.6	2	○	-	-	-	-	-	-	-	2	2		
		4	-	-	○	-	13.6	1	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0			0	4	-	-	○	-	13.6	1	○	○	-	-	-	-	-	-	-	1	1	
		5	-	-	○	-	24.7	1	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1			1	5	-	-	○	-	24.7	1	○	○	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1
		6	-	-	○	-	19.2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1			1	6	-	-	○	-	19.2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
		7	-	-	○	-	19.5	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1			1	7	-	-	○	-	19.5	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
		8	-	-	○	-	15.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1			1	8	-	-	○	-	15.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
		9	-	-	○	-	15.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1			1	9	-	-	○	-	15.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
		10	-	-	○	-	15.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1			1	10	-	-	○	-	15.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
		11	-	-	○	-	15.3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1			1	11	-	-	○	-	15.3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
		12	-	-	○	-	14.8	1																																		

消防法に準拠した火災感知器の配置を示した一覧表（対象：消防法施行規則 第23条第4項に該当する火災感知器）

66	○	-	-	○	-	1.7	0	-	-	○	-	-	1	0
67	○	-	-	○	-	6.2	0	-	-	○	-	-	1	0
68	○	-	-	○	-	6.9	0	-	-	○	-	-	1	0
69	○	-	-	○	-	7.5	1	○	-	○	-	-	1	1
70	-	-	-	○	-	8.2	1	○	-	○	-	-	1	0
71	-	-	-	○	-	8.8	1	○	-	○	-	-	1	0
72	○	-	-	○	-	9.5	1	○	-	○	-	-	1	1
73	○	-	-	○	-	11.1	0	-	-	○	-	-	1	0
74	○	-	-	○	-	1.7	0	-	-	○	-	-	1	0
75	○	-	-	○	-	6.2	0	-	-	○	-	-	1	0
76	○	-	-	○	-	6.9	0	-	-	○	-	-	1	0
77	○	-	-	○	-	7.5	0	-	-	○	-	-	1	0
78	○	-	-	○	-	8.2	1	-	-	○	-	-	1	1
79	○	-	-	○	-	8.8	0	-	-	○	-	-	1	0
80	○	-	-	○	-	9.5	0	-	-	○	-	-	1	0
81	○	-	-	○	-	5.5	0	-	-	○	-	-	1	0
82	○	-	-	○	-	1.7	0	-	-	○	-	-	1	0
83	○	-	-	○	-	6.2	0	-	-	○	-	-	1	0
84	○	-	-	○	-	6.9	0	-	-	○	-	-	1	0
85	○	-	-	○	-	7.5	0	-	-	○	-	-	1	0
86	○	-	-	○	-	8.2	1	-	-	○	-	-	1	1
87	○	-	-	○	-	8.8	0	-	-	○	-	-	1	0
88	○	-	-	○	-	9.5	0	-	-	○	-	-	1	0
89	○	-	-	○	-	11.1	0	-	-	○	-	-	1	0
90	○	-	-	○	-	16.2	0	-	-	○	-	-	1	0
91	○	-	-	○	-	7.0	1	-	-	○	-	-	1	1
92	○	-	-	○	-	8.0	0	-	-	○	-	-	1	0
93	○	-	-	○	-	9.0	0	-	-	○	-	-	1	0
94	○	-	-	○	-	10.9	0	-	-	○	-	-	1	0
95	○	-	-	○	-	2.0	0	-	-	○	-	-	2	0
96	○	-	-	○	-	10.3	1	○	-	○	-	-	2	0
97	-	-	-	○	-	10.3	1	○	-	○	-	-	2	1
98	-	-	-	○	-	10.3	1	○	-	○	-	-	2	0
99	○	-	-	○	-	10.3	0	-	-	○	-	-	1	0
100	○	-	-	○	-	10.3	1	-	-	○	-	-	1	1
101	○	-	-	○	-	10.3	0	-	-	○	-	-	1	0
102	○	-	-	○	-	7.2	0	-	-	○	-	-	1	0
103	○	-	-	○	-	16.2	0	-	-	○	-	-	1	0
104	○	-	-	○	-	7.0	1	-	-	○	-	-	1	1
105	○	-	-	○	-	8.0	0	-	-	○	-	-	1	0
106	○	-	-	○	-	9.0	0	-	-	○	-	-	1	0
107	○	-	-	○	-	12.1	0	-	-	○	-	-	1	0
108	○	-	-	○	-	1.7	0	-	-	○	-	-	1	0
109	○	-	-	○	-	6.2	0	-	-	○	-	-	1	1
110	○	-	-	○	-	6.7	0	-	-	○	-	-	2	1
111	○	-	-	○	-	3.8	0	-	-	○	-	-	2	0
112	○	-	-	○	-	2.3	0	-	-	○	-	-	2	0
113	○	-	-	○	-	8.2	1	-	-	○	-	-	1	1
114	○	-	-	○	-	8.8	0	-	-	○	-	-	1	0
115	○	-	-	○	-	9.5	0	-	-	○	-	-	1	0
116	○	-	-	○	-	11.2	0	-	-	○	-	-	1	0
117	○	-	-	○	-	1.9	0	-	-	○	-	-	1	0
118	○	-	-	○	-	7.4	1	○	-	○	-	-	1	0
119	○	-	-	○	-	8.2	1	○	-	○	-	-	1	1
120	○	-	-	○	-	9.2	1	○	-	○	-	-	1	0
121	○	-	-	○	-	10.2	1	○	-	○	-	-	1	1
122	○	-	-	○	-	10.8	1	-	-	○	-	-	1	1
123	○	-	-	○	-	12.2	1	-	-	○	-	-	1	1
124	○	-	-	○	-	12.1	1	-	-	○	-	-	1	1
125	○	-	-	○	-	1.7	0	-	-	○	-	-	1	0
126	○	-	-	○	-	5.8	0	-	-	○	-	-	1	0
127	○	-	-	○	-	5.4	0	-	-	○	-	-	1	0
128	○	-	-	○	-	5.4	0	-	-	○	-	-	1	0
129	○	-	-	○	-	5.4	0	-	-	○	-	-	1	0
130	○	-	-	○	-	5.1	1	-	-	○	-	-	1	1
131	○	-	-	○	-	5.4	0	-	-	○	-	-	1	1
132	○	-	-	○	-	4.7	0	-	-	○	-	-	1	1
133	○	-	-	○	-	4.6	0	-	-	○	-	-	1	0
134	○	-	-	○	-	15.3	1	-	-	○	-	-	1	1
135	○	-	-	○	-	6.7	0	○	-	○	-	-	1	1
136	-	-	-	○	-	7.5	1	○	-	○	-	-	1	1
137	○	-	-	○	-	8.7	0	○	-	○	-	-	1	0
138	○	-	-	○	-	13.7	1	-	-	○	-	-	1	0
139	○	-	-	○	-	3.0	0	-	-	○	-	-	1	0

※※1 66~69同一区画66~70緩和 ※※2 炎感知器設置 ※※3 72,73同一区画71~73緩和 ※※4 95,96同一区画95~98緩和 ※※5 117,118同一区画117~119緩和 ※※6 125~133同一区画,機器干渉設置不可 ※※7 137~139同一区画136~139緩和

46

137

※※1	66	-	-	-	○	1.7	1	○	○	-	-	-	1	0
※※1	67	-	-	-	○	6.2	1	○	○	-	-	-	1	1
※※1	68	-	-	-	○	6.9	1	○	○	-	-	-	1	1
※※1	69	-	-	-	○	7.5	1	○	○	-	-	-	1	0
※※1	70	-	-	-	○	8.2	1	○	-	-	-	-	1	1
※※3	71	-	-	-	○	8.8	1	○	-	-	-	-	1	1
※※3	72	-	-	-	○	9.5	1	○	-	-	-	-	1	1
※※3	73	○	-	-	○	11.1	1	○	-	-	-	-	1	0
74~81同一区画	74	-	-	-	○	1.7	1	○	○	-	-	-	1	0
74~81同一区画	75	-	-	-	○	6.2	1	○	○	-	-	-	1	1
74~81同一区画	76	-	-	-	○	6.9	1	○	○	-	-	-	1	0
74~81同一区画	77	-	-	-	○	7.5	1	○	○	-	-	-	1	1
74~81同一区画	78	-	-	-	○	8.2	1	○	-	-	-	-	1	1
74~81同一区画	79	-	-	-	○	8.8	1	○	-	-	-	-	1	1
74~81同一区画	80	-	-	-	○	9.5	1	○	○	-	-	-	1	1
74~81同一区画	81	-	-	-	○	5.5	1	○	○	-	-	-	1	0
82~89同一区画	82	-	-	-	○	1.7	1	○	○	-	-	-	1	0
82~89同一区画	83	-	-	-	○	6.2	1	○	○	-	-	-	1	1
82~89同一区画	84	-	-	-	○	6.9	1	○	○	-	-	-	1	0
82~89同一区画	85	-	-	-	○	7.5	1	○	○	-	-	-	1	1
82~89同一区画	86	-	-	-	○	8.2	1	○	-	-	-	-	1	1
82~89同一区画	87	-	-	-	○	8.8	1	○	-	-	-	-	1	1
82~89同一区画	88	-	-	-	○	9.5	1	○	-	-	-	-	1	1
82~89同一区画	89	○	-	-	○	11.1	1	○	-	-	-	-	1	1
90~94同一区画	90	○	-	-	○	16.2	1	○	-	-	-	-	2	1
90~94同一区画	91	-	-	-	○	7.0	1	○	○	-	-	-	1	0
90~94同一区画	92	-	-	-	○	8.0	1	○	○	-	-	-	1	1
90~94同一区画	93	-	-	-	○	9.0	1	○	-	-	-	-	1	1
90~94同一区画	94	○	-	-	○	10.9	1	○	-	-	-	-	1	1
※※4	95	-	-	-	○	2.0	1	○	○	-	-	-	1	0
※※4	96	-	-	-	○	10.3	1	○	○	-	-	-	1	1
※※4	97	-	-	-	○	10.3	1	○	-	-	-	-	1	1
※※4	98	-	-	-	○	10.3	1	○	-	-	-	-	1	1
99~102同一区画	99	-	-	-	○	10.3	1	○	-	-	-	-	1	1
99~102同一区画	100	-	-	-	○	10.3	1	○	-	-	-	-	1	1
99~102同一区画	101	-	-	-	○	10.3	1	○	-	-	-	-	1	1
99~102同一区画	102	-	-	-	○	7.2	1	○	-	-	-	-	1	1
103~107同一区画	103	○	-	-	○	16.2	1	○	-	-	-	-	1	1
103~107同一区画	104	-	-	-	○	7.0	1	○	-	-	-	-	1	1
103~107同一区画	105	-	-	-	○	8.0	1	○	-	-	-	-	1	1
103~107同一区画	106	-	-	-	○	9.0	1	○	-	-	-	-	1	1
103~107同一区画	107	○	-	-	○	12.1	1	○	-	-	-	-	1	1
108~116同一区画	108	-	-	-	○	1.7	1	○	○	-	-	-	1	0
108~116同一区画	109	-	-	-	○	6.2	1	○	○	-	-	-	1	1
108~116同一区画	110	-	-	-	○	6.7	1	○	○	-	-	-	2	1
108~116同一区画	111	-	-	-	○	3.8	1	○	○	-	-	-	2	0
108~116同一区画	112	-	-	-	○	2.3	1	○	○	-	-	-	2	0
108~116同一区画	113	-	-	-	○	8.2	1	○	-	-	-	-	1	1
108~116同一区画	114	-	-	-	○	8.8	1	○	-	-	-	-	1	1
108~116同一区画	115	-	-	-	○	9.5	1	○	-	-	-	-	1	1
108~116同一区画	116	○	-	-	○	11.2	1	○	-	-	-	-	1	1
※※5	117	-	-	-	○	1.9	1	○	○	-	-	-	1	0
※※5	118	○	-	-	○	7.4	1	○						

消防法に準拠した火災感知器の配置を示した一覧表（対象：消防法施行規則 第23条第4項に該当する火災感知器）

R-B2F-31	トラス室	140	○	-	-	○	-	1.8	0	-	-	○	-	-	1	0	46	※※1	140	-	-	-	○	1.8	1	○	○	-	-	1	0	137	140,141緩和策,※※2		
		141	○	-	-	○	-	6.8	0	-	-	○	-	-	1	0		140,141緩和策,※※2																	
		142	○	-	-	○	-	7.4	0	-	-	○	-	-	1	0		炎感知器設置																	
		143	○	-	-	○	-	8.1	1	○	-	○	-	-	1	1		炎感知器設置																	
		144	-	-	-	○	-	8.7	1	○	-	○	-	-	1	0		炎感知器設置																	
		145	-	-	-	○	-	9.4	1	○	-	○	-	-	1	0		炎感知器設置																	
		146	○	-	-	○	-	10.0	1	○	-	○	-	-	1	1		炎感知器設置																	
		147	○	-	-	○	-	8.8	0	-	-	○	-	-	1	0		炎感知器設置																	
		148	○	-	-	○	-	1.9	0	-	-	-	-	-	-	0		148,149緩和策,※※2																	
		149	○	-	-	○	-	6.9	0	-	-	-	-	-	-	0		148,149緩和策,※※2																	
		150	○	-	-	○	-	7.4	0	-	-	-	-	-	-	0		炎感知器設置																	
		151	○	-	-	○	-	8.0	0	-	-	-	-	-	-	0		炎感知器設置																	
		152	○	-	-	○	-	8.5	1	○	-	-	-	-	-	1		炎感知器設置																	
		153	-	-	-	○	-	9.0	1	○	-	○	-	-	-	1		0	炎感知器設置																
		154	○	-	-	○	-	9.5	1	○	-	○	-	-	-	1		1	炎感知器設置																
		155	○	-	-	○	-	13.7	0	-	-	○	-	-	-	1		0	炎感知器設置																
		156	○	-	-	○	-	1.7	0	-	-	-	-	-	-	0		0	炎感知器設置																
		157	○	-	-	○	-	6.2	0	-	-	-	-	-	-	0		0	炎感知器設置																
		158	○	-	-	○	-	6.8	0	-	-	-	-	-	-	0		0	炎感知器設置																
		159	○	-	-	○	-	7.5	0	-	-	-	-	-	-	0		0	炎感知器設置																
		160	○	-	-	○	-	8.2	1	○	-	-	-	-	-	1		1	炎感知器設置																
		161	-	-	-	○	-	8.8	1	○	-	○	-	-	-	2		0	炎感知器設置																
		162	-	-	-	○	-	9.5	1	○	-	○	-	-	-	2		1	炎感知器設置																
		163	○	-	-	○	-	11.2	1	○	-	○	-	-	-	2		0	炎感知器設置																
		164	○	-	-	○	-	14.3	0	-	-	-	-	-	-	0		0	炎感知器設置																
		165	○	-	-	○	-	5.9	1	-	-	-	-	-	-	1		1	165,166緩和策,※※2																
		166	○	-	-	○	-	6.7	0	-	-	-	-	-	-	0		0	165,166緩和策,※※2																
		167	○	-	-	○	-	7.4	0	-	-	-	-	-	-	0		0	167,168緩和策,※※2																
		168	○	-	-	○	-	4.3	0	-	-	-	-	-	-	0		0	167,168緩和策,※※2																
		169	○	-	-	○	-	14.5	0	-	-	-	-	-	-	0		0	炎感知器設置																
		170	○	-	-	○	-	6.1	1	○	-	-	-	-	-	1		1	炎感知器設置																
		171	-	-	-	○	-	6.9	1	○	-	○	-	-	-	2		0	171,172緩和策,※※2																
		172	-	-	-	○	-	7.7	1	○	-	○	-	-	-	2		1	171,172緩和策,※※2																
		173	-	-	-	○	-	7.8	1	○	-	○	-	-	-	2		0	炎感知器設置																
		174	○	-	-	○	-	12.7	0	-	-	-	-	-	-	0		0	炎感知器設置																
		175	○	-	-	○	-	5.5	1	○	-	-	-	-	-	1		1	炎感知器設置																
176	○	-	-	○	-	6.3	0	○	-	-	-	-	-	0	0	176,177緩和策,※※2																			
177	○	-	-	○	-	8.1	1	-	-	-	-	-	-	1	1	176,177緩和策,※※2																			
178	○	-	-	○	-	4.9	0	-	-	-	-	-	-	0	0	178,179緩和策,※※2																			
179	○	-	-	○	-	2.4	0	-	-	-	-	-	-	0	0	178,179緩和策,※※2																			
180	○	-	-	○	-	9.0	0	-	-	-	-	-	-	0	0	炎感知器設置																			
181	○	-	-	○	-	7.0	0	-	-	-	-	-	-	0	0	181,182緩和策,※※2																			
182	○	-	-	○	-	7.0	0	-	-	-	-	-	-	0	0	181,182緩和策,※※2																			
183	○	-	-	○	-	7.0	0	-	-	-	-	-	-	0	0	183,184緩和策,※※2																			
184	○	-	-	○	-	7.0	1	-	-	-	-	-	-	1	1	183,184緩和策,※※2																			
185	○	-	-	○	-	7.0	0	-	-	-	-	-	-	0	0	炎感知器設置																			
186	○	-	-	○	-	8.4	0	-	-	-	-	-	-	0	0	炎感知器設置																			
R-B2F-32	エレベータ前室	1	-	○	-	-	1.9	1	-	-	-	-	-	-	1	1	1	※※1 140~143同一区画140~144緩和策	※※2 炎感知器設置	※※3 146,147同一区画145~147緩和策	※※4 154~155同一区画153~155緩和策	※※5 156~160同一区画	1	-	○	-	-	1.9	1	-	-	-	1	1	1

消防法に準拠した火災感知器の配置を示した一覧表（対象：消防法施行規則 第23条第4項に該当する火災感知器）

R-B1F-20	高圧炉心スプレイ補機冷却水サージタンク室	1	-	-	○	-	-	32.2	1	○	○	-	-	-	-	1	1	4	※※1	1	-	-	○	-	32.2	1	○	-	-	-	-	-	1	8		
		2	○	-	○	-	-	7.2	1	○	○	-	-	-	-	1	0		※※1	2	-	-	○	-	7.2	1	○	-	-	-	-	1				
		3	○	-	○	-	-	19.0	0	-	○	-	-	-	-	1	0		※※1	3	-	-	○	-	19.0	1	○	-	-	-	-	1				
		4	-	-	○	-	-	37.1	1	-	-	-	-	-	-	-	1		-	4	-	-	○	-	37.1	2	-	-	-	-	-	2				
		5	-	-	○	-	-	36.7	1	-	-	-	-	-	-	-	1		-	5	-	-	○	-	36.7	2	-	-	-	-	-	-	2			
		6	-	-	○	-	-	10.7	1	-	-	-	-	-	-	-	1		-	6	-	-	○	-	10.7	1	-	-	-	-	-	-	-		1	
R-B1F-21	CST連絡ダクト	1	-	-	○	-	-	27.2	1	-	-	-	-	-	-	1	1	2	1	-	-	○	-	27.2	1	-	-	-	-	-	1	3				
R-B1F-26	通路	1	-	○	-	-	-	6.8	1	-	-	-	-	-	-	1	1	2	2	-	-	○	-	38.9	2	-	-	-	-	-	2					
R-B1F-27	通路	1	-	○	-	-	-	7.0	1	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	-	○	-	-	6.8	1	-	-	-	-	-	1	1				
R-B1F-28	取外し式プラットフォーム	1	-	-	-	○	-	21.2	1	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	-	-	-	○	21.2	1	-	-	-	-	-	1	1	炎感知器設置			
R-B1F-30	エレベータ室	ELV	-	-	-	-	-	22.7	1	-	-	-	-	-	-	1	1	ELV	-	-	-	-	-	22.7	1	-	-	-	-	-	1	1	1	炎感知器設置		
R-B1F-31	階段室	階段	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	2	2	階段	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	4	4	2	炎感知器設置		
R-B1F-32	配管ダクト	1	高線量区域のため設置・メンテナンス困難															0	1	高線量区域のため設置・メンテナンス困難															0	
R-B1F-33	エレベータ前室	1	-	○	-	-	-	2.3	1	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	○	-	-	2.3	1	-	-	-	-	-	1	1	1			
R-B1F-34	原子炉格納容器	1	-	-	○	-	-	331.8	5	-	-	-	-	-	-	-	6	12	R-B1F-34③で監視 R-B1F-34②も監視	1	-	-	○	-	-	331.8	10	-	-	-	-	-	-	-	12	36
		2	-	-	-	○	-	331.8	0	-	-	-	-	-	-	-	0			2	-	-	-	○	331.8	10	-	-	-	-	-	12				
		3	-	-	○	-	-	331.8	5	-	-	-	-	-	-	-	6			3	-	-	-	○	-	331.8	10	-	-	-	-	-	12			
		4	-	-	-	-	-	331.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-			4	-	-	-	-	-	331.8	-	-	-	-	-	-	-			
R-B1F-35	エレベータ前室	1	-	○	-	-	-	1.7	1	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	○	-	-	1.7	1	-	-	-	-	-	1	1	1			

消防法に準拠した火災感知器の配置を示した一覧表（対象：消防法施行規則 第 23 条第 4 項に該当する火災感知器）

		煙感知器												熱感知器																						
		<p>○2 3条第 4 項 七 煙感知器（光電式分離型感知器を除く。）は、次に定めるところによること。</p> <p>ハ 感知器の下部は、取付け面の下方 0.6m 以内の位置に設けること。</p> <p>※ 1 取付け面から 0.6m 以上突出した梁等により区画</p> <p>ホ 感知器は、廊下、通路、階段及び傾斜路を除く感知区域ごとに、感知器の種類及び取付け面の高さに応じて次の表で定める床面積につき一個以上の個数を、火災を有効に感知するように設けること。</p> <p>※ 2 取付け面高さ 床面積 4m 未満 150m² 4m 以上～20m 未満 75m²</p> <p>【緩和策：全国消防長会中国支部編集 消防用設備等の技術基準】</p> <p>※ 3 取付け面から 60cm 以上 1m 未満の梁等により小さい感知区域が連続する場合は、定められた範囲内で 2 つ以上の感知区域を同一感知区域とすることができる。</p> <p>取付け面高さ 床面積 4m 以上～8m 未満 60m² 8m 以上～20m 未満 40m²</p> <p>※ 4 取付け面から 60cm 以上 1m 未満の梁等により区画された 10m² 以下の小区画 1 つが隣接する場合は、当該小区画も含めて同一感知区域とすることができる。</p> <p>【緩和策：日本火災報知機工業会 自動火災報知設備 工事基準書】</p> <p>※ 5 段違い部分を含む居室等の幅が 6m 未満であれば、当該居室等を同一感知区域とすることができる。</p> <p>ハ 感知器は、廊下及び通路にあつては歩行距離三十メートルにつき一個以上の個数を、階段及び傾斜路にあつては垂直距離十五メートルにつき一個以上の個数を、火災を有効に感知するように設けること。</p> <p>上記に記載のない消防法施行規則についても準拠して感知器を設置する。</p>												<p>○2 3条第 4 項 三 熱感知器は、次に定めるところによること。</p> <p>ロ 感知器は、感知区域（それぞれ幅又は取付け面から 0.4m 以上突出した梁等により区画された部分を除く。以下同じ。）ごとに、感知器の種類及び取付け面の高さに応じて次の表で定める床面積につき一個以上の個数を、火災を有効に感知するように設けること。</p> <p>※ 1 取付け面から 0.4m 以上突出した梁等により区画</p> <p>※ 2 取付け面高さ 床面積 4m 未満 70m² 4m 以上～8m 未満 35m²</p> <p>【緩和策：全国消防長会中国支部編集 消防用設備等の技術基準】</p> <p>※ 3 取付け面から 40cm 以上 1m 未満の梁等により小さい感知区域が連続する場合は、15m² 以内で 2 つ以上の感知区域を同一感知区域とすることができる。</p> <p>※ 4 取付け面から 40cm 以上 1m 未満の梁等により区画された 5m² 以下の小区画 1 つが隣接する場合は、当該小区画も含めて同一感知区域とすることができる。</p> <p>【緩和策：日本火災報知機工業会 自動火災報知設備 工事基準書】</p> <p>※ 5 段違い部分を含む居室等の幅が 6m 未満であれば、当該居室等を同一感知区域とすることができる。</p> <p>【日本火災報知機工業会 自動火災報知設備 工事基準書】</p> <p>細長い居室等の場合 感知器を短辺が 3m 未満の細長い居室等に設ける場合は、歩行距離 13m ごとに 1 個以上設けること。</p> <p>上記に記載のない消防法施行規則についても準拠して感知器を設置する。</p>																						
部屋番号	部屋名称	区画	取付け高さ※2				区画面積 (m ²)	消防法 設置数	梁高さ 0.6m以上 1m未満	緩和策適用			緩和策 適用数	設置数	合計	備考	区画	取付け高さ※2				区画面積 (m ²)	消防法 設置数	梁高さ 0.4m以上 1m未満	緩和策適用			緩和策 適用数	設置数	合計	備考					
			0.6m未満 ※1	4m未満	4m以上 8m未満	8m以上 15m未満				8m未満 <60m ²	連続※3	層接※4						段違い※5	4m未満	4m以上 8m未満	8m以上				連続※3	層接※4	段違い※5									
R-1F-01	A-事故時サンプリング室	1	-	-	-	10.8	1	○	-	-	-	-	-	1	3	1	-	-	-	10.8	1	○	-	-	-	-	-	1	4	炎感知器設置						
		2	-	-	-	9.0	1	○	-	-	-	-	-	-		1	2	-	-	-	9.0	1	○	-	-	-	-	-		1	炎感知器設置					
		3	-	-	-	38.2	1	-	-	-	-	-	-	-		1	3	-	-	-	38.2	2	-	-	-	-	-	-		2	炎感知器設置					
R-1F-01-2	第2チャックポイント	1	-	○	-	99.6	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	○	-	7.0	1	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1
		2	-	-	-	2.4	1	○	○	-	-	-	-	-	1	0	2,3緩和策	-	-	2.4	1	○	-	-	-	-	-	1	0	2,3緩和策,炎感知器設置						
		3	-	-	-	26.1	1	○	○	-	-	-	-	-	1	1	2,3緩和策	-	-	26.1	1	○	-	-	-	-	-	1	1	2,3緩和策,炎感知器設置						
		4	-	-	-	10.3	1	○	○	-	-	-	-	-	1	1	4,5緩和策	-	-	10.3	1	○	-	-	-	-	-	1	1	4,5緩和策,炎感知器設置						
		5	-	-	-	7.4	1	○	○	-	-	-	-	-	1	0	4,5緩和策	-	-	7.4	1	○	-	-	-	-	-	1	0	4,5緩和策,炎感知器設置						
		6	-	-	-	6.5	1	○	○	-	-	-	-	-	1	0	6,7緩和策	-	-	6.5	1	○	-	-	-	-	-	1	0	6,7緩和策,炎感知器設置						
		7	-	-	-	29.6	1	○	○	-	-	-	-	-	1	1	6,7緩和策	-	-	29.6	1	○	-	-	-	-	-	1	1	6,7緩和策,炎感知器設置						
		8	-	-	-	19.9	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8	-	-	19.9	1	-	-	-	-	-	-	1	1	8,炎感知器設置						
		9	-	-	-	14.3	1	○	-	-	-	-	-	-	-	1	9	-	-	14.3	1	○	-	-	-	-	-	1	1	9,炎感知器設置						
		10	-	-	-	40.5	1	○	-	-	-	-	-	-	-	1	10	-	-	40.5	2	○	-	-	-	-	-	2	2	10,炎感知器設置						
		11	-	-	-	30.1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	11	-	-	30.1	1	-	-	-	-	-	-	1	1	11,炎感知器設置						
		12	-	-	-	33.8	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	12	-	-	33.8	1	-	-	-	-	-	-	1	1	12,炎感知器設置						
		13	-	-	-	18.6	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	13	-	-	18.6	1	-	-	-	-	-	-	1	1	13,炎感知器設置						
		14	-	-	-	30.3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	14	-	-	30.3	1	-	-	-	-	-	-	1	1	14,炎感知器設置						
		15	-	-	-	17.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	15	-	-	17.0	1	-	-	-	-	-	-	1	1	15,炎感知器設置						
R-1F-02	PLRポンプMGセット室	16	-	-	-	3.5	1	○	○	-	-	-	-	1	0	16,17緩和策	-	-	3.5	1	○	-	-	-	-	-	1	0	16,17緩和策,炎感知器設置							
		17	-	-	-	37.5	1	○	○	-	-	-	-	1	1	16,17緩和策	-	-	37.5	2	○	-	-	-	-	1	2	2	16,17緩和策,炎感知器設置							
		18	-	-	-	28.0	1	-	-	-	-	-	-	-	1	18	-	-	28.0	1	-	-	-	-	-	-	1	1	18,炎感知器設置							
		19	-	-	-	14.5	1	○	○	-	-	-	-	-	1	1	19,20緩和策	-	-	14.5	1	○	-	-	-	-	-	1	1	19,20緩和策,炎感知器設置						
		20	-	-	-	39.3	1	○	○	-	-	-	-	-	1	1	19,20緩和策	-	-	39.3	2	○	-	-	-	-	-	2	2	19,20緩和策,炎感知器設置						
		21	-	-	-	29.3	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1	21	-	-	29.3	1	-	-	-	-	-	-	1	1	21,炎感知器設置						
		22	-	-	-	54.4	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1	22	-	-	54.4	2	-	-	-	-	-	-	2	2	22,炎感知器設置						
		23	-	-	-	15.0	1	○	○	-	-	-	-	-	1	0	23,24緩和策	-	-	15.0	1	○	-	-	-	-	-	1	0	23,24緩和策,炎感知器設置						
		24	-	-	-	25.5	1	○	○	-	-	-	-	-	1	1	23,24緩和策	-	-	25.5	1	○	-	-	-	-	-	1	1	23,24緩和策,炎感知器設置						
		25	-	-	-	40.8	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1	25	-	-	40.8	2	-	-	-	-	-	-	2	2	25,炎感知器設置						
		26	-	-	-	15.7	1	○	○	-	-	-	-	-	1	1	26,27緩和策	-	-	15.7	1	○	-	-	-	-	-	1	1	26,27緩和策,炎感知器設置						
		27	-	-	-	7.9	1	○	○	-	-	-	-	-	1	0	26,27緩和策	-	-	7.9	1	○	-	-	-	-	-	1	0	26,27緩和策,炎感知器設置						
		28	-	-	-	37.6	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1	28	-	-	37.6	2	-	-	-	-	-	-	2	2	28,炎感知器設置						
		29	-	-	-	9.0	1	○	○	-	-	-	-	-	1	1	29,30緩和策	-	-	9.0	1	○	-	-	-	-	-	1	1	29,30緩和策,炎感知器設置						
		30	-	-	-	4.3	1	○	○	-	-	-	-	-	1	0	29,30緩和策	-	-	4.3	1	○	-	-	-	-	-	1	0	29,30緩和策,炎感知器設置						
R-1F-03	B-R/Bダストモニタ室	1	-	○	-	50.5	1	-	-	-	-	-	-	1	3	1	-	○	-	50.5	1	-	-	-	-	-	2	4								
		2	-	-	○	-	30.1	1	○	-	-	-	-	1		2	-	-	30.1	1	○	-	-	-	-	1	1									
		3	-	-	○	-	32.0	1	○	-	-	-	-	1		3	-	-	32.0	1	○	-	-	-	-	-	1		1							
R-1F-04	TIP駆動装置室	1	-	○	-	36.8	1	-	-	-	-	-	2	2	1	-	○	-	36.8	1	-	-	-	-	-	2	2	2								
R-1F-05	A-RHR熱交換器室	1	-	-	○	-	25.2	2	-	-	-	-	2	2	1	-	-	○	-	25.2	2	-	-	-	-	2	2	2								
R-1F-06	TIP室	1	-	○	-	39.1	1	-	-	-	-	-	2	2	1	-	○	-	39.1	1	-	-	-	-	-	2	2	2								

消防法に準拠した火災感知器の配置を示した一覧表（対象：消防法施行規則 第23条第4項に該当する火災感知器）

R-1F-07	1階東側PCVベントレーション室	1	-	○	-	-	-	31.5	1	-	-	-	-	-	-	-	1	7	1	-	○	-	-	-	31.5	1	-	-	-	-	-	-	-	1	8	
		2	-	-	○	-	-	48.3	1	-	-	-	-	-	-	-	1		2	-	-	○	-	-	-	48.3	2	-	-	-	-	-	2			
		3	-	○	-	-	-	40.8	1	○	-	-	-	-	-	-	1		3	-	○	-	-	-	-	40.8	1	○	-	-	-	-	1			
		4	-	○	-	-	-	27.2	1	○	-	-	-	-	-	-	1		4	-	○	-	-	-	-	27.2	1	○	-	-	-	-	1			
		5	-	○	-	-	-	44.8	1	○	-	-	-	-	-	-	1		5	-	○	-	-	-	-	44.8	1	○	-	-	-	-	1			
		6	-	-	-	-	○	-	12.3	1	-	-	-	-	-	-	1		6	-	-	-	-	○	-	12.3	1	-	-	-	-	-	1	炎感知器設置		
R-1F-08	R/Bサンプリング室	7	-	-	-	○	-	15.1	1	-	-	-	-	-	-	1	7	-	-	-	-	○	-	15.1	1	-	-	-	-	-	1	炎感知器設置				
R-1F-09	主蒸気管室	13	-	-	-	-	○	15.9	1	-	-	-	-	-	-	-	1	13	-	-	-	-	○	-	15.9	1	-	-	-	-	-	1	炎感知器設置			
		14	-	-	-	-	○	15.9	1	-	-	-	-	-	-	-	1	14	-	-	-	-	○	-	15.9	1	-	-	-	-	-	1	炎感知器設置			
R-1F-10	B-RHR/バルブ室	1	-	-	○	-	-	9.5	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	○	-	-	-	9.5	1	-	-	-	-	1	4				
		2	-	-	-	○	-	30.8	2	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	○	-	-	30.8	2	-	-	-	-	2					
		3	-	-	-	-	-	5.7	1	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	5.7	1	-	-	-	-	-		1			
R-1F-11	B-RHR熱交換器室	1	-	-	-	○	-	25.2	2	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-	-	○	-	-	25.2	2	-	-	-	-	2	2					
R-1F-12	1階西側PCVベントレーション室	1	-	-	○	-	-	33.3	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	○	-	-	-	33.3	1	-	-	-	-	1	4				
		2	-	-	○	-	-	42.2	1	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	○	-	-	-	42.2	1	-	-	-	-	1					
		3	-	-	-	-	-	42.0	1	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	42.0	1	-	-	-	-	-		1			
		4	-	-	○	-	-	3.0	1	-	-	-	-	-	-	○	1	0	4	-	-	○	-	-	-	3.0	1	-	-	-	-		○	1	0	4,5緩和策
		5	-	-	-	-	-	19.4	1	-	-	-	-	-	-	○	1	1	5	-	-	-	-	-	-	19.4	1	-	-	-	-		○	1	1	4,5緩和策
R-1F-13	CRD補修室	1	-	-	○	-	-	124.4	2	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-	○	-	-	-	124.4	2	-	-	-	-	2	2					
R-1F-14	A-RCWポンプ熱交換器室	1	-	-	-	-	○	-	27.7	1	○	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	○	27.7	1	-	-	-	-	1	11				
		2	○	-	-	-	○	-	9.9	0	○	-	-	-	-	-	0	2	-	-	-	-	-	○	9.9	1	-	-	-	-	1		2,3同一区画			
		3	○	-	-	-	-	13.7	1	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	○	13.7	1	-	-	-	-	1		2,3同一区画			
		4	-	-	-	-	-	39.8	1	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	○	39.8	2	-	-	-	-	2					
		5	-	-	-	-	-	34.0	1	-	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-	-	○	34.0	1	-	-	-	-	1					
		6	-	-	-	-	-	10.7	1	-	-	-	-	-	-	-	1	6	-	-	-	-	-	○	10.7	1	-	-	-	-	1					
		7	-	-	-	-	-	17.8	1	-	-	-	-	-	-	-	1	7	-	-	-	-	-	○	17.8	1	-	-	-	-	1					
		8	-	-	-	-	-	31.9	1	-	-	-	-	-	-	-	1	8	-	-	-	-	-	○	31.9	1	-	-	-	-	1					
		9	-	-	-	-	-	19.8	1	-	-	-	-	-	-	-	1	9	-	-	-	-	-	○	19.8	1	-	-	-	-	1					
		10	-	-	-	-	-	35.9	1	-	-	-	-	-	-	-	1	10	-	-	-	-	-	○	35.9	2	-	-	-	-	2					
		11	-	-	-	-	-	28.9	1	-	-	-	-	-	-	-	1	11	-	-	-	-	-	○	28.9	1	-	-	-	-	1					
		12	-	-	-	-	-	52.5	1	-	-	-	-	-	-	-	1	12	-	-	-	-	-	○	52.5	2	-	-	-	-	2					
R-1F-15	B-RCWポンプ熱交換器室	1	-	-	-	-	○	-	22.6	1	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	○	22.6	1	-	-	-	-	1	11				
		2	-	-	-	-	-	40.8	1	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	○	40.8	2	-	-	-	-	2					
		3	-	-	-	-	-	22.9	1	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	○	22.9	1	-	-	-	-	1					
		4	○	-	-	-	-	21.0	1	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	○	21.0	1	-	-	-	-	1		4,5同一区画			
		5	○	-	-	-	-	20.0	0	-	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-	-	○	20.0	1	-	-	-	-	1		4,5同一区画			
		6	-	-	-	-	-	23.2	1	-	-	-	-	-	-	-	1	6	-	-	-	-	-	○	23.2	1	-	-	-	-	1					
		7	-	-	-	-	-	42.1	1	-	-	-	-	-	-	-	1	7	-	-	-	-	-	○	42.1	2	-	-	-	-	2					
		8	-	-	-	-	-	28.4	1	-	-	-	-	-	-	-	1	8	-	-	-	-	-	○	28.4	1	-	-	-	-	1					
		9	-	-	-	-	-	14.8	1	-	-	-	-	-	-	-	1	9	-	-	-	-	-	○	14.8	1	-	-	-	-	1					
		10	○	-	-	-	-	18.0	1	-	-	-	-	-	-	-	1	10	-	-	-	-	-	○	18.0	1	-	-	-	-	1		10~12同一区画			
		11	○	-	-	-	-	13.6	0	-	-	-	-	-	-	-	0	11	-	-	-	-	-	○	13.6	1	-	-	-	-	1		10~12同一区画			
		12	○	-	-	-	-	18.4	0	-	-	-	-	-	-	-	0	12	-	-	-	-	-	○	18.4	1	-	-	-	-	1		10~12同一区画			
		13	○	-	-	-	-	20.8	0	-	-	-	-	-	-	-	0	13	-	-	-	-	-	○	20.8	1	-	-	-	-	1		13~15同一区画			
		14	○	-	-	-	-	14.4	1	-	-	-	-	-	-	-	1	14	-	-	-	-	-	○	14.4	1	-	-	-	-	1		13~15同一区画			
		15	○	-	-	-	-	14.3	0	-	-	-	-	-	-	-	0	15	-	-	-	-	-	○	14.3	1	-	-	-	-	1		13~15同一区画			
R-1F-16	原子伊建物大物搬入口	1	-	-	-	-	-	23.9	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5					
		2	-	-	-	-	-	33.8	1	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1						
		3	-	-	-	-	-	23.5	1	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1						
		4	-	-	-	-	-	33.2	1	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1						
		5	-	-	-	-	-	3.7	1	-	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1						
R-1F-17	CRD保管室	1	-	-	-	○	-	33.1	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	○	-	-	33.1	1	-	-	-	-	1	4				
		2	-	-	-	-	○	13.9	1	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	○	-	13.9	1	-	-	-	-	1		炎感知器設置			
		3	-	-	-	-	-	6.6	1	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	○	6.6	1	-	-	-	-	1		炎感知器設置			
		4	-	-	-	-	-	3.7	1	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	○	8.2	1	-	-	-	-	1		炎感知器設置			
R-1F-18	ISI検査室	1	-	-	-	-	27.0	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	27.0	1	-	-	-	-	1	1					
R-1F-19	通路	1	-	○	-	-	-	7.0	1	-	-	-	-	-	-	1	1	-	○	-	-	-	-	7.0	1	-	-	-	-	1	1					
R-1F-20	所員用エプロン室	1	-	○	-	-	-	14.8	1	-	-	-	-	-	-	1	1	-	○	-	-	-	-	14.8	1	-	-	-	-	1	1					
R-1F-21	格納容器内漏洩検出モニタ室	1	○	○	-	-	-	41.6	2	-	-	-	-	-	-	2	1	○	○	-	-	-	-	41.6	2	-	-	-	-	2	2					

消防法に準拠した火災感知器の配置を示した一覧表（対象：消防法施行規則 第23条第4項に該当する火災感知器）

部屋番号		部屋名称		煙感知器												熱感知器																				
				区画	梁高が0.6m未満※1	4m未満	4m以上8m未満	8m以上15m未満	15m以上20m未満	区画面積(m ²)	消防法設置数	梁高が0.6m以上1m未満	連続※3	間接※4	段違い※5	緩和策適用数	設置数	合計	備考	区画	梁高が0.4m未満※1	4m未満	4m以上8m未満	8m以上	区画面積(m ²)	消防法設置数	梁高が0.4m以上1m未満	連続※3	間接※4	段違い※5	緩和策適用数	設置数	合計	備考		
				<p>煙感知器</p> <p>○2 3条第4項 七 煙感知器（光電式分離型感知器を除く。）は、次に定めるところによること。 八 感知器の下端は、取付け面の下方0.6m以内の位置に設けること。 ※1 取付け面が50.6m以上突出した梁等により区画</p> <p>ホ 感知器は、廊下、通路、階段及び傾斜路を除く感知区域ごとに、感知器の種類及び取付け面の高さに応じて次の表で定める床面積につき一個以上の個数を、火災を有効に感知するように設けること。 ※2 取付け面高さ 床面積 4m未満 150m² 4m以上～20m未満 75m²</p> <p>【緩和策：全国消防長会中国支部編集 消防用設備等の技術基準】 ※3 取付け面が60cm以上1m未満の梁等により小さい感知区域が連続する場合は、定められた範囲内で2つ以上の感知区域を同一感知区域とすることができる。 取付け面高さ 床面積 4m以上～8m未満 60m² 8m以上～20m未満 40m²</p> <p>※4 取付け面が60cm以上1m未満の梁等により区画された10m²以下の小区画1つが隣接する場合は、当該小区画も含めて同一感知区域とすることができる。 【緩和策：日本火災報知機工業会 自動火災報知設備 工事基準書】 ※5 段違い部分を含む居室等の幅が6m未満であれば、当該居室等を同一感知区域とすることができる。</p> <p>ハ 感知器は、廊下及び通路にあつては歩行距離三十メートルにつき一個以上の個数を、階段及び傾斜路にあつては垂直距離十五メートルにつき一個以上の個数を、火災を有効に感知するように設けること。</p> <p>上記に記載のない消防法施行規則についても準拠して感知器を設置する。</p>												<p>熱感知器</p> <p>○2 3条第4項 三 差動式スポット型、定温式スポット型又は補償式スポット型その熱複合式スポット型の感知器は、次に定めるところによること。 四 感知器は、感知区域（それぞれ壁又は取付け面が50.4m以上突出したはり等によって区画された部分を除く。以下同じ。）ごとに、感知器の種類及び取付け面の高さに応じて次の表で定める床面積につき一個以上の個数を、火災を有効に感知するように設けること。 ※1 取付け面が50.4m以上突出した梁等により区画 ※2 取付け面高さ 床面積 4m未満 70m² 4m以上～8m未満 35m²</p> <p>【緩和策：全国消防長会中国支部編集 消防用設備等の技術基準】 ※3 取付け面が40cm以上1m未満の梁等により小さい感知区域が連続する場合は、15m²以内で2つ以上の感知区域を同一感知区域とすることができる。 ※4 取付け面が40cm以上1m未満の梁等により区画された5m²以下の小区画1つが隣接する場合は、当該小区画も含めて同一感知区域とすることができる。 【緩和策：日本火災報知機工業会 自動火災報知設備 工事基準書】 ※5 段違い部分を含む居室等の幅が6m未満であれば、当該居室等を同一感知区域とすることができる。</p> <p>【日本火災報知機工業会 自動火災報知設備 工事基準書】 細長い居室等の場合 感知器を短辺が3m未満の細長い居室等に設ける場合は、歩行距離13mごとに1個以上設けること。</p> <p>上記に記載のない消防法施行規則についても準拠して感知器を設置する。</p>																				
				<p>緩和策適用</p> <p>連続※3 間接※4 段違い※5</p> <p>8m未満 <60m² 8m以上 <40m² <10m² 6m未満</p>												<p>緩和策適用</p> <p>連続※3 間接※4 段違い※5</p> <p><15m² <5m² 6m未満</p>																				
R-2F-01	中央制御室外原子炉停止盤室	1	-	-	0	-	6.8	1	0	-	-	-	-	1	0	2	1,2緩和策	1	-	-	0	-	6.8	1	0	-	-	-	-	-	1	3				
R-2F-02	A-格納容器内雰囲気モニタ校正室	1	-	-	0	-	29.7	1	-	-	-	-	-	-	2	2		1	-	-	0	-	29.7	1	-	-	-	-	-	-	2	2				
R-2F-03	原子炉線排気モニタ室	1	-	-	0	-	16.1	1	-	-	-	-	-	-	2	2		1	-	-	0	-	16.1	1	-	-	-	-	-	-	2	2				
R-2F-04	A-非常用電気室	1	-	-	0	-	95.4	2	-	-	-	-	-	-	2	10		1	-	-	0	-	95.4	3	-	-	-	-	-	-	3	13				
		2	-	-	0	-	30.5	1	-	-	-	-	-	-	1			2	-	-	0	30.5	1	-	-	-	-	-	-	-	1			炎感知器設置		
		3	-	-	0	-	18.7	1	-	-	-	-	-	-	1			3	-	-	0	18.7	1	-	-	-	-	-	-	1			炎感知器設置			
		4	-	-	0	-	12.4	1	0	-	0	-	-	-	1		0		4,5緩和策	4	-	-	0	12.4	1	0	-	-	-	-	-		1		炎感知器設置	
		5	-	-	0	-	25.7	1	0	-	0	-	-	-	1		1		4,5緩和策	5	-	-	0	25.7	1	0	-	-	-	-	-		1		炎感知器設置	
		6	-	-	0	-	19.8	1	-	-	-	-	-	-	-		1	1		6	-	-	0	19.8	1	-	-	-	-	-	-		1		炎感知器設置	
		7	0	-	-	0	-	14.1	0	-	-	-	-	-	-		0		7,8同一区画	7	0	-	-	0	14.1	1	-	-	-	-	-		-	1		7,8同一区画,炎感知器設置
		8	0	-	-	0	-	29.4	1	-	-	-	-	-	-		1		7,8同一区画	8	0	-	-	0	29.4	1	-	-	-	-	-		-	1		7,8同一区画,炎感知器設置
		9	-	-	-	0	-	18.7	1	-	-	-	-	-	-		1		9	-	-	0	18.7	1	-	-	-	-	-	-	-		-	1		炎感知器設置
		10	-	-	-	0	-	13.9	1	-	-	-	-	-	-		1		10	-	-	0	13.9	1	-	-	-	-	-	-	-		-	1		炎感知器設置
		11	-	-	-	0	-	11.3	1	-	-	-	-	-	-		1		11	-	-	0	11.3	1	-	-	-	-	-	-	-		-	1		炎感知器設置
R-2F-05	B-非常用電気室	1	-	-	0	-	43.2	1	-	-	-	-	-	-	1	14		1	-	-	0	43.2	2	-	-	-	-	-	-	2	16					
		2	-	-	0	-	26.9	1	-	-	-	-	-	-	1			2	-	-	0	26.9	1	-	-	-	-	-	-	1			炎感知器設置			
		3	-	-	0	-	13.9	1	-	-	-	-	-	-	1			3	-	-	0	13.9	1	-	-	-	-	-	-	1			炎感知器設置			
		4	-	-	0	-	45.2	1	-	-	-	-	-	-	1			4	-	-	0	45.2	2	-	-	-	-	-	-	2			炎感知器設置			
		5	-	-	0	-	23.5	1	-	-	-	-	-	-	1			5	-	-	0	23.5	1	-	-	-	-	-	-	1			炎感知器設置			
		6	-	-	0	-	29.3	1	-	-	-	-	-	-	1			6	-	-	0	29.3	1	-	-	-	-	-	-	1			炎感知器設置			
		7	-	-	0	-	18.4	1	-	-	-	-	-	-	1			7	-	-	0	18.4	1	-	-	-	-	-	-	1			炎感知器設置			
		8	-	-	0	-	15.5	1	-	-	-	-	-	-	1			8	-	-	0	15.5	1	-	-	-	-	-	-	1			炎感知器設置			
		9	-	-	0	-	34.1	1	-	-	-	-	-	-	1			9	-	-	0	34.1	1	-	-	-	-	-	-	1			炎感知器設置			
		10	-	-	0	-	25.8	1	-	-	-	-	-	-	1			10	-	-	0	25.8	1	-	-	-	-	-	-	1			炎感知器設置			
		11	-	-	0	-	28.1	1	-	-	-	-	-	-	1			11	-	-	0	28.1	1	-	-	-	-	-	-	1			炎感知器設置			
		12	-	-	0	-	21.1	1	-	-	-	-	-	-	1			12	-	-	0	21.1	1	-	-	-	-	-	-	1			炎感知器設置			
		13	-	-	0	-	23.0	1	-	-	-	-	-	-	1			13	-	-	0	23.0	1	-	-	-	-	-	-	1			炎感知器設置			
		14	-	-	0	-	17.3	1	-	-	-	-	-	-	1			14	-	-	0	17.3	1	-	-	-	-	-	-	1			炎感知器設置			
R-2F-06	A-非常用DG室送風機室	1	-	-	0	-	33.6	1	-	-	-	-	-	1	2		1	-	-	0	33.6	1	-	-	-	-	-	-	1	2						
		2	-	-	0	-	26.0	1	-	-	-	-	-	1			2	-	-	0	26.0	1	-	-	-	-	-	1			炎感知器設置					
R-2F-07	B-非常用DG室送風機室	1	-	-	0	-	9.5	1	-	-	-	-	-	1	4		1	-	-	0	9.5	1	-	-	-	-	-	-	1	4						
		2	-	-	0	-	8.2	1	-	-	-	-	-	1			2	-	-	0	8.2	1	-	-	-	-	-	1			炎感知器設置					
		3	-	-	0	-	22.1	1	-	-	-	-	-	1			3	-	-	0	22.1	1	-	-	-	-	-	1			炎感知器設置					
		4	-	-	0	-	19.4	1	-	-	-	-	-	1			4	-	-	0	19.4	1	-	-	-	-	-	1			炎感知器設置					

消防法に準拠した火災感知器の配置を示した一覧表（対象：消防法施行規則 第23条第4項に該当する火災感知器）

R-2F-17	A-制御棟駆動応答装置	1	-	-	○	-	-	10.7	1	-	-	-	-	-	-	2	2		
R-2F-18	A-CUW循環ポンプ室	1	○	○	-	-	-	73.4	1	-	-	-	-	-	-	2	2		
R-2F-19	B-CUW循環ポンプ室	1	○	○	-	-	-	35.4	0	-	-	-	-	-	-	1	2		
R-2F-20	RCWバルブ室	2	○	○	-	-	-	38.2	1	-	-	-	-	-	-	1			
		1	-	-	-	-	-	28.4	1	○	○	-	-	-	-	2	1		
		2	-	-	○	-	-	9.8	1	○	○	-	-	-	-	2	0		
		3	○	-	-	-	-	16.3	1	○	○	-	-	-	-	2	0		
		4	○	-	○	○	-	-	22.3	0	-	-	-	-	-	-	0		
		5	○	-	○	○	-	-	22.3	1	-	-	-	-	-	-	1		
		6	-	-	○	○	-	-	34.6	1	-	-	-	-	-	-	1		
R-2F-21	原子炉棟送風機室	7	-	-	○	-	-	13.6	1	-	-	-	-	-	-	1			
		1	-	-	-	○	-	-	4.4	1	○	-	○	-	-	1	0		
		2	-	-	-	○	-	-	13.9	1	○	-	○	-	-	1	1		
		3	-	-	-	○	-	-	35.4	1	○	-	-	-	-	-	1		
		4	-	-	-	○	-	-	40.4	1	○	-	-	-	-	-	1		
		5	-	-	-	○	-	-	19.4	1	○	-	○	-	-	1	1		
		6	-	-	-	○	-	-	11.7	1	○	-	○	-	-	1	0		
		7	-	-	-	○	-	-	59.0	1	-	-	-	-	-	-	1		
		8	-	-	-	○	-	-	23.6	1	○	-	-	-	-	-	1		
		9	-	-	-	○	-	-	22.7	1	○	-	-	-	-	-	1		
		10	-	-	-	○	-	-	22.9	1	○	-	-	-	-	-	1		
		11	-	-	-	○	-	-	23.2	1	○	-	-	-	-	-	1		
		12	-	-	-	○	-	-	22.9	1	○	-	-	-	-	-	1		
		13	-	-	-	○	-	-	21.6	1	○	-	-	-	-	-	1		
		14	-	-	-	○	-	-	23.4	1	○	-	-	-	-	-	1		
		15	-	-	-	○	-	-	45.3	1	○	-	-	-	-	-	1		
		16	-	-	-	○	-	-	29.4	1	○	-	-	-	-	-	1		
		17	-	-	-	○	-	-	56.7	1	○	-	-	-	-	-	1		
		18	-	-	-	○	-	-	29.5	1	○	-	-	-	-	-	1		
		19	-	-	-	○	-	-	56.8	1	○	-	-	-	-	-	1		
		20	-	-	-	○	-	-	20.9	1	○	-	-	-	-	-	1		
		21	-	-	-	○	-	-	40.4	1	○	-	-	-	-	-	1		
		22	-	-	-	○	-	-	20.1	1	○	-	-	-	-	-	1		
		23	-	-	-	○	-	-	40.4	1	○	-	-	-	-	-	1		
		24	-	-	-	○	-	-	47.8	1	○	-	-	-	-	-	1		
25	-	-	-	○	-	-	27.2	1	○	-	-	-	-	-	1				
R-2F-22	HPCS-DG室送風機室	1	-	-	○	-	-	23.7	1	○	-	-	-	-	-	1	2		
R-2F-23	通路	2	-	-	○	-	-	14.1	1	○	-	-	-	-	-	1	2		
R-2F-24	スクラム排水容器室	1	-	-	○	-	-	28.1	1	○	-	-	-	-	-	-	1	2	
		2	-	-	○	-	-	15.5	1	-	-	-	-	-	-	-	1		
		1	-	-	○	-	-	19.8	1	-	-	-	-	-	-	-	1		
		2	-	-	○	-	-	36.6	1	-	-	-	-	-	-	-	2		
		3	-	-	○	-	-	30.5	1	-	-	-	-	-	-	-	1		
		4	-	-	○	-	-	28.9	1	-	-	-	-	-	-	-	1		
		5	-	-	○	-	-	30.7	1	-	-	-	-	-	-	-	1		
		6	-	-	○	-	-	9.5	1	○	-	○	-	-	-	-	1	0	
		7	-	-	○	-	-	28.5	1	○	-	○	-	-	-	-	1	1	
		8	-	-	○	-	-	22.8	1	-	-	-	-	-	-	-	1		
R-2F-25	CRD・HCU室素充填装置	9	-	-	○	-	-	38.7	1	-	-	-	-	-	-	2			
		10	○	○	-	-	-	61.4	1	-	-	-	-	-	-	2			
		1	-	-	○	-	-	125.4	2	-	-	-	-	-	-	3			
		2	-	-	○	-	-	23.7	1	○	-	○	-	-	-	1	1		
		3	-	-	○	-	-	36.3	1	-	-	-	-	-	-	2			
		4	-	-	○	-	-	11.2	1	○	-	○	-	-	-	1	0		
		5	-	-	○	-	-	35.0	1	-	-	-	-	-	-	1			
R-2F-26	通路	1	-	○	-	-	7.0	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1		
R-2F-27	通路	1	-	○	-	-	7.0	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1		
R-2F-28	B-制御棟位置信号変換器室	1	-	○	-	-	15.0	1	-	-	-	-	-	-	-	2	2		
R-2F-29	階段室	階段	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1		

消防法に準拠した火災感知器の配置を示した一覧表（対象：消防法施行規則 第23条第4項に該当する火災感知器）

R-3F-04	非常用ガス処理装置室	1	-	-	○	-	-	15.9	1	○	○	-	-	-	-	1	1	1,2緩和策	1	-	-	○	-	-	15.9	1	○	-	-	-	-	-	-	1	28			
		2	-	-	○	-	-	16.6	1	○	○	-	-	-	-	-	1		0	2	-	-	○	-	-	16.6	1	○	-	-	-	-	-	1				
		3	○	-	○	-	-	43.8	1	○	○	-	-	-	-	-	-		-	1	3	○	-	○	-	-	43.8	2	○	-	-	-	-	-		2		
		4	-	-	○	-	-	44.4	1	○	-	-	-	-	-	-	-		-	1	4	-	-	○	-	-	44.4	2	○	-	-	-	-	-		2		
		5	-	-	○	-	-	44.4	1	○	-	-	-	-	-	-	-		-	1	5	-	-	○	-	-	44.4	2	○	-	-	-	-	-		2		
		6	-	-	○	-	-	44.4	1	○	-	-	-	-	-	-	-		-	1	6	-	-	○	-	-	44.4	2	○	-	-	-	-	-		2		
		7	-	-	○	-	-	44.4	1	○	-	-	-	-	-	-	-		-	1	7	-	-	○	-	-	44.4	2	○	-	-	-	-	-		2		
		8	○	-	○	-	-	13.2	0	○	-	-	-	-	-	-	-		-	0	8~11同一区画	8	-	-	○	-	-	13.2	1	○	-	-	-	-		-	1	
		9	○	-	○	-	-	9.0	0	○	-	-	-	-	-	-	-		-	0	8~11同一区画	9	-	-	○	-	-	9.0	1	○	-	-	-	-		-	1	
		10	○	-	○	-	-	9.8	1	○	-	-	-	-	-	-	-		-	1	8~11同一区画	10	-	-	○	-	-	9.8	1	○	-	-	-	-		-	1	
		11	○	-	○	-	-	11.9	0	○	-	-	-	-	-	-	-		-	0	8~11同一区画	11	-	-	○	-	-	11.9	1	○	-	-	-	-		-	1	
		12	-	-	○	-	-	17.1	1	○	○	-	-	-	-	-	-		-	1	1	12,13緩和策	12	-	-	○	-	-	17.1	1	○	-	-	-		-	-	1
		13	-	-	○	-	-	15.4	1	○	○	-	-	-	-	-	-		-	1	0	12,13緩和策	13	-	-	○	-	-	15.4	1	○	-	-	-		-	-	1
		14	-	-	○	-	-	35.9	1	-	-	-	-	-	-	-	-		-	1	14	-	-	○	-	-	35.9	2	-	-	-	-	-	-		2		
		15	-	-	○	-	-	28.2	1	○	-	-	-	-	-	-	-		-	1	15	-	-	○	-	-	28.2	1	○	-	-	-	-	-		1		
		16	-	-	○	-	-	28.8	1	○	-	-	-	-	-	-	-		-	1	16	-	-	○	-	-	28.8	1	○	-	-	-	-	-		1		
		17	-	-	○	-	-	28.8	1	○	-	-	-	-	-	-	-		-	1	17	-	-	○	-	-	28.8	1	○	-	-	-	-	-		1		
		18	-	-	○	-	-	28.8	1	○	-	-	-	-	-	-	-		-	1	18	-	-	○	-	-	28.8	1	○	-	-	-	-	-		1		
		19	-	-	○	-	-	28.8	1	○	-	-	-	-	-	-	-		-	1	19	-	-	○	-	-	28.8	1	○	-	-	-	-	-		1		
		20	-	-	○	-	-	28.2	1	○	-	-	-	-	-	-	-		-	1	20	-	-	○	-	-	28.2	1	○	-	-	-	-	-		1		
		21	-	-	○	-	-	35.9	1	-	-	-	-	-	-	-	-		-	1	21	-	-	○	-	-	35.9	2	-	-	-	-	-	-		2		
R-3F-05	新燃料貯蔵庫	1	-	-	○	-	-	9.2	1	-	-	-	-	-	-	-	1	3	1	-	-	○	-	-	9.2	1	-	-	-	-	1	3						
		2	-	-	○	-	-	17.6	1	-	-	-	-	-	-	-	1		2	-	-	○	-	-	17.6	1	-	-	-	-	1							
		3	-	-	○	-	-	17.1	1	-	-	-	-	-	-	-	1		3	-	-	○	-	-	17.1	1	-	-	-	-	1							
R-3F-06	A-原子炉格納容器H2・O2分析計ラック室	1	-	-	○	-	-	24.1	1	-	-	-	-	-	-	-	1	4	1	-	-	○	-	-	24.1	1	-	-	-	-	1	4						
		2	-	-	○	-	-	18.8	1	-	-	-	-	-	-	-	1		2	-	-	○	-	-	18.8	1	-	-	-	-	1							
		3	-	-	○	-	-	18.8	1	-	-	-	-	-	-	-	1		3	-	-	○	-	-	18.8	1	-	-	-	-	1							
		4	-	-	○	-	-	18.2	1	-	-	-	-	-	-	-	1		4	-	-	○	-	-	18.2	1	-	-	-	-	1							
R-3F-07	SLCポンプ室	1	○	-	○	-	-	11.4	0	-	-	-	-	-	-	-	0	2	1~4同一区画	1	-	-	○	-	-	11.4	1	○	-	-	-	1	8					
		2	○	-	○	-	-	11.9	0	-	-	-	-	-	-	-	0		1~4同一区画	2	-	-	○	-	-	11.9	1	○	-	-	-	1						
		3	○	-	○	-	-	14.7	1	-	-	-	-	-	-	-	1		1~4同一区画	3	-	-	○	-	-	14.7	1	○	-	-	-	1						
		4	○	-	○	-	-	11.8	0	-	-	-	-	-	-	-	0		1~4同一区画	4	-	-	○	-	-	11.8	1	○	-	-	-	1						
		5	○	-	○	-	-	11.4	0	-	-	-	-	-	-	-	0		5~8同一区画	5	-	-	○	-	-	11.4	1	○	-	-	-	1						
		6	○	-	○	-	-	11.9	0	-	-	-	-	-	-	-	0		5~8同一区画	6	-	-	○	-	-	11.9	1	○	-	-	-	1						
		7	○	-	○	-	-	14.7	1	-	-	-	-	-	-	-	1		5~8同一区画	7	-	-	○	-	-	14.7	1	○	-	-	-	1						
		8	○	-	○	-	-	11.2	0	-	-	-	-	-	-	-	0		5~8同一区画	8	-	-	○	-	-	11.2	1	○	-	-	-	1						
R-3F-08	エレベータ機械室	1	-	○	-	-	-	16.1	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	○	-	-	16.1	1	-	-	-	-	1	1							
		1	○	-	○	-	-	12.4	0	-	-	-	-	-	-	-	0		1~3同一区画	1	-	-	○	-	-	12.4	1	-	-	-	-	1						
R-3F-09	FPC熱交換器室	2	○	-	○	-	-	9.1	1	-	-	-	-	-	-	-	1	2	1~3同一区画	2	-	-	○	-	-	9.1	1	-	-	-	-	1	6					
		3	○	-	○	-	-	12.5	0	-	-	-	-	-	-	-	0		1~3同一区画	3	-	-	○	-	-	12.5	1	-	-	-	-	1						
		4	○	-	○	-	-	12.5	0	-	-	-	-	-	-	-	0		4~6同一区画	4	-	-	○	-	-	12.5	1	-	-	-	-	1						
		5	○	-	○	-	-	9.1	1	-	-	-	-	-	-	-	1		4~6同一区画	5	-	-	○	-	-	9.1	1	-	-	-	-	1						
		6	○	-	○	-	-	11.1	0	-	-	-	-	-	-	-	0		4~6同一区画	6	-	-	○	-	-	11.1	1	-	-	-	-	1						
R-3F-10	キャスク除染ビット	ハッチ内であり、感知器の設置に適さない場所かつ可燃物の集積がない場所																ハッチ内であり、感知器の設置に適さない場所かつ可燃物の集積がない場所																				
R-3F-11	CUWフィルタ/フミネ廻りバルブ室	1	○	-	○	-	-	12.1	0	-	-	-	-	-	-	-	0	2	1~3同一区画	1	-	-	○	-	-	12.1	1	○	-	-	-	1	6					
		2	○	-	○	-	-	11.2	1	-	-	-	-	-	-	-	1		1~3同一区画	2	-	-	○	-	-	11.2	1	○	-	-	-	1						
		3	○	-	○	-	-	14.9	0	-	-	-	-	-	-	-	0		4~6同一区画	3	-	-	○	-	-	14.9	1	○	-	-	-	1						
		4	○	-	○	-	-	14.9	0	-	-	-	-	-	-	-	0		4~6同一区画	4	-	-	○	-	-	14.9	1	○	-	-	-	1						
		5	○	-	○	-	-	11.2	1	-	-	-	-	-	-	-	1		4~6同一区画	5	-	-	○	-	-	11.2	1	○	-	-	-	1						
		6	○	-	○	-	-	12.1	0	-	-	-	-	-	-	-	0		4~6同一区画	6	-	-	○	-	-	12.1	1	○	-	-	-	1						
R-3F-12	フィルターエレメント除染室	1	-	-	○	-	-	39.0	1	-	-	-	-	-	-	-	1	3	1	-	-	○	-	-	39.0	2	-	-	-	-	2	6						
		2	-	-	○	-	-	41.6	1	-	-	-	-	-	-	-	1		2	-	-	○	-	-	41.6	2	-	-	-	-	2							
		3	-	-	○	-	-	39.0	1	-	-	-	-	-	-	-	1		3	-	-	○	-	-	39.0	2	-	-	-	-	2							
		1	○	-	○	-	-	10.9	0	-	-	-	-	-	-	-	0		※※1	1	-	-	○	-	-	10.9	1	○	-	-	-	1						
R-3F-13	プリコートタンクポンプ室	2	○	-	○	-	-	9.0	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	※※1	2	-	-	○	-	-	9.0	1	○	○	-	-	1	1	4			
		3	○	-	○	-	-	8.4	0	-	-	-	-	-	-	-	0		※※1	3	-	-	○	-	-	8.4	1	○	-	-	-	-	1	0				
		4	○	-	○	-	-	2.5	0	-	-	-	-	-	-	-	0		※※1	4	-	-	○	-	-	2.5	1	○	○	-	-	-	-	1	0			
		5	-	○	-	-	-	9.2	1	-	-	-	-	-	-	-	1	0		※※1	5	-	-	○	-	-	9.2	1	-	-	-	-	-	-	1	0		
		1	-	-	○	-	-	24.4	1	○	-	-	-	-	-	-	-	1		※※1	1	-	-	○	-	-	24.4	1	○	-	-	-	-	-	1	1		
R-3F-14	3階北側連絡通路	2	-	-	○	-	-	19.3	1	○	-	-	-	-	-	-	1	7	2	-	-	○	-	-	19.3	1	○	-	-	-	-	-	1	1	8			
		3	-	-	○	-	-	19.2	1	○	-	-	-	-	-	-	1		3	-	-	○	-	-	19.2	1	○	-	-	-	-	-	1	1</				

消防法に準拠した火災感知器の配置を示した一覧表（対象：消防法施行規則 第23条第4項に該当する火災感知器）

		煙感知器											熱感知器																				
		<p>○23条第4項 七 煙感知器（光電式分離型感知器を除く。）は、次に定めるところによること。</p> <p>ハ 感知器の下端は、取付け面の下方0.6m以内の位置に設けること。</p> <p>※1 取付け面から0.6m以上突出した梁等により区画</p> <p>ホ 感知器は、廊下、通路、階段及び傾斜路を除く感知区域ごとに、感知器の種類及び取付け面の高さに応じて次の表で定める床面積につき一個以上の個数を、火災を有効に感知するように設けること。</p> <p>※2 取付け面高さ 床面積 4m未満 150m² 4m以上～20m未満 75m²</p> <p>【緩和策：全国消防長会中国支部編集 消防用設備等の技術基準】</p> <p>※3 取付け面から60cm以上1m未満の梁等により小さい感知区域が連続する場合は、定められた範囲内で2つ以上の感知区域を同一感知区域とすることができる。</p> <p>取付け面高さ 床面積 4m以上～8m未満 60m² 8m以上～20m未満 40m²</p> <p>※4 取付け面から60cm以上1m未満の梁等により区画された10m²以下の小区画1つが隣接する場合は、当該小区画も含めて同一感知区域とすることができる。</p> <p>【緩和策：日本火災報知機工業会 自動火災報知設備 工事基準書】</p> <p>※5 段違い部分を含む居室等の幅が6m未満であれば、当該居室等を同一感知区域とすることができる。</p> <p>ハ 感知器は、廊下及び通路にあつては歩行距離三十メートルにつき一個以上の個数を、階段及び傾斜路にあつては垂直距離十五メートルにつき一個以上の個数を、火災を有効に感知するように設けること。</p> <p>上記に記載のない消防法施行規則についても準拠して感知器を設置する。</p>											<p>○23条第4項 三 差動式スポット型、定温式スポット型又は補償式スポット型その他の熱複合式スポット型の感知器は、次に定めるところによること。</p> <p>ロ 感知器は、感知区域（それぞれ壁又は取付け面から0.4m以上突出したはり等によって区画された部分をいう。以下同じ。）ごとに、感知器の種類及び取付け面の高さに応じて次の表で定める床面積につき一個以上の個数を、火災を有効に感知するように設けること。</p> <p>※1 取付け面から0.4m以上突出した梁等により区画</p> <p>※2 取付け面高さ 床面積 4m未満 70m² 4m以上～8m未満 35m²</p> <p>【緩和策：全国消防長会中国支部編集 消防用設備等の技術基準】</p> <p>※3 取付け面から40cm以上1m未満の梁等により小さい感知区域が連続する場合は、15m²以内で2つ以上の感知区域を同一感知区域とすることができる。</p> <p>※4 取付け面から40cm以上1m未満の梁等により区画された5m²以下の小区画1つが隣接する場合は、当該小区画も含めて同一感知区域とすることができる。</p> <p>【緩和策：日本火災報知機工業会 自動火災報知設備 工事基準書】</p> <p>※5 段違い部分を含む居室等の幅が6m未満であれば、当該居室等を同一感知区域とすることができる。</p> <p>【日本火災報知機工業会 自動火災報知設備 工事基準書】</p> <p>細長い居室等の場合 感知器を短辺が3m未満の細長い居室等に設ける場合は、歩行距離13mごとに1個以上設けること。</p> <p>上記に記載のない消防法施行規則についても準拠して感知器を設置する。</p>																				
部屋番号	部屋名称	区画	取付け高さ※2					区画面積 (m ²)	消防法 設置数	緩和策適用					緩和策 適用数	設置数	合計	備考	区画	取付け高さ※2				区画面積 (m ²)	消防法 設置数	緩和策適用			緩和策 適用数	設置数	合計	備考	
			梁高さ 0.6m未満 ※1	4m未満	4m以上 8m未満	8m以上 15m未満	15m以上 20m未満			梁高さ 0.6m以上 1m未満	連続※3 8m未満 <60m ²	隣接※4 8m以上 <40m ²	区画※5 <10m ²	区画※5 6m未満						0.4m以上 1m未満	連続※3 <15m ²	隣接※4 <5m ²	区画※5 6m未満										
R-4F-01	原子炉建物オペレーティングフロア	1	-	-	-	○	-	60.6	1	○	-	-	-	-	-	1	16		1	-	-	-	○	60.6	2	○	-	-	-	-	2	29	
		2	-	-	-	○	-	45.4	1	○	-	-	-	-	-	1			2	-	-	-	○	45.4	2	○	-	-	-	-	2		
		3	-	-	-	○	-	45.4	1	○	-	-	-	-	-	1			3	-	-	-	○	45.4	2	○	-	-	-	-	2		
		4	-	-	-	○	-	45.4	1	○	-	-	-	-	-	1			4	-	-	-	○	45.4	2	○	-	-	-	-	2		
		5	-	-	-	○	-	45.4	1	○	-	-	-	-	-	1			5	-	-	-	○	45.4	2	○	-	-	-	-	2		
		6	-	-	-	○	-	45.4	1	○	-	-	-	-	-	1			6	-	-	-	○	45.4	2	○	-	-	-	-	2		
		7	-	-	-	○	-	45.4	1	○	-	-	-	-	-	1			7	-	-	-	○	45.4	2	○	-	-	-	-	2		
		8	○	-	-	○	-	12.0	0	-	-	-	-	-	-	0		8～12同一区画	8	-	-	-	○	12.0	1	○	-	-	-	-	1		
		9	○	-	-	○	-	11.6	0	-	-	-	-	-	-	0		8～12同一区画	9	-	-	-	○	11.6	1	○	-	-	-	-	1		
		10	○	-	-	○	-	11.6	0	-	-	-	-	-	-	0		8～12同一区画	10	-	-	-	○	11.6	1	○	-	-	-	-	1		
		11	○	-	-	○	-	11.6	1	-	-	-	-	-	-	1		8～12同一区画	11	-	-	-	○	11.6	1	○	-	-	-	-	1		
		12	○	-	-	○	-	13.7	0	○	-	-	-	-	-	0		8～12同一区画	12	-	-	-	○	13.7	1	○	-	-	-	-	1		
		13	-	-	-	○	-	40.8	1	○	-	-	-	-	-	1			13	-	-	-	○	40.8	2	○	-	-	-	-	2		
		14	-	-	-	○	-	32.0	1	○	-	-	-	-	-	1			14	-	-	-	○	32.0	1	○	-	-	-	-	1		
		15	-	-	-	○	-	32.0	1	○	-	-	-	-	-	1			15	-	-	-	○	32.0	1	○	-	-	-	-	1		
		16	-	-	-	○	-	32.0	1	○	-	-	-	-	-	1			16	-	-	-	○	32.0	1	○	-	-	-	-	1		
		17	-	-	-	○	-	32.0	1	○	-	-	-	-	-	1			17	-	-	-	○	32.0	1	○	-	-	-	-	1		
		18	-	-	-	○	-	26.3	1	○	-	-	-	-	-	1			18	-	-	-	○	26.3	1	○	-	-	-	-	1		
		19	-	-	-	○	-	32.0	1	○	-	-	-	-	-	1			19	-	-	-	○	32.0	1	○	-	-	-	-	1		
		20	-	-	-	○	-	41.2	1	○	-	-	-	-	-	1			20	-	-	-	○	41.2	2	○	-	-	-	-	2		
R-4F-02	通路	1	-	○	-	-	-	8.0	1	-	-	-	-	-	1	1	1	-	○	-	-	8.0	1	-	-	-	-	1	1				
R-4F-03	連絡通路	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	2	2				
R-4F-04	電源盤室	1	-	○	-	-	-	12.9	1	-	-	-	-	-	1	1	1	-	○	-	-	12.9	1	-	-	-	-	1	1				
R-4F-05	制御室	1	-	○	-	-	-	12.9	1	-	-	-	-	-	1	1	1	-	○	-	-	12.9	1	-	-	-	-	1	1				
R-4F-06	計算機室	1	-	○	-	-	-	12.9	1	-	-	-	-	-	1	1	1	-	○	-	-	12.9	1	-	-	-	-	1	1				

消防法に準拠した火災感知器の配置を示した一覧表（対象：消防法施行規則 第23条第4項に該当する火災感知器）

		熱感知器											炎感知器									
<p>○23条第4項 三 差動式スポット型、定温式スポット型又は補償式スポット型その他の熱複合式スポット型の感知器は、次に定めるところによること。 □ 感知器は、感知区域（それぞれ壁又は取付け面から0.4m以上突出したはり等によつて区画された部分をいう。以下同じ。）ごとに、感知器の種別及び取付け面の高さに応じて次の表で定める床面積につき一個以上の個数を、火災を有効に感知するように設けること。 ※1 取付け面から0.4m以上突出した梁等により区画 ※2 取付け面高さ 床面積 4m未満 70m² 4m以上～8m未満 35m²</p> <p>【緩和策：全国消防長会中国支部編集 消防用設備等の技術基準】 ※3 取付面から40cm以上1m未満の梁等により小さい感知区域が連続する場合は、15m²以内で2つ以上の感知区域を同一感知区域とすることができる。 ※4 取付面から40cm以上1m未満の梁等により区画された5m²以下の小区画1つが隣接する場合は、当該小区画も含めて同一感知区域とすることができる。 【緩和策：日本火災報知機工業会 自動火災報知設備 工事基準書】 ※5 段違い部分を含む居室等の幅が6m未満であれば、当該居室等を同一感知区域とすることができる。</p> <p>【日本火災報知機工業会 自動火災報知設備 工事基準書】 細長い居室等の場合 感知器を短辺が3m未満の細長い居室等に設ける場合は、歩行距離13mごとに1個以上設けること。 上記に記載のない消防法施行規則についても準拠して感知器を設置する。</p>		<p>○23条第4項 七の四 炎感知器（道路の用に供される部分に設けられるものを除く。）は、次に定めるところによること。 □ 感知器は、壁によつて区画された区域ごとに、当該区域の床面から高さ一・二メートルまでの空間（以下「監視空間」という。）の各部分から当該感知器までの距離が公称監視距離の範囲内となるように設けること。</p>																				
		部屋番号	部屋名称	区画	梁高さ 0.4m未満 ※1	取付け高さ※2			区画面積 (m ²)	消防法 設置数	梁高さ	緩和策適用			緩和策 適用数	設置数	合計	備考	区画	監視範囲 (m)	視野角 (°)	設置数
				4m未満	4m以上 8m未満	8m以上			0.4m以上 1m未満	連続※3 <15m ²	隣接※4 <5m ²	段違い※5 6m未満										
R-B1F-23	HPCS・DG室排気管室	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	3	最上階まで吹抜け	1	45	100	2	4	
		2	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	2		最上階まで吹抜け	2	45	100	2		
R-B1F-24	HPCS給気消音器フィルタ室	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	1	最上階まで吹抜け	1	45	100	2	2	
R-B1F-25	A-給気消音器フィルタ室	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	1	最上階まで吹抜け	1	45	100	1	1	
R-B1F-29	B-給気消音器フィルタ室	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	2	最上階まで吹抜け	1	45	100	1	2	
		2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1		最上階まで吹抜け	2	45	100	1		

消防法に準拠した火災感知器の配置を示した一覧表（対象：消防法施行規則 第23条第4項に該当する火災感知器）

		炎感知器						
		<p>○ 23条第4項 七の四 炎感知器（道路の用に供される部分に設けられるものを除く。）は、次に定めるところによること。</p> <p>□ 感知器は、壁によつて区画された区域ごとに、当該区域の床面から高さ一・二メートルまでの空間（以下「監視空間」という。）の各部分から当該感知器までの距離が公称監視距離の範囲内となるように設けること。</p>						
		部屋番号	部屋名称	区画	監視範囲(m)	視野角(°)	設置数	合計
R-B2F-20	階段室	階段	45	90	2	2		
R-B2F-31	トラス室	1	45	100	34	34		
		2						
		3						
		4						
		5						
		6						
		7						
		8						
		9						
		10						
		11						
		12						
		13						
		14						
		15						
		16						
		17						
		18						

補-3-7-75

消防法に準拠した火災感知器の配置を示した一覧表（対象：消防法施行規則 第23条第4項に該当する火災感知器）

		19				
		20				
		21				
		22				
		23				
		24				
		25				
		26				
		27				
		28				
		29				
		30				
		31				
		32				
		33				
		34				
		35				
		36				
		37				
		38				
		39				
		40				
		41				
R-B2F-31	トラス室	42	45	90		
		43				
		44				
		45				
		46				
		47				
		48				
		49				
		50				
		51				
		52				
		53				
		54				
		55				
		56				
		57				
		58				
		59				
		60				
		61				
		62				
		63				
		64				
		65				

消防法に準拠した火災感知器の配置を示した一覧表（対象：消防法施行規則 第23条第4項に該当する火災感知器）

		66				
		67				
		68				
		69				
		70				
		71				
		72				
		73				
		74				
		75				
		76				
		77				
		78				
		79				
		80				
		81				
		82				
		83				
		84				
		85				
		86				
		87				
		88				
R-B2F-31	トラス室	89	45	90		
		90				
		91				
		92				
		93				
		94				
		95				
		96				
		97				
		98				
		99				
		100				
		101				
		102				
		103				
		104				
		105				
		106				
		107				
		108				
		109				
		110				
		111				
		112				

補-3-7-77

消防法に準拠した火災感知器の配置を示した一覧表（対象：消防法施行規則 第23条第4項に該当する火災感知器）

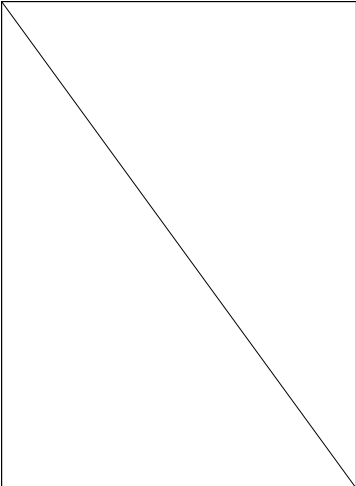
補-3-7-78

R-B2F-31	トラス室	113	45	90			
		114					
		115					
		116					
		117					
		118					
		119					
		120					
		121					
		122					
		123					
		124					
		125					
		126					
		127					
		128					
		129					
		130					
		131					
		132					
		133					
		134					
		135					
		136					
		137					
		138					
		139					
		140					
		141					
		142					
		143					
		144					
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							

消防法に準拠した火災感知器の配置を示した一覧表（対象：消防法施行規則 第23条第4項に該当する火災感知器）

R-B2F-31	トラス室	160	45	90			
		161					
		162					
		163					
		164					
		165					
		166					
		167					
		168					
		169					
		170					
		171					
		172					
		173					
		174					
		175					
		176					
		177					
		178					
		179					
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							

消防法に準拠した火災感知器の配置を示した一覧表（対象：消防法施行規則 第23条第4項に該当する火災感知器）

		炎感知器							
		<p>○ 23条第4項 七の四 炎感知器（道路の用に供される部分に設けられるものを除く。）は、次に定めるところによること。</p> <p>□ 感知器は、壁によつて区画された区域ごとに、当該区域の床面から高さ一・二メートルまでの空間（以下「監視空間」という。）の各部分から当該感知器までの距離が公称監視距離の範囲内となるように設けること。</p>							
		部屋番号	部屋名称	区画	監視範囲 (m)	視野角 (°)	設置数	合計	備考
		R-B1F-09	HPCSポンプ室冷却機室	2	45	90	2	2	
		R-B1F-28	取外し式プラットホーム室	1	45	90	2	2	
R-B1F-31	階段室	階段	45	90	2	2			

補-3-7-80

消防法に準拠した火災感知器の配置を示した一覧表（対象：消防法施行規則 第23条第4項に該当する火災感知器）

		炎感知器					
		<p>○ 23条第4項 七の四 炎感知器（道路の用に供される部分に設けられるものを除く。）は、次に定めるところによること。</p> <p>□ 感知器は、壁によつて区画された区域ごとに、当該区域の床面から高さ一・二メートルまでの空間（以下「監視空間」という。）の各部分から当該感知器までの距離が公称監視距離の範囲内となるように設けること。</p>					
		部屋番号	部屋名称	区画	監視範囲 (m)	視野角 (°)	設置数
R-1F-01	A-事故時サンプリング室	1	45	90	1	3	
		2	45	90	1		
		3	45	90	1		
R-1F-02	PLRポンプMGセット室	4	45	90	1	23	
		6	45	90	2		
		8	45	90	2		
		9	45	90	1		
		11	45	90	1		
		12	45	90	1		
		13	45	90	1		
		14	45	90	1		
		16	45	90	1		
		17	45	90	1		
		18	45	90	1		
		19	45	90	2		
		21	45	90	1		
		22	45	90	1		
		24	45	90	3		
25	45	90	2				
28	45	90	1				

補-3-7-81

消防法に準拠した火災感知器の配置を示した一覧表（対象：消防法施行規則 第23条第4項に該当する火災感知器）

R-1F-07	1階東側PCVペネトレーション室	6	45	90	1	2
		7	45	90	1	
R-1F-09	主蒸気管室	13	45	40	1	2
		14	45	40	1	
R-1F-14	A-RCWポンプ熱交換器室	1	45	90	2	10
		3	45	90	1	
		5	45	90	1	
		7	45	90	1	
		8	45	90	1	
		9	45	90	1	
		11	45	90	1	
R-1F-15	B-RCWポンプ熱交換器室	12	45	90	2	10
		1	45	90	1	
		2	45	90	1	
		6	45	90	2	
		7	45	90	2	
		8	45	90	2	
R-1F-17	CRD保管室	10	45	90	1	5
		14	45	90	1	
		2	45	90	3	
R-1F-22	通路	3	45	90	1	23
		4	45	90	1	
		7	45	90	1	
		9	45	90	2	
		13	45	90	2	
		14	45	90	2	
		15	45	90	1	
		20	45	90	1	
		22	45	90	1	
		27	45	90	1	
		29	45	90	2	
		31	45	90	1	
		32	45	90	2	
		33	45	90	2	
34	45	90	2			
R-1F-24	第2チェックポイント天井裏	37	45	90	1	3
		42	45	90	2	
		2	45	90	1	
		3	45	90	1	
		4	45	90	1	

消防法に準拠した火災感知器の配置を示した一覧表（対象：消防法施行規則 第23条第4項に該当する火災感知器）

		炎感知器						
		<p>○ 23条第4項 七の四 炎感知器（道路の用に供される部分に設けられるものを除く。）は、次に定めるところによること。</p> <p>□ 感知器は、壁によつて区画された区域ごとに、当該区域の床面から高さ一・二メートルまでの空間（以下「監視空間」という。）の各部分から当該感知器までの距離が公称監視距離の範囲内となるように設けること。</p>						
		区画	監視範囲(m)	視野角(°)	設置数	合計	備考	
R-2F-04	A-非常用電気室	2	45	90	1	12		
		3	45	90	1			
		5	45	90	2			
		6	45	90	2			
		7	45	90	1			
		8	45	90	1			
		9	45	90	2			
		10	45	90	1			
		11	45	90	1			
R-2F-05	B-非常用電気室	2	45	90	3	14		
		3	45	90	1			
		6	45	90	1			
		7	45	90	2			
		9	45	90	2			
		10	45	90	3			
		13	45	90	1			
		14	45	90	1			
R-2F-06	A-非常用DG室送風機室	1	45	90	2	4		
		2	45	90	2			

消防法に準拠した火災感知器の配置を示した一覧表（対象：消防法施行規則 第23条第4項に該当する火災感知器）

R-2F-07	B-非常用DG室送風機室	2	45	90	1	4	
		3	45	90	2		
		4	45	90	1		
R-2F-08	原子炉棟排風機室	2	45	90	1	17	
		3	45	90	1		
		4	45	90	1		
		5	45	90	1		
		6	45	90	1		
		7	45	90	1		
		8	45	90	1		
		9	45	90	1		
		20	45	90	1		
		21	45	90	1		
		22	45	90	1		
		23	45	90	1		
		24	45	90	1		
		25	45	90	1		
		26	45	90	1		
		27	45	90	1		
		29	45	90	1		
R-2F-09	A-RHR熱交換器室	1	45	90	1	6	
		5	45	90	2		
		6	45	90	3		
R-2F-10	B-RHR熱交換器室	1	45	90	3	6	
		2	45	90	1		
		6	45	90	2		
R-2F-12	通路	1	45	90	1	3	
		2	45	90	2		
R-2F-13	SRV補修室	4	45	90	1	3	
		5	45	90	1		
		6	45	90	1		
R-2F-16	CUW再生熱交換器室	5	45	90	1	5	
		8	45	90	1		
		9	45	90	1		
		13	45	90	1		
		14	45	90	1		
R-2F-21	原子炉棟送風機室	1	45	90	1	21	
		3	45	90	1		
		5	45	90	1		
		7	45	90	1		
		8	45	90	1		
		9	45	90	1		
		11	45	90	1		
		13	45	90	1		
		14	45	90	1		
		15	45	90	1		
		16	45	90	1		
		17	45	90	1		
		18	45	90	2		
		19	45	90	1		
		20	45	90	1		
		21	45	90	1		
23	45	90	1				
24	45	90	3				
R-2F-22	HPCS-DG室送風機室	1	45	90	2	4	
		2	45	90	2		
R-2F-24	スクラム排出水容器室	2	45	90	1	1	

消防法に準拠した火災感知器の配置を示した一覧表（対象：消防法施行規則 第23条第4項に該当する火災感知器）

T-B1F-18	封水回収ポンプ室	1	-	-	○	-	-	17.5	1	○	○	-	-	-	1	0	15	1,2緩和架	1	-	-	○	-	-	17.5	1	○	-	-	-	-	1	0	27
		2	-	-	○	-	-	19.1	1	○	○	-	-	-	1	1		1,2緩和架	2	-	-	○	-	-	-	-	-	-	1	1				
		3	-	-	○	-	-	20.4	1	○	○	-	-	-	-	1		0	3,4緩和架	3	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	1	0		
		4	-	-	○	-	-	20.4	1	○	○	-	-	-	-	1		1	3,4緩和架	4	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	1	1		
		5	○	-	○	-	-	15.0	1	○	-	-	-	-	-	-		1	5,6同一区画	5	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	1		
		6	○	-	○	-	-	11.8	0	○	-	-	-	-	-	-		0	5,6同一区画	6	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	1		
		7	-	-	○	-	-	50.8	1	○	-	-	-	-	-	-		1	7	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	2			
		8	○	-	○	-	-	29.4	0	○	-	-	-	-	-	-		0	8,9,15,16同一区画	8	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	1		
		9	○	-	○	-	-	19.1	1	○	-	-	-	-	-	-		1	8,9,15,16同一区画	9	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	1		
		10	-	-	○	-	-	26.5	1	○	○	-	-	-	-	1		1	10,11緩和架	10	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	1		
		11	-	-	○	-	-	26.5	1	○	○	-	-	-	-	-		1	0	10,11緩和架	11	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
		12	-	-	○	-	-	29.5	1	○	-	-	-	-	-	-		1	1	12	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	1		
		13	-	-	○	-	-	115.2	2	○	-	-	-	-	-	-		2	13	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	4			
		14	-	-	○	-	-	44.9	1	○	-	-	-	-	-	-		1	14	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	2			
		15	○	-	○	-	-	21.8	1	○	-	-	-	-	-	-		1	8,9,15,16同一区画	15	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	1		
		16	○	-	○	-	-	24.5	0	-	-	-	-	-	-	-		0	8,9,15,16同一区画	16	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	1		
		17	-	-	○	-	-	22.9	1	○	○	-	-	-	-	-		1	0	17,18緩和架	17	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
		18	-	-	○	-	-	26.5	1	○	○	-	-	-	-	-		1	1	17,18緩和架	18	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
		19	-	-	○	-	-	26.7	1	○	○	-	-	-	-	-		1	1	19	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	1		
		20	○	-	○	-	-	22.2	1	○	-	-	-	-	-	-		1	20,21同一区画	20	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	1		
		21	○	-	○	-	-	25.0	0	○	-	-	-	-	-	-		0	20,21同一区画	21	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	1		
		22	-	-	○	-	-	28.6	1	○	-	-	-	-	-	-		1	22	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	1			
T-B1F-19	逆洗水受タンク室	1	○	-	-	-	4.4	0	-	-	-	-	-	-	-	0	1	1~6同一区画	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	感知器 二重化不要箇所
		2	○	-	-	-	7.2	0	-	-	-	-	-	-	-	0		1~6同一区画	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0				
		3	○	-	-	-	7.9	1	-	-	-	-	-	-	-	1		1~6同一区画	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1				
		4	○	-	-	-	5.3	0	-	-	-	-	-	-	-	0		1~6同一区画	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0				
		5	○	-	-	-	11.0	0	-	-	-	-	-	-	-	0		1~6同一区画	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0				
		6	○	-	-	-	3.4	0	-	-	-	-	-	-	-	0		1~6同一区画	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0				
T-B1F-20	RW系バルブ室	1	○	-	○	-	25.6	0	-	-	-	-	-	-	-	0	1	1,2同一区画	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0		
		2	○	-	○	-	31.1	1	-	-	-	-	-	-	-	1		1,2同一区画	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1				
T-B1F-21	階段室	1	-	-	○	-	21.8	1	-	-	-	-	-	-	-	1	2	階段	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
		階段	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		1	階段	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1		
T-B1F-22	RW系配管室	ハッチ内であり、配置空間がなく、感知器を設置するスペースなし															11	1~4同一区画	1	-	-	○	-	-	27.9	1	○	-	-	-	-	-	1	
T-B1F-23	復水系配管室	2	○	○	-	-	31.1	1	-	-	-	-	-	-	-	1		1~4同一区画	2	-	-	○	-	-	31.1	1	○	-	-	-	-	1		
		3	○	○	-	-	34.6	0	○	-	-	-	-	-	-	0		1~4同一区画	3	-	-	○	-	-	34.6	1	○	-	-	-	1			
		4	○	○	-	-	38.8	0	○	-	-	-	-	-	-	0		1~4同一区画	4	-	-	○	-	-	38.8	1	○	-	-	-	1			
		5	○	○	-	-	17.0	0	-	-	-	-	-	-	-	0		5,6同一区画	5	-	-	○	-	-	17.0	1	○	-	-	-	1			
		6	○	○	-	-	25.4	1	-	-	-	-	-	-	-	1		5,6同一区画	6	-	-	○	-	-	25.4	1	○	-	-	-	1			
		7	○	○	-	-	26.8	0	-	-	-	-	-	-	-	0		7,8,14,15同一区画	7	-	-	○	-	-	26.8	1	○	-	-	-	1			
		8	○	○	-	-	29.8	1	○	-	-	-	-	-	-	1		7,8,14,15同一区画	8	-	-	○	-	-	29.8	1	○	-	-	-	1			
		9	-	○	-	-	35.0	1	○	-	-	-	-	-	-	1		1	9	-	-	○	-	-	35.0	1	○	-	-	-	-	1		
		10	-	○	-	-	39.4	1	○	-	-	-	-	-	-	1		1	10	-	-	○	-	-	39.4	1	○	-	-	-	-	1		
		11	-	○	-	-	5.9	1	-	-	-	-	-	-	-	1		1	11	-	-	○	-	-	5.9	1	-	-	-	-	-	1		
		12	-	○	-	-	17.0	1	-	-	-	-	-	-	-	1		1	12	-	-	○	-	-	17.0	1	-	-	-	-	-	1		
		13	-	○	-	-	32.5	1	-	-	-	-	-	-	-	1		1	13	-	-	○	-	-	32.5	1	-	-	-	-	-	1		
		14	○	○	-	-	23.1	0	-	-	-	-	-	-	-	0		7,8,14,15同一区画	14	-	-	○	-	-	23.1	1	○	-	-	-	1			
		15	○	○	-	-	27.6	1	○	-	-	-	-	-	-	1		1	7,8,14,15同一区画	15	-	-	○	-	-	27.6	1	○	-	-	-	1		
		16	-	○	-	-	28.3	1	○	-	-	-	-	-	-	1		1	16	-	-	○	-	-	28.3	1	○	-	-	-	-	1		
		17	-	○	-	-	32.2	1	○	-	-	-	-	-	-	1		1	17	-	-	○	-	-	32.2	1	○	-	-	-	-	1		
		T-B1F-24	復水ポンプ室	1	-	○	-	-	20.9	1	○	-	-	-	-	-	-	1	5	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	○			-	○	-	20.0	0	-	-	-	-	-	-	-	0	2,3同一区画	2		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0				
3	○			-	○	-	20.1	1	-	-	-	-	-	-	-	1	2,3同一区画	3		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1				
4	-			-	○	-	22.8	1	○	-	-	-	-	-	-	1	4	-		-	○	-	-	22.8	1	○	-	-	-	1				
5	-			-	○	-	75.3	2	○	-	-	-	-	-	-	2	5	-		-	○	-	-	75.3	2	○	-	-	-	2				
T-B1F-25	エレベータ	ELV	-	○	-	-	15.6	1	-	-	-	-	-	-	1	1	ELV	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1					
T-B1F-26	復水器室	復水器が設置されており、感知器設置に適さない空間															9	1,2,12,13同一区画	1	-	-	○	-	-	30.9	0	-	-	-	-	-	-	0	
T-B1F-27	海水配管室	2	○	○	-	-	33.2	1	○	-	-	-	-	-	-	1		1,2,12,13同一区画	2	-	-	○	-	-	33.2	1	○	-	-	-	1			
		3	-	○	-	-	44.1	1	○	-	-	-	-	-	-	1		3	-	-	○	-	-	44.1	1	○	-	-	-	1				
		4	-	○	-	-	46.0	1	○	-	-	-	-	-	-	1		4	-	-	○	-	-	46.0	1	○	-	-	-	1				
		5	-	○	-	-	48.6	1	○	-	-	-	-	-	-	1		0	5	-	-	○	-	-	48.6	1	○	-	-	-	1			
		6	-	○	-	-	23.0	1	○	○	-	-	-	-	-	1		0	6,7緩和架	6	-	-	○	-	-	23.0	1	○	-	-	-	1		
		7	-	○	-	-	26.3	1	○	○	-	-	-	-	-	1		1	1	6,7緩和架	7	-	-	○	-	-	26.3	1	○	-	-	-	1	
		8	-	○	-	-	23.4	1	○	-	-	-	-	-	-	1		1	8	-	-	○	-	-	23.4	1	○	-	-	-	-	1		
		9	-	○	-	-	37.8	1	○	-	-	-	-	-	-	1		1	9	-	-	○	-	-	37.8	1	○	-	-	-	-	1		
		10	-	○	-	-	12.5	1	-	-	-	-	-	-	-	1		1	10	-	-	○	-	-	12.5	1	-	-	-	-	-	1		
		11	-	-	○	-	8.1	1	-	-	-	-	-	-	-	1		1	11	-	-	-	○	-	8.1	1	-	-	-	-	-	1		
		12	-	-	○	-	6.7	0	-	-	-	-	-	-	-	0		0	1,2,12,13同一区画	12	-	-	○	-	-	6.7	1	-	-	-	-	-	1	
		13	-	-	○	-	14.3	0	-	-	-	-	-	-	-	0		0	1,2,12,13同一区画	13	-</													

消防法に準拠した火災感知器の配置を示した一覧表（対象：消防法施行規則 第23条第4項に該当する火災感知器）

T-B1F-28	TCW熱交換器室	1	-	-	○	-	-	63.4	1	○	-	-	-	-	-	-	1	9	1	-	-	○	-	63.4	2	○	-	-	-	-	-	2	16	
		2	-	-	○	-	-	74.9	1	○	-	-	-	-	-	-	1		2	-	-	○	-	74.9	3	○	-	-	-	-	3			
		3	-	-	○	-	-	50.4	1	○	-	-	-	-	-	-	1		3	-	-	○	-	50.4	2	○	-	-	-	-	2			
		4	-	-	○	-	-	67.5	1	○	-	-	-	-	-	-	1		4	-	-	○	-	67.5	2	○	-	-	-	-	2			
		5	-	-	○	-	-	65.2	1	○	-	-	-	-	-	-	1		5	-	-	○	-	65.2	2	○	-	-	-	-	2			
		6	-	-	-	○	-	33.2	1	○	-	-	-	-	-	-	1		6	-	-	-	○	33.2	1	○	-	-	-	-	1			
		7	-	-	-	○	-	34.2	1	○	-	-	-	-	-	-	1		7	-	-	-	○	34.2	1	○	-	-	-	-	1			
		8	-	-	-	○	-	51.7	1	○	-	-	-	-	-	-	1		8	-	-	-	○	51.7	2	○	-	-	-	-	2			
		9	-	-	-	○	-	34.5	1	○	-	-	-	-	-	-	1		9	-	-	-	○	34.5	1	○	-	-	-	-	1			
T-B1F-29	逆洗水ポンプ室	1	-	-	○	-	-	22.1	1	○	○	-	-	-	-	1	0	1	1,2緩和架	1	感知器 二重化不要箇所													
T-B1F-30	階段室	2	-	-	○	-	-	34.6	1	○	○	-	-	-	1	1	2	1,2緩和架	2															
T-B1F-31	階段室	階段	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	2	2	階段	2															
T-B1F-32	復水器側復水系配管室	階段	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	1	1	階段	1														
		1	○	○	-	-	-	66.4	1	○	-	-	-	-	-	-	2	1		1														
		2	○	○	-	-	-	71.7	1	○	-	-	-	-	-	-	2	2		2														
		3	-	○	○	-	-	36.7	1	○	-	-	-	-	-	-	1	3		3														
		4	-	○	○	-	-	32.8	1	○	-	-	-	-	-	-	1	4		4														
		5	-	○	○	-	-	42.9	1	○	-	-	-	-	-	-	1	5		5														
		6	-	○	○	-	-	36.2	1	○	-	-	-	-	-	-	1	6		6														
		7	-	○	○	-	-	28.9	1	○	-	-	○	-	-	-	1	0	7,8緩和架	7														
		8	-	○	○	-	-	30.7	1	○	-	-	○	-	-	-	1	1	7,8緩和架	8														
		9	-	○	○	-	-	18.8	1	○	-	-	-	-	-	-	1	9		9														
		10	-	○	○	-	-	10.2	1	○	-	-	○	-	-	-	1	0	10,11緩和架	10														
		11	-	○	○	-	-	31.0	1	○	-	-	○	-	-	-	1	1	10,11緩和架	11														
		12	-	○	○	-	-	24.1	1	○	-	-	○	-	-	-	1	12		12														
		13	-	○	○	-	-	12.8	1	○	-	-	○	-	-	-	1	0	13,14緩和架	13														
		14	-	○	○	-	-	36.3	1	○	-	-	○	-	-	-	1	1	13,14緩和架	14														
		15	-	○	○	-	-	24.2	1	○	-	-	○	-	-	-	1	15		15														
		16	-	○	○	-	-	12.9	1	○	-	-	○	-	-	-	1	0	16,17緩和架	16														
		17	-	○	○	-	-	36.5	1	○	-	-	○	-	-	-	1	1	16,17緩和架	17														
		18	-	○	○	-	-	36.1	1	○	-	-	○	-	-	-	1	18		18														
		19	-	○	○	-	-	38.5	1	○	-	-	○	-	-	-	1	19		19														
		20	-	○	○	-	-	25.5	1	○	-	-	○	-	-	-	1	20		20														
		21	-	○	○	-	-	12.7	1	○	-	-	○	-	-	-	1	0	21,22緩和架	21														
		22	-	○	○	-	-	36.0	1	○	-	-	○	-	-	-	1	1	21,22緩和架	22														
		23	-	○	○	-	-	45.9	1	○	-	-	○	-	-	-	1	23		23														
		24	-	○	○	-	-	50.4	1	○	-	-	○	-	-	-	1	24		24														
		25	-	○	○	-	-	43.7	1	○	-	-	○	-	-	-	1	25		25														
		26	-	○	○	-	-	53.9	1	○	-	-	○	-	-	-	1	26		26														
		27	-	○	○	-	-	44.4	1	○	-	-	○	-	-	-	1	27		27														
		28	-	○	○	-	-	57.6	1	○	-	-	○	-	-	-	1	28		28														
		29	-	○	○	-	-	39.7	1	○	-	-	○	-	-	-	1	29		29														
		30	-	○	○	-	-	39.4	1	○	-	-	○	-	-	-	1	1	30,34緩和架	30														
		31	-	○	○	-	-	24.4	1	○	-	-	○	-	-	-	1	31		31														
		32	-	○	○	-	-	4.5	1	○	-	-	○	-	-	-	1	0	32,33緩和架	32														
		33	-	○	○	-	-	26.2	1	○	-	-	○	-	-	-	1	1	32,33緩和架	33														
		34	-	○	○	-	-	3.8	1	○	-	-	○	-	-	-	1	0	30,34緩和架	34														
		35	-	○	○	-	-	23.4	1	○	-	-	○	-	-	-	1	1	35,36緩和架	35														
36	-	○	○	-	-	5.1	1	○	-	-	○	-	-	-	1	0	35,36緩和架	36																

消防法に準拠した火災感知器の配置を示した一覧表（対象：消防法施行規則 第23条第4項に該当する火災感知器）

		煙感知器												熱感知器																	
		<p>○2 3条第4項 七 煙感知器（光電式分離型感知器を除く。）は、次に定めることによること。 凡 感知器の下部は、取付け面の下部0.6m以内の位置に設けること。 ※1 取付け面が0.6m以上突出した梁等により区画</p> <p>ホ 感知器は、廊下、通路、階段及び傾斜路を除く感知区域に、感知器の種類及び取付け面の高さに応じて次の表で定める床面積につき一個以上の個数を、火災を有効に感知すること。 ※2 取付け高さ 床面積 4m未満 150m² 4m以上～20m未満 75m²</p> <p>【緩和所：全国消防長会中国支部編集 消防用設備等の技術基準】 ※3 取付け面が60cm以上1m未満の梁等により小さい感知区域が連続する場合は、定められた範囲内で2つ以上の感知区域を同一感知区域とすることができる。 取付け高さ 床面積 4m以上～8m未満 60m² 8m以上～20m未満 40m²</p> <p>※4 取付け面が60cm以上1m未満の梁等により区画された10m²以下の小区画1つが隣接する場合は、当該小区画も含めて同一感知区域とすることができる。 【緩和所：日本火災報知機工業会 自動火災報知設備 工事基準書】 ※5 段差の部分を含む居室等の幅が6m未満であれば、当該居室等を同一感知区域とすることができる。</p> <p>ハ 感知器は、廊下及び通路においては歩行距離三十メートルにつき一個以上の個数を、階段及び傾斜路にあつては垂直距離十五メートルにつき一個以上の個数を、火災を有効に感知するように設けること。</p> <p>上記に記載のない消防法施行規則についても準拠して感知器を設置する。</p>												<p>○2 3条第4項 三 差動式スモーク型、定常式スモーク型又は検煙式スモーク型の感知器は、次に定めることによること。 ロ 感知器は、感知区域（それぞれ煙又は取付け面が0.4m以上突出した梁等によつて区画された部分を除く。）ごとに、感知器の種類及び取付け面の高さに応じて次の表で定める床面積につき一個以上の個数を、火災を有効に感知するように設けること。 ※1 取付け面が0.4m以上突出した梁等により区画</p> <p>【緩和所：全国消防長会中国支部編集 消防用設備等の技術基準】 ※3 取付け面が40cm以上1m未満の梁等により小さい感知区域が連続する場合は、15m²以内で2つ以上の感知区域を同一感知区域とすることができる。 ※4 取付け面が40cm以上1m未満の梁等により区画された5m²以下の小区画1つが隣接する場合は、当該小区画も含めて同一感知区域とすることができる。 【緩和所：日本火災報知機工業会 自動火災報知設備 工事基準書】 ※5 段差の部分を含む居室等の幅が6m未満であれば、当該居室等を同一感知区域とすることができる。</p> <p>【日本火災報知機工業会 自動火災報知設備 工事基準書】 煙長い居室等の場合 感知器の短辺が3m未満の煙長い居室等に設ける場合は、歩行距離13mごとに一個以上設けること。</p> <p>上記に記載のない消防法施行規則についても準拠して感知器を設置する。</p>																	
部屋番号	部屋名称	取付け高さ※2					区画面積 (m ²)	消防法設置数	緩和所適用				緩和所適用数	設置数	合計	備考	取付け高さ※2					区画面積 (m ²)	消防法設置数	緩和所適用				緩和所適用数	設置数	合計	備考
		梁高※1 0.6m未満	4m未満	4m以上 8m未満	8m以上 15m未満	15m以上 20m未満			梁高 0.6m以上 1m未満	連続※3 8m未満 <60m ²	階差※4 8m以上 <40m ²	段差※5 <10m ²					6m未満	梁高 0.4m未満	4m未満	4m以上 8m未満	8m以上			梁高 0.4m以上 1m未満	連続※3 <15m ²	階差※4 <5m ²	段差※5 6m未満				
T-1F-01	総脂肪庫庫	1	-	○	-	-	22.6	1	○	-	-	-	-	1	2		1	-	○	-	-	10.0	1	○	-	-	○	1	1		
T-1F-02	作業着更衣室	2	-	○	-	-	26.6	1	○	-	-	-	-	1		2	-	○	-	-	17.1	1	○	-	-	○	1	1			
		3	-	○	-	-	43.8	1	○	-	-	-	-	1		3	-	○	-	-	19.1	1	○	-	-	-	-	1			
		4	-	○	-	-	10.6	1	○	-	-	-	-	1		4	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1		
		5	○	○	-	-	40.6	1	○	-	-	-	-	1		5	○	○	-	-	17.3	1	○	-	-	-	-	-	1		
		6	-	○	-	-	28.6	1	○	-	-	-	-	1		6	-	○	-	-	9.3	1	○	-	-	-	-	-	1		
		7	-	○	-	-	33.5	0	○	-	-	-	-	-	1		7	-	○	-	-	5.5	0	-	-	-	-	-	-	1	
		8	-	○	-	-	42.7	1	○	-	-	-	-	-	1		8	-	○	-	-	43.9	1	○	-	-	-	-	-	1	
		9	○	○	-	-	30.0	1	○	○	-	-	-	-	1	1	9	○	○	-	-	14.0	1	○	-	-	-	-	-	1	
		10	-	○	-	-	32.1	1	○	-	-	-	-	-	1		10	-	○	-	-	10.6	1	○	-	-	-	-	-	1	
		11	-	○	-	-	36.8	1	○	-	-	-	-	-	1		11	-	○	-	-	10.3	1	○	-	-	-	-	-	1	
		12	-	○	-	-	6.2	1	○	○	-	-	-	-	1	0	12	-	○	-	-	26.4	1	○	○	-	-	-	-	1	1
		13	-	○	-	-	6.6	0	○	-	-	-	-	-	0	0	13	-	○	-	-	37.6	1	○	-	-	-	-	-	1	
		14	-	○	-	-	9.2	1	○	○	-	-	-	-	1	0	14	-	○	-	-	60.8	1	-	-	-	-	-	-	1	1
		15	-	○	-	-	16.3	1	○	○	-	-	-	-	1	1	15	-	○	-	-	66.6	1	-	-	-	-	-	-	1	1
16	-	○	-	-	17.4	1	○	-	-	-	-	-	1	1	16	-	○	-	-	64.6	1	-	-	-	-	-	-	1	1		
17	感知器 二重化不要箇所	18	-	○	-	-	21.4	1	○	○	-	-	-	1	1	17	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1		
19	感知器 二重化不要箇所	20	-	○	-	-	9.3	1	○	○	-	-	-	1	0	18	21.4	感知器 二重化不要箇所	19	-	○	-	-	4.8	1	○	-	-	○	1	0
21	感知器 二重化不要箇所	21	-	○	-	-	9.3	1	○	○	-	-	-	1	0	20	-	○	-	-	7.1	1	○	-	-	○	1	0			
T-1F-03	シャワー室	1	感知器 二重化不要箇所	2	結露の発生する場所	3	結露の発生する場所	4	感知器 二重化不要箇所	1	-	○	-	-	5.1	1	○	-	-	-	-	-	-	-	-	1					
T-1F-04	トイレ	1	-	○	-	-	32.5	1	-	-	-	-	-	1	1	2	-	○	-	-	11.7	1	○	-	-	-	-	1			
T-1F-05	復水系配管室	2	-	○	-	-	9.9	1	○	-	-	-	-	1	0	3	3.4,5同一区画	3	○	○	-	-	17.3	1	○	-	-	-	-	1	2
		3	○	○	-	-	42.8	1	○	-	-	-	-	1	1	4	○	○	-	-	9.3	1	○	-	-	-	-	-	1	3,4同一区画	
		4	○	○	-	-	17.3	1	○	-	-	-	-	-	1		5	○	○	-	-	5.5	0	-	-	-	-	-	-	1	0
		5	○	○	-	-	9.3	0	-	-	-	-	-	-	0		6	3.4,5同一区画	6	感知器 二重化不要箇所											
		6	○	○	-	-	5.5	0	-	-	-	-	-	-	1	0	7	3.4,5同一区画	7	感知器 二重化不要箇所											
T-1F-08	復水ろ過脱塩器エレメント分解室	1	○	-	○	-	145.0	2	-	-	-	-	-	3	3	1	-	○	-	-	14.0	1	○	-	-	-	-	1			
T-1F-09	復水脱塩装置制御室	1	-	○	-	-	33.0	1	○	-	-	-	-	1	2	2	-	○	-	-	10.6	1	○	-	-	-	-	1			
T-1F-10	SILケーブルダクト室外	1	-	○	-	-	43.9	1	○	-	-	-	-	1	2	3	-	○	-	-	10.3	1	○	-	-	-	-	1	3		
T-1F-11	OPケーブルダクト室外	2	-	○	-	-	14.0	1	○	○	-	-	-	0	1	4	-	○	-	-	26.4	1	○	○	-	-	-	1	1		
		3	-	○	-	-	10.6	1	○	○	-	-	-	1	1	5	-	○	-	-	37.6	1	○	-	-	-	-	1			
		4	-	○	-	-	10.3	0	○	○	-	-	-	-	1	0	6	3.4緩和和	6	3.4緩和和											
		5	-	○	-	-	31.9	1	○	-	-	-	-	-	1		7	3.4緩和和	7	感知器 二重化不要箇所											
		6	-	○	-	-	35.2	1	○	-	-	-	-	-	1		8	3.4緩和和	8	感知器 二重化不要箇所											
T-1F-12	復水脱塩装置C/室	1	-	-	○	-	60.8	1	-	-	-	-	-	1	1	9	3.4緩和和	9	感知器 二重化不要箇所												
T-1F-13	工具室	1	-	○	-	-	66.6	1	-	-	-	-	-	1	1	10	3.4緩和和	10	感知器 二重化不要箇所												
T-1F-14	工具室	1	-	○	-	-	64.6	1	-	-	-	-	-	1	1	11	3.4緩和和	11	感知器 二重化不要箇所												

消防法に準拠した火災感知器の配置を示した一覧表（対象：消防法施行規則 第23条第4項に該当する火災感知器）

		1	-	-	○	-	-	39.2	1	-	-	-	-	-	-	1		1		
		2	-	-	○	-	-	41.4	1	-	-	-	-	-	-	1		2		
		3	-	-	○	-	-	27.5	1	○	-	-	-	-	-	1		3		
		4	-	-	○	-	-	53.0	1	○	-	-	-	-	-	1		4		
		5	-	-	○	-	-	22.9	1	○	○	-	-	-	-	1	0	5,6緩和策	5	
		6	-	-	○	-	-	30.9	1	○	○	-	-	-	-	1	1	5,6緩和策	6	
		7	-	-	○	-	-	54.0	1	-	-	-	-	-	-	-	1		7	
		8	○	-	○	-	-	29.8	0	○	-	-	-	-	-	-	1	8,10,14同一区画	8	
		9	○	-	○	-	-	21.8	1	○	-	-	-	-	-	-	1		9	
		10	○	-	○	-	-	44.6	0	-	-	-	-	-	-	-	1	8,10,14同一区画	10	
		11	○	-	○	-	-	89.1	2	-	-	-	-	-	-	-	2	28	感知器 二重化不要箇所	11
		12	-	-	○	-	-	51.0	1	-	-	-	-	-	-	-	1		12	
		13	-	-	○	-	-	54.0	1	-	-	-	-	-	-	-	1		13	
		14	○	-	○	-	-	25.4	1	○	-	-	-	-	-	-	1	8,10,14同一区画	14	
		15	-	-	○	-	-	50.8	1	-	-	-	-	-	-	-	1		15	
		16	○	-	○	-	-	444.2	6	○	-	-	○	-	-	1	9	16,21緩和策	16	
		17	-	-	○	-	-	56.8	1	○	-	-	-	-	-	-	1		17	
		18	-	-	○	-	-	66.0	1	-	-	-	-	-	-	-	1		18	
		19	○	-	○	-	-	37.1	1	○	-	-	-	-	-	-	1	19,20同一区画	19	
		20	○	-	○	-	-	40.2	1	-	-	-	-	-	-	-	1	19,20同一区画	20	
		21	-	-	○	-	-	2.3	1	○	-	-	○	-	-	1	0	16,21緩和策	21	
T-M1F-01	北側出入口	1	-	-	○	-	-	52.7	1	-	-	-	-	-	-	2	2		1	感知器 二重化不要箇所
T-M1F-02	北側出入口警備室	1	-	-	○	-	-	3.8	1	-	-	-	-	-	-	1	1		1	

消防法に準拠した火災感知器の配置を示した一覧表（対象：消防法施行規則 第23条第4項に該当する火災感知器）

T-3F-02	タービン室	48	=	=	=	○	=	12.3	1	○	=	○	=	=	2	0	36	48,49,50緩和策	48	
		49	=	=	=	○	=	11.6	1	○	=	○	=	=	2	1		48,49,50緩和策	49	
		50	=	=	=	○	=	7.7	1	○	=	○	=	=	2	0		48,49,50緩和策	50	
		51	○	=	=	=	=	10.5	0	○	=	=	=	=	=	0		0	51,52,53同一区画	51
		52	○	=	=	=	=	10.5	1	○	=	=	=	=	=	=		1	0	51,52,53同一区画
T-3F-03	常用電気室送風機室	53	○	=	=	=	=	16.3	0	○	=	=	=	=	=	0	0	51,52,53同一区画	53	
		1	○	=	=	=	=	55.9	1	○	=	=	=	=	=	1	1			
		2	○	=	=	=	=	20.1	1	○	=	=	=	=	=	=	1	1		
T-3F-04	T/B送風機室	3	=	=	=	=	=	72.5	1	○	=	=	=	=	=	1	1			
		2	○	=	=	=	=	77.4	2	○	=	=	=	=	=	2	3			
		1	=	=	=	=	=	53.9	1	○	=	=	=	=	=	1	1			
T-3F-05	A-T/B排気処理装置室	1	=	=	=	○	=	78.8	2	○	=	=	=	=	=	2	1			
		2	=	=	=	○	=	33.8	1	○	=	=	=	=	=	1	5			
		3	=	=	=	○	=	39.7	1	○	=	=	=	=	=	2	2			
T-3F-06	B-T/B排気処理装置室	1	=	=	=	○	=	75.9	2	○	=	=	=	=	=	2	1			
		2	=	=	=	○	=	32.5	1	○	=	=	=	=	=	1	4			
		3	=	=	=	○	=	38.2	1	○	=	=	=	=	=	1	2			
T-3F-07	C-T/B排気処理装置室	1	=	=	=	○	=	79.4	2	○	=	=	=	=	=	2	1			
		2	=	=	=	○	=	34.0	1	○	=	=	=	=	=	1	5			
		3	=	=	=	○	=	39.9	1	○	=	=	=	=	=	2	2			
T-3F-08	T/B空調制御室	1	=	=	=	○	=	73.3	1	○	=	=	=	=	=	1	3			
		2	=	=	=	○	=	68.1	1	○	=	=	=	=	=	1	2			
		3	=	○	=	=	=	58.0	1	○	=	=	=	=	=	1	3			
T-3F-09	T/Bガストサブラ室	1	=	○	=	=	=	33.0	1	○	=	=	=	=	=	1	2			
		2	=	○	=	=	=	30.6	1	○	=	=	=	=	=	1	2			
T-3F-10	工具室	1	=	○	=	=	=	51.5	1	○	=	=	=	=	=	1	1			
T-3F-11	タービン室	1	=	○	=	=	=	23.2	1	○	=	=	=	=	=	1	1			
T-3F-12	工具室	1	=	=	○	=	=	63.6	1	○	=	=	=	=	=	1	1			
T-3F-13	工具室	1	=	=	○	=	=	51.5	1	○	=	=	=	=	=	1	1			
		2	=	=	○	=	=	24.3	1	○	=	=	=	=	=	1	2			

感知器 二重化不要箇所

消防法に準拠した火災感知器の配置を示した一覧表（対象：消防法施行規則 第23条第4項に該当する火災感知器）

		煙感知器											熱感知器																												
		<p>○23条第4項 七 煙感知器（光電式分離型感知器を除く。）は、次に定めることによること。 八 感知器の下端は、取付け面の下方0.6m以内の位置に設けること。 ※1 取付け面から0.6m以上突出した梁等より区画</p> <p>ホ 感知器は、廊下、通路、階段及び傾斜路を除く感知区域ごとに、感知器の種類及び取付け面の高さに応じて次の表で定める床面積につき一個以上の個数を、火災を有効に感知するように設けること。 ※2 取付け面高さ 床面積 4m未満 150m² 4m以上～20m未満 75m²</p> <p>【緩和策：全国消防協会中国支部編集 消防用設備等の技術基準】 ※3 取付け面から50cm以上1m未満の梁等より小さい感知区域が連続する場合は、定められた範囲内で2つ以上の感知区域を同一感知区域とすることができる。 取付け面高さ 床面積 4m以上～8m未満 60m² 8m以上～20m未満 40m²</p> <p>※4 取付け面から50cm以上1m未満の梁等により区画された10m²以下の小区画1つが隣接する場合は、当該小区画も含めて同一感知区域とすることができる。 【緩和策：日本火災報知機工業会 自動火災報知設備 工事基準書】 ※5 段違い部分を含む居室等の幅が6m未満であれば、当該居室等を同一感知区域とすることができる。</p> <p>ハ 感知器は、廊下及び通路にあつては歩行距離三十メートルにつき一個以上の個数を、階段及び傾斜路にあつては垂直距離十五メートルにつき一個以上の個数を、火災を有効に感知するように設けること。</p> <p>上記に記載のない消防法施行規則についても準拠して感知器を設置する。</p>											<p>○23条第4項 三 差動式スポット型、定温式スポット型又は補償式スポット型その他の熱複合式スポット型の感知器は、次に定めることによること。 ロ 感知器は、感知区域（それぞれ幅又は取付け面から0.4m以上突出したはり等によって区画された部分を除く。）ごとに、感知器の種類及び取付け面の高さに応じて次の表で定める床面積につき一個以上の個数を、火災を有効に感知するように設けること。 ※1 取付け面から0.4m以上突出した梁等より区画 ※2 取付け面高さ 床面積 4m未満 70m² 4m以上～8m未満 35m²</p> <p>【緩和策：全国消防協会中国支部編集 消防用設備等の技術基準】 ※3 取付け面から40cm以上1m未満の梁等より小さい感知区域が連続する場合は、15m²以内で2つ以上の感知区域を同一感知区域とすることができる。 ※4 取付け面から40cm以上1m未満の梁等により区画された5m²以下の小区画1つが隣接する場合は、当該小区画も含めて同一感知区域とすることができる。 【緩和策：日本火災報知機工業会 自動火災報知設備 工事基準書】 ※5 段違い部分を含む居室等の幅が6m未満であれば、当該居室等を同一感知区域とすることができる。</p> <p>【日本火災報知機工業会 自動火災報知設備 工事基準書】 細長い居室等の場合 感知器を短辺が3m未満の細長い居室等に設ける場合は、歩行距離13mごとに1個以上設けること。</p> <p>上記に記載のない消防法施行規則についても準拠して感知器を設置する。</p>																												
部屋番号	部屋名称	区画	梁高さ 0.6m未満 ※1	取付け高さ※2				区画面積 (m ²)	消防法 設置数	梁高さ 0.6m以上 1m未満	緩和策適用				緩和策 適用数	設置数	合計	備考	区画	梁高さ 0.4m未満 ※1	取付け高さ※2			区画面積 (m ²)	消防法 設置数	梁高さ 0.4m以上 1m未満	緩和策適用			緩和策 適用数	設置数	合計	備考								
				4m未満	4m以上 8m未満	8m以上 15m未満	15m以上 20m未満				連続※3	隣接※4	段違い※5								4m未満	4m以上 8m未満	8m以上				<15m ²	<5m ²	6m未満												
T-4F-01	T/B外気処理装置室	1	-	-	-	0	-	77.4	2	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3																				
		2	-	-	-	0	-	71.6	1	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3																			
T-4F-02	T/B送風機室	1	0	-	-	0	-	24.2	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	3	1~4同一区画	1																	
		2	0	-	-	0	-	16.4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	1~4同一区画	2																	
		3	0	-	-	0	-	16.4	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	3	1~4同一区画	3																	
		4	0	-	-	0	-	23.1	1	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	1~4同一区画	4																	
		5	0	-	-	0	-	23.1	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	3	5~8同一区画	5																	
		6	0	-	-	0	-	16.4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	5~8同一区画	6																	
		7	0	-	-	0	-	16.4	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	3	5~8同一区画	7																	
		8	0	-	-	0	-	16.4	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	3	5~8同一区画	8																	
T-4F-03	工具室	1	0	-	-	0	-	29.1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	1,2同一区画	1																		
		2	0	-	-	0	-	70.9	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	1,2同一区画	2																		
T-4F-04	T/B排気室	1	0	-	-	0	-	25.0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	11	1,4,5,9同一区画	1																		
		2	0	-	-	0	-	29.9	1	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	11	2,6,10同一区画	2																		
		3	0	-	-	0	-	24.7	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	11	3,7,8,11同一区画	3																		
		4	0	-	-	0	-	17.2	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	11	1,4,5,9同一区画	4																		
		5	0	-	-	0	-	17.2	2	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	11	1,4,5,9同一区画	5																		
		6	0	-	-	0	-	22.8	1	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	11	2,6,10同一区画	6																		
		7	0	-	-	0	-	17.0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	11	3,7,8,11同一区画	7																		
		8	0	-	-	0	-	17.0	2	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	11	3,7,8,11同一区画	8																		
		9	0	-	-	0	-	23.9	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	11	1,4,5,9同一区画	9																		
		10	0	-	-	0	-	28.9	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	11	2,6,10同一区画	10																		
		11	0	-	-	0	-	23.6	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	11	3,7,8,11同一区画	11																		
		12	0	-	-	0	-	23.9	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	11	12,15,18,20同一区画	12																		
		13	0	-	-	0	-	28.9	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	11	13,16,21同一区画	13																		
		14	0	-	-	0	-	23.6	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	11	14,17,19,22同一区画	14																		
		15	0	-	-	0	-	13.1	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	11	12,15,18,20同一区画	15																		
		16	0	-	-	0	-	19.4	1	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	11	13,16,21同一区画	16																		
		17	0	-	-	0	-	12.0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	11	14,17,19,22同一区画	17																		
		18	0	-	-	0	-	17.8	1	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	11	12,15,18,20同一区画	18																		
		19	0	-	-	0	-	17.5	1	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	11	14,17,19,22同一区画	19																		
		20	0	-	-	0	-	17.1	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	11	12,15,18,20同一区画	20																		
		21	0	-	-	0	-	22.5	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	11	13,16,21同一区画	21																		
		22	0	-	-	0	-	17.0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	11	14,17,19,22同一区画	22																		
T-4F-05	タービン室移送送風機室	1	0	-	-	0	-	27.9	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	3	1,23同一区画	1																			
		2	0	-	-	0	-	20.8	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	1,23同一区画	2																			
		3	0	-	-	0	-	26.9	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	0	3	1,23同一区画	3																			
		4	0	-	-	0	-	26.9	1	0	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	4,5,6同一区画	4																			
		5	0	-	-	0	-	20.8	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	3	4,5,6同一区画	5																		
		6	0	-	-	0	-	20.6	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	3	4,5,6同一区画	6																		

消防法に準拠した火災感知器の配置を示した一覧表（対象：消防法施行規則 第23条第4項に該当する火災感知器）

		炎感知器					
		<p>○23条第4項 七の四 炎感知器（道路の用に供される部分に設けられるものを除く。）は、次に定めるところによること。</p> <p>□ 感知器は、壁によつて区画された区域ごとに、当該区域の床面から高さ一・二メートルまでの空間（以下「監視空間」という。）の各部分から当該感知器までの距離が公称監視距離の範囲内となるように設けること。</p>					
		部屋番号	部屋名称	区画	監視範囲 (m)	視野角 (°)	設置数
T-B1F-27	海水配管室	10	-	40	2	3	
		11	-	40	1		
		6	-	40	1		
T-B1F-28	TCW熱交換器室	7	-	40	1	6	
		8	-	40	2		
		9	-	40	2		

消防法に準拠した火災感知器の配置を示した一覧表（対象：消防法施行規則 第23条第4項に該当する火災感知器）

		煙感知器										熱感知器																										
		<p>○23条第4項 七 煙感知器（光電式分離型感知器を除く。）は、次に定めるところによること。</p> <p>ハ 感知器の下部は、取付け面の下方0.6m以内の位置に設けること。</p> <p>※1 取付け面が0.6m以上突出した梁等により区画</p> <p>ホ 感知器は、廊下、通路、階段及び斜路を除く感知区域ごとに、感知器の種類及び取付け面の高さに応じて次の表で定める床面積につき一個以上の個数を、火災を有効に感知するように設けること。</p> <p>※2 取付け面高さ 床面積 4m未満 150m² 4m以上～20m未満 75m²</p> <p>【緩和策：全国消防長会中国支部編集 消防用設備等の技術基準】</p> <p>※3 取付け面が60cm以上1m未満の梁等により小さい感知区域が連続する場合は、定められた範囲内で2つ以上の感知区域を同一感知区域とすることができる。</p> <p>取付け面高さ 床面積 4m以上～8m未満 60m² 8m以上～20m未満 40m²</p> <p>※4 取付け面が60cm以上1m未満の梁等により区画された10m²以下の小区画1つが隣接する場合は、当該小区画も含めて同一感知区域とすることができる。</p> <p>【緩和策：日本火災報知機工業会 自動火災報知設備 工事基準書】</p> <p>※5 段違い部分を含む居室等の幅が6m未満であれば、当該居室等を同一感知区域とすることができる。</p> <p>ハ 感知器は、廊下及び通路にあつては歩行距離三十メートルにつき一個以上の個数を、階段及び斜路にあつては垂直距離十五メートルにつき一個以上の個数を、火災を有効に感知するよう設けること。</p> <p>上記に記載のない消防法施行規則についても準拠して感知器を設置する。</p>										<p>○23条第4項 三 差動式スポット型、定置式スポット型又は複備式スポット型の熱感知器は、次に定めるところによること。</p> <p>ロ 感知器は、感知区域（それぞれ又は取付け面から0.4m以上突出した梁等によって区画された部分を除く。）ごとに、感知器の種類及び取付け面の高さに応じて次の表で定める床面積につき一個以上の個数を、火災を有効に感知するように設けること。</p> <p>※1 取付け面が0.4m以上突出した梁等により区画</p> <p>※2 取付け面高さ 床面積 4m未満 70m² 4m以上～8m未満 35m²</p> <p>【緩和策：全国消防長会中国支部編集 消防用設備等の技術基準】</p> <p>※3 取付け面から40cm以上1m未満の梁等により小さい感知区域が連続する場合は、15m²以内で2つ以上の感知区域を同一感知区域とすることができる。</p> <p>※4 取付け面から40cm以上1m未満の梁等により区画された5m²以下の小区画1つが隣接する場合は、当該小区画も含めて同一感知区域とすることができる。</p> <p>【緩和策：日本火災報知機工業会 自動火災報知設備 工事基準書】</p> <p>※5 段違い部分を含む居室等の幅が6m未満であれば、当該居室等を同一感知区域とすることができる。</p> <p>【日本火災報知機工業会 自動火災報知設備 工事基準書】</p> <p>細長い居室等の場合 感知器を短辺が3m未満の細長い居室等に設ける場合は、歩行距離13mごとに1個以上設けること。</p> <p>上記に記載のない消防法施行規則についても準拠して感知器を設置する。</p>																										
部屋番号	部屋名称	区画	梁高さ 0.6m未満 ※1	取付け高さ※2			区画面積 (m ²)	消防法 設置数	梁高さ 0.6m以上 1m未満	緩和策適用			緩和策 適用数	設置数	合計	備考	区画	梁高さ 0.4m未満 ※1	取付け高さ※2			区画面積 (m ²)	消防法 設置数	梁高さ 0.4m以上 1m未満	緩和策適用			緩和策 適用数	設置数	合計	備考							
				4m未満	4m以上 8m未満	8m以上 15m未満	15m以上 20m未満			通過※3 8m未満 <60m ²	階段※4 8m以上 <40m ²	段違い※5 <10m ²	6m未満						4m未満	4m以上 8m未満	8m以上				通過※3 <15m ²	階段※4 <5m ²	段違い※5 6m未満											
RW-B2F-01	A-復水スラッジ分離タンク室	1	○	—	—	—	—	16.3	1	—	—	—	—	—	1	2	1~6同一区画	1																				
		2	○	—	—	○	—	16.8	0	—	—	—	—	—	—	0		1~6同一区画	2																			
		3	○	—	—	—	○	20.2	0	—	—	—	—	—	—	0		1~6同一区画	3																			
		4	○	—	—	—	—	16.6	0	—	—	—	—	—	—	0		1~6同一区画	4																			
		5	○	—	—	—	—	12.3	1	—	—	—	—	—	—	1		1~6同一区画	5																			
		6	○	—	—	—	—	14.0	0	—	—	—	—	—	—	0		1~6同一区画	6																			
RW-B2F-02	B-復水スラッジ分離タンク室	1	○	—	—	—	—	15.9	0	—	—	—	—	—	0		1~5同一区画	1																				
		2	○	—	—	—	—	11.3	0	—	—	—	—	—	0		1~5同一区画	2																				
		3	○	—	—	—	—	16.3	0	—	—	—	—	—	0		1~5同一区画	3																				
		4	○	—	—	—	—	11.8	0	—	—	—	—	—	0		1~5同一区画	4																				
		5	○	—	—	—	—	13.5	1	—	—	—	—	—	1		1~5同一区画	5																				
		6	○	—	—	—	—	10.7	1	—	—	—	—	—	1		1~5同一区画	6																				
RW-B2F-03	機器ドレンスラッジ分離タンク室	1	○	—	—	—	—	12.5	0	—	—	—	—	—	0		1~5同一区画	1																				
		2	○	—	—	—	—	14.6	0	—	—	—	—	—	0		1~5同一区画	2																				
		3	○	—	—	—	—	14.6	0	—	—	—	—	—	0		1~5同一区画	3																				
		4	○	—	—	—	—	14.6	0	—	—	—	—	—	0		1~5同一区画	4																				
		5	○	—	—	—	—	16.4	0	—	—	—	—	—	0		1~5同一区画	5																				
		6	○	—	—	—	—	25.7	1	—	—	—	—	—	1		1~5同一区画	6																				
RW-B2F-04	北側ポンプ室	1	—	—	○	—	—	29.3	1	—	—	—	—	—	1	2																						
		2	—	—	○	—	—	23.3	1	○	○	—	—	—	1	1	1~3緩和策	1																				
RW-B2F-05	北側配管室	1	—	—	○	—	—	15.8	1	○	○	—	—	—	1	1	1~3緩和策	1																				
		2	—	—	○	—	—	17.6	1	○	○	—	—	—	1	0	1~3緩和策	2																				
RW-B2F-06	東側配管室	1	—	○	—	—	10.6	1	—	—	—	—	—	—	1	1																						
RW-B2F-07	東側配管室	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—																						
RW-B2F-08	A-RW/Bダストモニタ室	1	—	—	○	—	—	19.8	1	—	—	—	—	—	1	2																						
RW-B2F-09	復水スラッジポンプ室	1	—	—	○	—	—	11.1	1	—	—	—	—	—	1	2																						
		2	—	—	○	—	—	51.0	1	○	○	—	—	—	—	1	2																					
RW-B2F-10	モニタ校正室	1	—	—	○	—	—	16.8	1	○	○	—	—	—	1	1	1,2緩和策	1																				
		2	—	—	○	—	—	29.8	1	○	○	—	—	—	1	1	1,2緩和策	2																				
RW-B2F-11	モニタ操作室	1	—	—	○	—	—	20.1	1	—	—	—	—	—	1	1																						
RW-B2F-12	ろ過脱塩装置サンプリング室	1	—	—	○	—	—	17.3	1	—	—	—	—	—	1	1																						
RW-B2F-13	機器ドレンろ過脱塩装置逆洗水受タンク室	1	—	—	○	—	—	20.0	1	—	—	—	—	—	1	1																						
RW-B2F-14	機器ドレンろ過脱塩装置逆洗水ポンプ室	1	—	—	○	—	—	14.6	1	—	—	—	—	—	1	1																						
RW-B2F-15	処理水タンク室	1	—	—	—	○	—	30.0	1	○	○	—	—	—	1	2																						
		2	—	—	—	○	—	30.0	1	○	○	—	—	—	1	2																						
RW-B2F-16	ランドリドレンタンク室	1	—	—	—	○	—	53.2	1	—	—	—	—	—	1	1																						
RW-B2F-17	濃縮廃液ポンプ室	1	—	—	○	—	—	41.4	1	—	—	—	—	—	1	2																						
		2	—	—	○	—	—	43.7	1	—	—	—	—	—	1	2																						
RW-B2F-18	A-濃縮廃液タンク室																																					
RW-B2F-19	B-濃縮廃液タンク室																																					
RW-B2F-20	C-濃縮廃液タンク室																																					
RW-B2F-21	サンプリング室	1	—	—	○	—	—	61.0	1	—	—	—	—	—	2	2																						

消防法に準拠した火災感知器の配置を示した一覧表（対象：消防法施行規則 第23条第4項に該当する火災感知器）

RW-B2F-22	機器ドレン処理水タンク室	1	○	-	-	○	-	31.1	1	-	-	-	-	-	-	1	2	2,3同一区画	1	
		2	○	-	-	○	-	13.9	1	-	-	-	-	-	-	-		1	2	
		3	○	-	-	○	-	11.6	0	-	-	-	-	-	-	0		3		
RW-B2F-23	原子炉浄化スラッジ貯蔵タンク室	高線量区域のため設置・メンテナンス困難																		
RW-B2F-24	南側ポンプ室	1	-	-	○	-	-	64.8	1	-	-	-	-	-	-	1	3		1	
		2	-	-	○	-	-	33.4	1	○	-	-	-	-	-	1		2		
		3	-	-	○	-	-	30.4	1	○	-	-	-	-	-	1		3		
RW-B2F-25	濃縮廃液系サンプリング室	1	-	-	○	-	-	28.1	1	-	-	-	-	-	-	1	1	1		
RW-B2F-26	化学廃液タンク室	1	○	-	-	○	-	6.0	0	○	-	-	-	-	-	0	2	1,2同一区画	1	
		2	○	-	-	○	-	8.1	1	○	-	-	-	-	-	1		2		
		3	○	-	-	○	-	11.1	1	○	-	-	-	-	-	0		3		
		4	○	-	-	○	-	9.0	0	○	-	-	-	-	-	1		4		
		5	○	-	-	○	-	7.8	0	○	-	-	-	-	-	0		5		
RW-B2F-27	化学廃液ポンプ室	1	-	○	-	-	-	26.8	1	○	-	-	-	-	-	1	4		1	
		2	-	○	-	-	-	24.8	1	-	-	-	-	-	-	1		2		
		3	○	○	-	-	-	12.3	0	-	○	-	-	-	-	1		0	※※1	3
		4	○	○	-	-	-	3.2	0	-	○	-	-	-	-	1		0	※※1	4
		5	○	○	-	-	-	3.2	1	-	○	-	-	-	-	1		1	※※1	5
		6	○	○	-	-	-	3.2	0	-	○	-	-	-	-	1		0	※※1	6
		7	○	○	-	-	-	4.5	0	○	○	-	-	-	-	1		0	※※1	7
		8	○	○	-	-	-	4.0	0	○	○	-	-	-	-	1		0	※※1	8
		9	○	○	-	-	-	2.9	1	-	○	-	-	-	-	1		0	※※1	9
		10	○	○	-	-	-	3.8	0	-	○	-	-	-	-	1		0	※※1	10
		11	○	○	-	-	-	3.9	0	-	-	-	-	-	-	0			11,12同一区画	11
		12	○	○	-	-	-	3.3	1	-	-	-	-	-	-	1			11,12同一区画	12
RW-B2F-28	床ドレンタンク室	1	-	○	-	-	-	45.9	1	-	-	-	-	-	-	1	4		1	
		2	○	-	-	○	-	7.5	0	-	-	-	-	-	-	0		2~6同一区画	2	
		3	○	-	-	○	-	6.6	0	-	-	-	-	-	0	2~6同一区画		3		
		4	○	-	-	○	-	6.6	0	-	-	-	-	-	0	2~6同一区画		4		
		5	○	-	-	○	-	6.6	1	-	-	-	-	-	1	2~6同一区画		5		
		6	○	-	-	○	-	9.2	0	○	-	-	-	-	0	2~6同一区画		6		
		7	○	-	-	○	-	8.2	0	○	-	-	-	-	0	7~9同一区画		7		
		8	○	-	-	○	-	6.0	1	-	-	-	-	-	1	7~9同一区画		8		
		9	○	-	-	○	-	7.8	0	-	-	-	-	-	0	7~9同一区画		9		
		10	○	-	-	○	-	8.0	1	-	-	-	-	-	1	10,11同一区画		10		
		11	○	-	-	○	-	6.7	0	-	-	-	-	-	0	10,11同一区画		11		
RW-B2F-29	A-機器ドレンタンク室	1	○	-	-	○	-	8.9	0	-	-	-	-	-	0	2	1~3同一区画	1		
		2	○	-	-	○	-	8.9	1	-	-	-	-	-	1		1~3同一区画	2		
		3	○	-	-	○	-	12.2	0	○	-	-	-	-	0		1~3同一区画	3		
		4	○	-	-	○	-	12.8	0	○	-	-	-	-	0		4~6同一区画	4		
		5	○	-	-	○	-	8.6	1	-	-	-	-	-	1		4~6同一区画	5		
		6	○	-	-	○	-	8.6	0	-	-	-	-	-	0		4~6同一区画	6		
RW-B2F-30	B-機器ドレンタンク室	1	-	-	-	○	-	56.0	1	-	-	-	-	-	1	1		1		
RW-B2F-31	原子炉浄化スラッジ分離水ポンプ室	1	-	-	○	-	-	21.6	1	-	-	-	-	-	1	1		1		
RW-B2F-32	通路	1	-	-	○	-	-	29.3	1	-	-	-	-	-	-	1	14		1	
		2	-	-	○	-	-	37.0	1	-	-	-	-	-	-	1		2		
		3	-	-	○	-	-	15.6	1	-	-	-	-	-	-	1		3		
		4	-	-	○	-	-	30.0	1	-	-	-	-	-	-	1		4		
		5	-	-	○	-	-	13.6	1	○	○	-	-	-	1	0		5,6緩和架	5	
		6	-	-	○	-	-	18.7	1	○	○	-	-	-	1	1		5,6緩和架	6	
		7	-	-	○	-	-	2.8	1	○	○	-	-	-	1	0		7,8緩和架	7	
		8	-	-	○	-	-	16.0	1	○	○	-	-	-	1	1		7,8緩和架	8	
		9	-	-	○	-	-	14.9	1	-	-	-	-	-	-	1			9	
		10	-	-	○	-	-	6.1	1	-	-	-	-	-	-	1			10	
		通路	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	6			通路	
RW-B2F-33	階段室	階段	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	2	2		階段			
RW-B2F-34	階段室	階段	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	4	4		階段			
RW-B2F-35	エレベータ	ELV	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	0	0	RW-5F-03①で監視	ELV			
RW-B2F-36	階段室	階段	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	3	3		階段			
RW-B2F-37	配管室	1	○	○	-	-	-	5.8	1	-	-	-	-	-	1	2	1,2同一区画	1		
		2	○	○	-	-	-	18.0	0	-	-	-	-	-	1	2	1,2同一区画	2		
※※1 3~7同一区画8~10同一区画3~10緩和架																				

消防法に準拠した火災感知器の配置を示した一覧表（対象：消防法施行規則 第 23 条第 4 項に該当する火災感知器）

		煙感知器													熱感知器																						
		<p>○23条第4項 七 煙感知器（光電式分離型感知器を除く。）は、次に定めるところによること。 ハ 感知器の下部は、取付け面の下方0.6m以内の位置に設けること。 ※1 取付け面が0.6m以上突出した梁等により区画</p> <p>ホ 感知器は、廊下、通路、階段及び斜路を除く感知区域ごとに、感知器の種類及び取付け面の高さに応じて次の表で定める床面積につき一個以上の個数を、火災を有効に感知するように設けること。 ※2 取付け面高さ 床面積 4m未満 150m² 4m以上～20m未満 75m²</p> <p>【緩和策：全国消防長会中国支部編集 消防用設備等の技術基準】 ※3 取付け面が60cm以上1m未満の梁等により小さい感知区域が連続する場合は、定められた範囲内で2つ以上の感知区域を同一感知区域とすることができる。 取付け面高さ 床面積 4m以上～8m未満 60m² 8m以上～20m未満 40m²</p> <p>※4 取付け面が60cm以上1m未満の梁等により区画された10m²以下の小区画1つが隣接する場合は、当該小区画も含めて同一感知区域とすることができる。 【緩和策：日本火災報知機工業会 自動火災報知設備 工事基準書】 ※5 段違い部分を含む居室等の幅が6m未満であれば、当該居室等を同一感知区域とすることができる。</p> <p>ハ 感知器は、廊下及び通路にあつては歩行距離三十メートルにつき一個以上の個数を、階段及び斜路にあつては重直距離十五メートルにつき一個以上の個数を、火災を有効に感知するように設けること。</p> <p>上記に記載のない消防法施行規則についても準拠して感知器を設置する。</p>													<p>○23条第4項 三 差動式スポット型、定温式スポット型又は複備式スポット型の感知器は、次に定めるところによること。 ロ 感知器は、感知区域（それぞれ又は取付け面から0.4m以上突出した梁等によって区画された部分をいう。以下同じ。）ごとに、感知器の種類及び取付け面の高さに応じて次の表で定める床面積につき一個以上の個数を、火災を有効に感知するように設けること。 ※1 取付け面が0.4m以上突出した梁等により区画 ※2 取付け面高さ 床面積 4m未満 70m² 4m以上～8m未満 35m²</p> <p>【緩和策：全国消防長会中国支部編集 消防用設備等の技術基準】 ※3 取付け面が40cm以上1m未満の梁等により小さい感知区域が連続する場合は、15m²以内で2つ以上の感知区域を同一感知区域とすることができる。 ※4 取付け面が40cm以上1m未満の梁等により区画された5m²以下の小区画1つが隣接する場合は、当該小区画も含めて同一感知区域とすることができる。 【緩和策：日本火災報知機工業会 自動火災報知設備 工事基準書】 ※5 段違い部分を含む居室等の幅が6m未満であれば、当該居室等を同一感知区域とすることができる。</p> <p>【日本火災報知機工業会 自動火災報知設備 工事基準書】 縦長い居室等の場合 感知器を短辺が3m未満の縦長い居室等に設ける場合は、歩行距離13mごとに1個以上設けること。</p> <p>上記に記載のない消防法施行規則についても準拠して感知器を設置する。</p>																						
部屋番号	部屋名称	区画	梁高さ 0.6m未満 ※1	取付け高さ※2				区画面積 (m ²)	消防法 設置数	梁高さ 0.6m以上 1m未満	緩和策適用			緩和策 適用数	設置数	合計	備考	区画	梁高さ 0.4m未満 ※1	取付け高さ※2				区画面積 (m ²)	消防法 設置数	梁高さ 0.4m以上 1m未満	緩和策適用			緩和策 適用数	設置数	合計	備考				
				4m未満	4m以上 8m未満	8m以上 15m未満	15m以上 20m未満				8m未満 <60m ²	8m以上 <40m ²	高さ※4 <10m ²	段違い※5 6m未満						4m未満	4m以上 8m未満	8m以上															
RW-B1F-01	放射線管理用具置場	1	-	○	-	-	-	5.5	1	○	-	-	-	-	1	0	1	1,2緩和策	1	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	1,2緩和策			
		2	-	○	-	-	-	7.6	1	○	○	-	-	-	-	1	1	1,2緩和策	2	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0	1	1,2緩和策				
RW-B1F-02	運転工具室	1	-	○	-	-	-	6.7	1	-	-	-	-	-	-	1	1		1	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1					
RW-B1F-03	器材室	1	-	○	-	-	-	11.5	1	-	-	-	-	-	-	1	1		1																		
RW-B1F-04	添加材タンク室	1	-	○	-	-	-	6.5	1	-	-	-	-	-	-	1	1		1	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1					
RW-B1F-05	被服置場	1	-	○	-	-	-	11.1	1	○	○	-	-	-	-	1	0	1,2緩和策																			
		2	-	○	-	-	-	25.8	1	○	○	-	-	-	-	1	1	1,2緩和策																			
RW-B1F-06	濃縮器サンプリング室	1	-	○	-	-	-	28.6	1	-	-	-	-	-	-	1	0																				
		2	-	○	-	-	-	19.9	1	-	-	-	-	-	-	1	1																				
RW-B1F-07	工具室	1	-	○	-	-	-	22.8	1	-	-	-	-	-	-	1	1																				
RW-B1F-08	ホット計器補修室	1	-	○	-	-	-	22.7	1	○	-	-	-	-	-	1	1																				
		2	-	○	-	-	-	39.4	1	○	-	-	-	-	-	1	2																				
RW-B1F-09	復水樹脂貯蔵タンク室	1	○	-	-	○	-	15.7	0	-	-	-	-	-	-	0																					
		2	○	-	-	○	-	16.5	0	-	-	-	-	-	-	0																					
		3	○	-	-	○	-	10.1	1	-	-	-	-	-	-	1	1																				
		4	○	-	-	○	-	9.8	0	-	-	-	-	-	-	0																					
RW-B1F-10	A-復水スラッシュ貯蔵タンク室	1	○	-	-	○	-	17.8	0	-	-	-	-	-	-	0																					
		2	○	-	-	○	-	16.5	0	-	-	-	-	-	-	0																					
		3	○	-	-	○	-	10.1	1	-	-	-	-	-	-	1	1																				
		4	○	-	-	○	-	9.8	0	-	-	-	-	-	-	0																					
RW-B1F-11	B-復水スラッシュ貯蔵タンク室	1	○	-	-	○	-	10.5	0	-	-	-	-	-	-	0																					
		2	○	-	-	○	-	10.5	1	-	-	-	-	-	-	0																					
		3	○	-	-	○	-	12.7	0	-	-	-	-	-	-	0																					
		4	○	-	-	○	-	10.9	0	-	-	-	-	-	-	0																					
		5	○	-	-	○	-	9.7	0	-	-	-	-	-	-	0																					
RW-B1F-12	C-復水スラッシュ貯蔵タンク室	1	○	-	-	○	-	10.5	0	-	-	-	-	-	-	0																					
		2	○	-	-	○	-	10.5	1	-	-	-	-	-	-	1																					
		3	○	-	-	○	-	12.8	0	-	-	-	-	-	-	0																					
		4	○	-	-	○	-	10.9	0	-	-	-	-	-	-	0																					
		5	○	-	-	○	-	9.7	0	-	-	-	-	-	-	0																					
RW-B1F-13	A-原子炉浄化樹脂貯蔵タンク室																																				
RW-B1F-14	B-原子炉浄化樹脂貯蔵タンク室																																				
RW-B1F-15	ホット計測室	1	-	○	-	-	-	62.0	1	-	-	-	-	-	-	1	1																				
RW-B1F-16	原子炉浄化スラッシュ貯蔵タンク水中ポンプ操作室	1	-	○	-	-	-	30.4	1	○	○	-	-	-	-	1	1	1,2緩和策																			
		2	-	○	-	-	-	29.6	1	○	○	-	-	-	-	1	0	1,2緩和策																			
		1	-	-	○	-	-	16.2	1	-	-	-	-	-	-	-	1																				
		2	-	-	○	-	-	47.6	1	-	-	-	-	-	-	-	1																				
		3	-	-	○	-	-	8.6	1	-	-	-	-	-	-	-	1																				
		4	-	-	○	-	-	28.3	1	-	-	-	-	-	-	-	1																				
		5	-	-	○	-	-	17.7	1	-	-	-	-	-	-	-	1																				
RW-B1F-18	床ドレン・化学産液タンクPH計室	1	-	○	-	-	-	22.5	1	-	-	-	-	-	-	1	1																				
RW-B1F-19	西側配管室																																				

消防法に準拠した火災感知器の配置を示した一覧表（対象：消防法施行規則 第23条第4項に該当する火災感知器）

RW-B1F-20	通路	1	-	○	-	-	-	10.5	1	○	○	-	-	-	1	0	1,2緩和策	1	-	○	-	-	-	-	-	-	1	7	11
		2	-	○	-	-	-	13.6	1	○	○	-	-	-	1	1	1,2緩和策	2	-	○	-	-	-	-	-	-	1		
		3	-	○	-	-	-	33.7	1	-	-	-	-	-	-	-	1	4,5緩和策	3	-	○	-	-	-	-	-	1		
		4	-	○	-	-	-	18.5	1	○	○	-	-	-	1	0	4,5緩和策	4	-	○	-	-	-	-	-	1			
		5	-	○	-	-	-	18.5	1	○	○	-	-	-	1	1	4,5緩和策	5	-	○	-	-	-	-	-	1			
		6	-	○	-	-	-	25.1	1	○	○	-	-	-	1	0	6,7緩和策	6	-	○	-	-	-	-	-	1			
		7	-	○	-	-	-	20.3	1	○	○	-	-	-	1	1	6,7緩和策	7	-	○	-	-	-	-	-	1			
		8	-	○	-	-	-	36.4	1	○	○	-	-	-	-	-	1	9,11緩和策	8	-	○	-	-	-	-	-	1		
		9	-	○	-	-	-	28.3	1	○	○	-	-	-	-	-	1	9,11緩和策	9	-	○	-	-	-	-	-	1		
		10	-	○	-	-	-	33.7	1	○	○	-	-	-	-	-	1	9,11緩和策	10	-	○	-	-	-	-	-	1		
		11	-	○	-	-	-	24.1	1	○	○	-	-	-	-	-	1	9,11緩和策	11	-	○	-	-	-	-	-	1		
RW-B1F-21	配管室	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1													
RW-B1F-22	ダクトシャフト	ハッチ内であり、配置空間がなく、感知器を設置するスペースなし																											
RW-B1F-23	薬品庫	1	-	-	○	-	-	7.4	1	-	-	-	-	-	-	1	1												
RW-B1F-26	配管室	RW-1F-24で監視																											
RW-B1F-34	通路	1	-	○	-	-	-	38.3	1	-	-	-	-	-	-	1													
		2	○	○	-	-	-	36.1	1	-	-	-	-	-	-	1													
		3	-	-	○	-	-	9.9	1	-	-	-	-	-	-	1													
		4	-	-	○	-	-	6.8	1	-	-	-	-	-	-	1													
		通路	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	3													
																	感知器 二重化不要箇所												

消防法に準拠した火災感知器の配置を示した一覧表（対象：消防法施行規則 第23条第4項に該当する火災感知器）

部署番号	部署名称	煙感知器										熱感知器																							
		○23条第4項 七 煙感知器（光電式分離型感知器を除く。）は、次に定めるところによること。 ハ 感知器の下部は、取付け面の下方0.6m以内の位置に設けること。 ※1 取付け面から0.6m以上突出した梁等により区画										○23条第4項 三 差動式スモクト型、定速式スモクト型又は補償式スモクト型その他の熱感知器は、次に定めるところによること。 ロ 感知器は、感知区域（各感知器は取付け面から0.4m以上突出した部分によって区画された部分を除く。以下同じ。）内に、感知器の種類及び取付け面の高さに応じて次の表で定める床面積につき一個以上の個数を、火災を有効に感知するよう設けること。 ※1 取付け面高さ 床面積 4m未満 70㎡ 4m以上～8m未満 35㎡ 【緩和策：全国消防長会中国支部編集 消防用設備等の技術基準】 ※3 取付け面から40cm以上1m未満の梁等により小さい感知区域が連続する場合は、15㎡以内で2つ以上の感知区域を同一感知区域とすることができる。 ※4 取付け面から40cm以上1m未満の梁等により区画された5㎡以下の小区画1つが隣接する場合は、当該小区画も含めて同一感知区域とすることができる。 【緩和策：日本火災報知機工業会 自動火災報知設備 工事基準】 ※5 段違い部分を含む居室等の幅が6m未満であれば、当該居室等を同一感知区域とすることができる。 【日本火災報知機工業会 自動火災報知設備 工事基準】 感知器を短辺が3m未満の細長い居室等に設ける場合は、歩行距離13mごとに1個以上設けること。 上記に記載のない消防法施行規則についても準拠して感知器を設置する。																							
		区画	梁高が0.6m未満※1	取付け高さ※2			区画面積 (㎡)	消防法設置数	梁高が0.6m以上1m未満	緩和策※3		梁高が1.0m以上1.5m未満	緩和策※4	緩和策※5	緩和策適用数	設置数	合計	備考	区画	梁高が0.4m未満※1	取付け高さ※2			区画面積 (㎡)	消防法設置数	梁高が0.4m以上1m未満	緩和策※3		緩和策※4	緩和策※5	緩和策適用数	設置数	合計	備考	
RW-MB1F-01	A-ケーブル処理室	1	-	-	○	-	26.7	1	○	-	-	-	-	-	-	1		1	-	-	○	-	26.7	1	○	-	-	-	-	-	1				
		2	-	-	○	-	32.5	1	○	-	-	-	-	-	-	1		2	-	-	○	-	32.5	1	○	-	-	-	-	-	1				
		3	-	-	○	-	29.7	1	○	○	-	-	-	-	-	0	1		3	-	-	○	-	29.7	1	○	-	-	-	-	-	1			
		4	-	-	○	-	25.4	1	○	-	-	-	-	-	-	-	1		4	-	-	○	-	25.4	1	○	-	-	-	-	-	1			
		5	-	-	○	-	54.8	1	○	-	-	-	-	-	-	-	4		5	-	-	○	-	54.8	2	○	-	-	-	-	-	4			
		6	-	-	○	-	40.1	1	○	-	-	-	-	-	-	-	4		6	-	-	○	-	40.1	2	○	-	-	-	-	-	4			
		7	-	-	○	-	40.1	1	○	-	-	-	-	-	-	-	4		7	-	-	○	-	40.1	2	○	-	-	-	-	-	4			
		8	-	-	○	-	33.4	1	○	-	-	-	-	-	-	-	4		8	-	-	○	-	33.4	1	○	-	-	-	-	-	4			
		9	-	-	○	-	11.7	1	○	○	-	-	-	-	-	-	2	0		9,10,11緩和策	9	-	-	○	-	11.7	1	○	-	-	-	-	-	1	
		10	-	-	○	-	25.2	1	○	○	-	-	-	-	-	-	2	1		9,10,11緩和策	10	-	-	○	-	25.2	1	○	-	-	-	-	-	1	
		11	-	-	○	-	5.5	1	○	○	-	-	-	-	-	-	2	0		9,10,11緩和策	11	-	-	○	-	5.5	1	○	-	-	-	-	-	1	
		12	-	-	○	-	18	1	○	○	-	-	-	-	-	-	1	0		3,12緩和策	12	-	-	○	-	18	1	○	-	-	-	-	-	1	
RW-MB1F-02	B-ケーブル処理室	1	-	-	○	-	20.1	1	○	-	-	-	-	-	-	1		1	-	-	○	-	20.1	1	○	-	-	-	-	-	1				
		2	-	-	○	-	23.1	1	○	-	-	-	-	-	-	1		2	-	-	○	-	23.1	1	○	-	-	-	-	-	1				
		3	-	-	○	-	36.2	1	○	-	-	-	-	-	-	-	1		3	-	-	○	-	36.2	1	○	-	-	-	-	-	1			
		4	-	-	○	-	18.8	1	○	-	-	-	-	-	-	-	1		4	-	-	○	-	18.8	1	○	-	-	-	-	-	1			
		5	-	-	○	-	40.9	1	○	-	-	-	-	-	-	-	3		5	-	-	○	-	40.9	2	○	-	-	-	-	-	3			
		6	-	-	○	-	29.9	1	○	-	-	-	-	-	-	-	3		6	-	-	○	-	29.9	1	○	-	-	-	-	-	3			
		7	-	-	○	-	29.9	1	○	-	-	-	-	-	-	-	3		7	-	-	○	-	29.9	1	○	-	-	-	-	-	3			
		8	-	-	○	-	24.8	1	○	-	-	-	-	-	-	-	3		8	-	-	○	-	24.8	1	○	-	-	-	-	-	3			
		9	-	-	○	-	11.2	1	○	○	-	-	-	-	-	-	1	0		9,10緩和策	9	-	-	○	-	11.2	1	○	-	-	-	-	-	1	
		10	-	-	○	-	20.7	1	○	○	-	-	-	-	-	-	1	1		9,10緩和策	10	-	-	○	-	20.7	1	○	-	-	-	-	-	1	
RW-MB1F-03	1号連絡配管室	1	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1		1,2緩和策	1	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1			
RW-MB1F-04	RW制御室空調機室	2	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0		1,2同一区画	1	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0			
RW-MB1F-05	B-計装用電気室	1	-	-	○	-	16.4	1	-	-	-	-	-	-	-	1		1	-	-	-	-	16.4	1	○	-	-	-	-	-	1				
		2	-	-	○	-	25.1	1	○	○	-	-	-	-	-	1	1		2,3緩和策	2	-	-	-	-	25.1	1	○	-	-	-	-	-	1		
		3	-	-	○	-	9.1	1	○	○	-	-	-	-	-	-	0		2,3緩和策	3	-	-	-	-	9.1	1	○	-	-	-	-	-	1		
		4	-	-	○	-	14.8	1	○	○	-	-	-	-	-	-	1	1		4,5緩和策	4	-	-	-	-	14.8	1	○	-	-	-	-	-	1	
		5	-	-	○	-	29.7	1	○	○	-	-	-	-	-	-	1	0		4,5緩和策	5	-	-	-	-	29.7	1	○	-	-	-	-	-	1	
		6	-	-	○	-	34.6	1	○	-	-	-	-	-	-	-	-	1		6	-	-	-	-	34.6	1	○	-	-	-	-	-	1		
		7	-	-	○	-	30.8	1	○	-	-	-	-	-	-	-	-	1		7	-	-	-	-	30.8	1	○	-	-	-	-	-	1		
RW-MB1F-06	B-パナチ室	1	-	-	○	-	27.8	1	-	-	-	-	-	-	-	1		1	-	-	-	-	27.8	1	-	-	-	-	-	-	1				
RW-MB1F-07	充電器室	1	-	-	○	-	33.2	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1		1	-	-	-	-	33.2	1	-	-	-	-	-	-	1			
RW-MB1F-08	230V/パナチ室	1	-	-	○	-	9.7	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1		1	-	-	○	-	9.7	1	-	-	-	-	-	-	1			
		2	-	-	○	-	17.7	1	○	○	-	-	-	-	-	-	1	0		2,4緩和策	2	-	-	○	-	17.7	1	-	-	-	-	-	-	1	
		3	-	-	○	-	14.3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1		3	-	-	○	-	14.3	1	-	-	-	-	-	-	1			
		4	-	-	○	-	16.1	1	○	○	-	-	-	-	-	-	1	1		4	-	-	○	-	16.1	1	-	-	-	-	-	-	1		
		5	-	-	○	-	23.4	1	○	○	-	-	-	-	-	-	1	0		5,6緩和策	5	-	-	○	-	23.4	1	-	-	-	-	-	-	1	
		6	-	-	○	-	22.8	1	○	○	-	-	-	-	-	-	1	1		5,6緩和策	6	-	-	○	-	22.8	1	-	-	-	-	-	-	1	
RW-MB1F-09	濃縮薬液系分室	1	-	-	○	-	6.9	1	○	○	-	-	-	-	-	3	0		1~4緩和策	1	-	-	-	-	6.9	1	-	-	-	-	-	-	1		
		2	-	-	○	-	6.3	1	○	○	-	-	-	-	-	3	0		1~4緩和策	2	-	-	-	-	6.3	1	-	-	-	-	-	-	2		
		3	-	-	○	-	11.9	1	○	○	-	-	-	-	-	3	1		1~4緩和策	3	-	-	-	-	11.9	1	○	-	-	-	-	-	3		
		4	-	-	○	-	1.9	1	○	○	-	-	-	-	-	3	0		1~4緩和策	4	-	-	-	-	1.9	1	-	-	-	-	-	-	4		
RW-MB1F-11	階段室	1	-	-	○	-	12.5	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1		1	-	-	-	-	12.5	1	-	-	-	-	-	-	1			
RW-MB1F-12	通路	1	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1			
RW-MB1F-13	ホト計測室（上層）	1	-	-	○	-	60.0	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1		1	-	-	-	-	60.0	1	-	-	-	-	-	-	1			

消防法に準拠した火災感知器の配置を示した一覧表（対象：消防法施行規則 第23条第4項に該当する火災感知器）

部屋番号	部屋名称	煙感知器											熱感知器																						
		区分	梁高さ 0.6m未満 ※1	取付け高さ※2				区画面積 (㎡)	消防法 設置数	梁高さ 0.6m以上 1m未満	緩和距離※3			緩和距離 適用数	設置数	合計	備考	区分	梁高さ 0.4m未満 ※1	取付け高さ※2			区画面積 (㎡)	消防法 設置数	梁高さ 0.4m以上 1m未満	緩和距離※3			緩和距離 適用数	設置数	合計	備考			
				4m未満	4m以上 8m未満	8m以上 15m未満	15m以上 20m未満				3m未満 <60㎡	3m以上 4m未満 <40㎡	4m以上 5m未満 <10㎡							6m未満	0.4m以上 1m未満	0.4m以上 1m未満				1m以上 5m未満	5m以上								
RW-1F-01	運転員控室	1	-	-	○	-	28.8	1	○	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	○	-	28.8	1	○	-	-	-	-	-	1	1			
		2	-	-	○	-	35.1	1	○	-	-	-	-	-	-	-	1	3	2	-	○	-	35.1	2	○	-	-	-	-	-	2	4			
		3	-	-	○	-	14.3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	3	-	○	-	14.3	1	-	-	-	-	-	-	1	1		
RW-1F-02	資料室	1	-	-	○	-	17.3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	○	-	17.3	1	-	-	-	-	-	-	1	1			
		1	-	-	○	-	14.3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	○	-	14.3	1	-	-	-	-	-	-	1	1		
RW-1F-03	予備室	1	-	-	○	-	18.0	1	○	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	○	-	18.0	1	-	-	-	-	-	-	1	1		
		2	-	-	○	-	21.6	1	○	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	2	-	○	-	21.6	1	○	-	-	-	-	-	1	3		
		3	-	-	○	-	33.7	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	3	-	○	-	33.7	1	-	-	-	-	-	-	1	1	
RW-1F-05	補助室	1	-	-	○	-	25.4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10	1	-	○	-	25.4	1	-	-	-	-	-	-	1	15		
		2	-	-	○	-	32.9	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10	2	-	○	-	32.9	1	-	-	-	-	-	-	1	15		
		3	-	-	○	-	40.3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10	3	-	○	-	40.3	2	-	-	-	-	-	-	2	15		
		4	-	-	○	-	42.3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10	4	-	○	-	42.3	2	-	-	-	-	-	-	2	15		
		5	-	-	○	-	29.3	1	○	○	-	-	-	-	-	1	0	1	10	5	5,7緩和策	-	○	-	29.3	1	○	-	-	-	-	-	1	15	
		6	-	-	○	-	42.3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10	6	5,7緩和策	-	○	-	42.3	2	-	-	-	-	-	-	2	15	
		7	-	-	○	-	29.3	1	○	○	-	-	-	-	-	1	1	1	10	7	5,7緩和策	-	○	-	29.3	1	○	-	-	-	-	-	1	15	
		8	-	-	○	-	35.8	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10	8	-	○	-	35.8	2	-	-	-	-	-	-	2	15	
		9	-	-	○	-	24.7	1	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10	9	-	○	-	24.7	1	○	-	-	-	-	-	1	15	
		10	-	-	○	-	7.1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10	10	-	○	-	7.1	1	-	-	-	-	-	-	1	15	
		11	-	-	○	-	9.3	1	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10	11	-	○	-	9.3	1	○	-	-	-	-	-	1	15	
RW-1F-06	中央制御室送風機室階段	階段	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1																
RW-1F-08	RW制御室	1	-	-	○	-	18.6	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4																	
		2	-	-	○	-	44.6	1	○	-	-	-	-	-	-	-	-	4																	
		3	-	-	○	-	28.0	1	○	-	-	-	-	-	-	-	-	4																	
		4	-	-	○	-	32.7	1	○	-	-	-	-	-	-	-	-	4																	
RW-1F-09	コールド計器室	1	○	○	-	-	65.9	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	○	○	-	-	65.9	2	-	-	-	-	-	-	2	2			
RW-1F-10	A-計装用電気室	1	-	-	○	-	66.7	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	○	-	66.7	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1		
		2	-	-	○	-	36.9	1	○	-	-	-	-	-	-	-	1	3	2	-	○	-	36.9	2	○	-	-	-	-	-	2	4			
		3	-	-	○	-	32.0	1	○	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	3	-	○	-	32.0	1	○	-	-	-	-	-	1	1		
RW-1F-11	A-パワケリ室	1	-	-	○	-	62.5	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	○	-	62.5	2	-	-	-	-	-	-	2	2			
RW-1F-12	化学廃液濃縮器備置ポンプ室	1	-	-	○	-	28.8	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2																
		2	-	-	○	-	15.6	1	○	○	-	-	-	-	-	1	1	2																	
		3	-	-	○	-	14.4	1	○	○	-	-	-	-	-	1	0	2																	
RW-1F-13	濃縮廃液弁室	1	-	-	○	-	28.8	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1																	
RW-1F-14	薬品タンク室	1	○	-	○	-	3.6	1	-	-	-	-	-	-	-	0	1																		
RW-1F-15	放射化学分析室フード排風機室	1	○	-	○	-	28.5	1	-	-	-	-	-	-	-	0	1																		
		2	○	-	○	-	34.7	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1																		
RW-1F-16	空ドラム置場	1	-	-	○	-	22.1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1																	
RW-1F-17	雑固体置場	1	○	○	-	-	63.6	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2																		
		2																																	
		3																																	
		4																																	
		5																																	
		6																																	
		7	-	-	○	-	46.2	1	○	-	-	-	-	-	-	-	1																		
		8	-	-	○	-	47.0	1	○	-	-	-	-	-	-	-	1																		
		9	-	-	○	-	59.5	1	○	-	-	-	-	-	-	-	1																		
		10	-	-	○	-	31.5	1	○	-	-	-	-	-	-	-	1																		

補-3-7-102

消防法に準拠した火災感知器の配置を示した一覧表（対象：消防法施行規則 第 23 条第 4 項に該当する火災感知器）

		煙感知器														熱感知器																																																																																																																																																																																																															
		<p>○23条第4項 七 煙感知器（光電式分離型感知器を除く。）は、次に定めるところによること。</p> <p>ハ 感知器の下側は、取付け面の下方0.6m以内の位置に設けること。</p> <p>※1 取付け面が90.6m以上突出した梁等により区画</p> <p>ホ 感知器は、廊下、通路、階段及び傾斜路を除く（感知区域ごと）に、感知器の種類及び取付け面の高さに応じた表で定める床面積につき一個以上の個数を、火災を有効に感知するように設けること。</p> <p>※2 取付け面高さ 床面積 4m未満 150m² 4m以上～20m未満 75m²</p> <p>【緩和策：全国消防協会中国支部編集 消防用設備等の技術基準】</p> <p>※3 取付け面が90cm以上1m未満の梁等により小さい感知区域が連続する場合は、定められた範囲内で2つ以上の感知区域を同一感知区域とすることができる。</p> <p>取付け面高さ 床面積 4m以上～8m未満 60m² 8m以上～20m未満 40m²</p> <p>※4 取付け面が90cm以上1m未満の梁等により区画された10m²以下の小区画1つが隣接する場合は、当該小区画も含めて同一感知区域とすることができる。</p> <p>【緩和策：日本火災報知機工業会 自動火災報知設備 工事基準書】</p> <p>※5 段違い部分を含む居室等の幅が6m未満であれば、当該居室等を同一感知区域とすることができる。</p> <p>ハ 感知器は、廊下及び通路にあっては歩行距離三十メートルにつき一個以上の個数を、階段及び傾斜路にあっては垂直距離十五メートルにつき一個以上の個数を、火災を有効に感知するように設けること。</p> <p>上記に記載のない消防法施行規則についても準拠して感知器を設置する。</p>														<p>○23条第4項 三 音動式スポット型、定温式スポット型又は補償式スポット型その他の熱組合式スポット型の感知器は、次に定めるところによること。</p> <p>ロ 感知器は、感知区域（それぞれ又は取付け面が90.4m以上突出したはり等により区画された部分をいう。以下同じ。）ごとに、感知器の種類及び取付け面の高さに応じて次の表で定める床面積につき一個以上の個数を、火災を有効に感知するように設けること。</p> <p>※1 取付け面が90.4m以上突出した梁等により区画 床面積 4m未満 70m² 4m以上～8m未満 35m²</p> <p>【緩和策：全国消防協会中国支部編集 消防用設備等の技術基準】</p> <p>※3 取付け面が90cm以上1m未満の梁等により小さい感知区域が連続する場合は、15m²以内で2つ以上の感知区域を同一感知区域とすることができる。</p> <p>※4 取付け面が90cm以上1m未満の梁等により区画された5m²以下の小区画1つが隣接する場合は、当該小区画も含めて同一感知区域とすることができる。</p> <p>【緩和策：日本火災報知機工業会 自動火災報知設備 工事基準書】</p> <p>※5 段違い部分を含む居室等の幅が6m未満であれば、当該居室等を同一感知区域とすることができる。</p> <p>【日本火災報知機工業会 自動火災報知設備 工事基準書】</p> <p>細長い居室等の場合 感知器を短辺が3m未満の細長い居室等に設ける場合は、歩行距離13mごとに1個以上設けること。</p> <p>上記に記載のない消防法施行規則についても準拠して感知器を設置する。</p>																																																																																																																																																																																																															
部署番号	部署名称	区画	取付け高さ※2					区画面積 (m ²)	消防法 設置数	緩和適用				緩和策 適用数	設置数	合計	備考	区画	取付け高さ※2					区画面積 (m ²)	消防法 設置数	梁高さ				緩和策 適用数	設置数	合計	備考																																																																																																																																																																																														
			0.6m未満 ※1	4m未満	4m以上 8m未満	8m以上 15m未満	15m以上 20m未満			0.6m以上 1m未満	連続※3 <60m ²	※4 8m以上 <40m ²	※5 <10m ²						6m未満	0.4m以上 1m未満	連続※3 <15m ²	※4 <5m ²	※5 6m未満																																																																																																																																																																																																								
RW-2F-01	中央制御室非常用再循環送風機室	1	--	--	○	--	--	38.0	1	--	--	--	--	--	1	5		1	--	--	○	--	38.0	2	--	--	--	--	2	10		2	--	--	○	--	42.5	1	--	--	--	--	1			3	--	--	○	--	40.8	1	--	--	--	--	1			4	--	--	○	--	43.3	1	--	--	--	--	1			5	--	--	○	--	38.8	1	--	--	--	--	1																																																																																																																																										
		2	--	--	--	○	--	82.9	2	○	--	--	--	--	2			10		2	--	--	--	○	87.3	2	○	--	--			--	--	2	16	炎感知器設置 炎感知器設置 炎感知器設置 炎感知器設置 炎感知器設置 炎感知器設置	3	--	--	--	○	84.7	2	○	--	--	--	--	2			4	--	--	--	○	14.0	1	○	--	--	--	--	1			5	○	--	--	--	41.1	1	○	--	--	--	--	1			6	--	--	--	--	58.0	1	○	--	--	--	--	1			7	--	--	--	--	56.2	1	○	--	--	--	--	1																																																																																																																		
		1	--	--	○	--	--	11.0	1	--	--	--	--	--	1					4		1	--	--	○	--	30.2	1	--			--	--	--			--	1	4		2	--	--	○	--	30.2	1	--	--	--	--	--	1			3	--	--	○	--	36.8	1	--	--	--	--	--	1			4	--	--	○	--	20.3	1	--	--	--	--	--	1																																																																																																																																												
		1	○	○	--	--	--	26.5	0	--	--	--	--	--	0							1	1,2同一区画	1			2	○	○			--	--	--			32.7	1			--	--	--	--	--	1	1	1,2同一区画	2																																																																																																																																																																														
		1	--	○	--	--	--	51.0	1	--	--	--	--	--	1							1	1	1			1	--	○			--	--	--			65.8	1			--	--	--	--	--	1	1	1	1																																																																																																																																																																														
1	--	○	--	--	--	63.3	1	--	--	--	--	--	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																															
RW-2F-09	通路	高線層区域のため設置・メンテナンス困難														10				1	--	--	○	--	--	7.6	1	○	○	--	--	--	1	6				1,2緩和策	1			2	--	--	○	--	--	18.5	1	○	○	--	--	--	1	6		1,2緩和策	2			3	--	--	○	--	--	11.4	1	○	○	--	--	--	1	6		3,4緩和策	3			4	--	--	○	--	--	26.5	1	○	○	--	--	--	1	6		3,4緩和策	4			5	--	--	○	--	--	10.7	1	○	○	--	--	--	1	6		5,6緩和策	5			6	--	--	○	--	--	15.4	1	○	○	--	--	--	1	6		5,6緩和策	6			7	--	--	○	--	--	13.2	1	--	--	--	--	--	1	6		7																		7	--	--	○	--	--	6	1	--	--	--	--	--	1	6		7																															
		1	○	○	--	--	--	35.9	1	--	--	--	--	--	1					6		1																						2	○	○	--	--	--	55.1	1	--	--	--	--			--	1	6		2																				3	○	○	--	--	--	35.4	1	--	--	--	--	--	1			6		3																				4	○	○	--	--	--	55.9	1	--	--	--	--	--	1	6				4																				5	○	○	--	--	--	32.9	1	--	--	--	--	--	1	6		5																				6	○	○	--	--	--	53.3	1	--	--	--	--	--	1	6		6													
		1	--	--	○	--	--	10.7	1	--	--	--	--	--	1			1	1			1																																																																																																																																																																																																									
		RW-2F-15	床トレン配管室	1	--	--	○	--	--	5.7	1	○	○	--	--			--	1			1		1,2緩和策	1			2	--	--	○	--	--		8.5	1		○	○	--	--	--	1	1		1,2緩和策	2																																																																																																																																																																																
				高線層区域のため設置・メンテナンス困難																																																																																																																																																																																																																											
		RW-2F-16	機器ドレンろ過設備室	高線層区域のため設置・メンテナンス困難																																																																																																																																																																																																																											
		RW-2F-17	凝縮水ろ過脱塩器室	高線層区域のため設置・メンテナンス困難																																																																																																																																																																																																																											
		RW-2F-18	機器ドレン脱塩器室	高線層区域のため設置・メンテナンス困難																																																																																																																																																																																																																											
RW-2F-19	凝縮水脱塩器室	高線層区域のため設置・メンテナンス困難																																																																																																																																																																																																																													

消防法に準拠した火災感知器の配置を示した一覧表（対象：消防法施行規則 第23条第4項に該当する火災感知器）

		煙感知器												熱感知器															
		<p>○23条第4項 七 煙感知器（光電式分離型感知器を除く。）は、次に定めるところによること。</p> <p>ハ 感知器の下部は、取付面の下方0.6m以内の位置に設けること。</p> <p>※1 取付面から0.6m以上突出した梁等により区画</p> <p>ホ 感知器は、廊下、通路、階段及び傾斜路を除く感知区域に、感知器の種類及び取付面の高さに応じた次の表で定める床面積につき一個以上の個数を、火災を有効に感知するように設けること。</p> <p>※2 取付面高さ 床面積 4m未満 150m² 4m以上～20m未満 75m²</p> <p>【緩和例：全国消防長会中国支部編集 消防用設備等の技術基準】</p> <p>※3 取付面から60cm以上1m未満の梁等により小さい感知区域が連続する場合は、定められた範囲内で2つ以上の感知区域を同一感知区域とすることができる。</p> <p>取付面高さ 床面積 4m以上～8m未満 60m² 8m以上～20m未満 40m²</p> <p>※4 取付面から60cm以上1m未満の梁等により区画された10m²以下の小区画1つが隣接する場合は、当該小区画も含めて同一感知区域とすることができる。</p> <p>【緩和例：日本火災報知機工業会 自動火災報知設備 工事基準書】</p> <p>※5 段違い部分を含む居室等の幅が6m未満であれば、当該居室等を同一感知区域とすることができる。</p> <p>ハ 感知器は、廊下及び通路にあつては歩行距離三十メートルにつき一個以上の個数を、階段及び傾斜路にあつては垂直距離十五メートルにつき一個以上の個数を、火災を有効に感知するように設けること。</p> <p>上記に記載のない消防法施行規則についても準拠して感知器を設置する。</p>												<p>○23条第4項 三 差動式又は小型、定温式又は引点式又は検温式又は引点式その他の熱検合式又は引点式の感知器は、次に定めるところによること。</p> <p>ロ 感知器は、感知区域（それぞれ居室又は取付面から0.4m以上突出した梁等により区画された部分を除く。以下同じ。）ごとに、感知器の種類及び取付面の高さに応じて次の表で定める床面積につき一個以上の個数を、火災を有効に感知するように設けること。</p> <p>※1 取付面高さ 床面積 4m未満 70m² 4m以上～8m未満 35m²</p> <p>【緩和例：全国消防長会中国支部編集 消防用設備等の技術基準】</p> <p>※3 取付面から40cm以上1m未満の梁等により小さい感知区域が連続する場合は、15m²以内で2つ以上の感知区域を同一感知区域とすることができる。</p> <p>※4 取付面から40cm以上1m未満の梁等により区画された5m²以下の小区画1つが隣接する場合は、当該小区画も含めて同一感知区域とすることができる。</p> <p>【緩和例：日本火災報知機工業会 自動火災報知設備 工事基準書】</p> <p>※5 段違い部分を含む居室等の幅が6m未満であれば、当該居室等を同一感知区域とすることができる。</p> <p>【日本火災報知機工業会 自動火災報知設備 工事基準書】</p> <p>細長い居室等の場合 感知器を短辺が3m未満の細長い居室等に設ける場合は、歩行距離13mごとに1個以上設けること。</p> <p>上記に記載のない消防法施行規則についても準拠して感知器を設置する。</p>															
部屋番号	部屋名称	区画	取付面高さ※2				区画面積 (m ²)	消防法設置数	緩和例適用			緩和例適用数	設置数	合計	備考	区画	取付面高さ※2			区画面積 (m ²)	消防法設置数	緩和例適用			緩和例適用数	設置数	合計	備考	
			0.6m未満 ※1	4m未満	4m以上 8m未満	8m以上 15m未満			0.6m以上 1m未満	連続※3	隣接※4						段違い※5	0.4m未満 ※1	4m未満			4m以上 8m未満	8m以上	連続※3					隣接※4
RW-3F-01	排ガスファン出口モニタサンブル室	1	-	○	-	-	11.4	1	-	-	-	-	1	1	感知器 二重化不要箇所	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1		
		2	-	○	-	-	26.2	1	-	-	-	-	1	2															
RW-3F-02	排ガス排気室	1	-	○	-	-	30.0	1	-	-	-	-	1	1															
RW-3F-03	配管室	1	-	○	-	-	15.8	1	-	-	-	-	1	1															
RW-3F-04	排ガス処理弁室	1	-	○	-	-	35.3	1	-	-	-	-	1	1															
RW-3F-05	凝縮液タンク用温水ポンプ室	1	-	-	○	-	26.9	1	○	○	-	-	1	1	1,2緩和例	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1		
		2	-	-	○	-	11.4	1	○	○	-	-	1	0		1,2緩和例	2												
RW-3F-06	B-RW/Bダストモニタ室	1	-	-	○	-	21.1	1	○	-	-	-	-	1	2,3緩和例	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1		
		2	-	-	○	-	12.6	1	○	○	-	-	-	1		0	2,3緩和例	2											
RW-3F-07	ペント処理装置室	3	-	-	○	-	34.4	1	○	○	-	-	-	1	2,3緩和例	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1			
		1	-	-	○	-	70.0	1	○	○	-	-	-	1		1	-	-	○	-	-	-	-	-	2	4			
RW-3F-08	洗濯液処理装置サンプリングラック室	1	-	-	○	-	54.2	1	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1		
		1	-	-	○	-	54.2	1	-	-	-	-	-	-		1	1	-	-	○	-	-	-	-	-	2	2		
RW-3F-09	ドラム/ヒドリング装置室	1	-	-	○	-	50.6	1	-	-	-	-	-	1	1														
RW-3F-10	ランドリレン濃液タンク室	1	-	-	○	-	54.4	1	-	-	-	-	-	1	1														
RW-3F-11	ランドリレンサンプルタンク室	1	-	-	○	-	54.4	1	-	-	-	-	-	1	1														
RW-3F-12	ランドリレンすすぎ水受タンク室	1	-	-	○	-	54.4	1	-	-	-	-	-	1	1														
RW-3F-13	ランドリレン乾燥タンク室	1	-	-	○	-	50.8	1	-	-	-	-	-	1	1														
RW-3F-14	化学薬液濃縮器復水器室	1	-	-	○	-	10.8	1	○	○	-	-	-	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1		
		2	-	-	○	-	17.4	1	○	○	-	-	-	2		1	1	-	-	○	-	-	-	-	-	2	2		
		3	-	-	○	-	11.0	1	○	○	-	-	-	2		0	1	-	-	○	-	-	-	-	-	3	3		
RW-3F-15	床レン濃縮器復水器室	1	-	-	○	-	8.2	1	○	○	-	-	-	1	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1		
		2	-	-	○	-	16.5	1	○	○	-	-	-	1		1	1,2緩和例	2											
		3	-	-	○	-	25.1	1	○	○	-	-	-	1		1	3,4緩和例	3											
		4	-	-	○	-	8.7	1	○	○	-	-	-	1		0	3,4緩和例	4											
RW-3F-16	フィルタ・デミネ除染室	1	-	-	○	-	72.5	1	○	-	-	-	-	1	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1			
		2	-	-	○	-	24.3	1	○	-	-	-	-	-		1	2												
RW-3F-17	ランドリ室	1	-	-	○	-	29.7	1	-	-	-	-	-	1	8	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1		
		2	-	○	-	-	43.3	1	-	-	-	-	-	-		1	2												
		3	-	○	-	-	51.1	1	-	-	-	-	-	-		1	3												
		4	-	-	○	-	50.1	1	○	-	-	-	-	-		1	4												
		5	-	-	○	-	22.1	1	○	○	-	-	-	-		1	1	5,6緩和例	5										
		6	-	-	○	-	3.6	1	○	○	-	-	-	-		1	0	5,6緩和例	6										
		7	-	-	○	-	4.0	1	○	○	-	-	-	-		1	0	7,9緩和例	7										
		8	-	-	○	-	21.2	1	○	-	-	-	-	-		1	8												
		9	-	-	○	-	13.7	1	○	○	-	-	-	-		1	1	7,9緩和例	9										
		10	-	○	-	-	95.3	1	-	-	-	-	-	-		1	10												
RW-3F-18	綿体貯蔵室	1	-	-	○	-	33.2	1	○	-	-	-	-	1	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1			
		2	-	-	○	-	8.0	1	○	○	-	-	-	-		1	0	2,3緩和例	2										
		3	-	-	○	-	24.3	1	○	○	-	-	-	1		1	2,3緩和例	3											
RW-3F-19	乾燥機ストセパレータ室	1	-	-	○	-	22.0	1	-	-	-	-	-	1	1														
RW-3F-20	所内用空気除湿装置室	1	-	-	○	-	11.7	1	-	-	-	-	-	1	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1			
		2	-	-	○	-	10.7	1	-	-	-	-	-	-		1	2												
RW-3F-21	固化系弁室	1	-	-	○	-	10.4	1	-	-	-	-	-	1	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1			
		2	-	-	○	-	9.6	1	-	-	-	-	-	1		2													
RW-3F-22	固化系機器排気ファン室	1	-	-	○	-	10.7	1	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1			
		2	-	-	○	-	19.2	1	○	○	-	-	-	-		1	0	1,2緩和例	2										

消防法に準拠した火災感知器の配置を示した一覧表（対象：消防法施行規則 第23条第4項に該当する火災感知器）

RW-3F-23	誘性ソーダポンプ室	1	-	-	○	-	-	12.2	0	-	-	-	-	-	-	0	0	RW-3F-22で監視	1			
		1	-	-	○	-	-	8.0	1	○	○	-	-	-	-	1	0	1.2線と架	1			
		2	-	-	○	-	-	18.3	1	○	○	-	-	-	-	1	1	1.2線と架	2			
		3	-	-	○	-	-	12.5	1	○	○	-	-	-	-	1	0	3.4線と架	3			
		4	-	-	○	-	-	26.8	1	○	○	-	-	-	-	1	1	3.4線と架	4			
		5	-	-	○	-	-	7.8	1	○	○	-	-	-	-	1	0	5.6線と架	5			
		6	-	-	○	-	-	15.8	1	○	○	-	-	-	-	1	1	5.6線と架	6			
		通路	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	6	6	通路	通路			
RW-3F-25	乾燥機供給タンク室	1	-	-	-	○	-	18.4	1	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	RW-2F-29と同区域	1	
RW-3F-26	排ガスフィルタ出口モニタガスサンプ室	1	-	-	○	-	-	10.4	1	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1			

感知器 二重化不要箇所

消防法に準拠した火災感知器の配置を示した一覧表（対象：消防法施行規則 第 23 条第 4 項に該当する火災感知器）

		煙感知器										熱感知器																							
		<p>○23条第4項 七 煙感知器（光電式分離型感知器を除く。）は、次に定めるところによること。</p> <p>ハ 感知器の下部は、取付面の下方0.6m以内の位置に設けること。</p> <p>※1 取付面が0.6m以上突出した梁等により区画</p> <p>ホ 感知器は、廊下、通路、階段及び斜路を除く感知区域ごとに、感知器の種類及び取付面の高さに応じて次の表で定める床面積につき一個以上の個数を、火災を有効に感知するように設けること。</p> <p>※2 取付面高さ 床面積 4m未満 150m² 4m以上～20m未満 75m²</p> <p>【緩和策：全国消防長会中国支部編集 消防用設備等の技術基準】</p> <p>※3 取付面から60cm以上1m未満の梁等により小さい感知区域が連続する場合は、定められた範囲内で2つ以上の感知区域を同一感知区域とすることができる。</p> <p>取付面高さ 床面積 4m以上～8m未満 60m² 8m以上～20m未満 40m²</p> <p>※4 取付面から60cm以上1m未満の梁等により区画された10m²以下の小区画1つが隣接する場合は、当該小区画も含めて同一感知区域とすることができる。</p> <p>【緩和策：日本火災報知機工業会 自動火災報知設備 工事基準書】</p> <p>※5 段違い部分を含む居室等の幅が6m未満であれば、当該居室等を同一感知区域とすることができる。</p> <p>ハ 感知器は、廊下及び通路にあつては歩行距離三十メートルにつき一個以上の個数を、階段及び斜路にあつては垂直距離十五メートルにつき一個以上の個数を、火災を有効に感知するように設けること。</p> <p>上記に記載のない消防法施行規則についても準拠して感知器を設置する。</p>										<p>○23条第4項 三 差動式スポット型、定温式スポット型又は複備式スポット型その他の熱複合式スポット型の感知器は、次に定めるところによること。</p> <p>ロ 感知器は、感知区域（それぞれ又は取付面から0.4m以上突出した梁等によって区画された部分もいづら以下同じ。）ごとに、感知器の種類及び取付面の高さに応じて次の表で定める床面積につき一個以上の個数を、火災を有効に感知するように設けること。</p> <p>※1 取付面が0.4m以上突出した梁等により区画</p> <p>※2 取付面高さ 床面積 4m未満 70m² 4m以上～8m未満 35m²</p> <p>【緩和策：全国消防長会中国支部編集 消防用設備等の技術基準】</p> <p>※3 取付面から40cm以上1m未満の梁等により小さい感知区域が連続する場合は、15m²以内で2つ以上の感知区域を同一感知区域とすることができる。</p> <p>※4 取付面から40cm以上1m未満の梁等により区画された5m²以下の小区画1つが隣接する場合は、当該小区画も含めて同一感知区域とすることができる。</p> <p>【緩和策：日本火災報知機工業会 自動火災報知設備 工事基準書】</p> <p>※5 段違い部分を含む居室等の幅が6m未満であれば、当該居室等を同一感知区域とすることができる。</p> <p>【日本火災報知機工業会 自動火災報知設備 工事基準書】</p> <p>細長い居室等の場合 感知器を短辺が3m未満の細長い居室等に設ける場合は、歩行距離13mごとに1個以上設けること。</p> <p>上記に記載のない消防法施行規則についても準拠して感知器を設置する。</p>																							
部屋番号	部屋名称	区画	梁高さ 0.6m未満 ※1	取付面高さ※2			区画面積 (m ²)	消防法 設置数	梁高さ 0.6m以上 1m未満	緩和策適用			緩和策 適用数	設置数	合計	備考	区画	梁高さ 0.4m未満 ※1	取付面高さ※2			区画面積 (m ²)	消防法 設置数	梁高さ 0.4m以上 1m未満	緩和策適用			緩和策 適用数	設置数	合計	備考				
				4m未満	4m以上 8m未満	8m以上 15m未満	15m以上 20m未満			通過※3 8m未満 <60m ²	階段※4 8m以上 <40m ²	段違い※5 <10m ²	6m未満						4m未満	4m以上 8m未満	8m以上				通過※3 <15m ²	階段※4 <5m ²	段違い※5 6m未満								
RW-4F-01	廃棄物処理建物送風機室	1	-	-	-	-	56.3	1	○	-	-	-	-	-	1	8		1	-	-	-	○	81.3	3	-	-	-	-	-	4					
		2	-	-	○	-	17.6	1	-	-	-	-	-	-	1			2	-	-	-	○	85.7	3	-	-	-	-	-	4					
		3	-	-	-	○	18.4	1	-	-	-	-	-	-	1			3	-	-	-	○	83.0	3	-	-	-	-	-	4					
		4	-	-	-	○	18.3	1	○	-	-	-	-	-	1			4	-	-	-	○	56.6	2	-	-	-	-	-	2					
		5	-	-	-	○	41.5	1	○	-	-	-	-	-	1			5	-	-	-	○	28.1	1	-	-	-	-	-	1					
		6	-	-	-	○	40.0	1	○	-	-	-	-	-	1			6	-	-	-	○	23.4	1	-	-	-	-	-	1					
		7	-	-	-	○	42.4	1	○	-	-	-	-	-	1			7	-	-	-	○	8.0	1	-	-	-	-	-	1					
		8	-	-	-	○	43.5	1	○	-	-	-	-	-	1			8	-	-	-	○	57.8	2	-	-	-	-	-	2					
RW-4F-02	廃棄物処理建物排風機室	1	-	-	-	-	81.3	2	-	-	-	-	-	-	2	11		1	-	-	-	○	81.3	3	-	-	-	-	-	4	炎感知器設置				
		2	-	-	-	○	85.7	2	-	-	-	-	-	-	2			2	-	-	-	○	85.7	3	-	-	-	-	-	4	炎感知器設置				
		3	-	-	-	○	83.0	2	-	-	-	-	-	-	2			3	-	-	-	○	83.0	3	-	-	-	-	-	4	炎感知器設置				
		4	-	-	-	○	56.6	1	-	-	-	-	-	-	1			4	-	-	-	○	56.6	2	-	-	-	-	-	2	炎感知器設置				
		5	-	-	-	○	28.1	1	-	-	-	-	-	-	1			5	-	-	-	○	28.1	1	-	-	-	-	-	1	炎感知器設置				
		6	-	-	-	○	23.4	1	-	-	-	-	-	-	1			6	-	-	-	○	23.4	1	-	-	-	-	-	1	炎感知器設置				
		7	-	-	-	○	8.0	1	-	-	-	-	-	-	1			7	-	-	-	○	8.0	1	-	-	-	-	-	1	炎感知器設置				
		8	-	-	-	○	57.8	1	-	-	-	-	-	-	1			8	-	-	-	○	57.8	2	-	-	-	-	-	2	炎感知器設置				
RW-4F-03	希ガスホールドアップ塔室	1	○	-	-	-	85.8	2	-	-	-	-	-	2	2		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
RW-4F-04	A,B-排ガス脱湿塔室	1	-	-	-	-	13.2	1	-	-	-	-	-	1	2		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
		2	○	-	-	-	11.7	1	-	-	-	-	-	1			2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
RW-4F-05	ランドリ室	1	-	-	○	-	23.9	1	-	-	-	-	-	-	1	19		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
		2	-	-	○	-	24.4	1	-	-	-	-	-	-	1			2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
		3	-	-	○	-	16.8	1	-	-	-	-	-	-	1			3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
		4	-	-	○	-	18.4	1	-	-	-	-	-	-	1			4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
		5	-	-	○	-	35.8	1	-	-	-	-	-	-	1			5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
		6	-	-	○	-	34.6	1	-	-	-	-	-	-	1			6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
		7	-	-	○	-	34.3	1	-	-	-	-	-	-	1			7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
		8	-	-	○	-	31.1	1	-	-	-	-	-	-	1			8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
		9	-	-	○	-	29.1	1	-	-	-	-	-	-	1			9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		10	-	-	○	-	34.0	1	-	-	-	-	-	-	1			10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		11	-	-	○	-	38.5	1	-	-	-	-	-	-	1			11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		12	-	-	○	-	37.4	1	-	-	-	-	-	-	1			12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		13	-	-	○	-	34.4	1	-	-	-	-	-	-	1			13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		14	-	-	○	-	34.0	1	-	-	-	-	-	-	1			14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		15	-	-	○	-	37.8	1	-	-	-	-	-	-	1			15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		16	-	-	○	-	37.4	1	-	-	-	-	-	-	1			16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		17	-	-	○	-	32.6	1	-	-	-	-	-	-	1			17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		18	-	-	○	-	44.0	1	-	-	-	-	-	-	1			18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		19	-	-	○	-	27.5	1	-	-	-	-	-	-	1			19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
RW-4F-06-1	乾燥機室1	1	○	-	-	-	22.0	1	-	-	-	-	-	1	2		1	1~4同一区画																	
		2	○	-	-	-	15.8	0	-	-	-	-	-	0			2	1~4同一区画																	
		3	○	-	-	-	15.8	0	-	-	-	-	-	0			3	1~4同一区画																	
		4	○	-	-	-	22.0	1	-	-	-	-	-	1			4	1~4同一区画																	

消防法に準拠した火災感知器の配置を示した一覧表（対象：消防法施行規則 第23条第4項に該当する火災感知器）

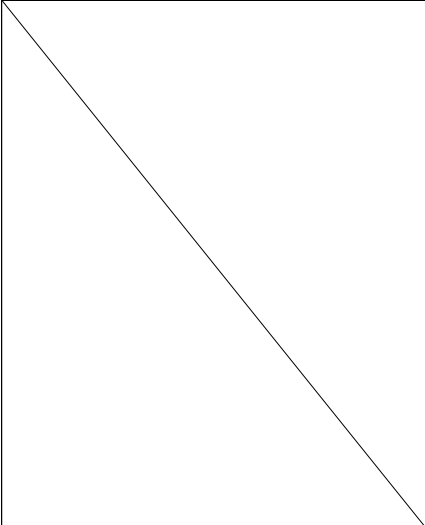
RW-4F-06-2	乾燥機室2	1	-	-	○	-	-	7.2	1	○	○	-	-	-	-	1	0	1,2線和線	1	
		2	-	-	○	-	-	15.8	1	○	○	-	-	-	-	1	1	1,2線和線	2	
		3	-	-	-	-	-	9.2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1		3
		4	-	-	-	○	-	-	8.8	1	-	-	-	-	-	-	-	-		4
		5	-	-	-	○	-	-	22.1	1	○	-	-	-	-	-	-	-		5
		6	-	-	-	○	-	-	23.3	1	○	-	-	-	-	-	-	-		6
		7	-	-	-	-	-	-	7.2	1	-	-	-	-	-	-	-	-		7
		8	-	-	-	○	-	-	23.6	1	-	-	-	-	-	-	-	-		8
		9	-	-	-	-	-	-	46.5	1	-	-	-	-	-	-	-	-		9
		10	-	-	-	○	-	-	29.6	1	-	-	-	-	-	-	-	-		10
		11	-	-	-	○	-	-	23.3	1	-	-	-	-	-	-	-	-		11
		12	-	-	-	○	-	-	23.3	1	-	-	-	-	-	-	-	-		12
		13	-	-	-	○	-	-	17.1	1	-	-	-	-	-	-	-	-		13
		14	-	-	-	○	-	-	4.9	1	-	-	-	-	-	-	-	-		14
		15	-	-	-	-	-	-	13.7	1	-	-	-	-	-	-	-	-		15
		16	-	-	-	○	-	-	20.1	1	-	-	-	-	-	-	-	-		16
		17	-	-	○	-	-	-	18.0	1	○	-	-	-	-	-	-	-		17
		18	○	-	○	-	-	-	36.3	1	○	-	-	-	-	-	-	-		18
		19	○	-	-	-	-	-	19.5	1	○	-	-	-	-	-	-	-		19
		20	○	-	-	-	-	-	28.2	1	○	-	-	-	-	-	-	-		20
		21	○	-	-	-	-	-	13.7	1	○	-	-	-	-	-	-	-		21
		22	○	-	-	-	-	-	14.4	0	-	-	-	-	-	-	-	0		22
		23	○	-	-	-	-	-	26.8	1	○	-	-	-	-	-	-	-		23
		24	○	-	-	-	-	-	14.9	1	○	-	-	-	-	-	-	-		24
		25	○	-	-	-	-	-	13.1	0	-	-	-	-	-	-	-	0		25
RW-4F-07	配管室	1	-	-	○	-	-	18.0	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1		
RW-4F-08	乾燥機復水器室	1	-	-	○	-	-	24.1	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1		
RW-4F-09	配管室	1	-	-	○	-	-	12.6	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1		
RW-4F-10	園化系弁室	1	-	-	○	-	-	21.5	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1		
RW-4F-14	エレベータ室	DW	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	1	RW-5F-07で監視	DW	
RW-4F-15	冷水循環ポンプ冷水循環タンク室	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	RW-4F-05で監視		

消防法に準拠した火災感知器の配置を示した一覧表（対象：消防法施行規則 第23条第4項に該当する火災感知器）

部屋番号		部屋名称		煙感知器											熱感知器																					
				煙感知器											熱感知器																					
		<p>○23条第4項 七 煙感知器（光電式分離型感知器を除く。）は、次に定めるところによること。</p> <p>ハ 感知器の下端は、取付け面の下方0.6m以内の位置に設けること。</p> <p>※1 取付け面から0.6m以上突出した梁等により区画</p> <p>ホ 感知器は、廊下、通路、階段及び傾斜路を除く感知区域に、感知器の種類及び取付け面の高さに応じて次の表で定める床面積につき一個以上の個数を、火災を有効に感知するように設けること。</p> <p>※2 取付け面高さ 床面積</p> <p>4m未満 150m²</p> <p>4m以上～20m未満 75m²</p> <p>【緩和策：全国消防長会中国支部編集 消防用設備等の技術基準】</p> <p>※3 取付け面から60cm以上1m未満の梁等により小さい感知区域が連続する場合は、定められた範囲内で2つ以上の感知区域を同一感知区域とすることができる。</p> <p>取付け面高さ 床面積</p> <p>4m以上～8m未満 60m²</p> <p>8m以上～20m未満 40m²</p> <p>※4 取付け面から60cm以上1m未満の梁等により区画された10m²以下の小区画1つが隣接する場合は、当該小区画も含めて同一感知区域とすることができる。</p> <p>【緩和策：日本火災報知機工業会 自動火災報知設備 工事基準書】</p> <p>※5 段違い部分を含む居室等の幅が6m未満であれば、当該居室等を同一感知区域とすることができる。</p> <p>ヘ 感知器は、廊下及び通路にあつては歩行距離三十メートルにつき一個以上の個数を、階段及び傾斜路にあつては垂直距離十五メートルにつき一個以上の個数を、火災を有効に感知するように設けること。</p> <p>上記に記載のない消防法施行規則についても準拠して感知器を設置する。</p>											<p>○23条第4項 三 差動式スポット型、定温式スポット型又は補償式スポット型その他の熱複合式スポット型の感知器は、次に定めるところによること。</p> <p>ロ 感知器は、感知区域（それぞれ単位は取付け面から0.4m以上突出したはり等によって区画された部分を用い、以下同じ。）ごとに、感知器の種類及び取付け面の高さに応じて次の表で定める床面積につき一個以上の個数を、火災を有効に感知するように設けること。</p> <p>※1 取付け面から0.4m以上突出した梁等により区画</p> <p>※2 取付け面高さ 床面積</p> <p>4m未満 70m²</p> <p>4m以上～8m未満 35m²</p> <p>【緩和策：全国消防長会中国支部編集 消防用設備等の技術基準】</p> <p>※3 取付け面から40cm以上1m未満の梁等により小さい感知区域が連続する場合は、15m²以内で2つ以上の感知区域を同一感知区域とすることができる。</p> <p>※4 取付け面から40cm以上1m未満の梁等により区画された5m²以下の小区画1つが隣接する場合は、当該小区画も含めて同一感知区域とすることができる。</p> <p>【緩和策：日本火災報知機工業会 自動火災報知設備 工事基準書】</p> <p>※5 段違い部分を含む居室等の幅が6m未満であれば、当該居室等を同一感知区域とすることができる。</p> <p>【日本火災報知機工業会 自動火災報知設備 工事基準書】</p> <p>細長い居室等の場合</p> <p>感知器を短辺が3m未満の細長い居室等に設ける場合は、歩行距離13mごとに1個以上設けること。</p> <p>上記に記載のない消防法施行規則についても準拠して感知器を設置する。</p>																							
		取付け高さ※2				緩和策適用			緩和策適用				緩和策適用				緩和策適用																			
		区画	梁高さ0.6m未満※1	4m未満	4m以上8m未満	8m以上15m未満	15m以上20m未満	区画面積(m ²)	消防火設置数	梁高さ0.6m以上1m未満	連続※3	階段※4	段違い※5	緩和策適用数	設置数	合計	備考	区画	梁高さ0.4m未満※1	取付け高さ※2			区画面積(m ²)	消防火設置数	梁高さ0.4m以上1m未満	緩和策適用			緩和策適用数	設置数	合計	備考				
										8m未満<60m ²	8m以上<40m ²	6m未満								4m未満	4m以上8m未満	8m以上			連続※3	階段※4	段違い※5									
RW-5F-01	A,B-空気抽出器排ガスファン室	1	-	○	-	-	10.0	1	-	-	-	-	-	-	1	2		1																		
		2	-	○	-	-	9.0	1	-	-	-	-	-	-	-	1	2																			
RW-5F-02	排ガス処理系計装ラック室	1	-	○	-	-	30.4	1	○	○	-	-	-	-	1	1	1,3緩和策	1																		
		2	-	○	-	-	43.6	1	○	-	-	-	-	-	-	1	2																			
		3	-	○	-	-	5.6	1	○	○	-	-	-	-	1	0	1,3緩和策	3																		
RW-5F-03	エレベータ機械室	1	-	○	-	-	17.8	1	○	-	-	-	-	-	-	1	2																			
		2	-	○	-	-	4.0	1	○	-	-	-	-	-	-	1																				
		1	-	○	-	-	33.5	1	○	-	-	-	-	-	-	1																				
		2	-	○	-	-	31.1	1	○	-	-	-	-	-	-	1																				
		3	-	○	-	-	31.1	1	○	-	-	-	-	-	-	1																				
		4	-	○	-	-	33.7	1	○	-	-	-	-	-	-	1																				
		5	-	○	-	-	34.8	1	○	-	-	-	-	-	-	1																				
		6	-	○	-	-	16.2	1	○	-	-	-	-	-	-	1																				
		7	-	○	-	-	16.2	1	○	-	-	-	-	-	-	1																				
		8	-	○	-	-	16.2	1	○	-	-	-	-	-	-	1																				
		9	-	○	-	-	16.2	1	○	-	-	-	-	-	-	1																				
		10	-	○	-	-	17.5	1	○	-	-	-	-	-	-	1																				
		11	-	○	-	-	17.5	1	○	-	-	-	-	-	-	1																				
		12	-	○	-	-	17.5	1	○	-	-	-	-	-	-	1																				
		13	○	-	○	-	15.2	0	○	-	-	-	-	-	-	0																				
		14	○	-	○	-	15.8	0	○	-	-	-	-	-	-	0																				
		15	○	-	○	-	7.5	1	○	-	-	-	-	-	-	1																				
		16	-	○	-	-	12.9	1	○	-	-	-	-	-	-	1																				
		17	-	○	-	-	17.5	1	○	-	-	-	-	-	-	1																				
		18	-	○	-	-	17.5	1	○	-	-	-	-	-	-	1																				
RW-5F-06	通路	1	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-																				
RW-5F-07	エレベータ室	DW	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1																				

補-3-7-110

消防法に準拠した火災感知器の配置を示した一覧表（対象：消防法施行規則 第 23 条第 4 項に該当する火災感知器）

		炎感知器						
		<p>○ 23条第4項 七の四 炎感知器（道路の用に供される部分に設けられるものを除く。）は、次に定めるところによること。</p> <p>□ 感知器は、壁によつて区画された区域ごとに、当該区域の床面から高さ一・二メートルまでの空間（以下「監視空間」という。）の各部分から当該感知器までの距離が公称監視距離の範囲内となるように設けること。</p>						
		部屋番号	部屋名称	区画	監視範囲 (m)	視野角 (°)	設置数	合計
RW-1F-27	通路・階段室	1	45	90	2	2		

補-3-7-111

消防法に準拠した火災感知器の配置を示した一覧表（対象：消防法施行規則 第23条第4項に該当する火災感知器）

		炎感知器					
		○ 23条第4項 七の四 炎感知器（道路の用に供される部分に設けられるものを除く。）は、次に定めるところによること。 □ 感知器は、壁によつて区画された区域ごとに、当該区域の床面から高さ一・二メートルまでの空間（以下「監視空間」という。）の各部分から当該感知器までの距離が公称監視距離の範囲内となるように設けること。					
部屋番号	部屋名称	区画	監視範囲 (m)	視野角 (°)	設置数	合計	備考
RW-2F-02	中央制御室送風機室	1	45	90	4	18	
		2	45	90	2		
		3	45	90	4		
		4	45	90	2		
		5	45	90	1		
		6	45	90	2		
		7	45	90	3		

消防法に準拠した火災感知器の配置を示した一覧表（対象：消防法施行規則 第23条第4項に該当する火災感知器）

部屋番号		部屋名称		炎感知器				備考	
				区画	監視範囲 (m)	視野角 (°)	設置数		合計
RW-4F-02		廃棄物処理建物排風機室		1	45	90	4	18	
				2	45	90	2		
				3	45	90	4		
				4	45	90	3		
				5	45	90	1		
				6	45	90	1		
				7	45	90	0		
				8	45	90	3		

補-3-7-113

消防法に準拠した火災感知器の配置を示した一覧表（対象：消防法施行規則 第23条第4項に該当する火災感知器）

		煙感知器											熱感知器																			
		<p>○23条第4項 七 煙感知器（光電式分離型感知器を除く。）は、次に定めるところによること。</p> <p>八 感知器の下端は、取付け面の下方0.6m以内の位置に設けること。</p> <p>※1 取付け面から0.6m以上突出した梁等により区画</p> <p>ホ 感知器は、廊下、通路、階段及び傾斜路を除く感知区域ごとに、感知器の種類及び取付け面の高さに応じて次の表で定める床面積につき一個以上の個数を、火災を有効に感知するように設けること。</p> <p>※2 取付け面高さ 床面積 4m未満 150m² 4m以上～20m未満 75m²</p> <p>【緩和策：全国消防長会中国支部編集 消防用設備等の技術基準】</p> <p>※3 取付け面から60cm以上1m未満の梁等により小さい感知区域が連続する場合は、定められた範囲内で2つ以上の感知区域を同一感知区域とすることができる。</p> <p>取付け面高さ 床面積 4m以上～8m未満 60m² 8m以上～20m未満 40m²</p> <p>※4 取付け面から60cm以上1m未満の梁等により区画された10m²以下の小区画1つが隣接する場合は、当該小区画も含めて同一感知区域とすることができる。</p> <p>【緩和策：日本火災報知機工業会 自動火災報知設備 工事基準書】</p> <p>※5 段違い部分を含む居室等の幅が6m未満であれば、当該居室等を同一感知区域とすることができる。</p> <p>ハ 感知器は、廊下及び通路にあつては歩行距離三十メートルにつき一個以上の個数を、階段及び傾斜路にあつては垂直距離十五メートルにつき一個以上の個数を、火災を有効に感知するように設けること。</p> <p>上記に記載のない消防法施行規則についても準拠して感知器を設置する。</p>											<p>○23条第4項 三 差動式スポット型、定置式スポット型又は補償式スポット型その他の熱複合式スポット型の感知器は、次に定めるところによること。</p> <p>ロ 感知器は、感知区域（それぞれ壁又は取付け面から0.4m以上突出したはり等によって区画された部分をいう。以下同じ。）ごとに、感知器の種類及び取付け面の高さに応じて次の表で定める床面積につき一個以上の個数を、火災を有効に感知するように設けること。</p> <p>※1 取付け面から0.4m以上突出した梁等により区画</p> <p>※2 取付け面高さ 床面積 4m未満 70m² 4m以上～8m未満 35m²</p> <p>【緩和策：全国消防長会中国支部編集 消防用設備等の技術基準】</p> <p>※3 取付け面から40cm以上1m未満の梁等により小さい感知区域が連続する場合は、15m²以内で2つ以上の感知区域を同一感知区域とすることができる。</p> <p>※4 取付け面から40cm以上1m未満の梁等により区画された5m²以下の小区画1つが隣接する場合は、当該小区画も含めて同一感知区域とすることができる。</p> <p>【緩和策：日本火災報知機工業会 自動火災報知設備 工事基準書】</p> <p>※5 段違い部分を含む居室等の幅が6m未満であれば、当該居室等を同一感知区域とすることができる。</p> <p>【日本火災報知機工業会 自動火災報知設備 工事基準書】</p> <p>縦長い居室等の場合 感知器を短辺が3m未満の細長い居室等に設ける場合は、歩行距離13mごとに1個以上設けること。</p> <p>上記に記載のない消防法施行規則についても準拠して感知器を設置する。</p>																			
部屋番号	部屋名称	区画	取付け高さ※2					区画面積 (m ²)	消防法設置数	緩和策適用				緩和策適用数	設置数	合計	備考	区画	取付け高さ※2				区画面積 (m ²)	消防法設置数	緩和策適用				緩和策適用数	設置数	合計	備考
			0.6m未満 ※1	4m未満	4m以上 8m未満	8m以上 15m未満	15m以上 20m未満			0.6m以上 1m未満	連続※3 8m未満 <60m ²	隣接※4 8m以上 <40m ²	段違い※5 <10m ²						6m未満	0.4m未満 ※1	4m未満	4m以上 8m未満			8m以上	0.4m以上 1m未満	連続※3 <15m ²	隣接※4 <5m ²				
C-3F-01	2号Aケーブル処理室	1	○	○	-	-	18.3	1	-	-	-	-	-	1	4	1,2同一区画	1	-	○	-	-	18.3	1	○	-	-	-	-	1	8		
		2	○	○	-	-	22.2	0	○	-	-	-	-	0	1,2同一区画	2	-	○	-	-	22.2	1	○	-	-	-	-	2				
		3	○	○	-	-	22.2	0	○	-	-	-	-	1	3～5同一区画	3	-	○	-	-	22.2	1	○	-	-	-	-	2				
		4	○	○	-	-	21.5	0	-	-	-	-	-	1	3～5同一区画	4	○	○	-	-	21.5	1	○	-	-	-	-	1				
		5	○	○	-	-	22.0	1	-	-	-	-	-	1	3～5同一区画	5	-	○	-	-	22.0	1	○	-	-	-	-	2				
C-3F-02	2号Bケーブル処理室	1	○	○	-	-	53.2	1	-	-	-	-	-	1	2	1～3同一区画	1	○	○	-	-	53.2	1	○	-	-	-	-	4	7		
		2	○	○	-	-	26.4	0	-	-	-	-	-	1	1～3同一区画	2	-	○	-	-	26.4	1	○	-	-	-	-	2				
		3	○	○	-	-	26.4	0	-	-	-	-	-	0	1～3同一区画	3	-	○	-	-	26.4	1	○	-	-	-	-	1				
C-3F-03	通信機械室	1	○	○	-	-	16.8	0	-	-	-	-	-	0	1	1,2同一区画	1	-	○	-	-	16.8	1	○	-	-	-	-	1	2		
		2	○	○	-	-	29.2	1	-	-	-	-	-	1	1,2同一区画	2	-	○	-	-	29.2	1	○	-	-	-	-	1				
C-3F-04	通路	1	-	○	-	-	13.7	1	-	-	-	-	-	1	1	1	-	○	-	-	13.7	1	-	-	-	-	-	1	1			
C-3F-05	計算機室	1	○	○	-	-	45.3	1	○	-	-	-	-	1	4	1,2同一区画	1	○	○	-	-	45.3	1	○	-	-	-	-	1	4		
		2	○	○	-	-	31.6	0	○	-	-	-	-	1	1,2同一区画	2	○	○	-	-	31.6	1	○	-	-	-	-	1				
		3	○	○	-	-	20.9	0	○	-	-	-	-	1	3,4同一区画	3	○	○	-	-	20.9	1	○	-	-	-	-	1				
		4	○	○	-	-	20.9	1	○	-	-	-	-	1	3,4同一区画	4	○	○	-	-	20.9	1	○	-	-	-	-	1				

消防法に準拠した火災感知器の配置を示した一覧表（対象：消防法施行規則 第23条第4項に該当する火災感知器）

		煙感知器										熱感知器																						
		<p>○23条第4項 七 煙感知器（光電式分離型感知器を除く。）は、次に定めるところによること。 八 感知器の下部は、取付け面の下方0.6m以内の位置に設けること。 ※1 取付け面から0.6m以上突出した梁等により区画</p> <p>ホ 感知器は、廊下、通路、階段及び傾斜路を除く感知区域ごとに、感知器の種類及び取付け面の高さに応じて次の表で定める床面積につき一個以上の個数を、火災を有効に感知するように設けること。 ※2 取付け面高さ 床面積 4m未満 150m² 4m以上～20m未満 75m²</p> <p>【緩和策：全国消防長会中国支部編集 消防用設備等の技術基準】 ※3 取付け面から60cm以上1m未満の梁等により小さい感知区域が連続する場合は、定められた範囲内で2つ以上の感知区域を同一感知区域とすることができる。 取付け面高さ 床面積 4m以上～8m未満 60m² 8m以上～20m未満 40m²</p> <p>※4 取付け面から60cm以上1m未満の梁等により区画された10m²以下の小区画1つが隣接する場合は、当該小区画も含めて同一感知区域とすることができる。 【緩和策：日本火災報知機工業会 自動火災報知設備 工事基準書】 ※5 段違い部分を含む居室等の幅が6m未満であれば、当該居室等を同一感知区域とすることができる。</p> <p>ハ 感知器は、廊下及び通路にあつては歩行距離三十メートルにつき一個以上の個数を、階段及び傾斜路にあつては垂直距離十五メートルにつき一個以上の個数を、火災を有効に感知するように設けること。</p> <p>上記に記載のない消防法施行規則についても準拠して感知器を設置する。</p>										<p>○23条第4項 三 差動式スポット型、定温式スポット型又は複備式スポット型その他の熱複合式スポット型の感知器は、次に定めるところによること。 ロ 感知器は、感知区域（それぞれ壁又は取付け面から0.4m以上突出したはり等によって区画された部分を含む。以下同じ。）ごとに、感知器の種類及び取付け面の高さに応じて次の表で定める床面積につき一個以上の個数を、火災を有効に感知するように設けること。 ※1 取付け面から0.4m以上突出した梁等により区画 ※2 取付け面高さ 床面積 4m未満 70m² 4m以上～8m未満 35m²</p> <p>【緩和策：全国消防長会中国支部編集 消防用設備等の技術基準】 ※3 取付け面から40cm以上1m未満の梁等により小さい感知区域が連続する場合は、15m²以内で2つ以上の感知区域を同一感知区域とすることができる。 ※4 取付け面から40cm以上1m未満の梁等により区画された5m²以下の小区画1つが隣接する場合は、当該小区画も含めて同一感知区域とすることができる。 【緩和策：日本火災報知機工業会 自動火災報知設備 工事基準書】 ※5 段違い部分を含む居室等の幅が6m未満であれば、当該居室等を同一感知区域とすることができる。</p> <p>【日本火災報知機工業会 自動火災報知設備 工事基準書】 細長い居室等の場合 感知器を短辺が3m未満の細長い居室等に設ける場合は、歩行距離13mごとに1個以上設けること。</p> <p>上記に記載のない消防法施行規則についても準拠して感知器を設置する。</p>																						
部屋番号	部屋名称	区画	梁高さ 0.6m未満 ※1	取付け高さ※2				区画面積 (m ²)	消防法 設置数	梁高さ 0.6m以上 1m未満	緩和策適用			緩和策 適用数	設置数	合計	備考	区画	梁高さ 0.4m未満 ※1	取付け高さ※2			区画面積 (m ²)	消防法 設置数	梁高さ 0.4m以上 1m未満	緩和策適用			緩和策 適用数	設置数	合計	備考		
				4m未満	4m以上 8m未満	8m以上 15m未満	15m以上 20m未満				連続※3 8m未満 <60m ²	隣接※4 8m以上 <40m ²	段違い※5 <10m ²	6m未満							4m未満	4m以上 8m未満	8m以上			連続※3 <15m ²	隣接※4 <5m ²	段違い※5 6m未満						
C-4F-01	2号機側中央制御室	1	○	—	○	—	—	74.2	1	—	—	—	—	—	—	1			1	—	—	○	—	74.2	3	○	—	—	—	—	—	4		
		2	○	—	○	—	—	74.0	1	—	—	—	—	—	—	—	1			2	—	—	○	—	74.0	3	○	—	—	—	—	—	4	
		3	○	—	○	—	—	74.0	1	—	—	—	—	—	—	—	1			3	—	—	○	—	74.0	3	○	—	—	—	—	—	4	
		4	○	—	○	—	—	74.1	1	—	—	—	—	—	—	—	1			4	—	—	○	—	74.1	3	○	—	—	—	—	—	4	
		5	○	—	○	—	—	71.8	1	—	—	—	—	—	—	—	1			5	—	—	○	—	71.8	3	○	—	—	—	—	—	4	
		6	○	—	○	—	—	71.6	1	—	—	—	—	—	—	—	1			6	—	—	○	—	71.6	3	○	—	—	—	—	—	4	
		7	○	—	○	—	—	71.6	1	—	—	—	—	—	—	—	1			7	—	—	○	—	71.6	3	○	—	—	—	—	—	4	
		8	○	—	○	—	—	71.9	1	—	—	—	—	—	—	—	1			8	—	—	○	—	71.9	3	○	—	—	—	—	—	3	
C-4F-03	均圧室・温避室	1	—	○	—	—	2.3	1	—	—	—	—	—	—	—	1			1	—	○	—	—	2.3	1	—	—	—	—	—	—	1		
		2	—	○	—	—	13.3	1	—	—	—	—	—	—	—	1			2	—	○	—	—	13.3	1	—	—	—	—	—	—	1		

消防法に準拠した火災感知器の配置を示した一覧表（対象：消防法施行規則 第23条第4項に該当する火災感知器）

		煙感知器													熱感知器																				
		<p>○23条第4項 七 煙感知器（光電式分離型感知器を除く。）は、次に定めるところによること。</p> <p>ハ 感知器の下端は、取付け面の下方0.6m以内の位置に設けること。</p> <p>※1 取付け面から0.6m以上突出した梁等により区画</p> <p>ホ 感知器は、廊下、通路、階段及び傾斜路を除く感知区域ごとに、感知器の種類及び取付け面の高さに応じて次の表で定める床面積につき一個以上の個数を、火災を有効に感知するように設けること。</p> <p>※2 取付け面高さ 床面積 4m未満 150m² 4m以上～20m未満 75m²</p> <p>【緩和策：全国消防長会中国支部編集 消防用設備等の技術基準】 ※3 取付け面から60cm以上1m未満の梁等により小さい感知区域が連続する場合は、定められた範囲内で2つ以上の感知区域を同一感知区域とすることができる。</p> <p>取付け面高さ 床面積 4m以上～8m未満 60m² 8m以上～20m未満 40m²</p> <p>※4 取付け面から40cm以上1m未満の梁等により区画された10m²以下の小区画1つが隣接する場合は、当該小区画も含めて同一感知区域とすることができる。</p> <p>【緩和策：日本火災報知機工業会 自動火災報知設備 工事基準書】 ※5 段違い部分を含む居室等の幅が6m未満であれば、当該居室等を同一感知区域とすることができる。</p> <p>ハ 感知器は、廊下及び通路にあつては歩行距離三十メートルにつき一個以上の個数を、階段及び傾斜路にあつては垂直距離十五メートルにつき一個以上の個数を、火災を有効に感知するように設けること。</p> <p>上記に記載のない消防法施行規則についても準拠して感知器を設置する。</p>													<p>○23条第4項 三 差動式スポット型、定温式スポット型又は補償式スポット型その他の熱複合式スポット型の感知器は、次に定めるところによること。</p> <p>ロ 感知器は、感知区域（それぞれ縦又は取付け面から0.4m以上突出したはり等によって区画された部分を含む。）ごとに、感知器の種類及び取付け面の高さに応じて次の表で定める床面積につき一個以上の個数を、火災を有効に感知するように設けること。</p> <p>※1 取付け面から0.4m以上突出した梁等により区画</p> <p>※2 取付け面高さ 床面積 4m未満 70m² 4m以上～8m未満 35m²</p> <p>【緩和策：全国消防長会中国支部編集 消防用設備等の技術基準】 ※3 取付け面から40cm以上1m未満の梁等により小さい感知区域が連続する場合は、15m²以内で2つ以上の感知区域を同一感知区域とすることができる。</p> <p>※4 取付け面から40cm以上1m未満の梁等により区画された5m²以下の小区画1つが隣接する場合は、当該小区画も含めて同一感知区域とすることができる。</p> <p>【緩和策：日本火災報知機工業会 自動火災報知設備 工事基準書】 ※5 段違い部分を含む居室等の幅が6m未満であれば、当該居室等を同一感知区域とすることができる。</p> <p>【日本火災報知機工業会 自動火災報知設備 工事基準書】 感知器を短辺が3m未満の細長い居室等に設ける場合は、歩行距離13mごとに1個以上設けること。</p> <p>上記に記載のない消防法施行規則についても準拠して感知器を設置する。</p>																				
部屋番号	部屋名称	区画	取付け高さ※2					区画面積 (m ²)	消防法設置数	緩和策適用					緩和策適用数	設置数	合計	備考	区画	取付け高さ※2					区画面積 (m ²)	消防法設置数	緩和策適用					緩和策適用数	設置数	合計	備考
			梁高0.6m未満※1	4m未満	4m以上8m未満	8m以上15m未満	15m以上20m未満			梁高0.6m以上1m未満	連続※3	隣接※4	段違い※5	梁高0.4m未満※1						4m未満	4m以上8m未満	8m以上	梁高0.4m以上1m未満	連続※3			隣接※4	段違い※5							
Y-01	トーラス水受入タンク室	1	-	-	○	-	10.7	1	-	-	-	-	-	-	-	1	5		1	-	-	○	-	10.7	1	-	-	-	-	-	-	1	5	炎感知器設置	
Y-02	階段室	2	-	-	-	○	51.2	1	-	-	-	-	-	-	-	4	0		2	-	-	-	○	51.2	2	-	-	-	-	-	4	0			
Y-03	CWT配管ダクト室	通路	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	0	0		通路	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	0	0			
Y-04	補助復水貯蔵タンク室	1	-	-	○	-	22.5	1	-	-	-	-	-	-	-	1	5		1	-	-	○	22.5	1	-	-	-	-	-	-	1	5	炎感知器設置		
Y-05	階段室	2	-	-	-	○	51.2	1	-	-	-	-	-	-	-	4	0		2	-	-	-	○	51.2	2	-	-	-	-	4	0				
Y-06	CWT配管ダクト室	通路	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	0	0		通路	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	0	0			
Y-07	復水貯蔵タンク室	1	-	-	○	-	38.3	1	-	-	-	-	-	-	-	1	5		1	-	-	○	38.3	2	-	-	-	-	-	-	2	6	炎感知器設置		
Y-08	階段室	2	-	-	-	○	51.2	1	-	-	-	-	-	-	-	4	0		2	-	-	-	○	51.2	2	-	-	-	-	4	0				
Y-09	CWT配管ダクト室（北側）	通路	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	0	0		通路	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	0	0			
Y-10	S I ケーブルダクト室	1	-	○	-	-	19.0	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1		1	-	○	-	19.0	2	-	-	-	-	-	-	2	3			
Y-11	S II ケーブルダクト室	1	-	○	-	-	36.0	1	-	-	-	-	-	-	-	2	2		1	-	○	-	36.0	3	-	-	-	-	-	-	3	3			
Y-14	配管ダクト室	1	-	○	-	-	117.0	1	-	-	-	-	-	-	-	2	2		1	-	○	-	117.0	2	-	-	-	-	-	-	3	3			
Y-18	A-DEG燃料移送ポンプ室	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		1	-	○	-	10.1	1	-	-	-	-	-	-	1	1	炎感知器設置		
Y-20	配管ダクト室	配置空間がなく、感知器を設置するスペースなし													配置空間がなく、感知器を設置するスペースなし																				
Y-21	配管ダクト室	配置空間がなく、感知器を設置するスペースなし													配置空間がなく、感知器を設置するスペースなし																				
Y-23	HPCS-DEG燃料移送ポンプ室	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		1	-	○	-	-	17.6	1	-	-	-	-	-	1	1	炎感知器設置		
Y-29	排気筒モニタ室（分電盤室）	1	-	○	-	-	17.6	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1		1	-	-	-	-	17.6	1	-	-	-	-	-	1	1	感知器 二酸化不要箇所		
Y-30	排気筒モニタ室（分析室）	1	-	○	-	-	17.8	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1		1	-	-	-	-	17.8	1	-	-	-	-	-	1	1	感知器 二酸化不要箇所		
Y-31	排気筒モニタ室（ラック室）	1	○	○	-	-	20.4	0	○	-	-	-	-	-	-	0	0	1,2同一区画	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		2	○	○	-	-	20.6	1	○	-	-	-	-	-	-	1	1	1,2同一区画	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		3	○	○	-	-	20.8	1	○	-	-	-	-	-	-	1	1	3,4同一区画	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		4	○	○	-	-	21.0	0	○	-	-	-	-	-	-	0	0	3,4同一区画	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
Y-73	B-DEG燃料移送ポンプ室	1	-	-	○	-	12.6	1	-	-	-	-	-	-	-	1	2		1	-	○	-	12.6	1	-	-	-	-	-	-	1	3			
Y-75	CWT配管ダクト室（東側）	2	-	-	○	-	46.8	1	-	-	-	-	-	-	-	1	2		2	-	-	○	46.8	2	-	-	-	-	-	-	2	2			
Y-76	CWT配管ダクト室（西側）	通路	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	2		通路	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	3	3			
Y-76	CWT配管ダクト室（西側）	1	-	○	-	-	6.8	1	-	-	-	-	-	-	-	1	2		1	-	○	-	6.8	1	-	-	-	-	-	-	1	3			
Y-76	CWT配管ダクト室（西側）	通路	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	2		通路	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	2	3			
Y-S1-01	低圧原子炉代替器注水槽	水槽内であり、感知器の設置に適さない場所													水槽内であり、感知器の設置に適さない場所																				
Y-S1-02	低圧原子炉代替器注水ポンプ室	1	-	-	○	-	110.3	2	-	-	-	-	-	-	-	2	2		1	-	-	○	110.3	4	-	-	-	-	-	-	4	4			
Y-S1-03	電気品室	1	-	-	○	-	110.3	2	-	-	-	-	-	-	-	2	2		1	-	-	○	110.3	4	-	-	-	-	-	-	4	4			
Y-S1-04	配管室	1	-	○	-	-	12.1	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1		1	-	○	-	12.1	1	-	-	-	-	-	-	1	1			
Y-S1-05	階段室	階段	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1		階段	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1			
Y-S1-06	給気室	1	-	-	○	-	9.0	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1		1	-	-	○	9.0	1	-	-	-	-	-	-	1	1			
Y-S1-07	消火用ポンプ庫	1	-	○	-	-	11.5	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1		1	-	○	-	11.5	1	-	-	-	-	-	-	1	1			
Y-S2-01	通路	通路	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	2		通路	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	3	3			
Y-S2-02	通路	1	○	-	○	-	13.6	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1		1	○	-	○	13.6	1	-	-	-	-	-	-	1	1			
		2	○	-	○	-	17.8	1	-	-	-	-	-	-	-	1	2		2	○	-	○	17.8	1	-	-	-	-	-	-	1	2			

消防法に準拠した火災感知器の配置を示した一覧表（対象：消防法施行規則 第23条第4項に該当する火災感知器）

Y-S2-03	第1ベントフィルタスクラバ容器室	1	○	-	○	-	-	16.3	0	-	-	-	-	-	-	-	1	4	1~12同一区画	1	○	-	○	-	16.3	1	○	-	-	-	-	1	11			
		2	○	-	○	-	-	7.0	0	-	-	-	-	-	-	-	0		1~12同一区画	2	○	-	○	-	7.0	1	○	-	-	-	-	1		炎感知器設置		
		3	○	-	○	-	-	14.0	1	-	-	-	-	-	-	-	1		1~12同一区画	3	○	-	○	-	14.0	1	○	-	-	-	-	1		炎感知器設置		
		4	○	-	○	-	-	11.5	0	-	-	-	-	-	-	-	0		1~12同一区画	4	○	-	○	-	11.5	1	○	-	-	-	-	1		炎感知器設置		
		5	○	-	-	○	-	-	11.8	0	-	-	-	-	-	-	0		1~12同一区画	5	○	-	-	○	-	11.8	1	○	-	-	-	-		1	炎感知器設置	
		6	○	-	-	○	-	-	12.0	0	-	-	-	-	-	-	1		1~12同一区画	6	○	-	-	○	-	12.0	1	○	-	-	-	-		1	炎感知器設置	
		7	○	-	-	○	-	-	12.0	0	-	-	-	-	-	-	0		1~12同一区画	7	○	-	-	○	-	12.0	1	○	-	-	-	-		1	炎感知器設置	
		8	○	-	-	○	-	-	6.7	0	-	-	-	-	-	-	0		1~12同一区画	8	○	-	-	○	-	6.7	1	○	-	-	-	-		1	炎感知器設置	
		9	○	-	-	○	-	-	18.8	1	-	-	-	-	-	-	1		1~12同一区画	9	○	-	-	○	-	18.8	1	○	-	-	-	-		1	炎感知器設置	
		10	○	-	-	○	-	-	3.1	0	-	-	-	-	-	-	0		1~12同一区画	10	○	-	-	○	-	3.1	1	○	○	-	-	-		1	0	10,11緩和策、炎感知器設置
		11	○	-	-	○	-	-	9.2	0	-	-	-	-	-	-	0		1~12同一区画	11	○	-	-	○	-	9.2	1	○	○	-	-	-		1	1	10,11緩和策、炎感知器設置
		12	○	-	-	○	-	-	12.6	0	-	-	-	-	-	-	0		1~12同一区画	12	○	-	-	○	-	12.6	1	○	-	-	-	-		1	1	炎感知器設置
Y-S2-04	第1ベントフィルタ銀ゼライト容器室	1	-	○	-	-	-	14.3	2	-	-	-	-	-	-	2	2	1	-	○	-	-	14.3	2	-	-	-	-	-	2	2					
Y-S2-05	第1ベントフィルタ出口モニタ室	1	○	-	○	-	-	26.9	1	-	-	-	-	-	-	1	3	1	○	-	○	-	26.9	1	-	-	-	-	-	1						
		2	○	○	-	-	-	24.0	1	-	-	-	-	-	-	1		2	○	○	-	-	24.0	1	-	-	-	-	-	1						
		3	-	-	○	-	-	8.8	1	-	-	-	-	-	-	1		3	-	-	○	-	8.8	1	-	-	-	-	-	1						
		通路	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	0		通路	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	0							
Y-S2-06	階段室	階段	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	1	階段	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2					
Y-S3-01	補助消火ポンプ室	1	-	-	○	-	-	53.8	1	-	-	-	-	-	1	5	1	-	-	○	-	-	53.8	2	-	-	-	-	-	2						
Y-S3-02	送風機室	1	-	-	○	-	-	53.8	1	-	-	-	-	1	1		-	-	○	-	-	53.8	2	-	-	-	-	-	2							
Y-S3-03	連絡ゲート	1	-	○	-	-	-	8.2	1	-	-	-	-	1	1		-	-	○	-	-	8.2	1	-	-	-	-	-	1							
Y-S4-04	給気室	1	-	○	-	-	-	5.3	1	-	-	-	-	1	1		-	-	○	-	-	5.3	1	-	-	-	-	-	1							
Y-S3-05	階段室	1	-	-	○	-	-	5.5	1	-	-	-	-	1	1		-	-	-	○	-	5.5	1	-	-	-	-	-	1							
1U-T-01	1号 TB-3F 中央連絡通路	通路	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	3	3	通路	感知器	二重化不要箇所														炎感知器設置			

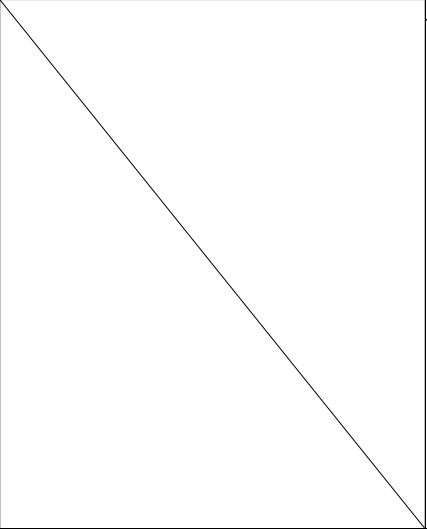
消防法に準拠した火災感知器の配置を示した一覧表（対象：消防法施行規則 第23条第4項に該当する火災感知器）

		熱感知器											炎感知器										
		<p>○23条第4項 三 差動式スポット型、定温式スポット型又は補償式スポット型その他の熱複合式スポット型の感知器は、次に定めるところによること。</p> <p>□ 感知器は、感知区域（それぞれ壁又は取付け面から0.4m以上突出したはり等によつて区画された部分をいう。以下同じ。）ごとに、感知器の種類及び取付け面の高さに応じて次の表で定める床面積につき一個以上の個数を、火災を有効に感知するように設けること</p> <p>※1 取付け面から0.4m以上突出した梁等により区画</p> <p>※2 取付け面高さ 床面積</p> <p>4m未満 70m²</p> <p>4m以上～8m未満 35m²</p> <p>【緩和策：全国消防長会中国支部編集 消防用設備等の技術基準】</p> <p>※3 取付面から40cm以上1m未満の梁等により小さい感知区域が連続する場合は、15m²以内で2つ以上の感知区域を同一感知区域とすることができる。</p> <p>※4 取付面から40cm以上1m未満の梁等により区画された5m²以下の小区画1つが隣接する場合は、当該小区画も含めて同一感知区域とすることができる。</p> <p>【緩和策：日本火災報知機工業会 自動火災報知設備 工事基準書】</p> <p>※5 段違い部分を含む居室等の幅が6m未満であれば、当該居室等を同一感知区域とすることができる。</p> <p>【日本火災報知機工業会 自動火災報知設備 工事基準書】</p> <p>細長い居室等の場合</p> <p>感知器を短辺が3m未満の細長い居室等に設ける場合は、歩行距離13mごとに1個以上設けること。</p> <p>上記に記載のない消防法施行規則についても準拠して感知器を設置する。</p>											<p>○23条第4項 七の四 炎感知器（道路の用に供される部分に設けられるものを除く。）は、次に定めるところによること。</p> <p>□ 感知器は、壁によつて区画された区域ごとに、当該区域の床面から高さ一・二メートルまでの空間（以下「監視空間」という。）の各部分から当該感知器までの距離が公称監視距離の範囲内となるように設けること。</p>										
		部屋番号	部屋名称	区画	取付け高さ※2				区画面積 (m ²)	消防法設置数	梁高さ	緩和策適用			緩和策適用数	設置数	合計	備考	区画	監視範囲 (m)	視野角 (°)	設置数	合計
			梁高さ0.4m未満※1	4m未満	4m以上8m未満	8m以上			0.4m以上1m未満	連続※3	隣接※4	段違い※5											
Y-15	A-DEG燃料貯蔵タンク室	1	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	3	3		1	45	90	3	3		
Y-16	HPCS-DEG燃料貯蔵タンク室	1	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	3	3		1	45	90	3	3		
Y-17	A-2 DEG燃料貯蔵タンク室（予備）	1	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	3	3		1	45	90	3	3		
Y-18	A-DEG燃料移送ポンプ室	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	1		1	45	90	1	1		
Y-23	HPCS-DEG燃料移送ポンプ室	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	1		1	45	90	1	1		
Y-70	B-DEG燃料貯蔵タンク室(1)	1	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	3	3		1	45	90	3	3		
Y-71	B-DEG燃料貯蔵タンク室(2)	1	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	3	3		1	45	90	3	3		
Y-72	B-DEG燃料貯蔵タンク室(3)	1	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	3	3		1	45	90	3	3		

消防法に準拠した火災感知器の配置を示した一覧表（対象：消防法施行規則 第23条第4項に該当する火災感知器）

		熱感知器											炎感知器									
		<p>○23条第4項 三 差動式スポット型、定温式スポット型又は補償式スポット型その他の熱複合式スポット型の感知器は、次に定めるところによること。</p> <p>□ 感知器は、感知区域（それぞれ壁又は取付け面から0.4m以上突出したはり等によって区画された部分をいう。以下同じ。）ごとに、感知器の種別及び取付け面の高さに応じて次の表で定める床面積につき一個以上の個数を、火災を有効に感知するように設けること。</p> <p>※1 取付け面から0.4m以上突出した梁等により区画</p> <p>※2 取付け面高さ 床面積</p> <p>4m未満 70m²</p> <p>4m以上～8m未満 35m²</p> <p>【緩和策：全国消防長会中国支部編集 消防用設備等の技術基準】</p> <p>※3 取付面から40cm以上1m未満の梁等により小さい感知区域が連続する場合は、15m²以内で2つ以上の感知区域を同一感知区域とすることができる。</p> <p>※4 取付面から40cm以上1m未満の梁等により区画された5m²以下の小区画1つが隣接する場合は、当該小区画も含めて同一感知区域とすることができる。</p> <p>【緩和策：日本火災報知機工業会 自動火災報知設備 工事基準書】</p> <p>※5 段違い部分を含む居室等の幅が6m未満であれば、当該居室等を同一感知区域とすることができる。</p> <p>【日本火災報知機工業会 自動火災報知設備 工事基準書】</p> <p>細長い居室等の場合</p> <p>感知器を短辺が3m未満の細長い居室等に設ける場合は、歩行距離13mごとに1個以上設けること。</p> <p>上記に記載のない消防法施行規則についても準拠して感知器を設置する。</p>											<p>○23条第4項 七の四 炎感知器（道路の用に供される部分に設けられるものを除く。）は、次に定めるところによること。</p> <p>□ 感知器は、壁によって区画された区域ごとに、当該区域の床面から高さ一・二メートルまでの空間（以下「監視空間」という。）の各部分から当該感知器までの距離が公称監視距離の範囲内となるように設けること。</p>									
部屋番号	部屋名称	区画	梁高さ 0.4m未満 ※1	取付け高さ※2			区画面積 (m ²)	消防法 設置数	梁高さ 0.4m以上 1m未満	緩和策適用			緩和策 適用数	設置数	合計	備考	区画	監視範囲 (m)	視野角 (°)	設置数	合計	備考
				4m未満	4m以上 8m未満	8m以上				連続※3	隣接※4	段違い※5										
Y-38	緊急時対策所用燃料地下タンク室（屋外）	1	—	○	—	—	42.0	1	—	—	—	—	—	1	1		1	—	90	2	2	

消防法に準拠した火災感知器の配置を示した一覧表（対象：消防法施行規則 第23条第4項に該当する火災感知器）

		炎感知器						
		<p>○ 23条第4項 七の四 炎感知器（道路の用に供される部分に設けられるものを除く。）は、次に定めるところによること。</p> <p>□ 感知器は、壁によつて区画された区域ごとに、当該区域の床面から高さ一・二メートルまでの空間（以下「監視空間」という。）の各部分から当該感知器までの距離が公称監視距離の範囲内となるように設けること。</p>						
		部屋番号	部屋名称	区画	監視範囲 (m)	視野角 (°)	設置数	合計
Y-01	トラス水受入タンク室	2	45	90	5	5		
Y-04	補助復水貯蔵タンク室	2	45	90	5	5		
Y-07	復水貯蔵タンク室	2	45	90	5	5		
Y-18	A-DEG燃料移送ポンプ室	1	45	90	1	1		
Y-23	HPCS-DEG燃料移送ポンプ室	1	45	90	1	1		
Y-S2-03	第1ベントフィルタスクラバ容器室	6	45	90	2	5		
		9	45	90	2			
		12	45	90	1			
Y-S3-05	階段室	1	45	90	2	2		

消防法に準拠した火災感知器の配置を示した一覧表（対象：消防法施行規則 第23条第4項に該当する火災感知器）

		煙感知器										熱感知器																		
		<p>○23条第4項 七 煙感知器（光電式分離型感知器を除く。）は、次に定めるところによること。</p> <p>ハ 感知器の下部は、取付け面の下方0.6m以内の位置に設けること。</p> <p>※1 取付け面が50.6m以上突出した梁等により区画</p> <p>ホ 感知器は、廊下、階段及び傾斜路を除く感知区域ごとに、感知器の種類及び取付け面の高さに応じた表で定める床面積につき一個以上の個数を、火災を有効に感知するように設けること。</p> <p>※2 取付け面高さ 床面積 4m未満 150m² 4m以上～20m未満 75m²</p> <p>【緩和例：全国消防長会中国支部編集 消防用設備等の技術基準】</p> <p>※3 取付け面が960cm以上1m未満の梁等により小さい感知区域が連続する場合は、定められた範囲内で2つ以上の感知区域を同一感知区域とすることができる。</p> <p>取付け面高さ 床面積 4m以上～8m未満 60m² 8m以上～20m未満 40m²</p> <p>※4 取付け面が60cm以上1m未満の梁等により区画された10m²以下の小区画1つが隣接する場合は、当該小区画も含めて同一感知区域とすることができる。</p> <p>【緩和例：日本火災報知機工業会 自動火災報知設備 工事基準書】</p> <p>※5 段違い部分を含む居室等の幅が6m未満であれば、当該居室等を同一感知区域とすることができる。</p> <p>ハ 感知器は、廊下及び傾斜路にあつては歩行距離三十メートル以内の個数を、階段及び傾斜路にあつては歩行距離十五メートルにつき一個以上の個数を、火災を有効に感知するように設けること。</p> <p>上記に記載のない消防法施行規則についても準拠して感知器を設置する。</p>										<p>○23条第4項 三 差動式スポット型、定温式スポット型又は補償式スポット型その他の熱複合式スポット型の感知器は、次に定めるところによること。</p> <p>ロ 感知器は、感知区域（それぞれ煙又は取付け面が0.4m以上突出したはり等により区画された部分をいう。以下同じ。）ごとに、感知器の種類及び取付け面の高さに応じて表で定める床面積につき一個以上の個数を、火災を有効に感知するように設けること。</p> <p>※1 取付け面が50.4m以上突出した梁等により区画</p> <p>床面積 4m未満 70m² 4m以上～8m未満 35m²</p> <p>【緩和例：全国消防長会中国支部編集 消防用設備等の技術基準】</p> <p>※3 取付け面が40cm以上1m未満の梁等により小さい感知区域が連続する場合は、15m²以内で2つ以上の感知区域を同一感知区域とすることができる。</p> <p>※4 取付け面が40cm以上1m未満の梁等により区画された5m²以下の小区画1つが隣接する場合は、当該小区画も含めて同一感知区域とすることができる。</p> <p>【緩和例：日本火災報知機工業会 自動火災報知設備 工事基準書】</p> <p>※5 段違い部分を含む居室等の幅が6m未満であれば、当該居室等を同一感知区域とすることができる。</p> <p>【日本火災報知機工業会 自動火災報知設備 工事基準書】</p> <p>層高い居室等の場合 感知器を短辺が3m未満の細長い居室等に設ける場合は、歩行距離13mごとに1個以上設けること。</p> <p>上記に記載のない消防法施行規則についても準拠して感知器を設置する。</p>																		
部屋番号	部屋名称	区画	取付け高さ※2			区画面積 (m ²)	消防法設置数	緩和例適用				緩和例適用数	設置数	合計	備考	区画	取付け高さ※2			区画面積 (m ²)	消防法設置数	緩和例適用				緩和例適用数	設置数	合計	備考	
			梁高が0.6m未満 ※1	4m未満	8m以上 15m未満			15m以上 20m未満	連続※3	間接※4	段違い※5						梁高が0.4m未満 ※1	4m未満	4m以上 8m未満			8m以上	連続※3	間接※4	段違い※5					
SB-1F-01-1	サイトバンク機器搬入口	1	-	-	○	-	-	15.4	1	-	-	-	-	-	1	5	1	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
		2	-	-	○	-	-	7.3	1	-	-	-	-	-	-		1	2												
		3	-	-	○	-	-	33.6	1	-	-	-	-	-	-		1	3												
		4	-	-	○	-	-	32.8	1	○	-	-	-	-	-		1	4												
		5	-	-	○	-	-	29.2	1	○	-	-	-	-	-		1	5												
SB-1F-01-2	補給機搬入口	1	-	-	○	-	-	8.4	1	-	-	-	-	-	1	2	1	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	1	※※1	
		2	-	-	○	-	-	12.1	1	○	○	-	-	-	1		0	2												
		3	-	-	○	-	-	4.7	1	-	-	-	-	-	-		1	3												
		4	○	-	○	-	-	8.8	1	○	○	-	-	-	1		0	4												
SB-1F-01-3	床下メンテナンス室	1	○	-	○	-	-	18.8	0	-	-	-	-	-	1	4	1	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	1	※※1 1～4間一区画	
		2	○	-	○	-	-	23.3	1	-	-	-	-	-	-		1	2												
		3	○	-	○	-	-	19.6	0	-	-	-	-	-	-		0	3												
		4	○	-	○	-	-	7.6	0	○	-	-	-	-	-		0	4												
		5	-	-	○	-	-	16.8	1	○	-	-	-	-	-		1	5												
		6	-	-	○	-	-	24.2	1	-	-	-	-	-	-		1	6												
SB-1F-02	空気圧縮機室	1	-	-	○	-	-	26.5	1	-	-	-	-	-	1	2	1	-	-	○	-	-	-	-	-	-	1	2		
		2	-	-	○	-	-	24.6	1	-	-	-	-	-	-		1	2												
SB-1F-03	廊下	1	-	-	○	-	-	4.5	1	-	-	-	-	-	1	4	1	-	-	○	-	-	-	-	-	-	1	1		
		2	-	-	○	-	-	5.4	1	-	-	-	-	-	-		1	2												
		3	-	-	○	-	-	5.3	1	-	-	-	-	-	-		1	3												
		4	-	-	○	-	-	8.5	1	-	-	-	-	-	-		1	4												
SB-1F-04	ポンプ室	1	○	-	○	-	-	9.2	0	○	-	-	-	-	0	2	1,2	同一区画	1	2										
		2	○	-	○	-	-	10.9	1	○	-	-	-	-	-		1	2												
		3	-	-	○	-	-	31.9	1	○	-	-	-	-	-		1	3												
SB-1F-05	焼却炉灰取出装置室および灰ドラム一時貯蔵室	1	-	-	○	-	-	13.7	1	○	○	-	-	-	1	8	1	-	-	○	-	-	-	-	-	-	1	※※2 4,6,8緩和採		
		2	-	-	○	-	-	39.5	1	○	-	-	-	-	-		1	2												
		3	-	-	○	-	-	39.5	1	○	-	-	-	-	-		1	3												
		4	-	-	○	-	-	13.2	1	○	○	-	-	-	-		2	0	4											
		5	-	-	○	-	-	33.9	1	○	-	-	-	-	-		1	5												
		6	-	-	○	-	-	7.8	1	○	○	-	-	-	-		2	1	6											
		7	-	-	○	-	-	19.7	1	○	-	-	-	-	-		1	7												
		8	-	-	○	-	-	8.8	1	○	○	-	-	-	-		2	0	8											
		9	-	-	○	-	-	17.3	1	-	-	-	-	-	-		0	9												
		10	-	-	○	-	-	18.4	1	-	-	-	-	-	-		0	10												
		11	-	-	○	-	-	9.9	1	○	○	-	-	-	-		2	0	11											
		12	-	-	○	-	-	39.9	1	-	-	-	-	-	-		-	1	12											
		13	-	-	○	-	-	8.6	1	○	○	-	-	-	-		2	1	13											
		14	-	-	○	-	-	8.3	1	○	○	-	-	-	-		2	0	14											
SB-1F-07	モニタ室	1	-	-	○	-	-	32.0	1	○	-	-	-	-	1	2	1	-	-	○	-	-	-	-	-	-	1	1		
		2	-	-	○	-	-	34.4	1	○	-	-	-	-	-		1	2												
		1	-	-	○	-	-	4.5	1	-	-	-	-	-	-		1	1												
SB-1F-10	チェックポイントエリア	1	-	-	○	-	-	65.4	1	-	-	-	-	-	1	2	1	-	-	○	-	-	-	-	-	1	2			
		2	○	-	○	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-		0	2												
SB-1F-11	スラッシュ貯蔵タンク室	階段	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	0	1	SB-2F-04③で監視	階段	-	-	-	-	-	-	0	1				
		階段	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	0		SB-M1F-01①で監視	階段	-	-	-	-	-	0						
1	-	-	○	-	-	-	26.9	1	-	-	-	-	-	-	1	1														
通路	-	-	○	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	0	1	通路														

※※1 2,4緩和採 SB-1F-05①で監視 ※※2 SB-1F-01-2②/④/⑥監視 ※※3 上部開口部感知器設置不可

消防法に準拠した火災感知器の配置を示した一覧表（対象：消防法施行規則 第23条第4項に該当する火災感知器）

		煙感知器													熱感知器																																
		<p>○23条第4項 七 煙感知器（光電式分離型感知器を除く。）は、次に定めるところによること。</p> <p>ハ 感知器の下端は、取付け面の下方0.6m以内の位置に設けること。</p> <p>※1 取付け面から0.6m以上突出した梁等により区画</p> <p>ホ 感知器は、廊下、通路、階段及び傾斜路を除く感知区域ごとに、感知器の種類及び取付け面の高さに応じて次の表で定める床面積につき一個以上の個数を、火災を有効に感知するように設けること。</p> <p>※2 取付け面高さ 床面積 4m未満 150m² 4m以上～20m未満 75m²</p> <p>【緩和策：全国消防長会中国支部編集 消防用設備等の技術基準】 ※3 取付け面から60cm以上1m未満の梁等により小さい感知区域が連続する場合は、定められた範囲内で2つ以上の感知区域を同一感知区域とすることができる。</p> <p>取付け面高さ 床面積 4m以上～8m未満 60m² 8m以上～20m未満 40m²</p> <p>※4 取付け面から60cm以上1m未満の梁等により区画された10m²以下の小区画1つが隣接する場合は、当該小区画も含めて同一感知区域とすることができる。</p> <p>【緩和策：日本火災報知機工業会 自動火災報知設備 工事基準書】 ※5 段違い部分を含む居室等の幅が6m未満であれば、当該居室等を同一感知区域とすることができる。</p> <p>ハ 感知器は、廊下及び通路にあつては歩行距離三十メートルにつき一個以上の個数を、階段及び傾斜路にあつては垂直距離十五メートルにつき一個以上の個数を、火災を有効に感知するように設けること。</p> <p>上記に記載のない消防法施行規則についても準拠して感知器を設置する。</p>													<p>○23条第4項 三 差動式スポット型、定温式スポット型又は補償式スポット型その他の熱複合式スポット型の感知器は、次に定めるところによること。</p> <p>ロ 感知器は、感知区域（それぞれ縦又は取付け面から0.4m以上突出した梁等により区画された部分をいう。以下同じ。）ごとに、感知器の種類及び取付け面の高さに応じて次の表で定める床面積につき一個以上の個数を、火災を有効に感知するように設けること。</p> <p>※1 取付け面から0.4m以上突出した梁等により区画</p> <p>※2 取付け面高さ 床面積 4m未満 70m² 4m以上～8m未満 35m²</p> <p>【緩和策：全国消防長会中国支部編集 消防用設備等の技術基準】 ※3 取付け面から40cm以上1m未満の梁等により小さい感知区域が連続する場合は、15m²以内で2つ以上の感知区域を同一感知区域とすることができる。</p> <p>※4 取付け面から40cm以上1m未満の梁等により区画された5m²以下の小区画1つが隣接する場合は、当該小区画も含めて同一感知区域とすることができる。</p> <p>【緩和策：日本火災報知機工業会 自動火災報知設備 工事基準書】 ※5 段違い部分を含む居室等の幅が6m未満であれば、当該居室等を同一感知区域とすることができる。</p> <p>【日本火災報知機工業会 自動火災報知設備 工事基準書】 感知器を短辺が3m未満の細長い居室等に設ける場合は、歩行距離1.3mごとに1個以上設けること。</p> <p>上記に記載のない消防法施行規則についても準拠して感知器を設置する。</p>																																
部屋番号	部屋名称	区画	梁高 0.6m未満 ※1	取付け高さ※2				区画面積 (m ²)	消防法 設置数	梁高 0.6m以上 1m未満	緩和策適用			緩和策 適用数	設置数	合計	備考	区画	梁高 0.4m未満 ※1	取付け高さ※2			区画面積 (m ²)	消防法 設置数	梁高 0.4m以上 1m未満	緩和策適用			緩和策 適用数	設置数	合計	備考															
SB-3F-01	排ガスプロア室	1	-	-	○	-	-	39.9	1	○	-	-	-	-	1	5	4,5同一区画 4,5同一区画 5,7同一区画 6,7同一区画	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	4,5同一区画 4,5同一区画 5,7同一区画 6,7同一区画	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	4,5同一区画 4,5同一区画 5,7同一区画 6,7同一区画						
		2	-	-	○	-	-	41.7	1	○	-	-	-	-	1			2	-	-	-	-	-	-	-	-	1			2	-	-	-	-	1	2											
		3	-	-	○	-	-	27.0	1	○	-	-	-	-	-			1	3	-	-	-	-	-	-	-	-			-	1	3	-	-	-	-	1	3									
		4	○	-	○	-	-	12.0	1	○	-	-	-	-	-			1	4	-	-	-	-	-	-	-	-			-	-	1	4	-	-	-	-	1	4								
		5	○	-	○	-	-	9.5	0	○	-	-	-	-	-			0	5	-	-	-	-	-	-	-	-			-	-	0	5	-	-	-	-	0	5								
		6	○	-	○	-	-	16.1	0	○	-	-	-	-	-			0	6	-	-	-	-	-	-	-	-			-	-	0	6	-	-	-	-	0	6								
		7	○	-	○	-	-	10.5	1	○	-	-	-	-	-			1	7	-	-	-	-	-	-	-	-			-	-	1	7	-	-	-	-	1	7								
SB-3F-02	セラミックフィルタ室	1	-	-	○	-	-	51.6	1	○	-	-	-	-	1	4		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4		1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4						
		2	-	-	○	-	-	49.7	1	○	-	-	-	-	1			2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1			2	-	-	-	-	1	2										
		3	-	-	○	-	-	51.0	1	○	-	-	-	-	-			1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-			1	3	-	-	-	-	1	3									
		4	-	-	○	-	-	49.0	1	○	-	-	-	-	-			1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-			1	4	-	-	-	-	1	4									
SB-3F-03	給気処理装置室	1	-	-	○	-	-	22.1	1	○	-	-	-	-	1	5		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5		1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5						
		2	-	-	○	-	-	39.1	1	○	-	-	-	-	1			2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1			2	-	-	-	-	1	2										
		3	-	-	○	-	-	25.5	1	○	-	-	-	-	1			3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1			3	-	-	-	-	1	3										
		4	-	-	○	-	-	21.7	1	○	-	-	-	-	1			4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1			4	-	-	-	-	1	4										
		5	-	-	○	-	-	25.1	1	○	-	-	-	-	1			5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1			5	-	-	-	-	1	5										
SB-3F-04	自動立体倉庫室	1	-	○	-	-	-	39.6	1	-	-	-	-	-	1	3	3～6同一区画 3～6同一区画 3～6同一区画 3～6同一区画 SB-M3F-01①で監視 SB-M3F-01②で監視 SB-M3F-01③で監視 SB-M3F-01④で監視 SB-M3F-01⑤で監視	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	1,2同一区画 1,2同一区画	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	1,2同一区画 1,2同一区画
		2	-	-	○	-	-	21.0	1	-	-	-	-	-	1			2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-			-	-	-	1	2										
		3	○	○	-	-	-	14.4	0	-	-	-	-	-	0			3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	3	-			-	-	-	0	3										
		4	○	○	-	-	-	12.5	0	-	-	-	-	-	0			4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	4	-			-	-	-	0	4										
		5	○	○	-	-	-	27.8	1	-	-	-	-	-	1			5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	-			-	-	-	1	5										
		6	○	○	-	-	-	18.5	0	-	-	-	-	-	0			6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	6	-			-	-	-	0	6										
		7	-	-	○	-	-	10.5	0	-	-	-	-	-	0			7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	7	-			-	-	-	0	7										
		8	-	-	○	-	-	13.2	0	○	-	-	-	-	0			8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	8	-			-	-	-	0	8										
		9	-	-	○	-	-	11.7	0	○	-	-	-	-	0			9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	9	-			-	-	-	0	9										
		10	-	-	○	-	-	9.4	0	○	-	-	-	-	0			10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	10	-			-	-	-	0	10										
		11	-	-	○	-	-	6.7	0	○	-	-	-	-	0			11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	11	-			-	-	-	0	11										
SB-3F-06	通路	通路	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	1		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	通路														
SB-3F-07	給気処理装置ルーバー室	1	-	-	○	-	-	13.6	1	-	-	-	-	1	1	1		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1															
SB-3F-10	空気圧縮機室	1	-	○	-	-	-	6.1	1	○	-	-	-	-	1	3		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3		1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3						
		2	-	○	-	-	-	8.0	1	○	-	-	-	-	1			2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2			-	-	-	-	1	2											
		3	-	○	-	-	-	11.1	1	○	-	-	-	-	1			3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3			-	-	-	-	1	3											
SB-3F-11	電気室	1	○	○	-	-	-	25.0	0	○	-	-	-	-	0	4	1,2同一区画 1,2同一区画	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4		1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4							
		2	○	○	-	-	-	17.3	1	○	-	-	-	-	1			2	-	-	-	-	-	-	-	-	1			2	-	-	-	-	1	2											
		3	-	-	○	-	-	-	12.8	1	○	-	-	-	-			1	3	-	-	-	-	-	-	-	-			1	3	-	-	-	-	1	3										
		4	-	-	○	-	-	15.1	1	○	-	-	-	-	1			4	-	-	-	-	-	-	-	-	-			1	4	-	-	-	-	1	4										
SB-3F-12	溶融物投入機室	1	-	-	○	-	-	14.6	1	○	-	-	-	-	1	3		1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3		1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3							
		2	-	-	○	-	-	15.3	1	○	-	-	-	-	1			2	-	-	-	-	-	-	-	-	1			2	-	-	-	-	1	2											
		3	-	-	○	-	-	16.1	1	○	-	-	-	-	1			3	-	-	-	-	-	-	-	-	1			3	-	-	-	-	1	3											
SB-3F-13	投入容器自動倉庫	1	○	-	○	-	-	47.2	1	-	-	-	-	-	2	2		1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2		1	2																

消防法に準拠した火災感知器の配置を示した一覧表（対象：消防法施行規則 第23条第4項に該当する火災感知器）

部屋番号	部屋名称	区画	天井高さ 20m未満	取付け高さ > 天井高さ × 0.8m	設置条件			消防法設置数	設置数	合計	備考
					感知器前面と 背部の壁との距離 ≤1.0m	光軸と並行する壁 との距離 0.6~7.0m	光軸間距離 <14m				
SB-1F-06	貯蔵ホール	1	—	—	—	—	—	—	—	—	SB-3F-05④で監視
SB-3F-05	サイト/バンカール室	1	○	○	○	○	○	2	3	8	
		2	○	○	○	○	○	3	5		

光電式分離型感知器

○23条第4項 七の三 光電式分離型感知器は、次に定めるところによること。

ニ 感知器を設置する区域の天井等（天井の室内に面する部分又は上階の床若しくは屋根の下面をいう。以下同じ。）の高度が二十メートル以上の場所以外の場所に設けること。

ホ 感知器の光軸の高さが天井等の高さの八十七パーセント以上となるように設けること。

ト 感知器は、壁によつて区画された区域ごとに、当該区域の各部分から一の光軸までの水平距離が七メートル以下となるように設けること。

消防法に準拠した火災感知器の配置を示した一覧表（対象：消防法施行規則 第 23 条第 4 項に該当する火災感知器）

		煙感知器										熱感知器																	
		<p>○ 2 3 条第 4 項 七 煙感知器（光電式分離型感知器を除く。）は、次に定めるところによること。</p> <p>ハ 感知器の下部は、取付け面の下方 0.6m 以内の位置に設けること。</p> <p>※ 1 取付け面が 0.6m 以上突出した梁等により区画</p> <p>ホ 感知器は、廊下、通路、階段及び傾斜路を除く感知区域ごとに、感知器の種類及び取付け面の高さに応じて次の表で定める床面積につき一個以上の個数を、火災を有効に感知するよう設けること。</p> <p>※ 2 取付け面高さ 床面積 4m 未満 150m² 4m 以上～20m 未満 75m²</p> <p>【緩和策：全国消防長会中国支部編集 消防用設備等の技術基準】</p> <p>※ 3 取付け面が 60cm 以上 1m 未満の梁等により小さい感知区域が連続する場合は、定められた範囲内で 2 つ以上の感知区域を同一感知区域とすることができる。</p> <p>取付け面高さ 床面積 4m 以上～8m 未満 60m² 8m 以上～20m 未満 40m²</p> <p>※ 4 取付け面が 60cm 以上 1m 未満の梁等により区画された 10m² 以下の小区画 1 つが隣接する場合は、当該小区画も含めて同一感知区域とすることができる。</p> <p>【緩和策：日本火災報知機工業会 自動火災報知設備 工事基準等】</p> <p>※ 5 段違い部分を含む居室等の幅が 6m 未満であれば、当該居室等を同一感知区域とすることができる。</p> <p>ヘ 感知器は、廊下及び通路にあつては歩行距離三十メートルにつき一個以上の個数を、階段及び傾斜路にあつては垂直距離十五メートルにつき一個以上の個数を、火災を有効に感知するよう設けること。</p> <p>上記に記載のない消防法施行規則についても準拠して感知器を設置する。</p>										<p>○ 2 3 条第 4 項 三 差動式スモット型、定温式スモット型又は準備式スモット型その他の熱感合式スモット型の感知器は、次に定めるところによること。</p> <p>ロ 感知器は、感知区域（それぞれ量又は取付け面から 0.4m 以上突出したはり等によって区画された部分を除く。以下同じ。）ごとに、感知器の種類及び取付け面の高さに応じて次の表で定める床面積につき一個以上の個数を、火災を有効に感知するよう設けること。</p> <p>※ 1 取付け面が 0.4m 以上突出した梁等により区画 床面積 4m 未満 70m² 4m 以上～8m 未満 35m²</p> <p>【緩和策：全国消防長会中国支部編集 消防用設備等の技術基準】</p> <p>※ 3 取付け面が 60cm 以上 1m 未満の梁等により小さい感知区域が連続する場合は、15m² 以内で 2 つ以上の感知区域を同一感知区域とすることができる。</p> <p>※ 4 取付け面が 60cm 以上 1m 未満の梁等により区画された 5m² 以下の小区画 1 つが隣接する場合は、当該小区画も含めて同一感知区域とすることができる。</p> <p>【緩和策：日本火災報知機工業会 自動火災報知設備 工事基準等】</p> <p>※ 5 段違い部分を含む居室等の幅が 6m 未満であれば、当該居室等を同一感知区域とすることができる。</p> <p>【日本火災報知機工業会 自動火災報知設備 工事基準等】</p> <p>細長い居室等の場合 感知器を短辺が 3m 未満の細長い居室等に設ける場合は、歩行距離 13m ごとに 1 個以上設けること。</p> <p>上記に記載のない消防法施行規則についても準拠して感知器を設置する。</p>																	
部屋番号	部屋名称	区画	取付け高さ※2				区画面積	消防火災設置数	緩和策適用数			合計	備考	区画	取付け高さ※2		区画面積	消防火災設置数	梁高さ	緩和策適用数			合計	備考					
		0.6m 未満 ※1	4m 未満	4m 以上 15m 未満	15m 以上 20m 未満	20m 以上	(m ²)	0.6m 以上 1m 未満	連続※3	間接※4	段差※5	緩和策適用数			0.4m 未満 ※1	4m 未満	4m 以上 8m 未満	8m 以上	(m ²)	0.4m 以上 1m 未満	連続※3	間接※4	段差※5	緩和策適用数					
SWD-1F-01	固体廃棄物貯蔵所D棟	1	○	-	○	-	81.7	2	-	-	-	-	2												1,22同一区画	1			
		2	○	-	○	-	13.2	1	○	-	-	-	1												2,12同一区画	2			
		3	○	-	○	-	61.9	1	○	-	-	-	1												3,13同一区画	3			
		4	○	-	○	-	61.9	1	○	-	-	-	1												4,14同一区画	4			
		5	○	-	○	-	61.9	1	○	-	-	-	1												5,15同一区画	5			
		6	○	-	○	-	61.9	1	○	-	-	-	1												6,16同一区画	6			
		7	○	-	○	-	55.4	1	○	-	-	-	1												7,8同一区画	7			
		8	○	-	○	-	51.1	1	○	-	-	-	1												7,8同一区画	8			
		9	○	-	○	-	47.7	1	○	-	-	-	1												9,19同一区画	9			
		10	○	-	○	-	42.1	1	○	-	-	-	1												10,11同一区画	10			
		11	○	-	○	-	43.8	1	○	-	-	-	1												10,11同一区画	11			
		12	○	-	○	-	14.0	0	○	-	-	-	1												2,12同一区画	12			
		13	○	-	○	-	65.0	1	○	-	-	-	1												3,13同一区画	13			
		14	○	-	○	-	65.0	1	○	-	-	-	1												4,14同一区画	14			
		15	○	-	○	-	65.0	1	○	-	-	-	1												5,15同一区画	15			
		16	○	-	○	-	65.0	1	○	-	-	-	1												6,16同一区画	16			
		17	-	-	○	-	56.0	1	○	-	-	-	1													17			
		18	-	-	○	-	56.0	1	○	-	-	-	1													18			
		19	○	-	○	-	50.0	1	○	-	-	-	1													9,19同一区画	19		
		20	○	-	○	-	45.1	1	○	-	-	-	1													20,21同一区画	20		
		21	○	-	○	-	45.1	1	○	-	-	-	1													20,21同一区画	21		
		22	○	-	○	-	33.5	0	-	-	-	-	0													1,22同一区画	22		
		23	○	-	○	-	39.3	1	○	-	-	-	1													23,34同一区画	23		
		24	○	-	○	-	81.1	2	○	-	-	-	2													49	23,34同一区画	24	
		25	○	-	○	-	82.2	2	○	-	-	-	2														25		
		26	○	-	○	-	82.2	2	○	-	-	-	2														26		
		27	○	-	○	-	82.2	2	○	-	-	-	2														27		
		28	-	-	○	-	35.8	1	○	-	-	-	1														28		
		29	-	-	○	-	75.6	2	○	-	-	-	2														29		
		30	-	-	○	-	35.0	1	○	-	-	-	1														30		
		31	-	-	○	-	7.2	1	○	-	-	-	1														31		
		32	○	-	○	-	54.1	1	○	-	-	-	1														32		
		33	○	-	○	-	112.9	2	○	-	-	-	2														32,41,42同一区画	32	
		34	○	-	○	-	28.7	0	-	-	-	-	0														23,34同一区画	34	
		35	○	-	○	-	9.6	0	-	-	-	-	0														35~40同一区画	35	
		36	○	-	○	-	44.7	1	-	-	-	-	1														35~40同一区画	36	
		37	○	-	○	-	44.7	0	-	-	-	-	0														35~40同一区画	37	
		38	○	-	○	-	44.7	1	-	-	-	-	1														35~40同一区画	38	
		39	○	-	○	-	44.7	1	-	-	-	-	1														35~40同一区画	39	
		40	○	-	○	-	77.2	1	○	-	-	-	1														35~40同一区画	40	
		41	○	-	○	-	34.4	1	-	-	-	-	1														32,41,42同一区画	41	
		42	○	-	○	-	13.6	0	-	-	-	-	0														32,41,42同一区画	42	
		43	-	-	○	-	40.8	1	○	-	-	-	1														43		
		通路	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	0														通路		
		通路	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	0															通路	

消防法に準拠した火災感知器の配置を示した一覧表（対象：消防法施行規則 第 23 条第 4 項に該当する火災感知器）

		煙感知器													熱感知器																												
		<p>○ 2 3 条第 4 項 七 煙感知器（光電式分離型感知器を除く。）は、次に定めるところによること。</p> <p>ハ 感知器の下端は、取付け面の下方 0.6m 以内の位置に設けること。</p> <p>※ 1 取付け面が 0.6m 以上突出した梁等により区画</p> <p>ホ 感知器は、廊下、通路、階段及び傾斜路を除く感知区域ごとに、感知器の種類及び取付け面の高さに応じて次の表で定める床面積につき一個以上の個数を、火災を有効に感知するように設けること。</p> <p>※ 2 取付け面高さ 床面積 4m 未満 150m² 4m 以上～20m 未満 75m²</p> <p>【緩和策：全国消防長会中国支部編集 消防用設備等の技術基準】</p> <p>※ 3 取付け面から 60cm 以上 1m 未満の梁等により小さい感知区域が連続する場合は、定められた範囲内で 2 つ以上の感知区域を同一感知区域とすることができる。</p> <p>取付け面高さ 床面積 4m 以上～8m 未満 60m² 8m 以上～20m 未満 40m²</p> <p>※ 4 取付け面から 60cm 以上 1m 未満の梁等により区画された 10m² 以下の小区画 1 つが隣接する場合は、当該小区画も含めて同一感知区域とすることができる。</p> <p>【緩和策：日本火災報知機工業会 自動火災報知設備 工事基準書】</p> <p>※ 5 段違い部分を含む居室等の幅が 6m 未満であれば、当該居室等を同一感知区域とすることができる。</p> <p>ヘ 感知器は、廊下及び通路にあつては歩行距離三十メートルにつき一個以上の個数を、階段及び傾斜路にあつては垂直距離十五メートルにつき一個以上の個数を、火災を有効に感知するように設けること。</p> <p>上記に記載のない消防法施行規則についても準拠して感知器を設置する。</p>													<p>○ 2 3 条第 4 項 三 変動式スポット型、定温式スポット型又は複合式スポット型その他の熱複合式スポット型の感知器は、次に定めるところによること。</p> <p>ロ 感知器は、感知区域（それぞれ壁又は取付け面から 0.4m 以上突出したはり等によって区画された部分をいう。以下同じ。）ごとに、感知器の種類及び取付け面の高さに応じて次の表で定める床面積につき一個以上の個数を、火災を有効に感知するように設けること。</p> <p>※ 1 取付け面が 0.4m 以上突出した梁等により区画</p> <p>※ 2 取付け面高さ 床面積 4m 未満 70m² 4m 以上～8m 未満 35m²</p> <p>【緩和策：全国消防長会中国支部編集 消防用設備等の技術基準】</p> <p>※ 3 取付け面から 40cm 以上 1m 未満の梁等により小さい感知区域が連続する場合は、15m² 以内で 2 つ以上の感知区域を同一感知区域とすることができる。</p> <p>※ 4 取付け面から 40cm 以上 1m 未満の梁等により区画された 5m² 以下の小区画 1 つが隣接する場合は、当該小区画も含めて同一感知区域とすることができる。</p> <p>【緩和策：日本火災報知機工業会 自動火災報知設備 工事基準書】</p> <p>※ 5 段違い部分を含む居室等の幅が 6m 未満であれば、当該居室等を同一感知区域とすることができる。</p> <p>【日本火災報知機工業会 自動火災報知設備 工事基準書】</p> <p>細長い居室等の場合 感知器を短辺が 3m 未満の細長い居室等に設ける場合は、歩行距離 13m ごとに 1 個以上設けること。</p> <p>上記に記載のない消防法施行規則についても準拠して感知器を設置する。</p>																												
部屋番号	部屋名称	区画	梁高さ 0.6m 未満 ※ 1	4m 未満	4m 以上 8m 未満	8m 以上 15m 未満	15m 以上 20m 未満	区画面積 (m ²)	消防法 設置数	梁高さ 0.6m 以上 1m 未満	連続※ 3 8m 未満 <60m ²	隣接※ 4 8m 以上 <40m ²	段違い※ 5 <10m ²	6m 未満	緩和策 適用数	設置数	合計	備考	区画	梁高さ 0.4m 未満 ※ 1	4m 未満	4m 以上 8m 未満	8m 以上	区画面積 (m ²)	消防法 設置数	梁高さ 0.4m 以上 1m 未満	連続※ 3 <15m ²	隣接※ 4 <5m ²	段違い※ 5 6m 未満	緩和策 適用数	設置数	合計	備考										
TSC-1F-01	緊急時対策本部	1	-	-	○	-	-	37.3	1	○	-	-	-	-	-	1	6		1	-	-	○	-	-	37.3	2	○	-	-	-	-	2	12										
		2	-	-	○	-	-	51.5	1	○	-	-	-	-	-	1			2	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	2												
		3	-	-	○	-	-	34.4	1	○	-	-	-	-	-	1			3	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	2												
		4	-	-	○	-	-	37.4	1	○	-	-	-	-	-	1			4	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	2												
		5	-	-	○	-	-	51.8	1	○	-	-	-	-	-	1			5	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	2												
		6	-	-	○	-	-	34.5	1	○	-	-	-	-	-	1			6	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	2												
TSC-1F-02	消火設備室	1	-	-	○	-	-	19.1	1	-	-	-	-	-	-	1	2		1	-	-	○	-	-	19.1	1	-	-	-	-	-	1	2										
		2	-	-	○	-	-	2.9	1	-	-	-	-	-	-	1			2	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	1													
TSC-1F-03	蓄電池室	1	-	-	○	-	-	20.0	1	-	-	-	-	-	-	1	1		1	-	-	○	-	-	20.0	1	-	-	-	-	-	1	1										
TSC-1F-04	前室A	1	○	-	○	-	-	8.0	0	-	-	-	-	-	-	0	1	1,2同一区画	1	-	-	○	-	-	8.0	1	○	○	-	-	-	1	1	1,2緩和策									
		2	○	-	○	-	-	6.3	1	-	-	-	-	-	-	1			2	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	1	0	1,2緩和策											
TSC-1F-05	通信・電気室	1	-	-	○	-	-	7.9	1	-	-	-	-	-	-	1	4	2,3緩和策 2,3緩和策 5,6緩和策 5,6緩和策	1	-	-	○	-	-	7.9	1	-	-	-	-	1	1	-	-	○	-	-	-	-	-	1	6	
		2	-	-	○	-	-	18.7	1	○	○	-	-	-	-	1			2	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	1												
		3	-	-	○	-	-	17.3	1	○	○	-	-	-	-	1			3	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	1												
		4	-	-	○	-	-	22.4	1	○	-	-	-	-	-	1			4	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	1												
		5	-	-	○	-	-	20.8	1	○	○	-	-	-	-	1			5	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	1												
		6	-	-	○	-	-	17.4	1	○	○	-	-	-	-	1			6	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	1												
TSC-1F-06	真機材室	1	-	-	○	-	-	34.3	1	○	-	-	-	-	-	1	2		1	-	-	○	-	-	34.3	1	○	-	-	-	-	2	3										
		2	-	-	○	-	-	14.9	1	○	-	-	-	-	-	1			2	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	1													
TSC-1F-07	チェンジンクブレース	1	-	-	○	-	-	18.8	1	-	-	-	-	-	-	1	2		1	-	-	○	-	-	18.8	1	-	-	-	-	-	2	2										
		2	-	-	○	-	-	10.4	1	-	-	-	-	-	-	1			2	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	1													
TSC-1F-08	前室B	1	-	-	○	-	-	9.4	1	-	-	-	-	-	-	1	1		1	-	-	○	-	-	9.4	1	-	-	-	-	-	1	1										

消防法に準拠した火災感知器の配置を示した一覧表（対象：消防法施行規則 第 23 条第 4 項に該当する火災感知器）

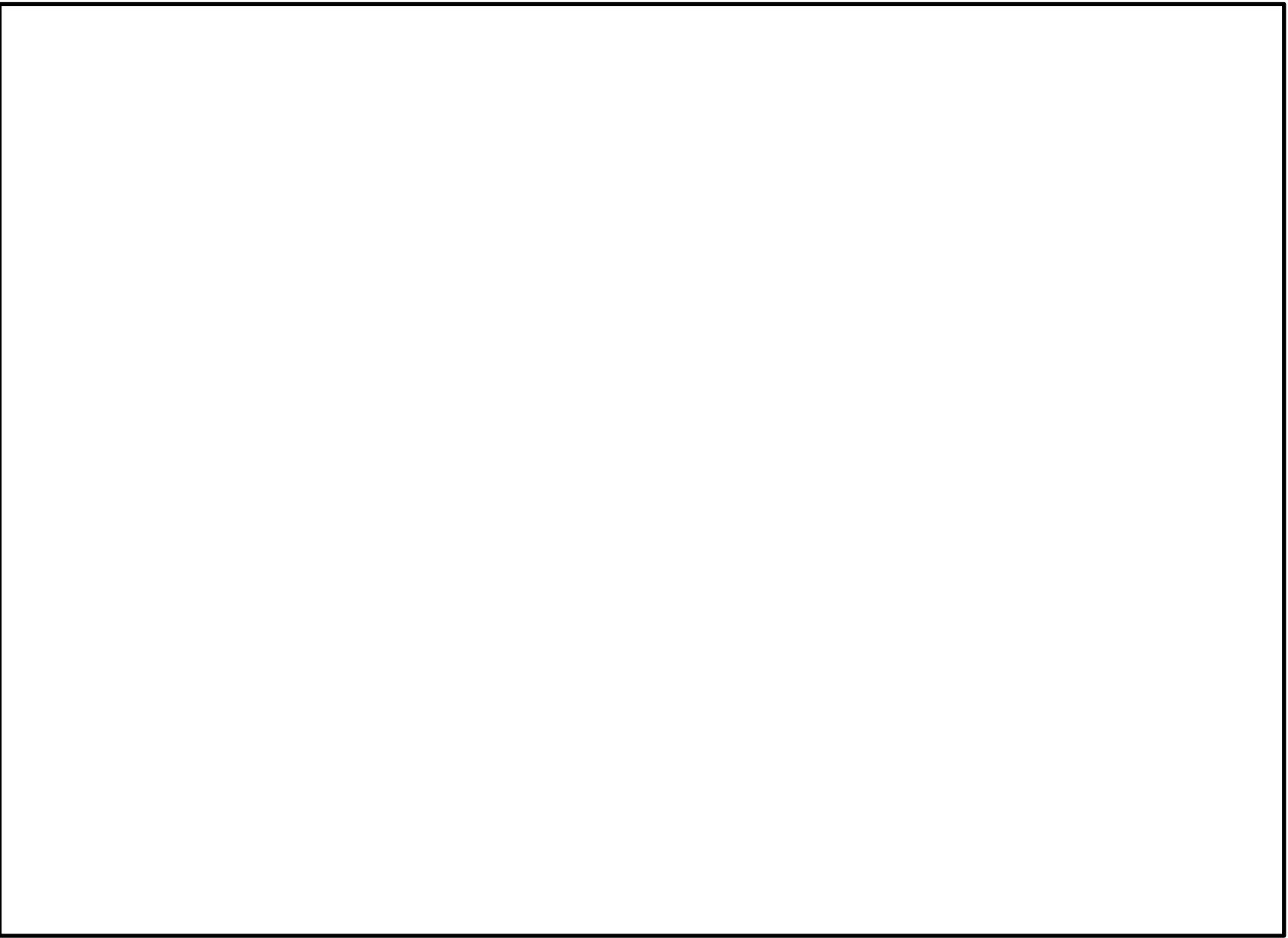
		煙感知器													熱感知器																			
		<p>○ 2 3 条第 4 項 七 煙感知器（光電式分離型感知器を除く。）は、次に定めるところによること。</p> <p>ハ 感知器の下端は、取付け面の下方 0.6m 以内の位置に設けること。</p> <p>※ 1 取付け面が 0.6m 以上突出した梁等により区画</p> <p>ホ 感知器は、廊下、通路、階段及び傾斜路を除く感知区域ごとに、感知器の種類及び取付け面の高さに応じて次の表で定める床面積につき一個以上の個数を、火災を有効に感知するように設けること。</p> <p>※ 2 取付け面高さ 床面積 4m 未満 150m² 4m 以上～20m 未満 75m²</p> <p>【緩和策：全国消防長会中国支部編集 消防用設備等の技術基準】</p> <p>※ 3 取付け面から 60cm 以上 1m 未満の梁等により小さい感知区域が連続する場合は、定められた範囲内で 2 つ以上の感知区域を同一感知区域とすることができる。</p> <p>取付け面高さ 床面積 4m 以上～8m 未満 60m² 8m 以上～20m 未満 40m²</p> <p>※ 4 取付け面から 60cm 以上 1m 未満の梁等により区画された 10m² 以下の小区画 1 つが隣接する場合は、当該小区画も含めて同一感知区域とすることができる。</p> <p>【緩和策：日本火災報知機工業会 自動火災報知設備 工事基準書】</p> <p>※ 5 段違い部分を含む居室等の幅が 6m 未満であれば、当該居室等を同一感知区域とすることができる。</p> <p>ヘ 感知器は、廊下及び通路にあつては歩行距離三十メートルにつき一個以上の個数を、階段及び傾斜路にあつては垂直距離十五メートルにつき一個以上の個数を、火災を有効に感知するように設けること。</p> <p>上記に記載のない消防法施行規則についても準拠して感知器を設置する。</p>													<p>○ 2 3 条第 4 項 三 変動式スポット型、定温式スポット型又は複合式スポット型その他の熱複合式スポット型の感知器は、次に定めるところによること。</p> <p>ロ 感知器は、感知区域（それぞれ壁又は取付け面から 0.4m 以上突出したはり等によって区画された部分をいう。以下同じ。）ごとに、感知器の種類及び取付け面の高さに応じて次の表で定める床面積につき一個以上の個数を、火災を有効に感知するように設けること。</p> <p>※ 1 取付け面が 0.4m 以上突出した梁等により区画</p> <p>※ 2 取付け面高さ 床面積 4m 未満 70m² 4m 以上～8m 未満 35m²</p> <p>【緩和策：全国消防長会中国支部編集 消防用設備等の技術基準】</p> <p>※ 3 取付け面から 40cm 以上 1m 未満の梁等により小さい感知区域が連続する場合は、15m² 以内で 2 つ以上の感知区域を同一感知区域とすることができる。</p> <p>※ 4 取付け面から 40cm 以上 1m 未満の梁等により区画された 5m² 以下の小区画 1 つが隣接する場合は、当該小区画も含めて同一感知区域とすることができる。</p> <p>【緩和策：日本火災報知機工業会 自動火災報知設備 工事基準書】</p> <p>※ 5 段違い部分を含む居室等の幅が 6m 未満であれば、当該居室等を同一感知区域とすることができる。</p> <p>【日本火災報知機工業会 自動火災報知設備 工事基準書】</p> <p>細長い居室等の場合 感知器を短辺が 3m 未満の細長い居室等に設ける場合は、歩行距離 13m ごとに 1 個以上設けること。</p> <p>上記に記載のない消防法施行規則についても準拠して感知器を設置する。</p>																			
部屋番号	部屋名称	区画	梁高さ 0.6m 未満 ※ 1	4m 未満	4m 以上 8m 未満	8m 以上 15m 未満	15m 以上 20m 未満	区画面積 (m ²)	消防法 設置数	梁高さ 0.6m 以上 1m 未満	連続※ 3 8m 未満 <60m ²	隣接※ 4 8m 以上 <40m ²	段違い※ 5 <10m ²	6m 未満	緩和策 適用数	設置数	合計	備考	区画	梁高さ 0.4m 未満 ※ 1	4m 未満	4m 以上 8m 未満	8m 以上	区画面積 (m ²)	消防法 設置数	梁高さ 0.4m 以上 1m 未満	連続※ 3 <15m ²	隣接※ 4 <5m ²	段違い※ 5 6m 未満	緩和策 適用数	設置数	合計	備考	
TSC-1F-01	緊急時対策本部	1	-	-	○	-	-	37.3	1	○	-	-	-	-	-	1	6		1	-	-	○	-	-	37.3	2	○	-	-	-	-	2	12	
		2	-	-	○	-	-	51.5	1	○	-	-	-	-	-	1			2	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2		
		3	-	-	○	-	-	34.4	1	○	-	-	-	-	-	1			3	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2		
		4	-	-	○	-	-	37.4	1	○	-	-	-	-	-	1			4	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2		
		5	-	-	○	-	-	51.8	1	○	-	-	-	-	-	1			5	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2		
		6	-	-	○	-	-	34.5	1	○	-	-	-	-	-	1			6	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2		
TSC-1F-02	消火設備室	1	-	-	○	-	-	19.1	1	-	-	-	-	-	-	1	2		1	-	-	○	-	-	19.1	1	-	-	-	-	-	1	2	
		2	-	-	○	-	-	2.9	1	-	-	-	-	-	-	1			2	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	1			
TSC-1F-03	蓄電池室	1	-	-	○	-	-	20.0	1	-	-	-	-	-	-	1	1		1	-	-	○	-	-	20.0	1	-	-	-	-	-	1	1	
TSC-1F-04	前室A	1	○	-	○	-	-	8.0	0	-	-	-	-	-	-	0	1	1,2同一区画	1	-	-	○	-	-	8.0	1	○	○	-	-	-	1	1	1,2緩和策
		2	○	-	○	-	-	6.3	1	-	-	-	-	-	-	1			2	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	1	0	1,2緩和策		
TSC-1F-05	通信・電気室	1	-	-	○	-	-	7.9	1	-	-	-	-	-	-	1	4		1	-	-	○	-	-	7.9	1	-	-	-	-	-	1	6	
		2	-	-	○	-	-	18.7	1	○	○	-	-	-	-	1			2,3緩和策	2	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	1		
		3	-	-	○	-	-	17.3	1	○	○	-	-	-	-	1			2,3緩和策	3	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	1			
		4	-	-	○	-	-	22.4	1	○	-	-	-	-	-	1			4	4	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	1			
		5	-	-	○	-	-	20.8	1	○	○	-	-	-	-	1			5,6緩和策	5	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	1			
		6	-	-	○	-	-	17.4	1	○	○	-	-	-	-	1			5,6緩和策	6	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	1			
TSC-1F-06	真機材室	1	-	-	○	-	-	34.3	1	○	-	-	-	-	-	1	2		1	-	-	○	-	-	34.3	1	○	-	-	-	-	2	3	
		2	-	-	○	-	-	14.9	1	○	-	-	-	-	-	1			2	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	1				
TSC-1F-07	チェンジャングラース	1	-	-	○	-	-	18.8	1	-	-	-	-	-	-	1	2		1	-	-	○	-	-	18.8	1	-	-	-	-	-	2	2	
		2	-	-	○	-	-	10.4	1	-	-	-	-	-	-	1			2	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	1				
TSC-1F-08	前室B	1	-	-	○	-	-	9.4	1	-	-	-	-	-	-	1	1		1	-	-	○	-	-	9.4	1	-	-	-	-	1	1		

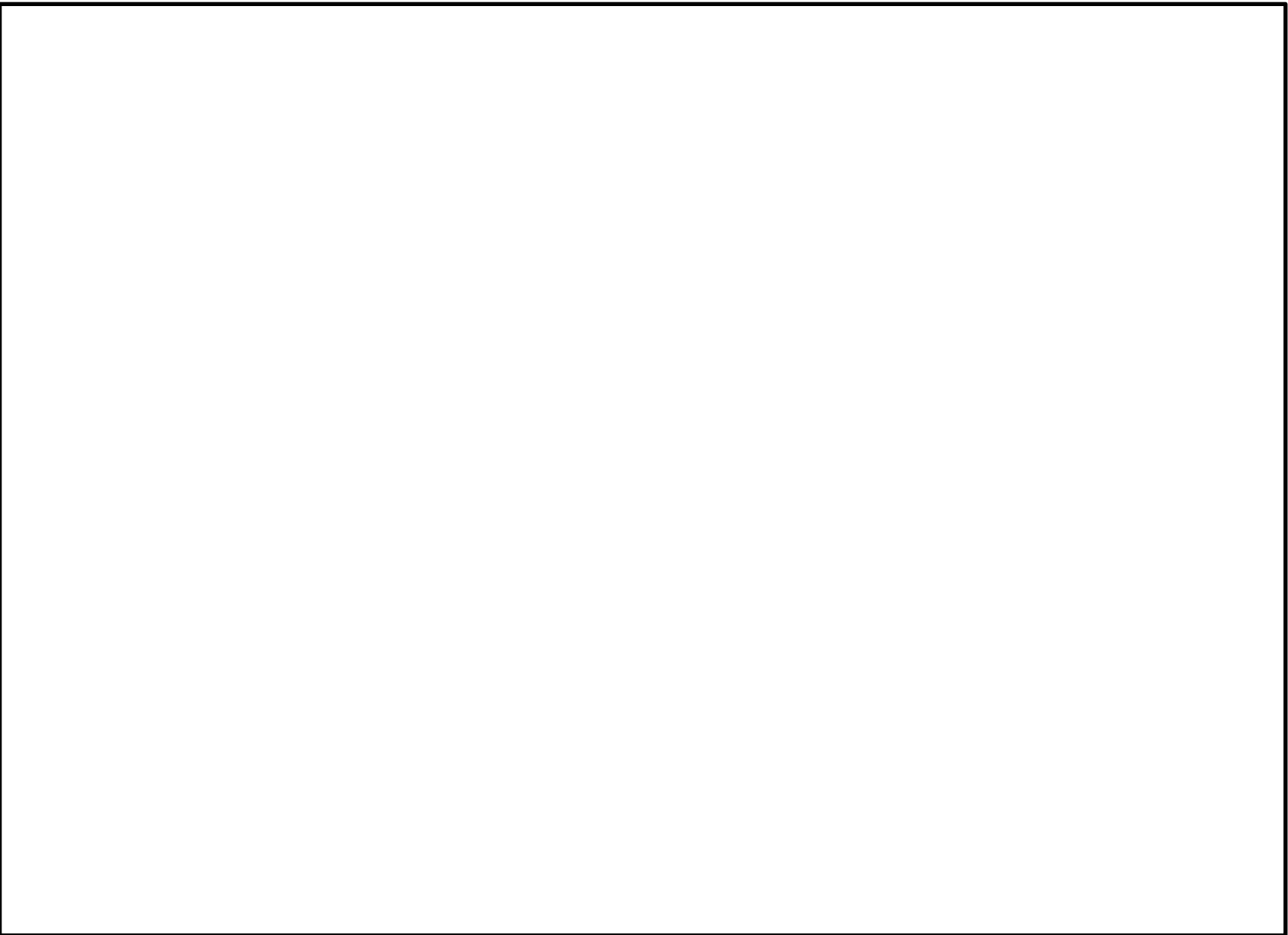
消防法に準拠した火災感知器の配置を示した一覧表（対象：消防法施行規則 第23条第4項に該当する火災感知器）

		煙感知器														熱感知器																					
		<p>○23条第4項 七 煙感知器（光電式分離型感知器を除く。）は、次に定めることによること。</p> <p>八 感知器の下部は、取付面の下方0.6m以内の位置に設けること。</p> <p>※1 取付面が0.6m以上突出した梁等により区画</p> <p>ホ 感知器は、廊下、通路、階段及び傾斜路を除く（感知区域ごとに、感知器の種類及び取付面の高さに応じて次の表で定める床面積につき一部以上の個数を、火災を有効に感知するよう設けること。</p> <p>※2 取付面高さ 4m未満 150m² 4m以上～20m未満 75m²</p> <p>【緩和：全国消防長会中国支部編集 消防設備等の技術基準】 ※3 取付面が560cm以上1m未満の梁等により小さい感知区域が連続する場合は、定められた範囲内で2つ以上の感知区域を同一感知区域とすることができる。</p> <p>取付面高さ 床面積 4m以上～8m未満 60m² 8m以上～20m未満 40m²</p> <p>※4 取付面が560cm以上1m未満の梁等により区画された10m²以下の小区画1つが隣接する場合は、当該小区画も含めて同一感知区域とすることができる。</p> <p>【緩和：日本火災報知機工業会 自動火災報知設備 工事基準書】 ※5 段違い部分を含む居室等の幅が6m未満であれば、当該居室等を同一感知区域とすることができる。</p> <p>ハ 感知器は、廊下及び通路にあつては歩行距離三十メートルにつき一個以上の個数を、階段及び傾斜路にあつては垂直距離十五メートルにつき一個以上の個数を、火災を有効に感知するよう設けること。</p> <p>上記に記載のない消防法施行規則についても準拠して感知器を設置する。</p>														<p>○23条第4項 三 差動式スボト型、定温式スボト型又は複温式スボト型その他の熱感知器（スボト型の感知器は、次に定めることによること。</p> <p>ロ 感知器は、感知区域（それぞれ壁又は取付面が0.4m以上突出した梁等により区画された部分を除く。以下同じ。）ごとに、感知器の種類及び取付面の高さに応じて次の表で定める床面積につき一個以上の個数を、火災を有効に感知するよう設けること。</p> <p>※1 取付面が0.4m以上突出した梁等により区画</p> <p>床面積 4m未満 70m² 4m以上～8m未満 35m²</p> <p>【緩和：全国消防長会中国支部編集 消防設備等の技術基準】 ※3 取付面が40cm以上1m未満の梁等により小さい感知区域が連続する場合は、15m²以内で2つ以上の感知区域を同一感知区域とすることができる。</p> <p>※4 取付面が40cm以上1m未満の梁等により区画された5m²以下の小区画1つが隣接する場合は、当該小区画も含めて同一感知区域とすることができる。</p> <p>【緩和：日本火災報知機工業会 自動火災報知設備 工事基準書】 ※5 段違い部分を含む居室等の幅が6m未満であれば、当該居室等を同一感知区域とすることができる。</p> <p>【日本火災報知機工業会 自動火災報知設備 工事基準書】 細い居室等の場合 感知器を周辺が3m未満の細い居室等に設ける場合は、歩行距離13m以上に1個以上設けること。</p> <p>上記に記載のない消防法施行規則についても準拠して感知器を設置する。</p>																					
部屋番号	部屋名称	区画	梁高 0.6m未満 ※1	4m未満	4m以上 8m未満	8m以上 11m未満	11m以上 20m未満	区画 面積 (m ²)	消防法 設置数	梁高 0.6m以上 1m未満	連続※3 8m未満 <60m ²	連続※4 8m以上 <40m ²	連続※5 <10m ²	6m未満	緩和適用数	設置数	合計	備考	区画	梁高 0.4m未満 ※1	4m未満	4m以上 8m未満	8m以上	区画 面積 (m ²)	消防法 設置数	梁高 0.4m以上 1m未満	連続※3 <15m ²	連続※4 <5m ²	連続※5 6m未満	緩和適用数	設置数	合計	備考				
G-1F-001	ガスターボ発電機室 (2)	①	○	○	○	○	○	22.3	1	○	○	○	○	○	○	○	1	8	①	○	○	○	○	○	22.3	1	○	○	○	○	○	○	1	16			
		②	○	○	○	○	○	19.3	1	○	○	○	○	○	○	○	○	1		②	○	○	○	○	○	19.3	1	○	○	○	○	○	○	1			
		③	○	○	○	○	○	11.6	0	○	○	○	○	○	○	○	○	0		③	○	○	○	○	○	11.6	1	○	○	○	○	○	○	1			
		④	○	○	○	○	○	10.7	1	○	○	○	○	○	○	○	○	1		④	○	○	○	○	○	10.7	1	○	○	○	○	○	○	1			
		⑤	○	○	○	○	○	10.4	0	○	○	○	○	○	○	○	○	0		⑤	○	○	○	○	○	10.4	1	○	○	○	○	○	○	1			
		⑥	○	○	○	○	○	11.2	1	○	○	○	○	○	○	○	○	1		⑥	○	○	○	○	○	11.2	1	○	○	○	○	○	○	1			
		⑦	○	○	○	○	○	11.2	0	○	○	○	○	○	○	○	○	0		⑦	○	○	○	○	○	11.2	1	○	○	○	○	○	○	1			
		⑧	○	○	○	○	○	11.9	0	○	○	○	○	○	○	○	○	0		⑧	○	○	○	○	○	11.9	1	○	○	○	○	○	○	1			
		⑨	○	○	○	○	○	14.7	0	○	○	○	○	○	○	○	○	0		⑨	○	○	○	○	○	14.7	1	○	○	○	○	○	○	1			
		⑩	○	○	○	○	○	15.7	1	○	○	○	○	○	○	○	○	1		⑩	○	○	○	○	○	15.7	1	○	○	○	○	○	○	1			
		⑪	○	○	○	○	○	7.4	0	○	○	○	○	○	○	○	○	0		⑪	○	○	○	○	○	7.4	1	○	○	○	○	○	○	1			
		⑫	○	○	○	○	○	13.5	0	○	○	○	○	○	○	○	○	0		⑫	○	○	○	○	○	13.5	1	○	○	○	○	○	○	1			
		⑬	○	○	○	○	○	11.5	1	○	○	○	○	○	○	○	○	1		⑬	○	○	○	○	○	11.5	1	○	○	○	○	○	○	1			
		⑭	○	○	○	○	○	7.4	0	○	○	○	○	○	○	○	○	0		⑭	○	○	○	○	○	7.4	1	○	○	○	○	○	○	1			
		⑮	○	○	○	○	○	18.2	1	○	○	○	○	○	○	○	○	1		⑮	○	○	○	○	○	18.2	1	○	○	○	○	○	○	1			
		⑯	○	○	○	○	○	24.8	0	○	○	○	○	○	○	○	○	0		⑯	○	○	○	○	○	24.8	1	○	○	○	○	○	○	1			
		G-1F-002	GTG制御室 (2)	①	○	○	○	○	○	7.1	0	○	○	○	○	○	○	○	0	8	①	○	○	○	○	○	7.1	1	○	○	○	○	○	○	1	19	
				②	○	○	○	○	○	11.4	0	○	○	○	○	○	○	○	0		②	○	○	○	○	○	11.4	1	○	○	○	○	○	○	1		
				③	○	○	○	○	○	13.3	1	○	○	○	○	○	○	○	1		③	○	○	○	○	○	13.3	1	○	○	○	○	○	○	1		
④	○			○	○	○	○	13.1	0	○	○	○	○	○	○	○	0		④	○	○	○	○	○	13.1	1	○	○	○	○	○	○	1				
⑤	○			○	○	○	○	6.2	0	○	○	○	○	○	○	○	0		⑤	○	○	○	○	○	6.2	1	○	○	○	○	○	○	1				
⑥	○			○	○	○	○	11.6	0	○	○	○	○	○	○	○	0		⑥	○	○	○	○	○	11.6	1	○	○	○	○	○	○	1				
⑦	○			○	○	○	○	12.1	1	○	○	○	○	○	○	○	1		⑦	○	○	○	○	○	12.1	1	○	○	○	○	○	○	1				
⑧	○			○	○	○	○	10.0	0	○	○	○	○	○	○	○	0		⑧	○	○	○	○	○	10.0	1	○	○	○	○	○	○	1				
⑨	○			○	○	○	○	9.7	1	○	○	○	○	○	○	○	1		⑨	○	○	○	○	○	9.7	1	○	○	○	○	○	○	1				
⑩	○			○	○	○	○	10.9	0	○	○	○	○	○	○	○	0		⑩	○	○	○	○	○	10.9	1	○	○	○	○	○	○	1				
⑪	○			○	○	○	○	8.8	0	○	○	○	○	○	○	○	0		⑪	○	○	○	○	○	8.8	1	○	○	○	○	○	○	1				
⑫	○			○	○	○	○	12.0	1	○	○	○	○	○	○	○	1		⑫	○	○	○	○	○	12.0	1	○	○	○	○	○	○	1				
⑬	○			○	○	○	○	20.4	1	○	○	○	○	○	○	○	1	0		⑬	○	○	○	○	○	20.4	1	○	○	○	○	○	○	1			
⑭	○			○	○	○	○	16.2	1	○	○	○	○	○	○	○	1	1		⑭	○	○	○	○	○	16.2	1	○	○	○	○	○	○	1			
⑮	○			○	○	○	○	27.1	1	○	○	○	○	○	○	○	1	0		⑮	○	○	○	○	○	27.1	1	○	○	○	○	○	○	1			
⑯	○			○	○	○	○	16.1	1	○	○	○	○	○	○	○	1	0		⑯	○	○	○	○	○	16.1	1	○	○	○	○	○	○	1			
⑰	○			○	○	○	○	12.9	1	○	○	○	○	○	○	○	1	1		⑰	○	○	○	○	○	12.9	1	○	○	○	○	○	○	1			
⑱	○			○	○	○	○	21.5	1	○	○	○	○	○	○	○	1	0		⑱	○	○	○	○	○	21.5	1	○	○	○	○	○	○	1			
G-1F-003	ポンパ室 (2)			①	○	○	○	○	15.1	1	○	○	○	○	○	○	○	1	1		①	○	○	○	○	○	15.1	1	○	○	○	○	○	○	1	1	
G-1F-004	蓄電池室 (2-2)	①	○	○	○	○	44.5	1	○	○	○	○	○	○	○	1	1		①	○	○	○	○	○	44.5	1	○	○	○	○	○	○	1	2			
G-1F-005	蓄電池室 (2-1)	①	○	○	○	○	38.4	1	○	○	○	○	○	○	○	1	1		①	○	○	○	○	○	38.4	1	○	○	○	○	○	○	1	1			
G-1F-006	ハッチ室上部	①	○	○	○	○	○	10.9	1	○	○	○	○	○	○	○	1	0		①	○	○	○	○	○	10.9	1	○	○	○	○	○	○	1			
		②	○	○	○	○	○	7.4	1	○	○	○	○	○	○	○	1	0		②	○	○	○	○	○	7.4	1	○	○	○	○	○	○	1			
		③	○	○	○	○	○	2.8	0	○	○	○	○	○	○	○	0		③	○	○	○	○	○	2.8	1	○	○	○	○	○	○	○	1			
		④	○	○	○	○	○	5.8	0	○	○	○	○	○	○	○	0		④	○	○	○	○	○	5.8	1	○	○	○	○	○	○	1	0			
		⑤	○	○	○	○	○	3.4	1	○	○	○	○	○	○	○	1	0		⑤	○	○	○	○	○	3.4	1	○	○	○	○	○	○	1	0		
		⑥	○	○	○	○	○	14.7	0	○	○	○	○	○	○	○	0		⑥	○	○																

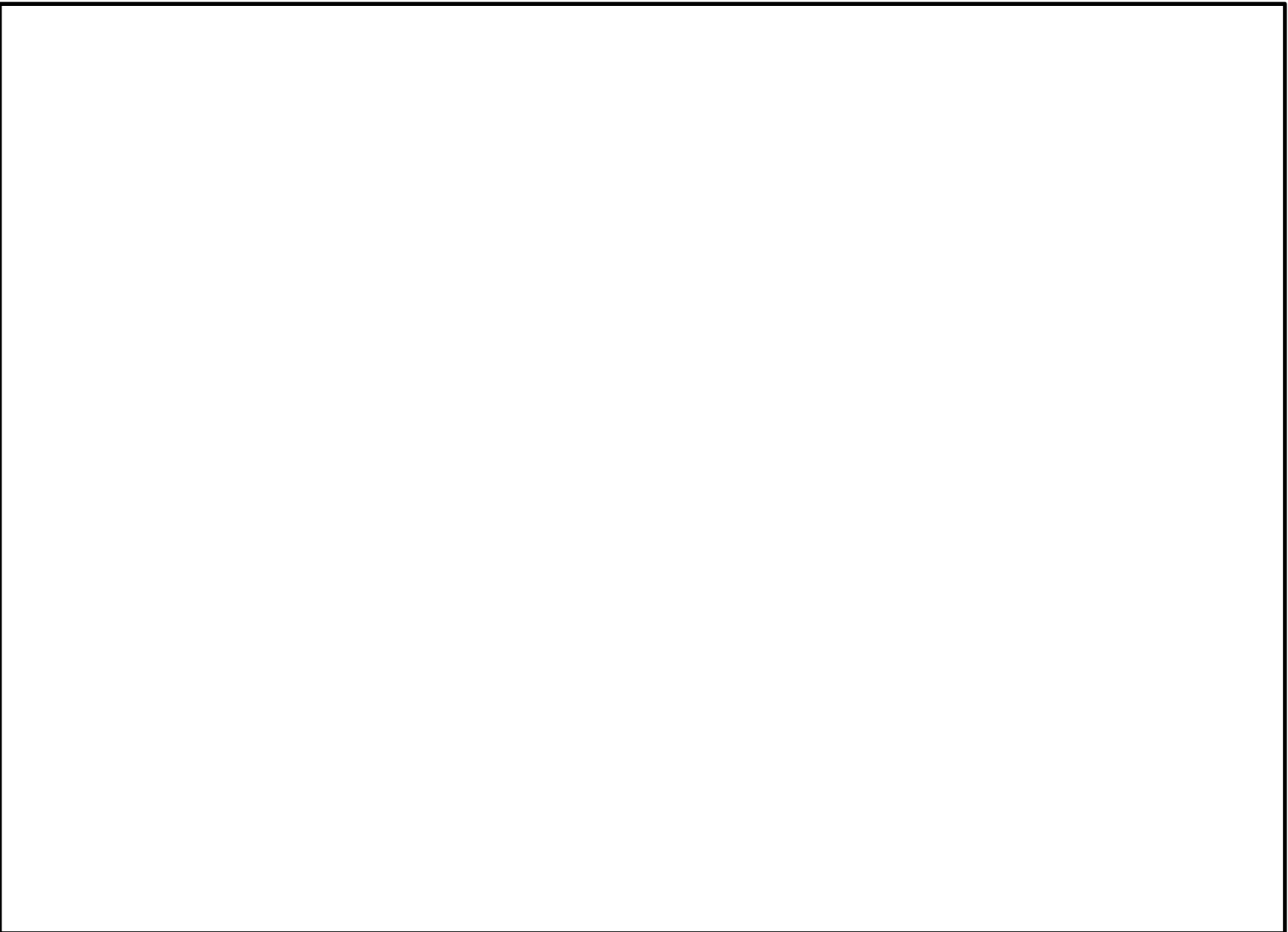
消防法に準拠した火災感知器の配置を示した一覧表（対象：消防法施行規則 第23条第4項に該当する火災感知器）

		熱感知器										炎感知器										
		<p>○23条第4項 三 差動式スポット型、定温式スポット型又は補償式スポット型その他の熱複合式スポット型の感知器は、次に定めるところによること。</p> <p>□ 感知器は、感知区域（それぞれ壁又は取付け面から0.4m以上突出したはり等によって区画された部分をいう。以下同じ。）ごとに、感知器の種類及び取付け面の高さに応じて次の表で定める床面積につき一個以上の個数を、火災を有効に感知するように設けること。</p> <p>※1 取付け面から0.4m以上突出した梁等により区画</p> <table border="1"> <tr> <td>取付け面高さ</td> <td>床面積</td> </tr> <tr> <td>4m未満</td> <td>70m²</td> </tr> <tr> <td>4m以上～8m未満</td> <td>35m²</td> </tr> </table> <p>【緩和策：全国消防長会中国支部編集 消防用設備等の技術基準】</p> <p>※3 取付け面から40cm以上1m未満の梁等により小さい感知区域が連続する場合は、15m²以内で2つ以上の感知区域を同一感知区域とすることができる。</p> <p>※4 取付け面から40cm以上1m未満の梁等により区画された5m²以下の小区画1つが隣接する場合は、当該小区画も含めて同一感知区域とすることができる。</p> <p>【緩和策：日本火災報知機工業会 自動火災報知設備 工事基準書】</p> <p>※5 段違い部分を含む居室等の幅が6m未満であれば、当該居室等を同一感知区域とすることができる。</p> <p>【日本火災報知機工業会 自動火災報知設備 工事基準書】</p> <p>細長い居室等の場合 感知器を短辺が3m未満の細長い居室等に設ける場合は、歩行距離13mごとに1個以上設けること。</p> <p>上記に記載のない消防法施行規則についても準拠して感知器を設置する。</p>										取付け面高さ	床面積	4m未満	70m ²	4m以上～8m未満	35m ²	<p>○23条第4項 七の四 炎感知器（道路の用に供される部分に設けられるものを除く。）は、次に定めるところによること。</p> <p>□ 感知器は、壁によって区画された区域ごとに、当該区域の床面から高さ一・二メートルまでの空間（以下「監視空間」という。）の各部分から当該感知器までの距離が公称監視距離の範囲内となるように設けること。</p> <p>上記に記載のない消防法施行規則についても準拠して感知器を設置する。</p>				
		取付け面高さ	床面積																			
4m未満	70m ²																					
4m以上～8m未満	35m ²																					
部屋番号	部屋名称	区画	梁高さ 0.4m未満 ※1	取付け高さ※2			区画 面積 (m ²)	消防法 設置数	梁高さ	緩和策適用			緩和策 適用数	設置数	合計	備考	区画	監視範囲(m)	視野角(°)	設置数	合計	備考
G-3F-003	空調フィルタ室(2)	①	-	-	○	-	6.2	1	-	-	-	-	-	1	1		①	20m未満	約100°	2	4	
		②	-	-	○	-	6.2	1	-	-	-	-	-	1	1		②	20m未満	約100°	2		
G-3F-203	空調フィルタ室(1)	①	-	-	○	-	6.2	1	-	-	-	-	-	1	1		①	20m未満	約100°	2	4	
		②	-	-	○	-	6.2	1	-	-	-	-	-	1	1		②	20m未満	約100°	2		
G-RF-001	換気ファン及び空調ガラリ室(2)	①	-	-	○	-	17.3	1	-	-	-	-	-	1	1		①	20m未満	約100°	2	5	
		②	-	-	○	-	7.8	1	-	-	-	-	-	1	1		②	-	-	0		
		③	-	-	○	-	11.8	1	-	-	-	-	-	1	1		③	20m未満	約100°	1		
		④	-	-	○	-	12.7	1	-	-	-	-	-	1	1		④	20m未満	約100°	2		
G-RF-201	換気ファン及び空調ガラリ室(1)	①	-	-	○	-	20.7	1	-	-	-	-	-	1	1		①	20m未満	約100°	2	5	
		②	-	-	○	-	9.8	1	-	-	-	-	-	1	1		②	-	-	0		
		③	-	-	○	-	14.2	1	-	-	-	-	-	1	1		③	20m未満	約100°	1		
		④	-	-	○	-	15.5	1	-	-	-	-	-	1	1		④	20m未満	約100°	2		

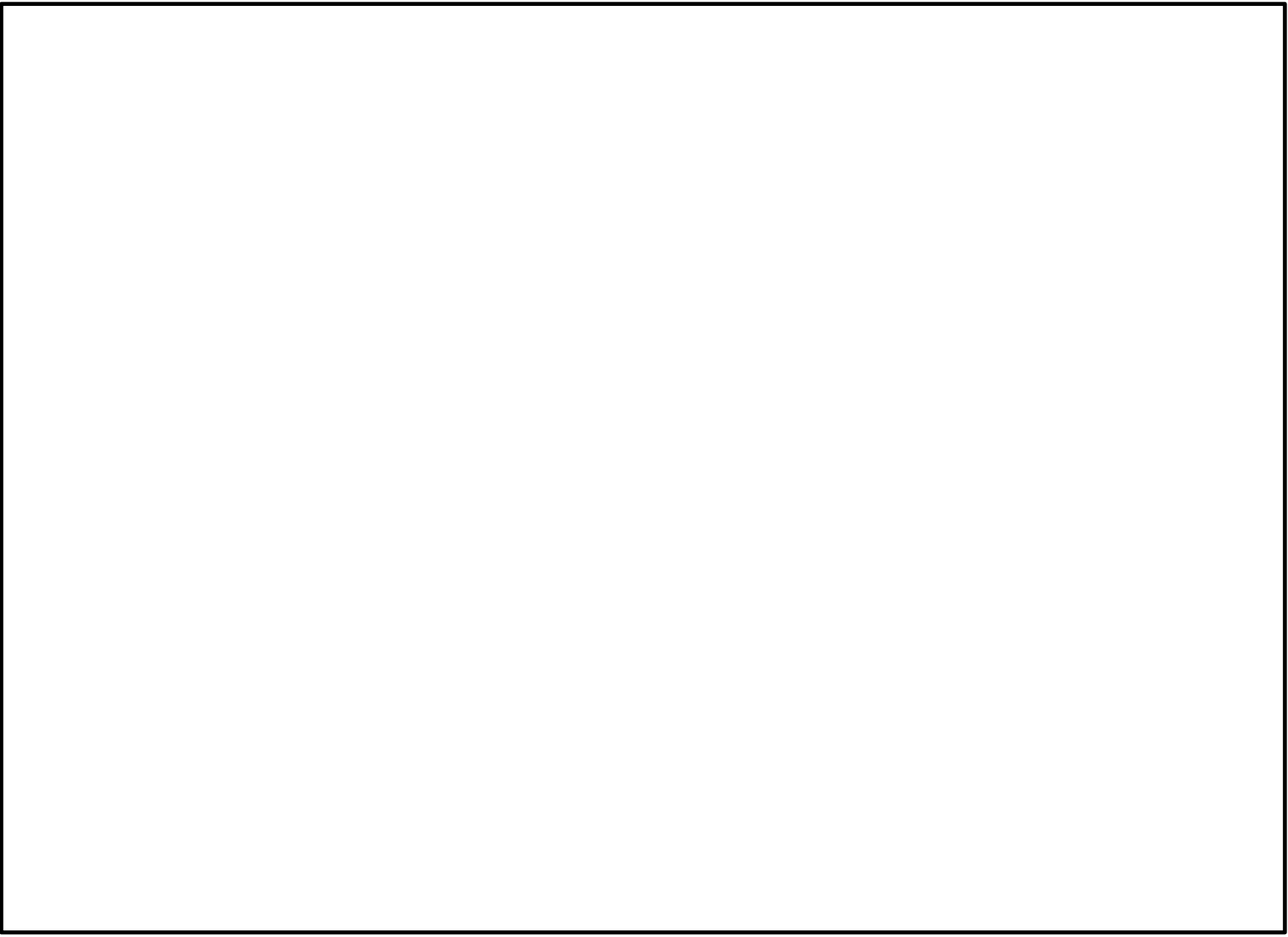


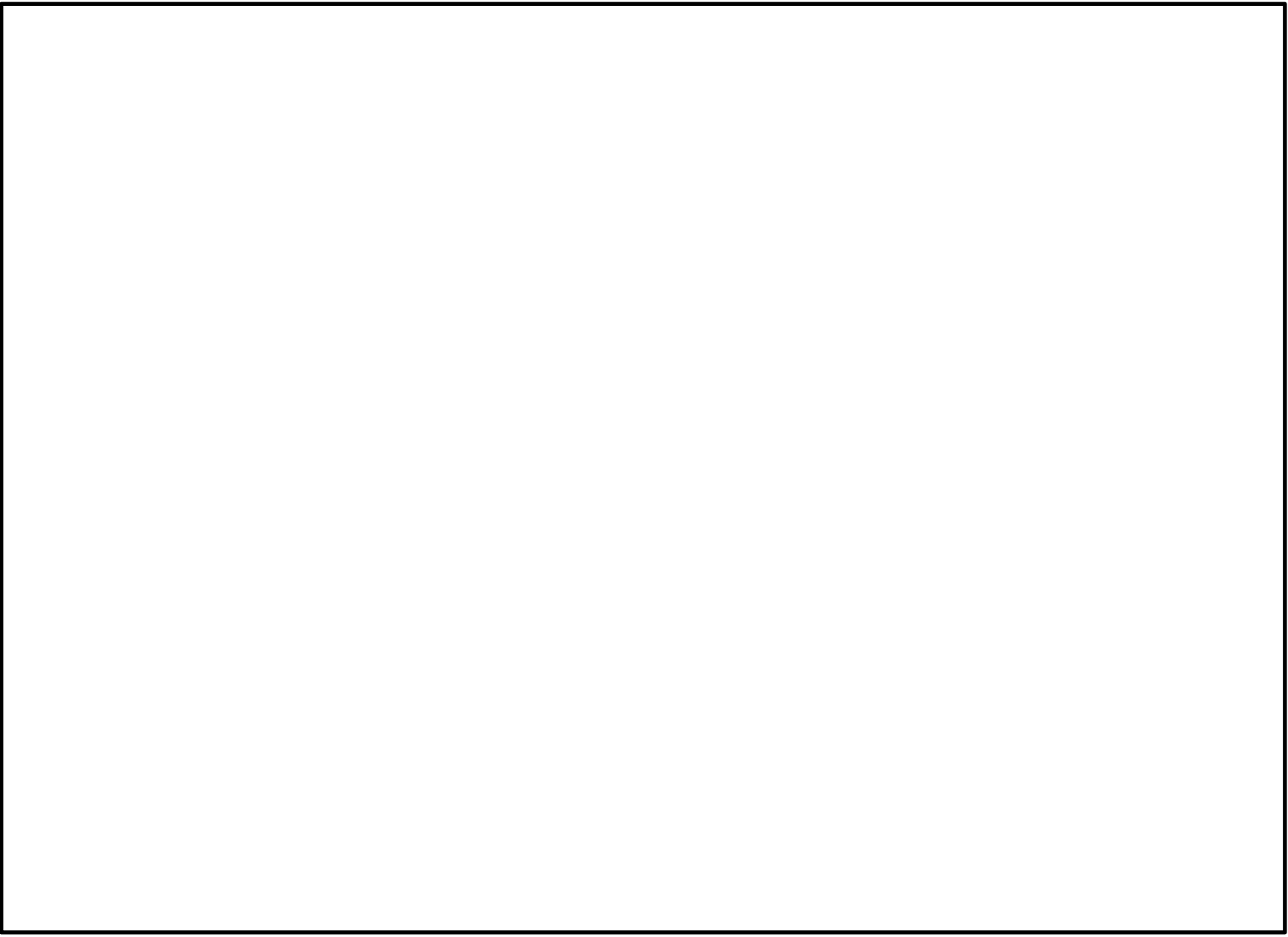


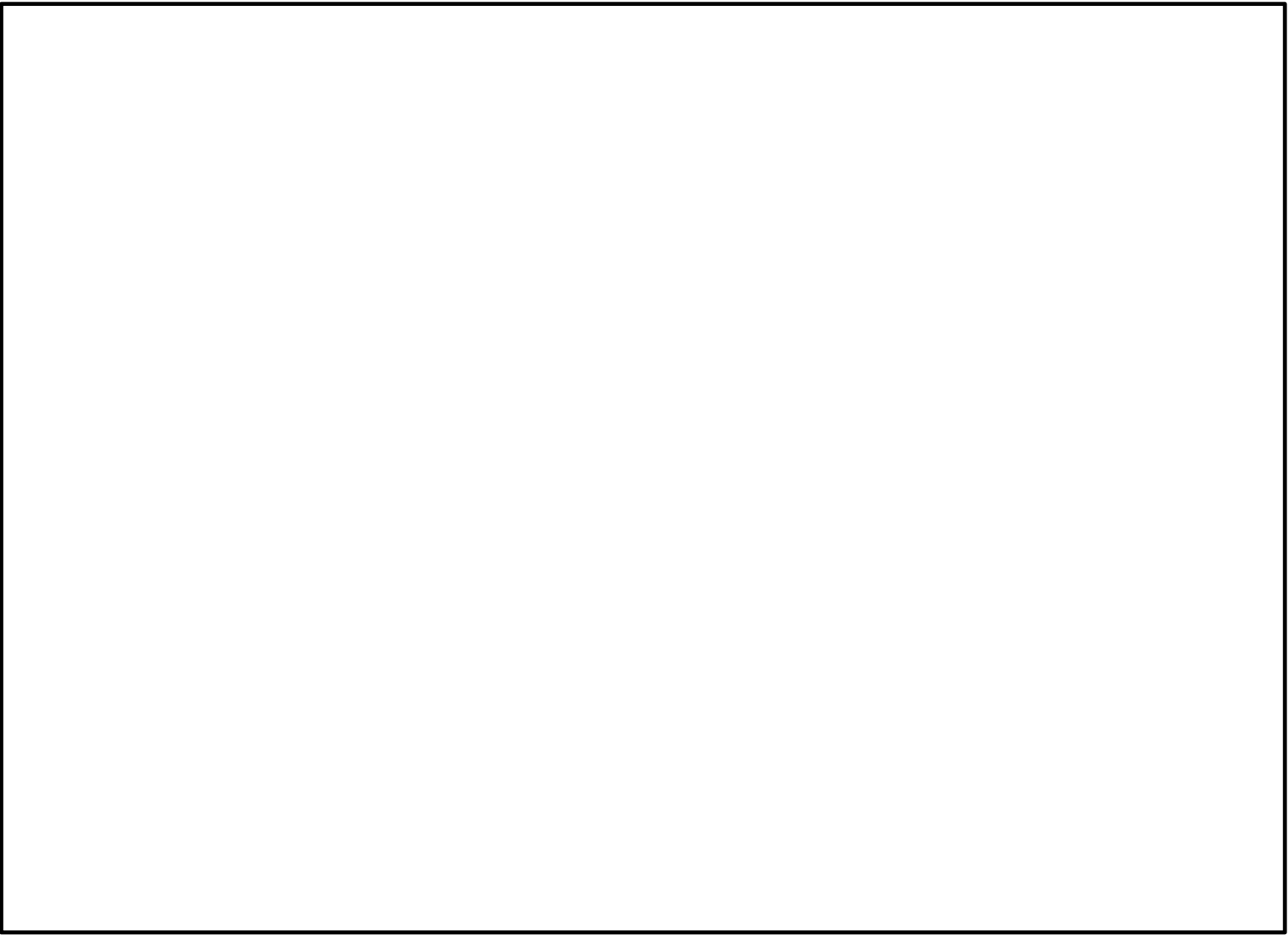
補-3-7-140

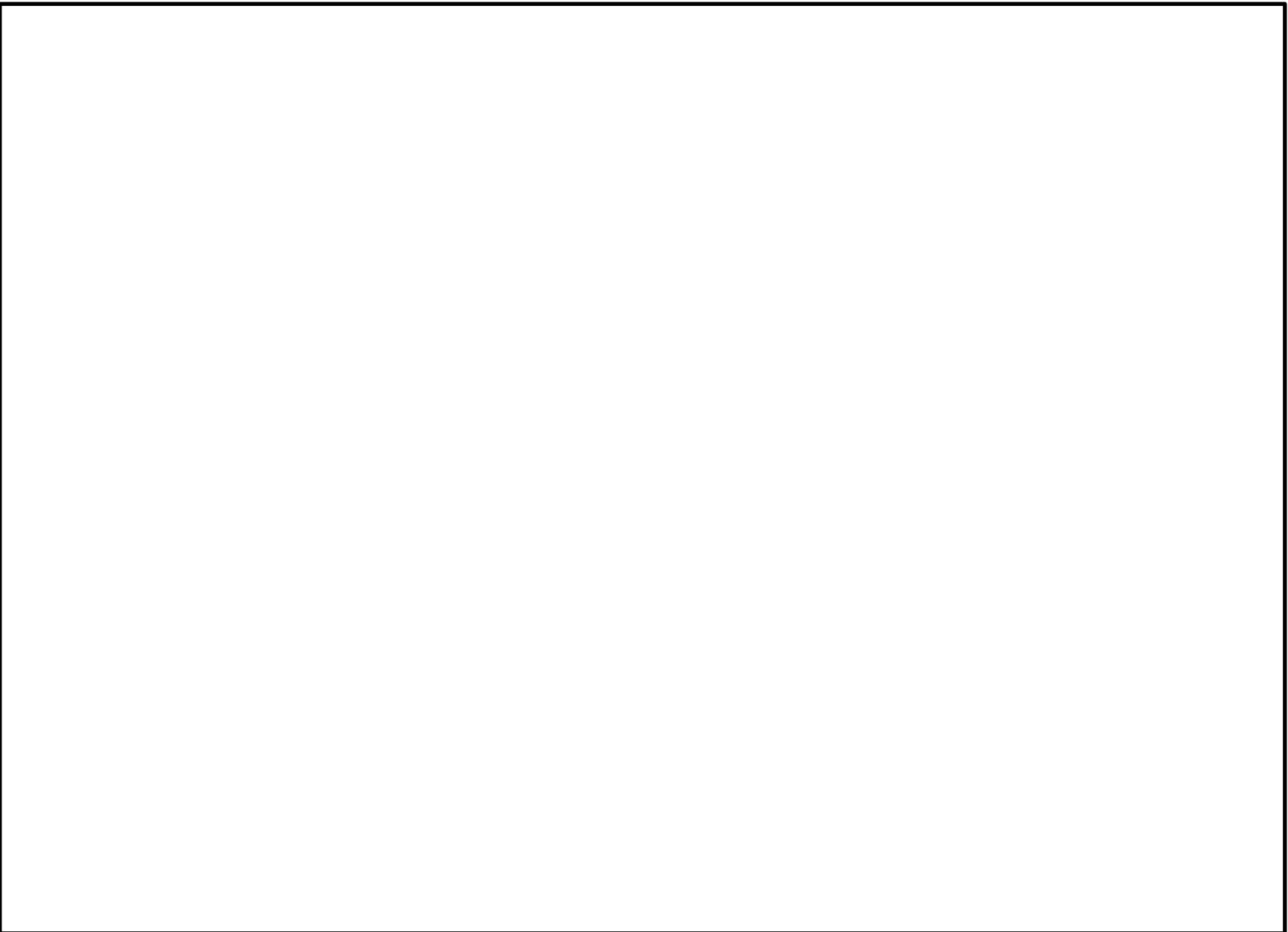


補-3-7-141





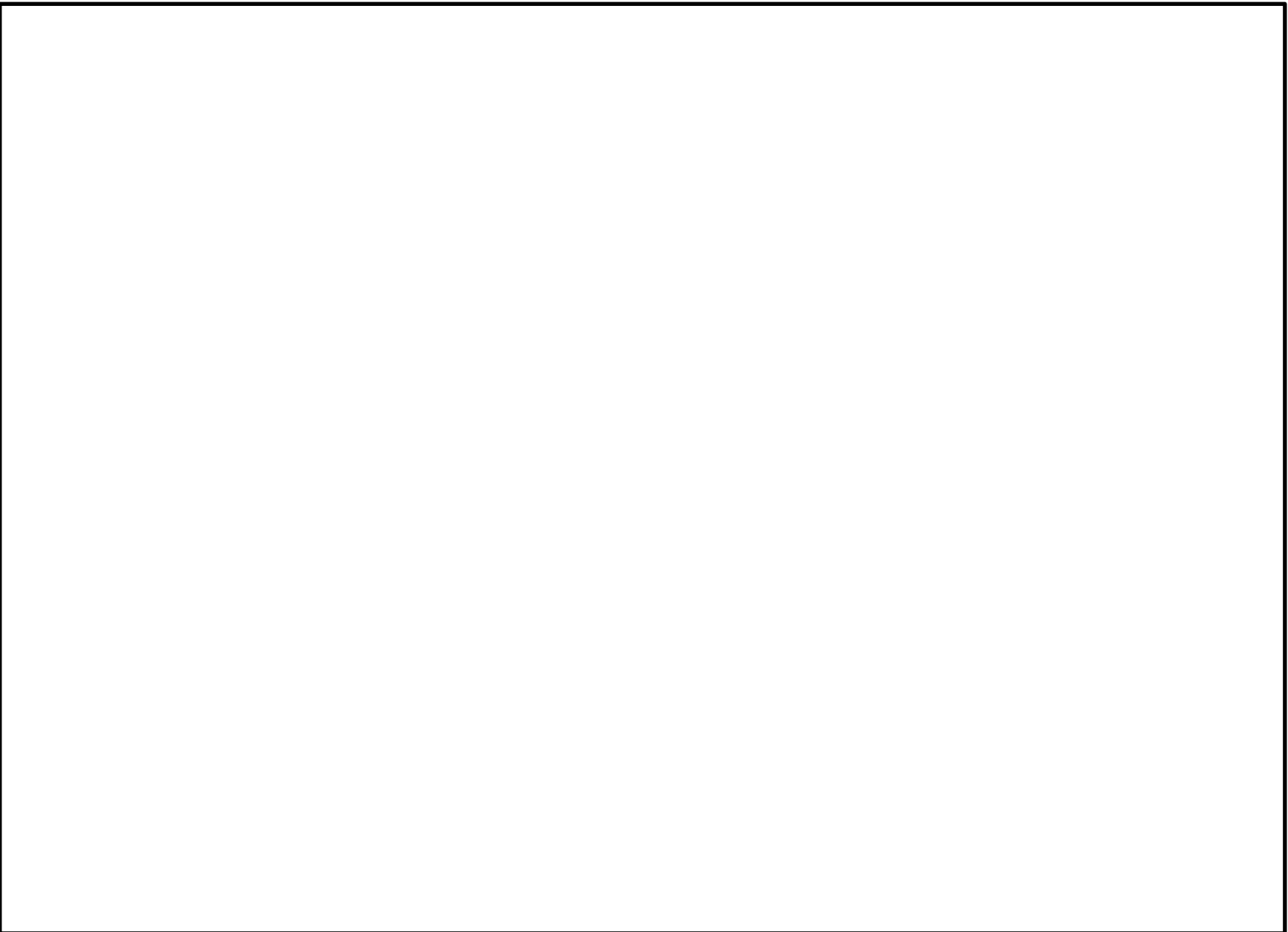




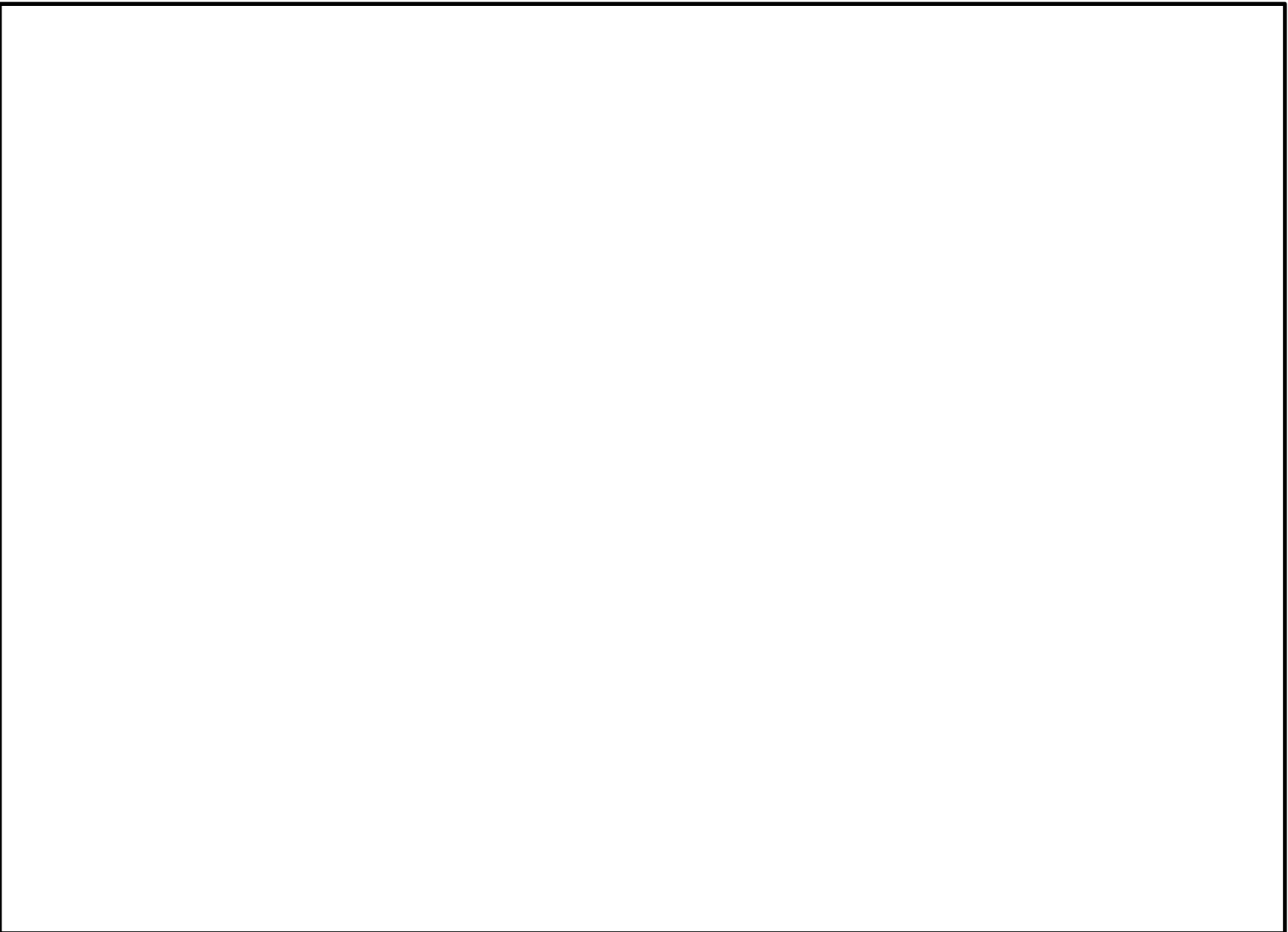
補-3-7-145

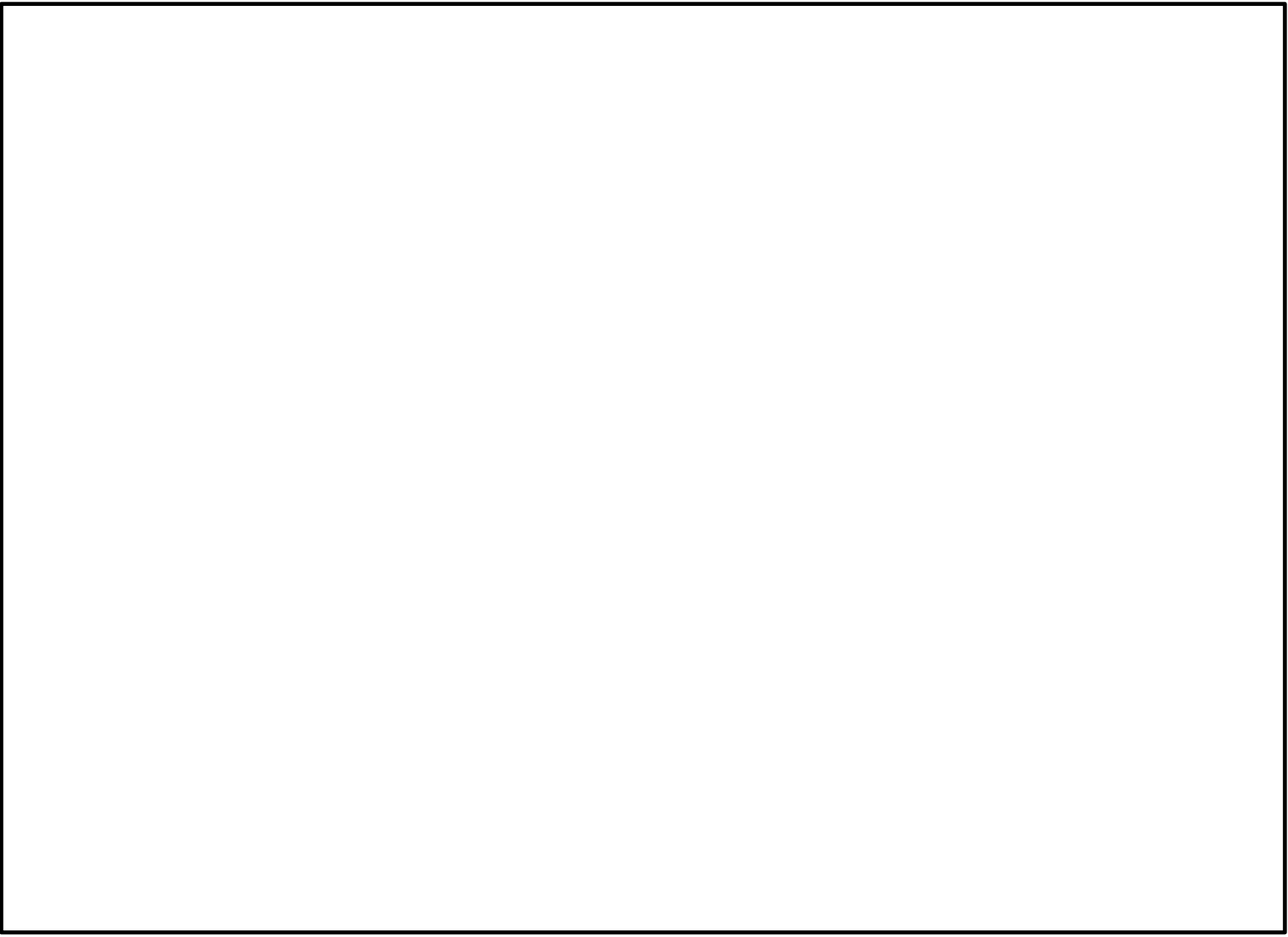




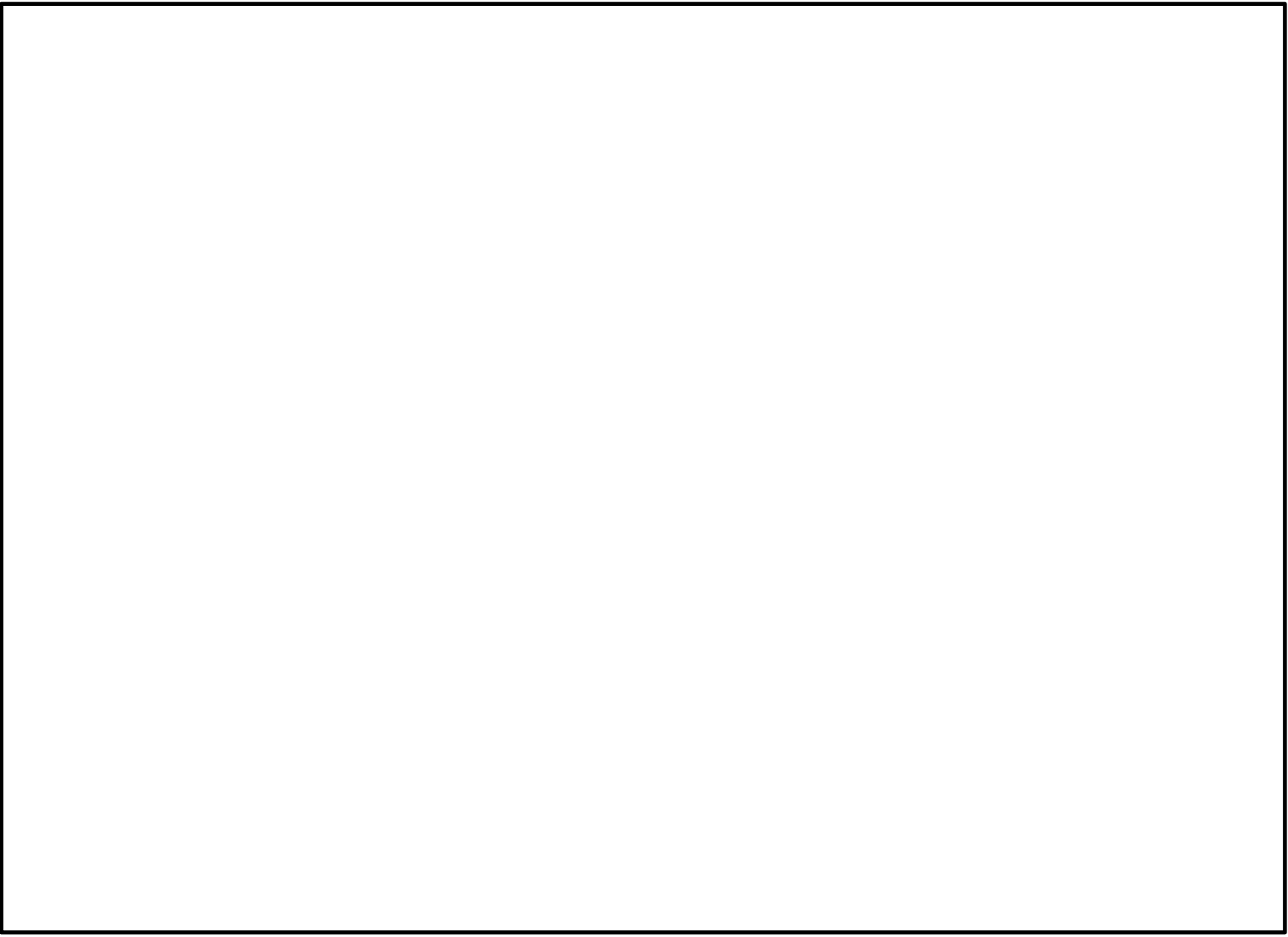


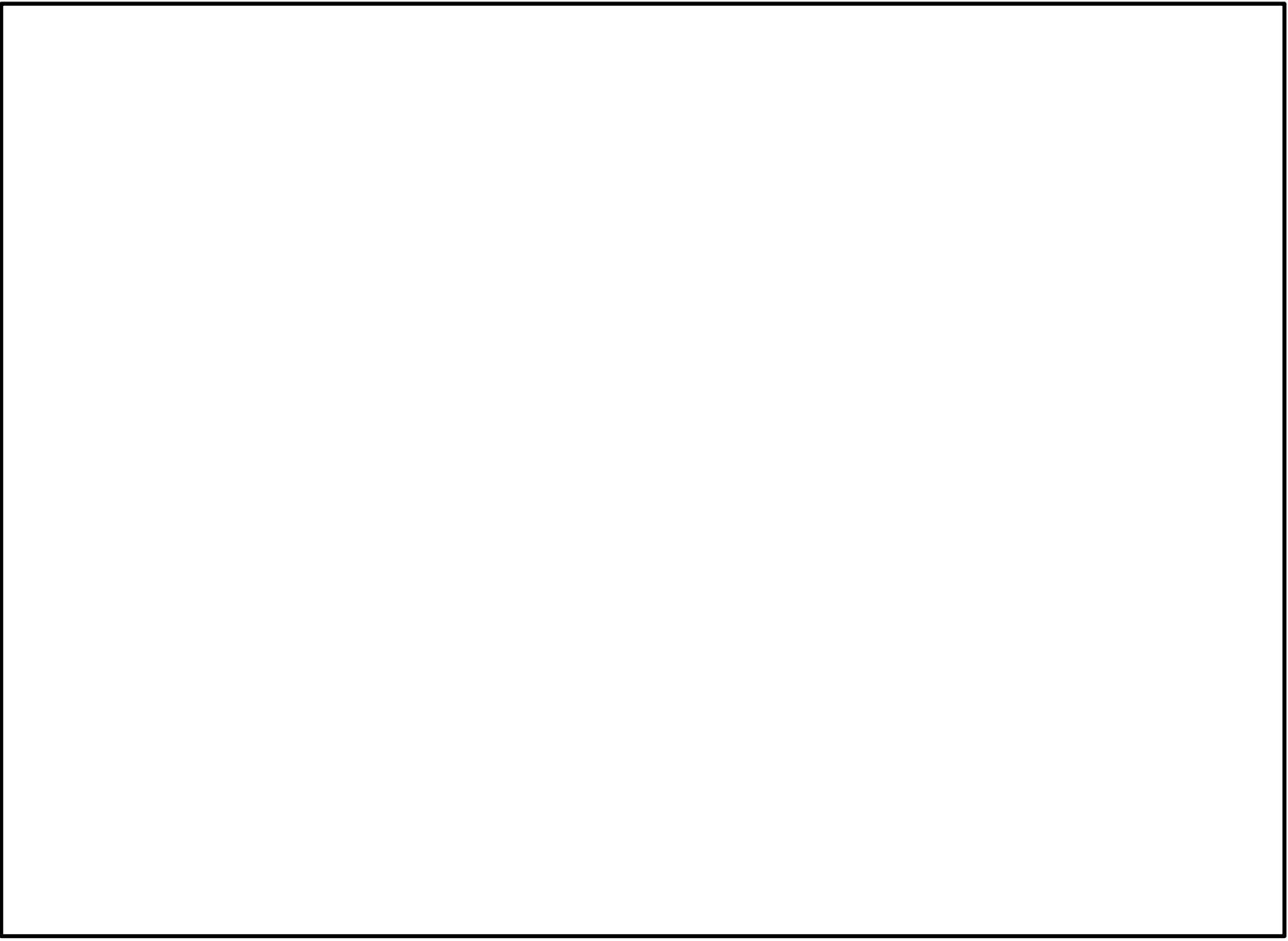
補-3-7-148



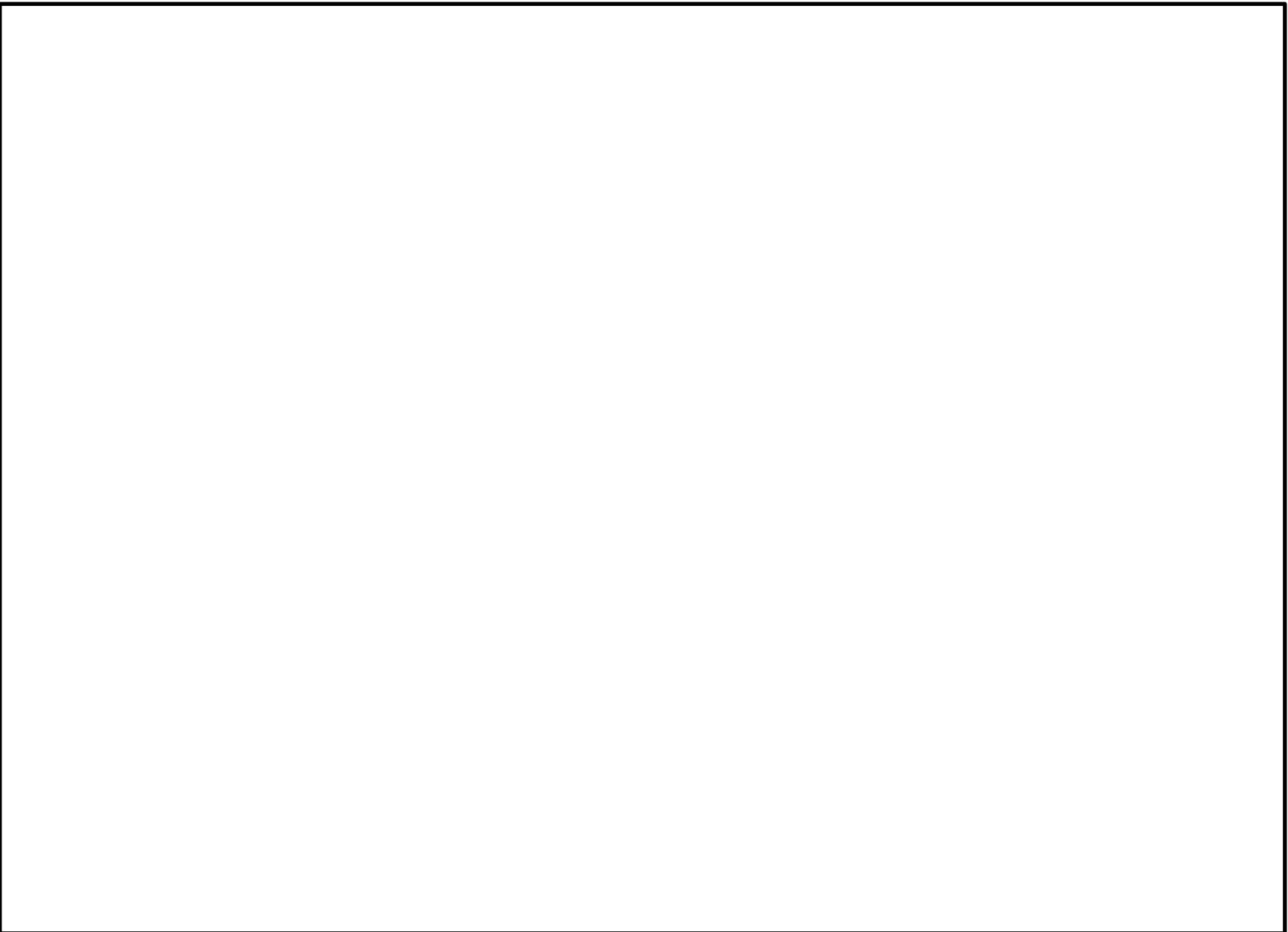


補-3-7-150

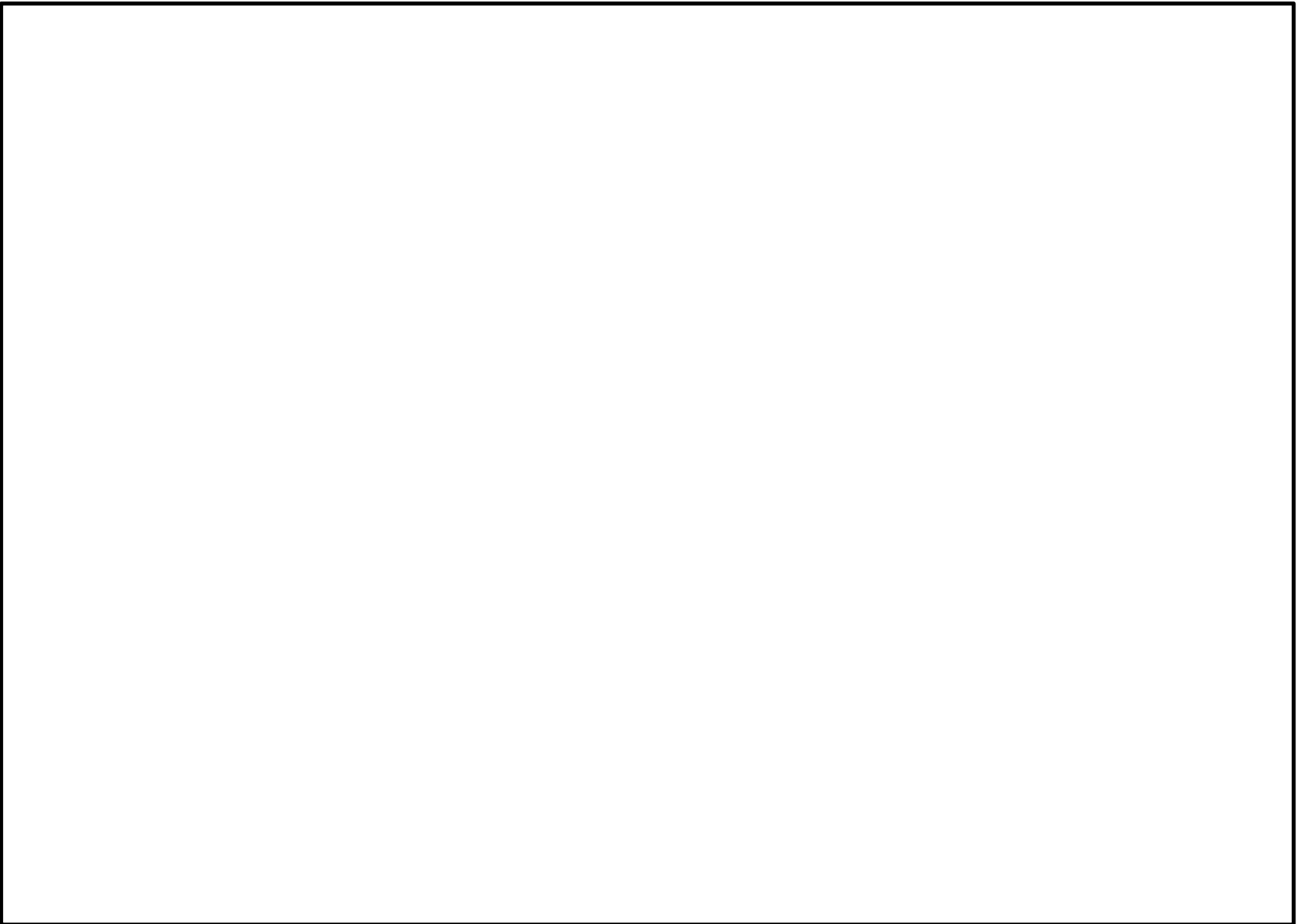




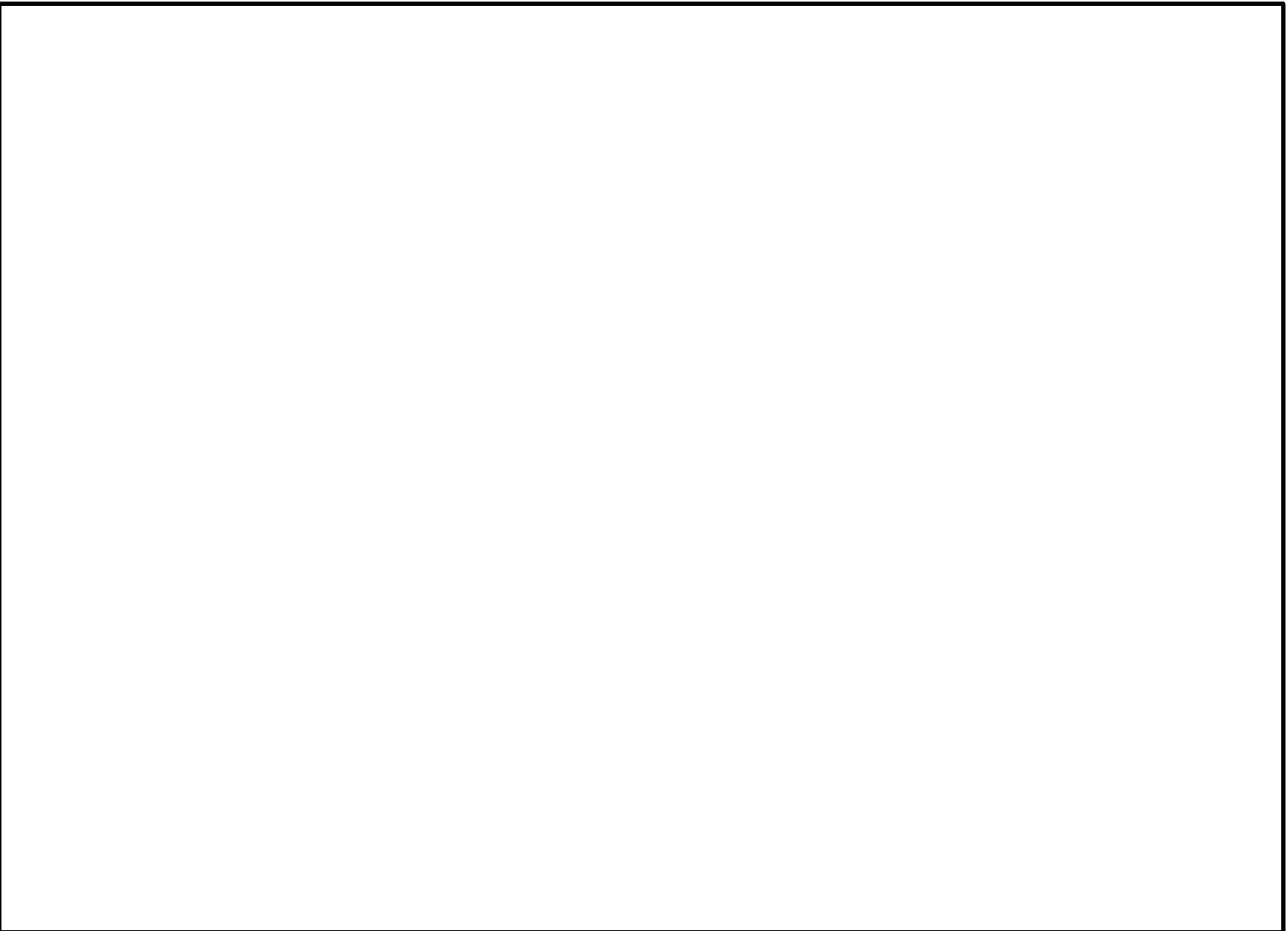
補-3-7-152

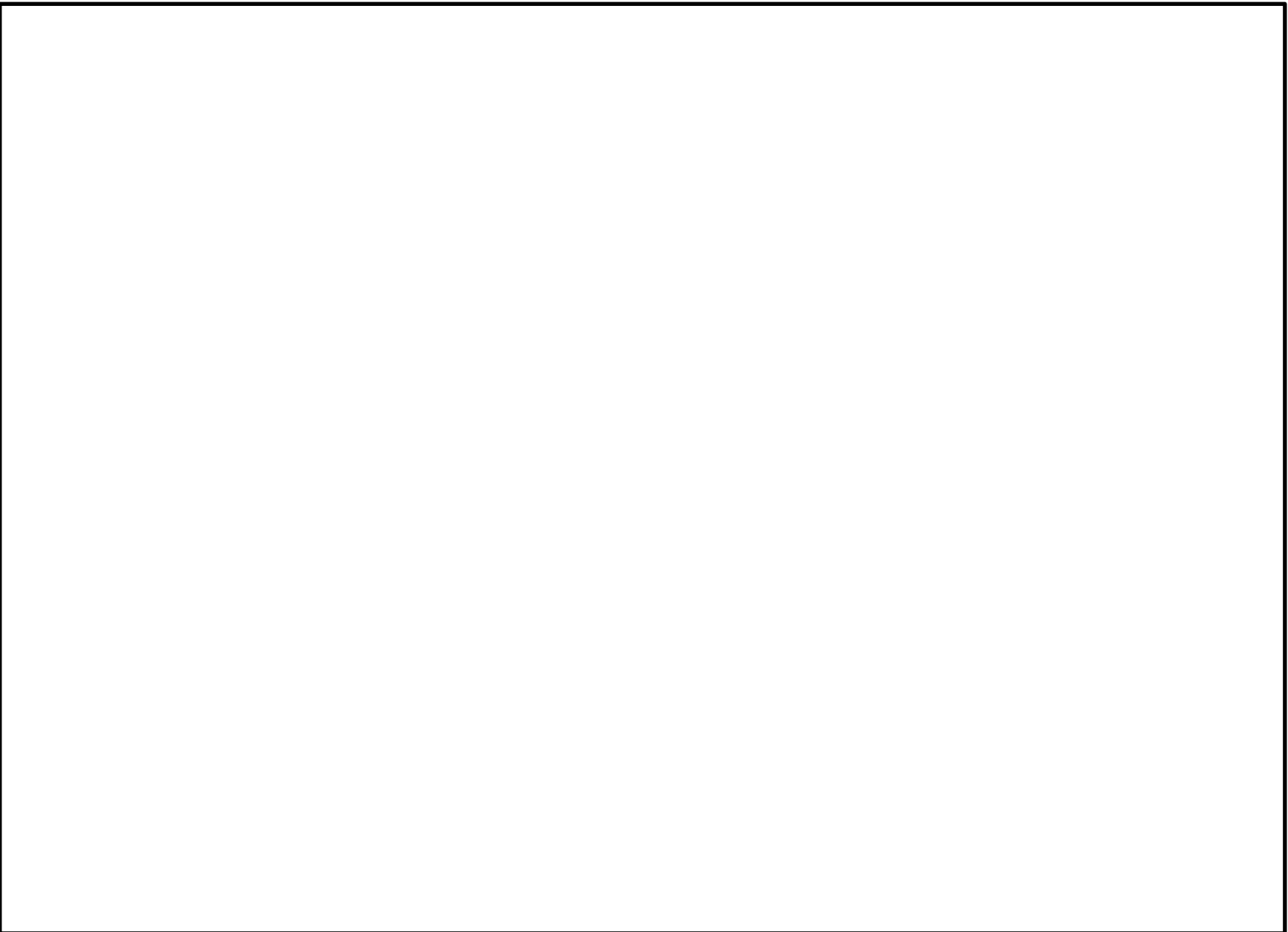


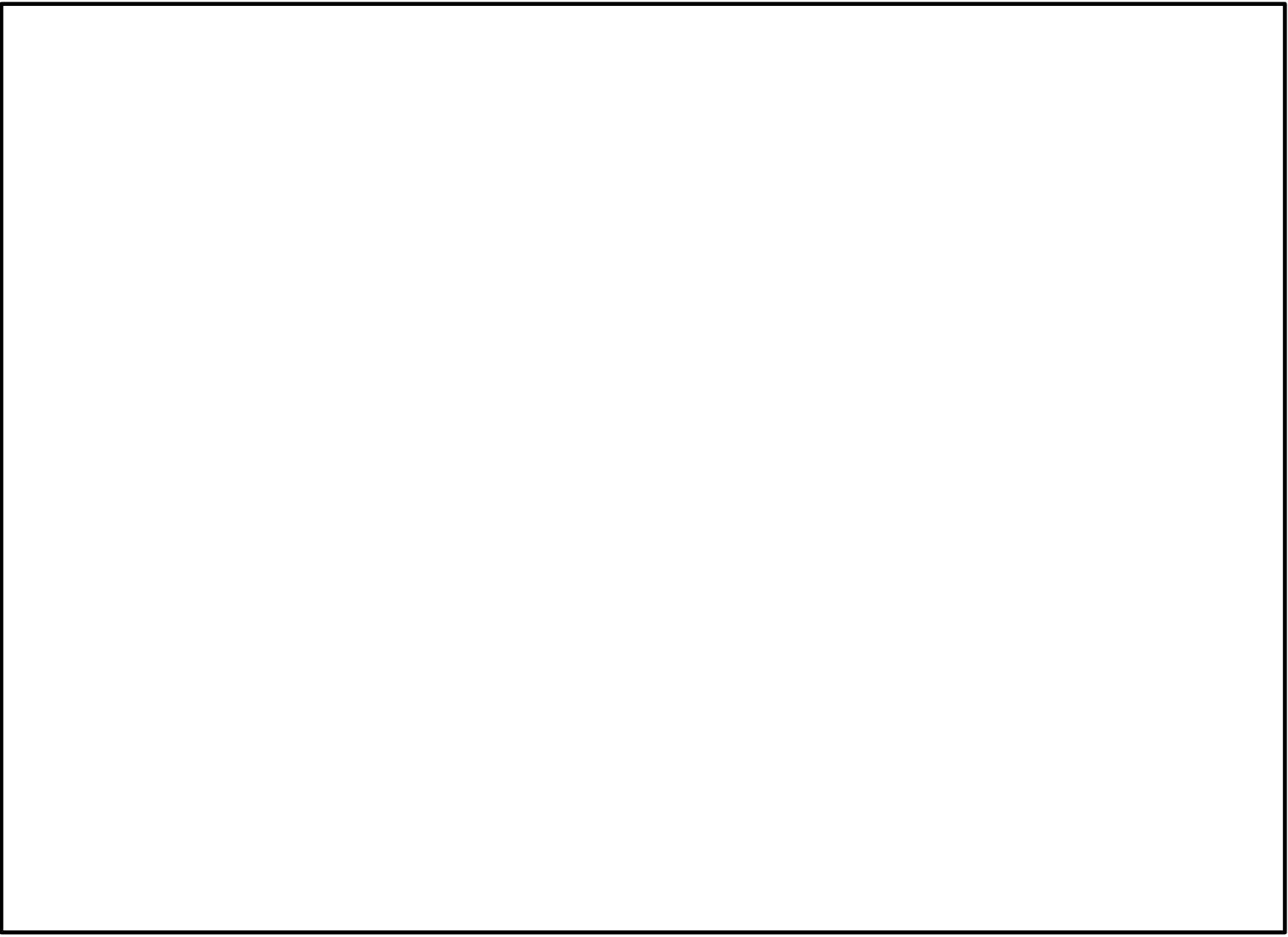
補-3-7-153



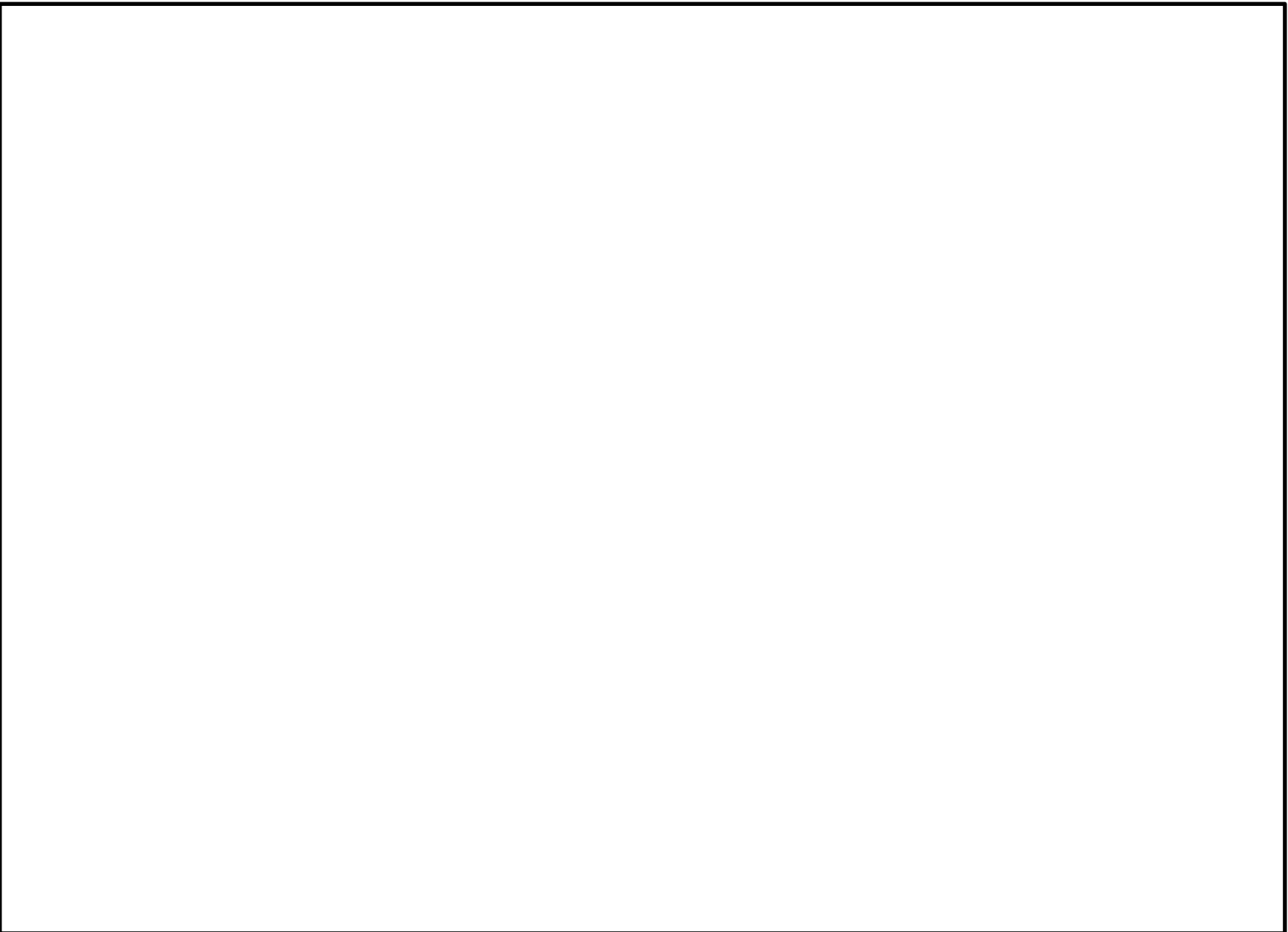
補-3-7-154

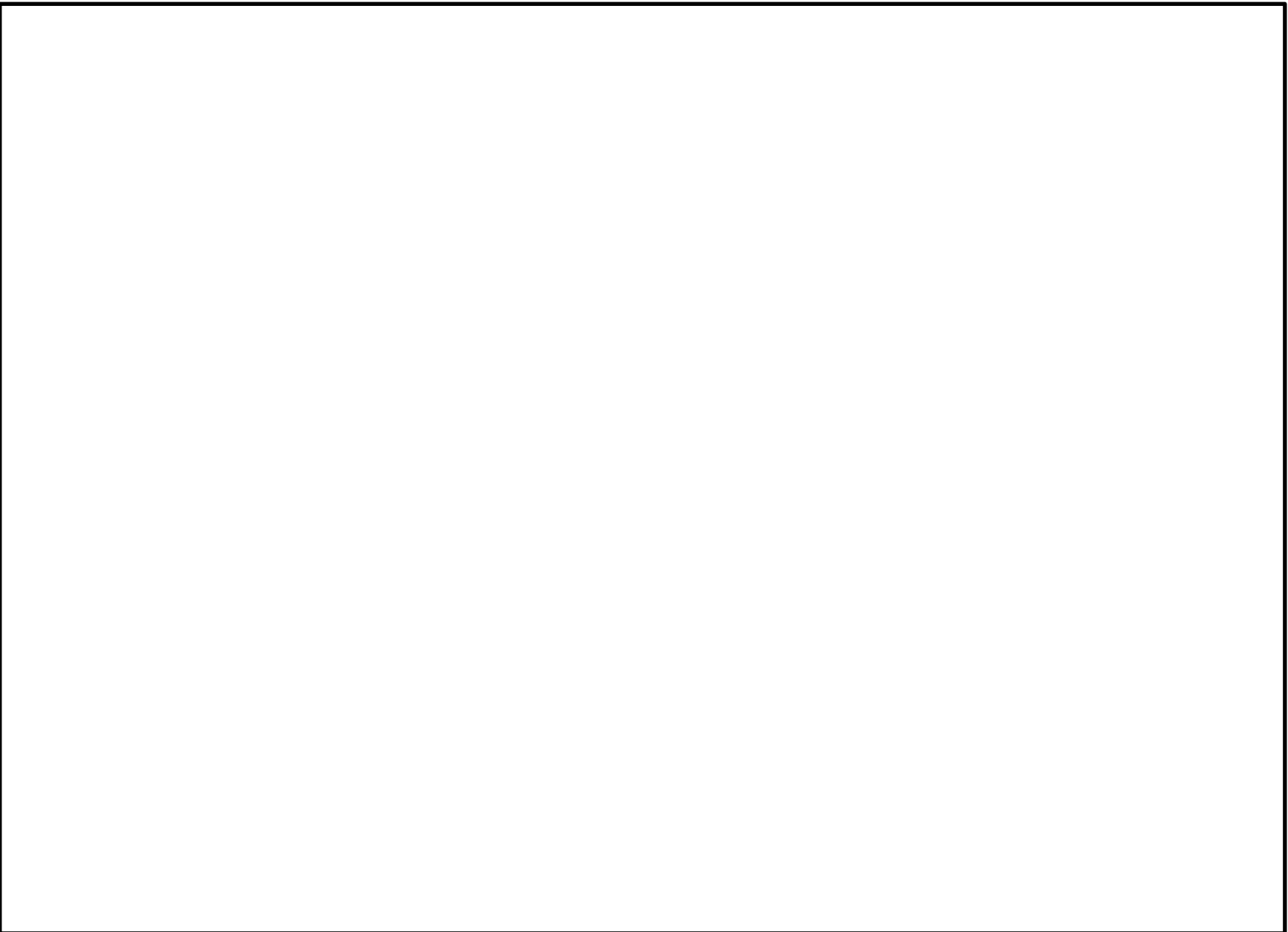


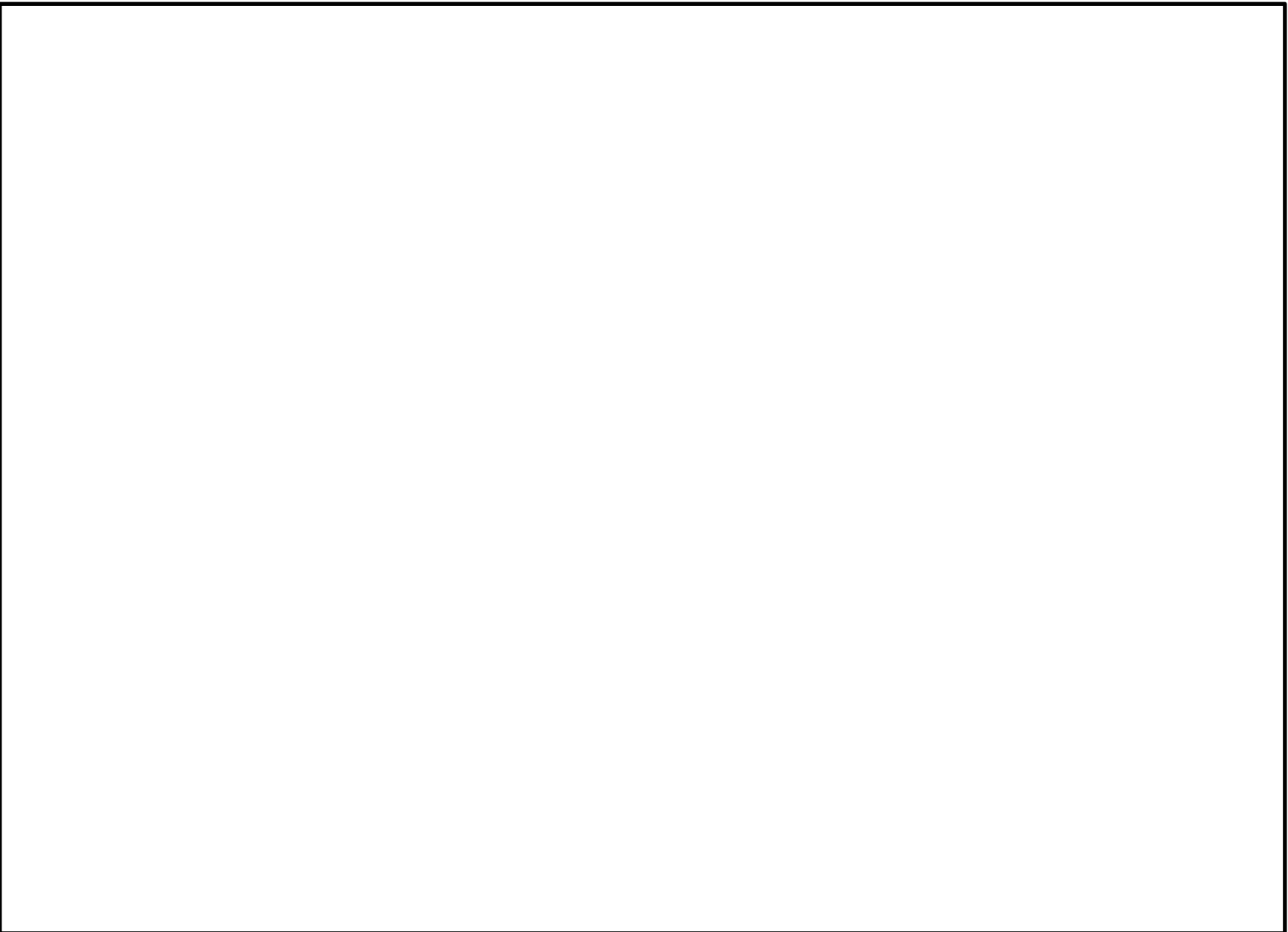




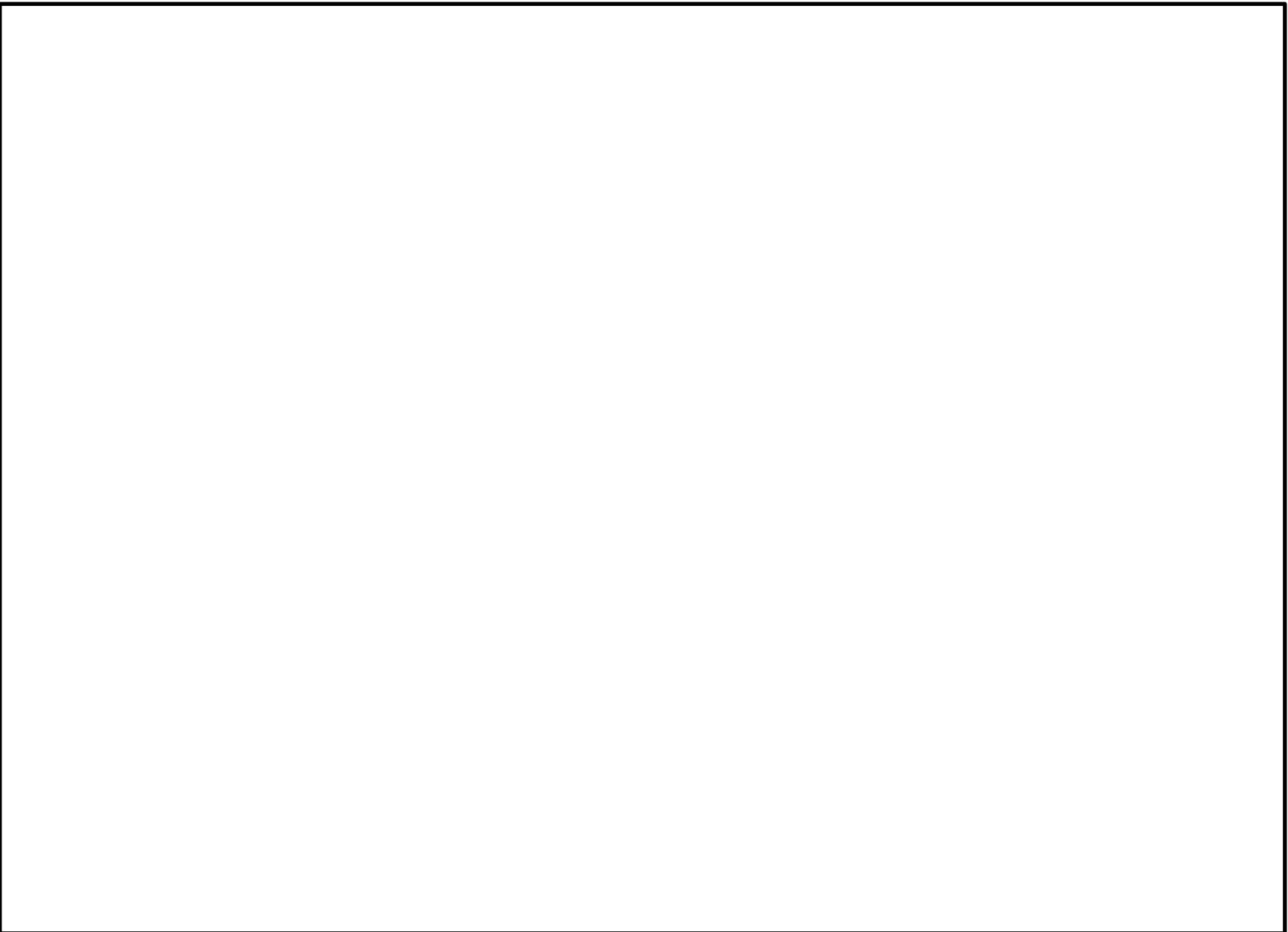
補-3-7-157



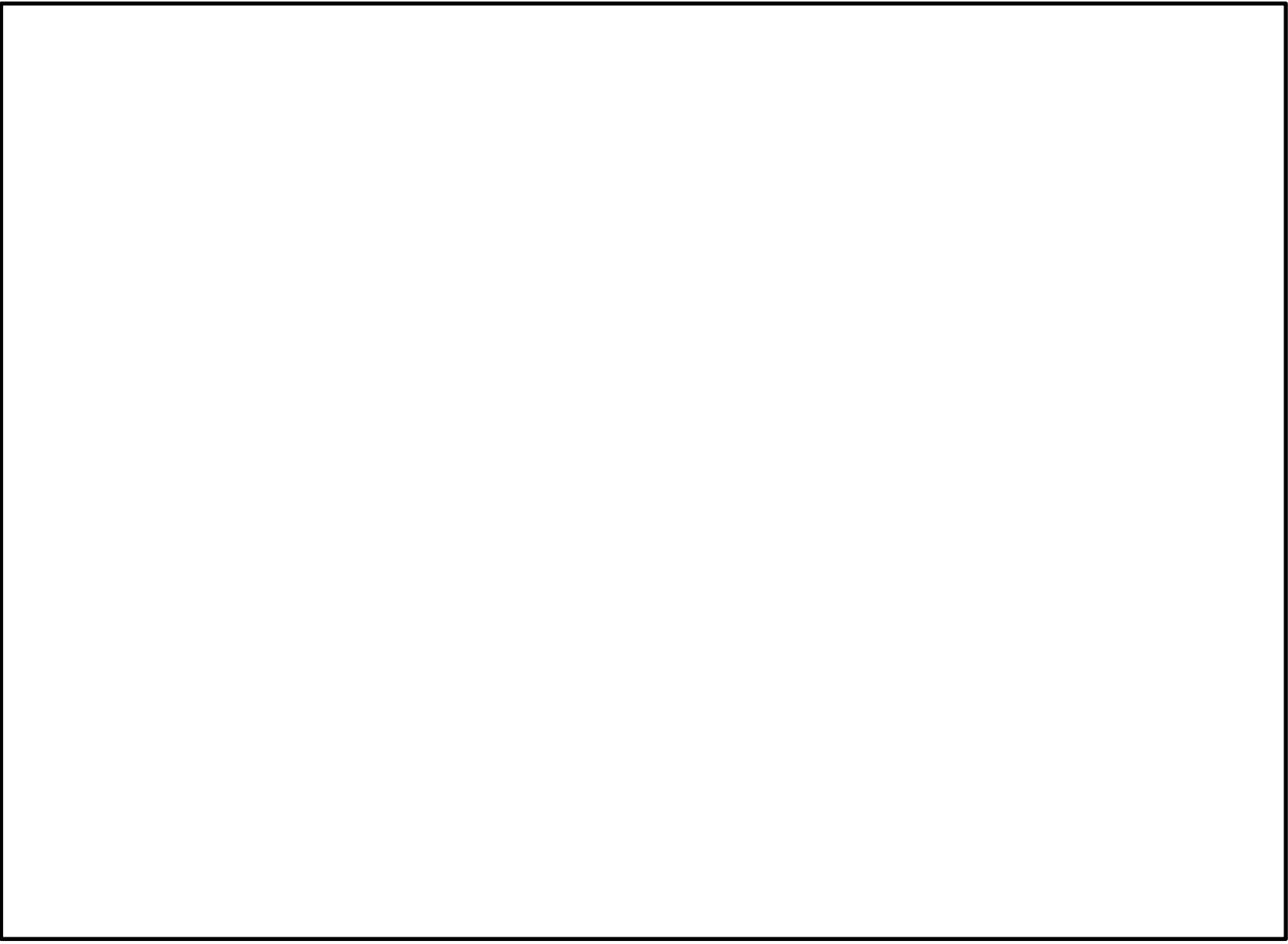


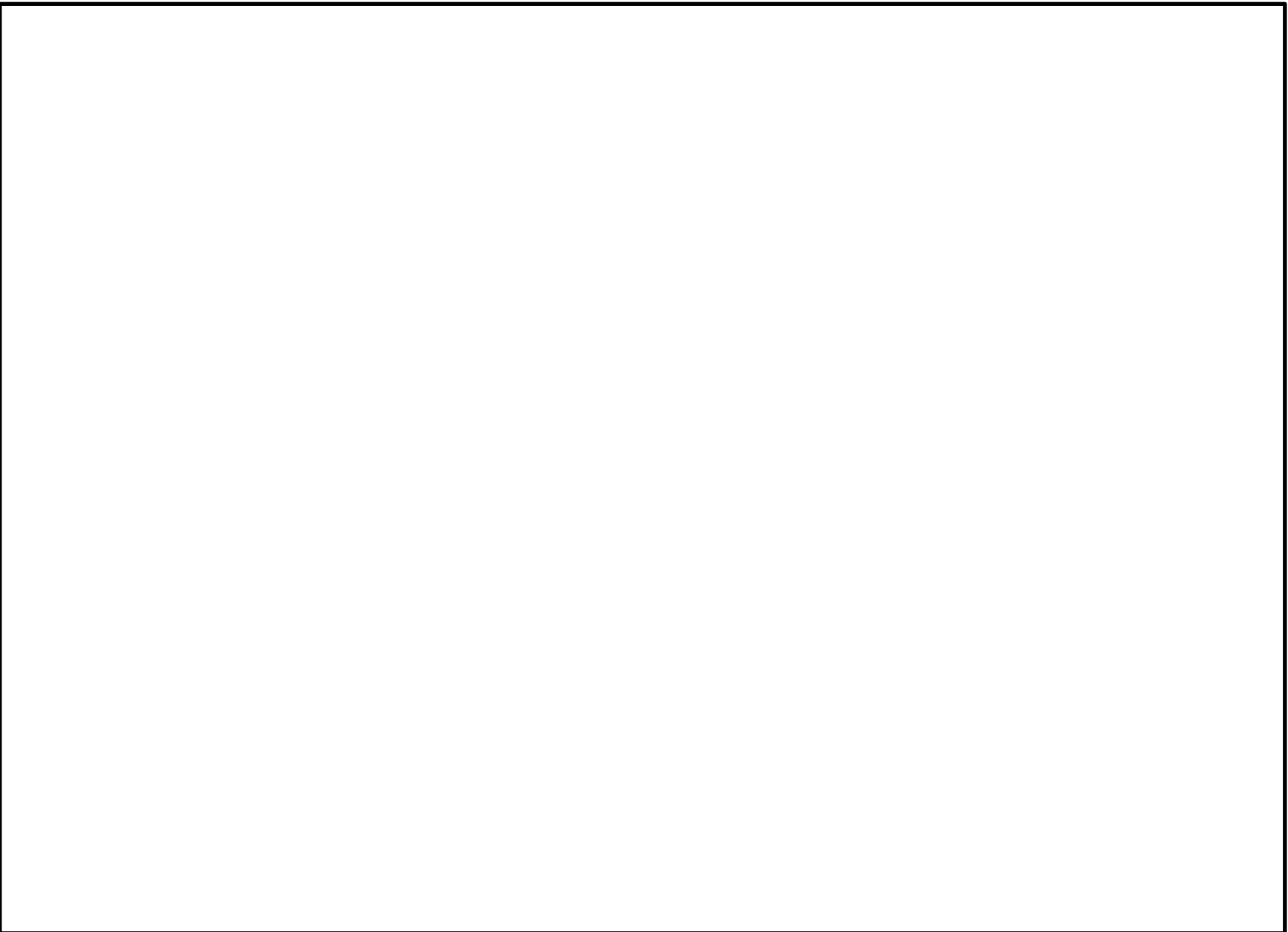


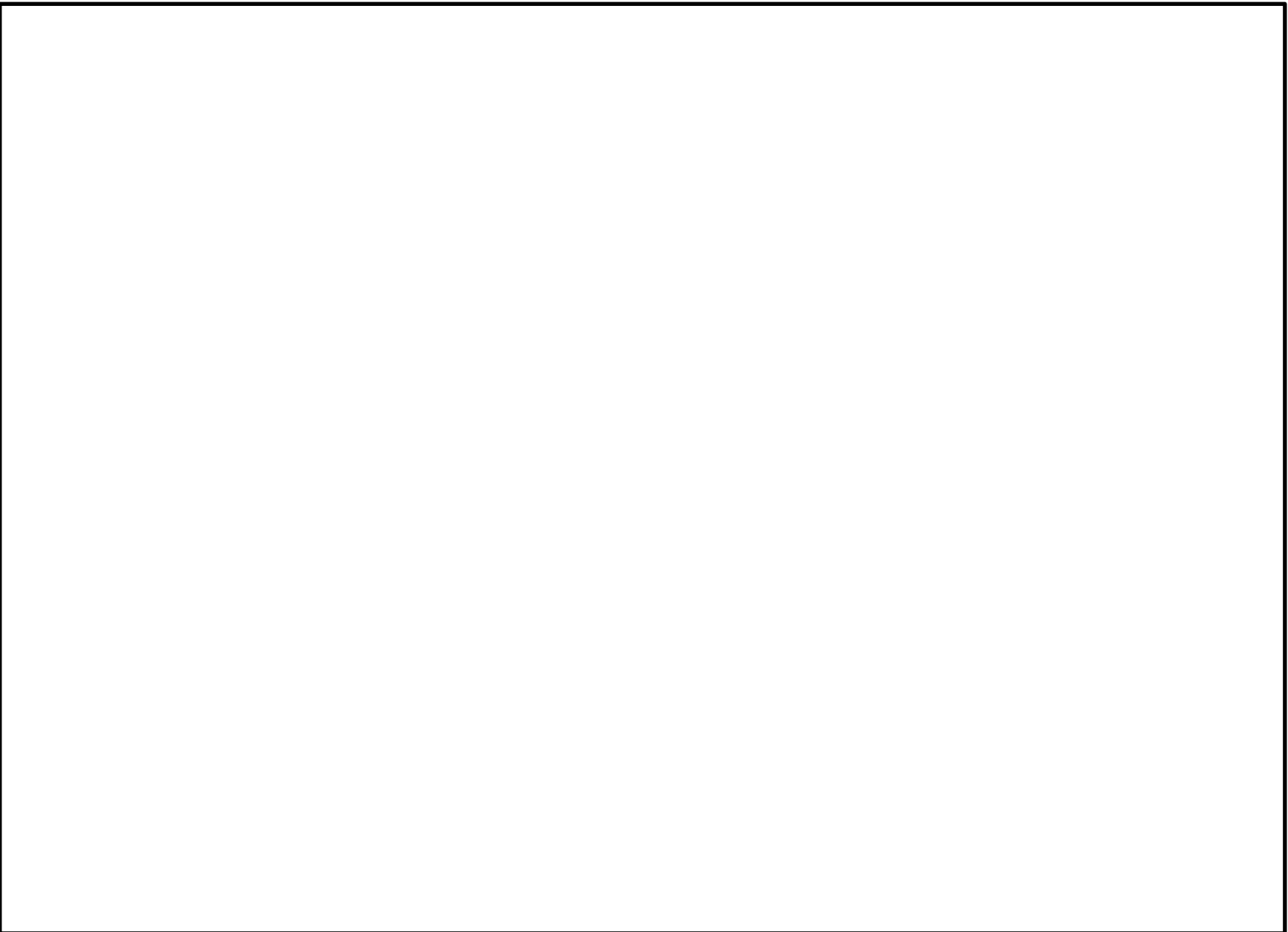
補-3-7-160

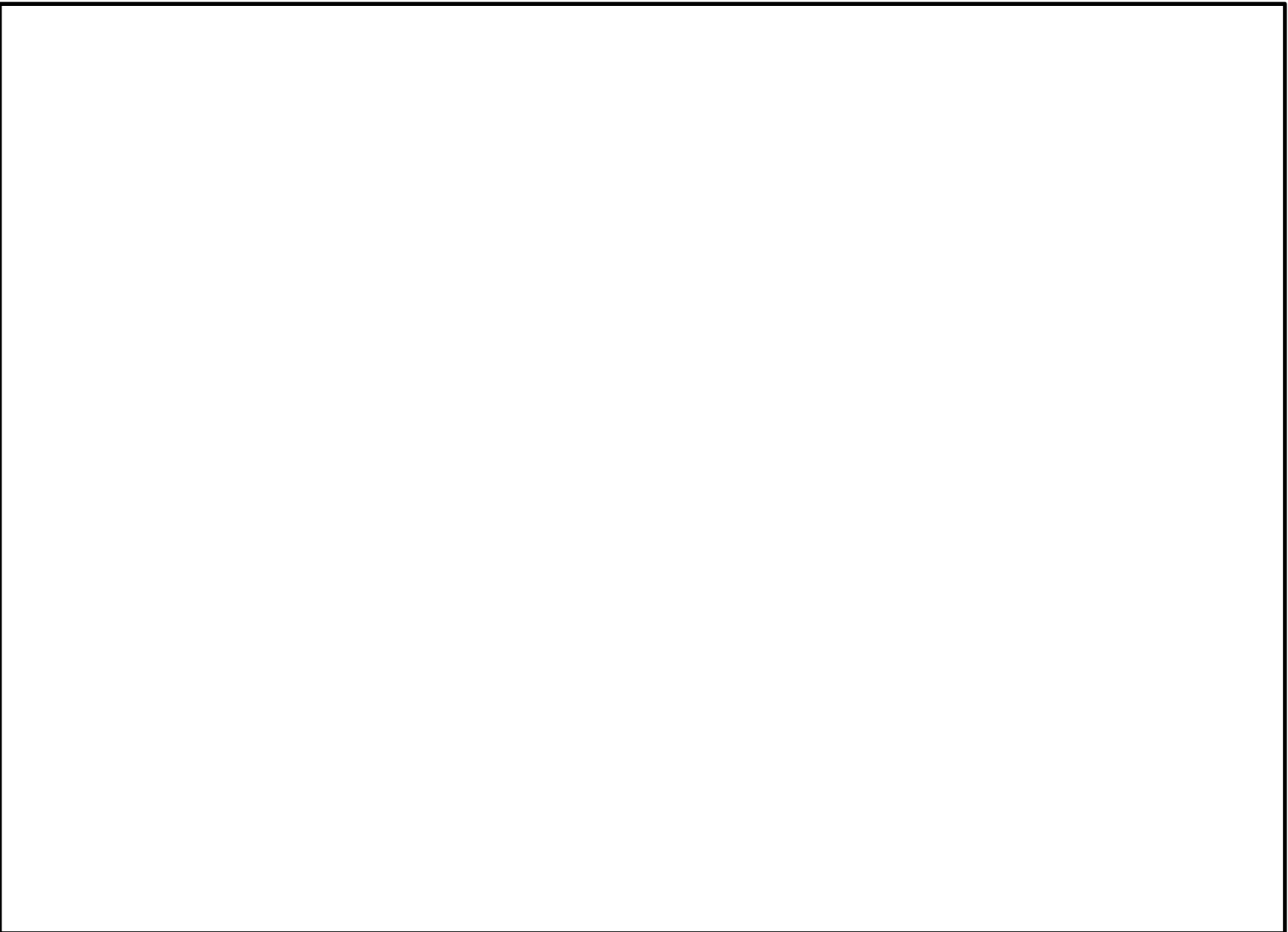


補-3-7-161

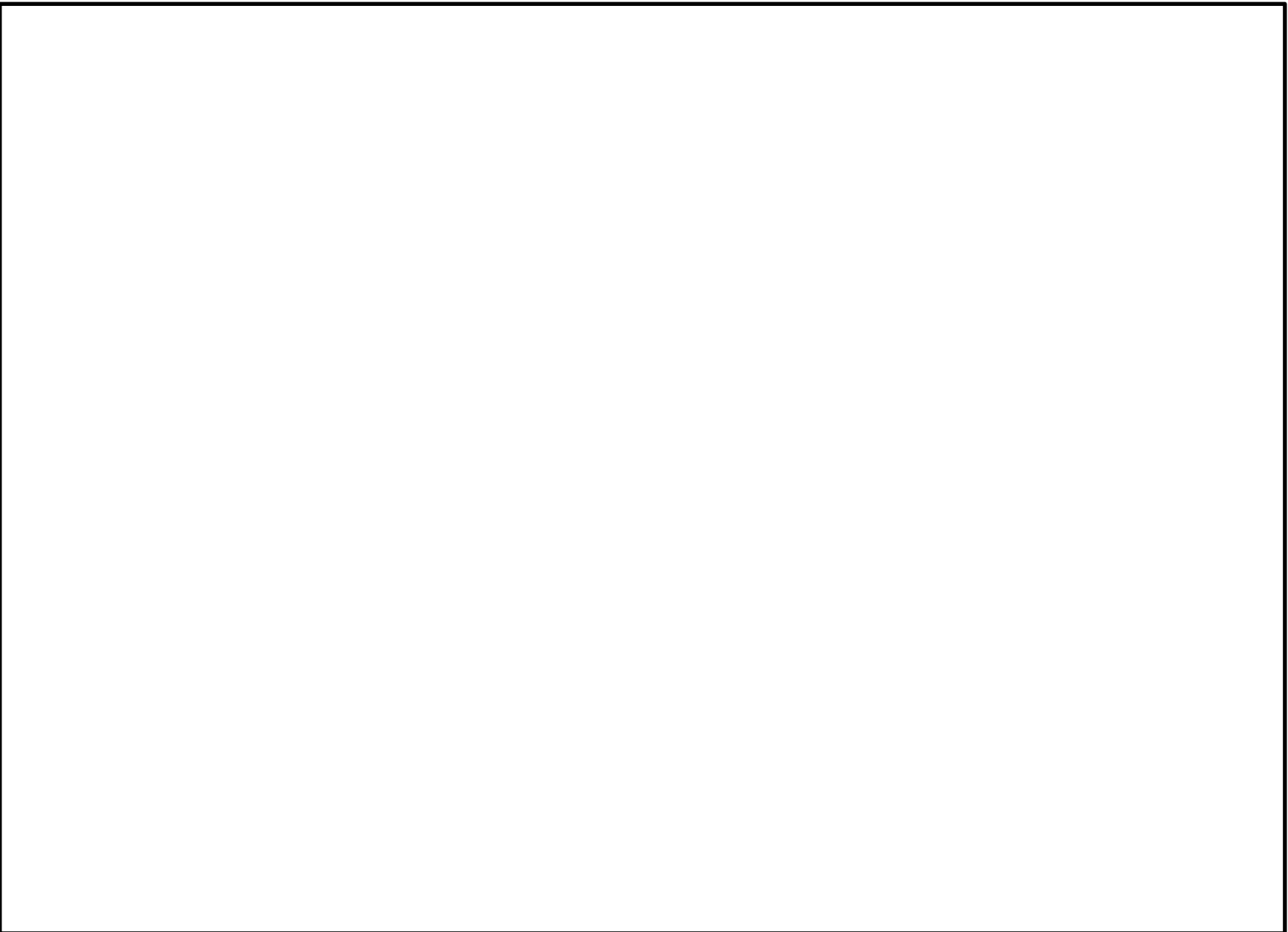




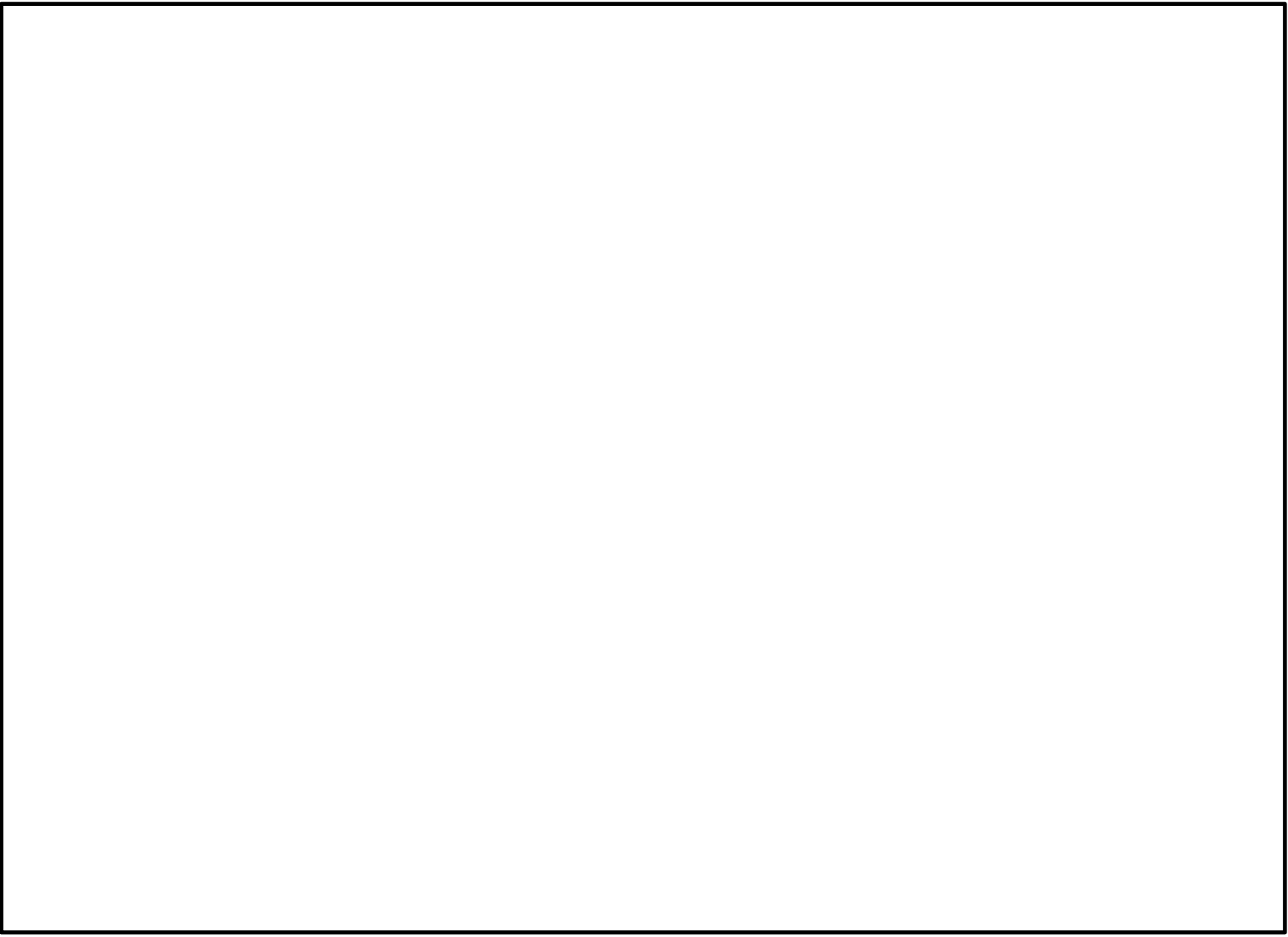


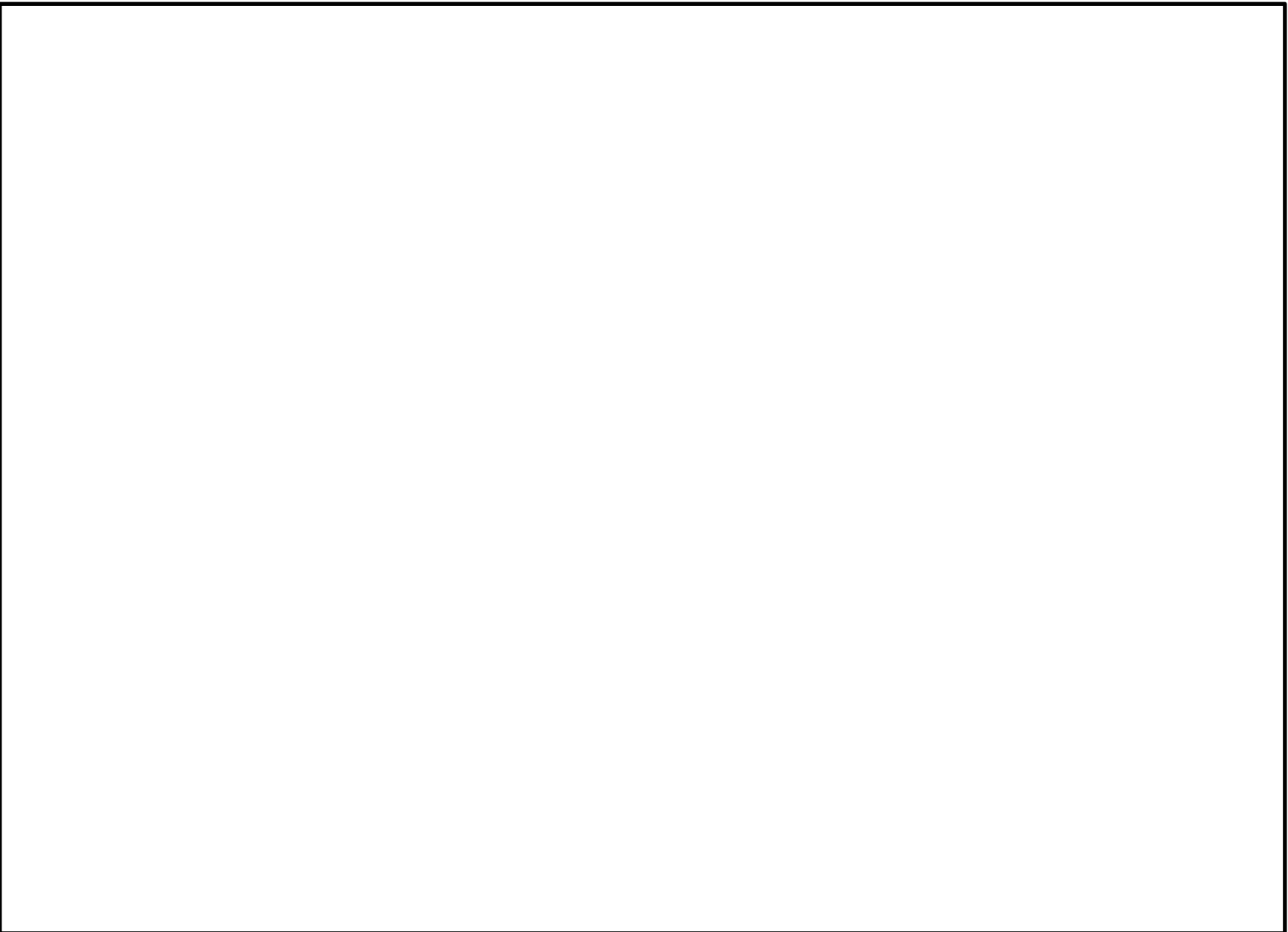


補-3-7-165

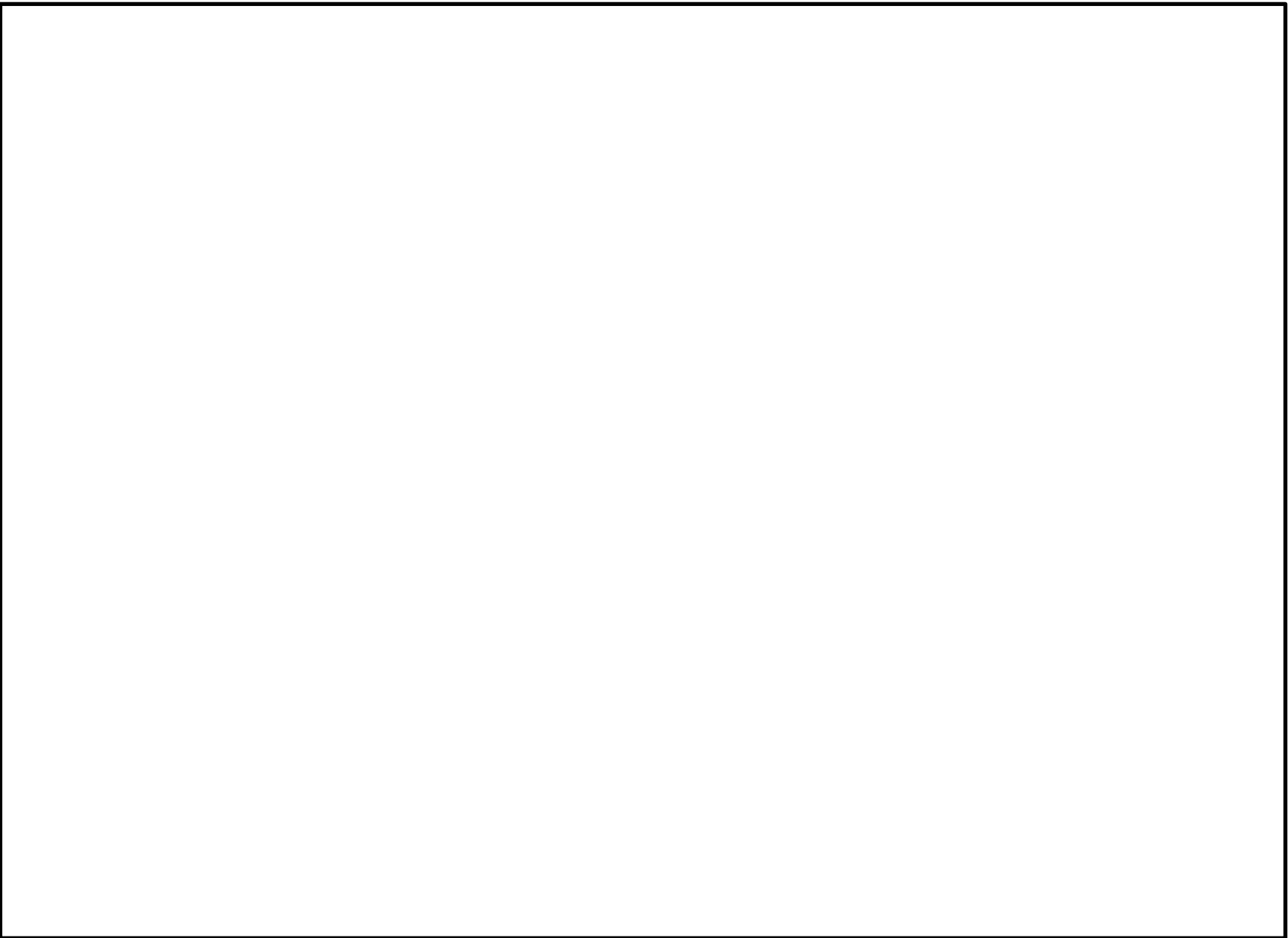


補-3-7-166



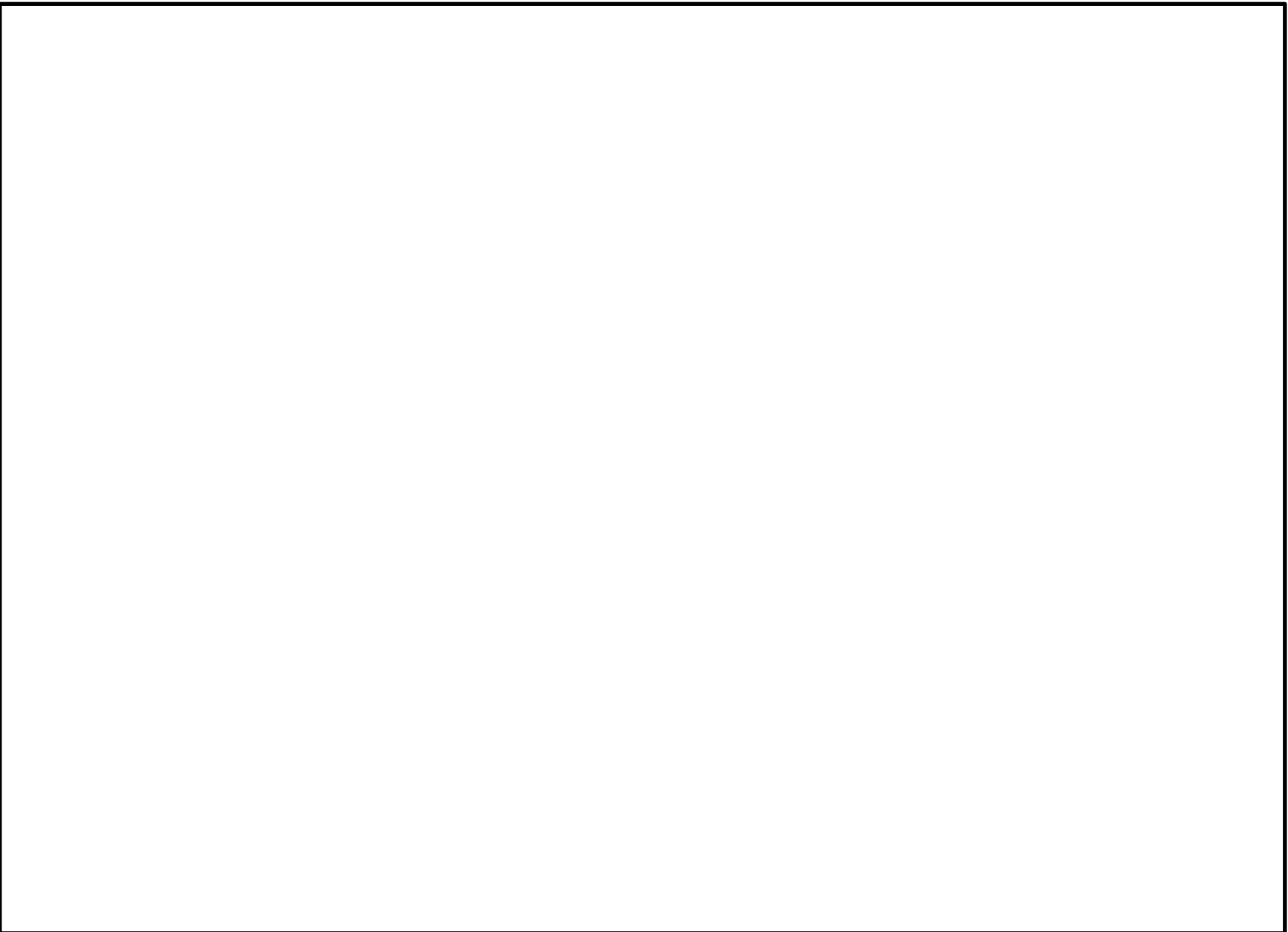


補-3-7-168

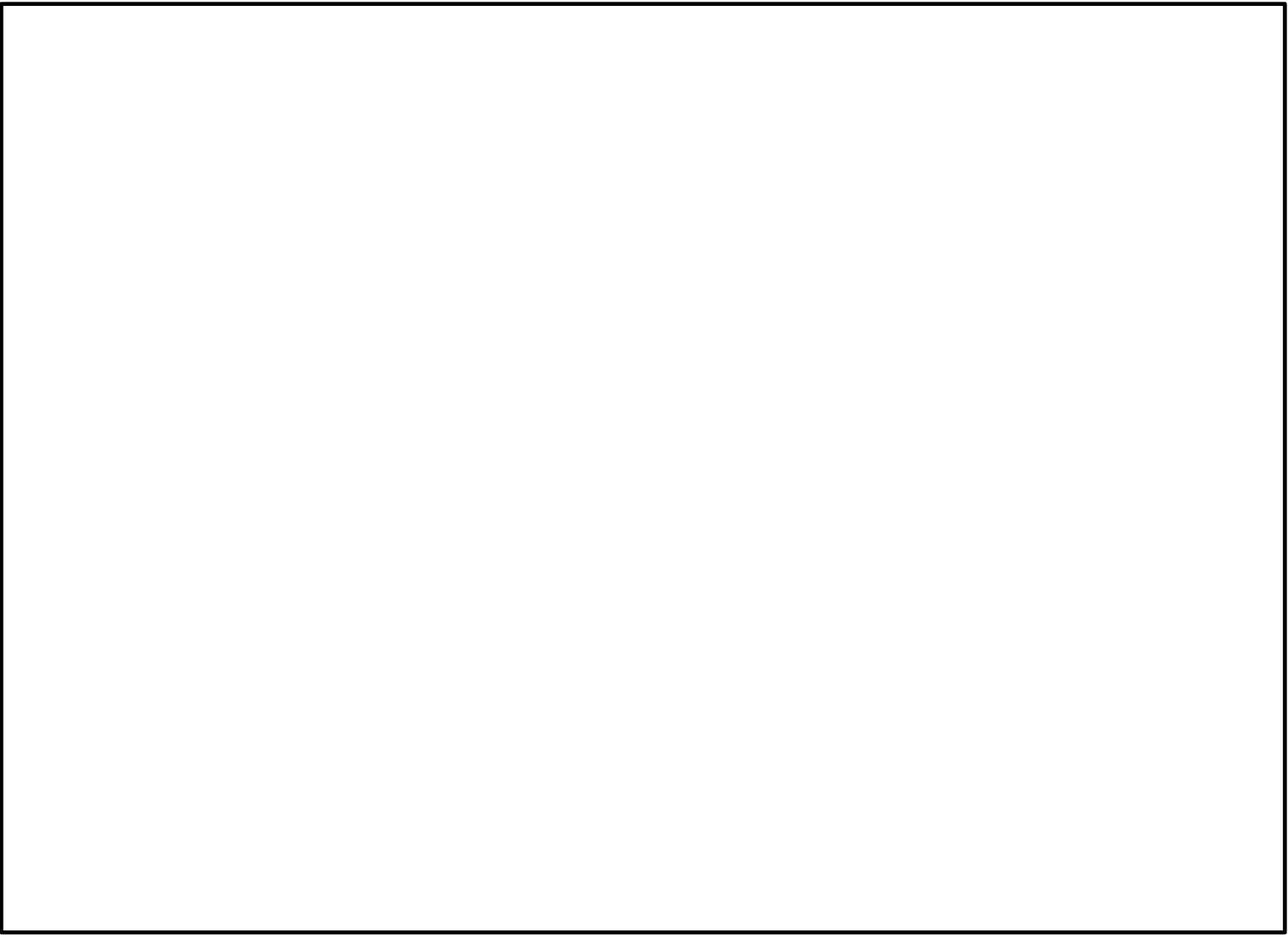




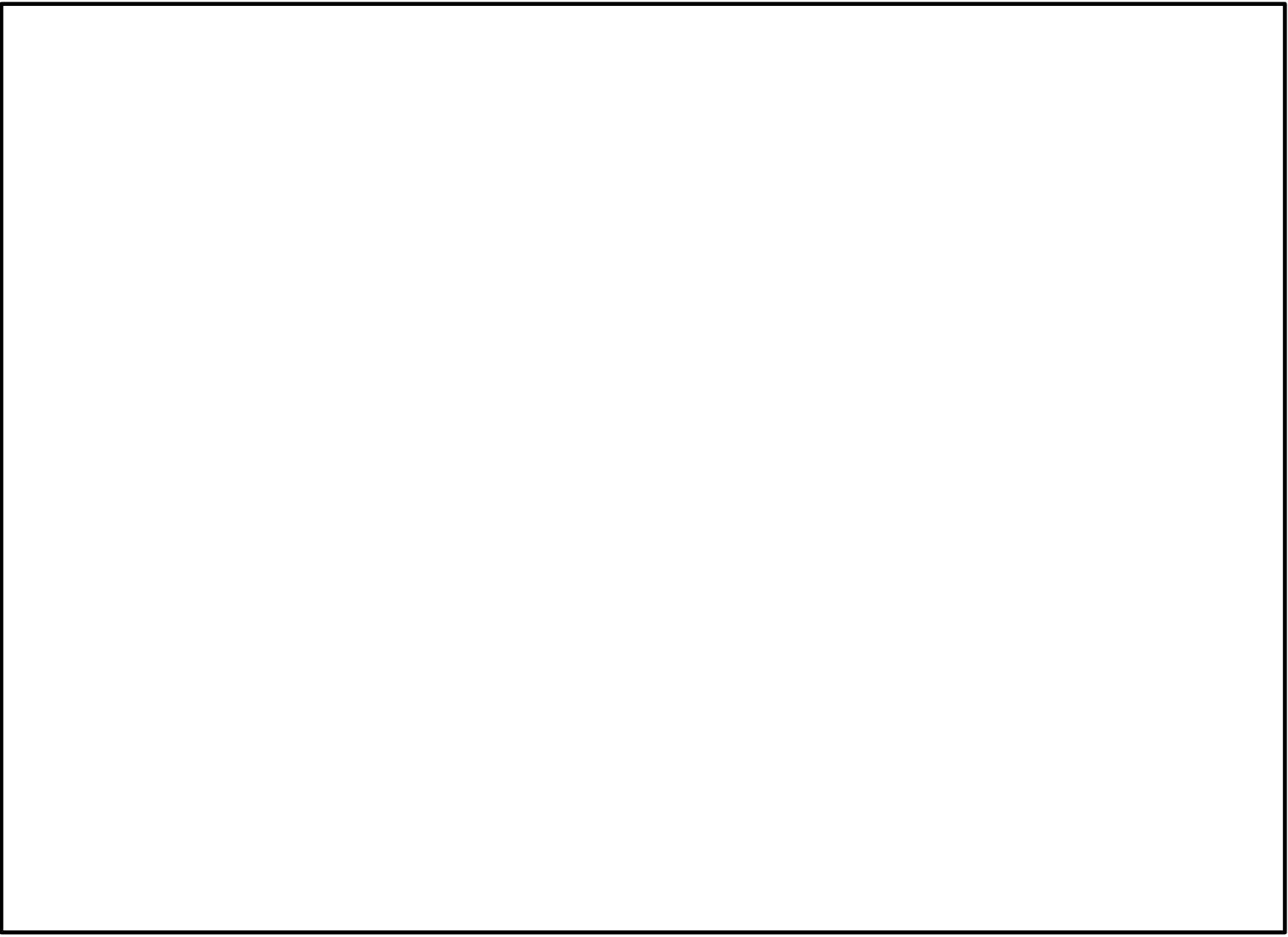
補-3-7-170



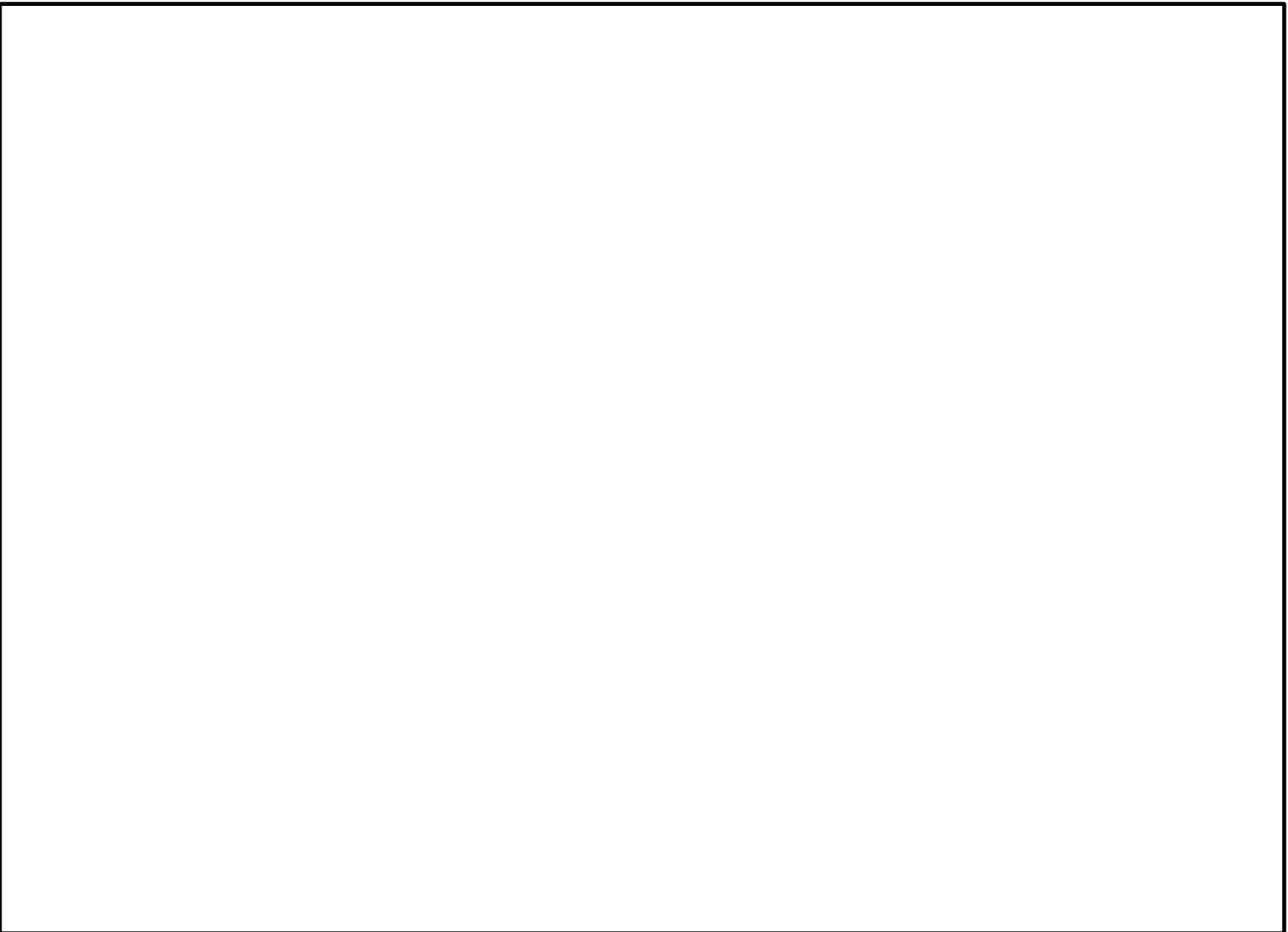
補-3-7-171

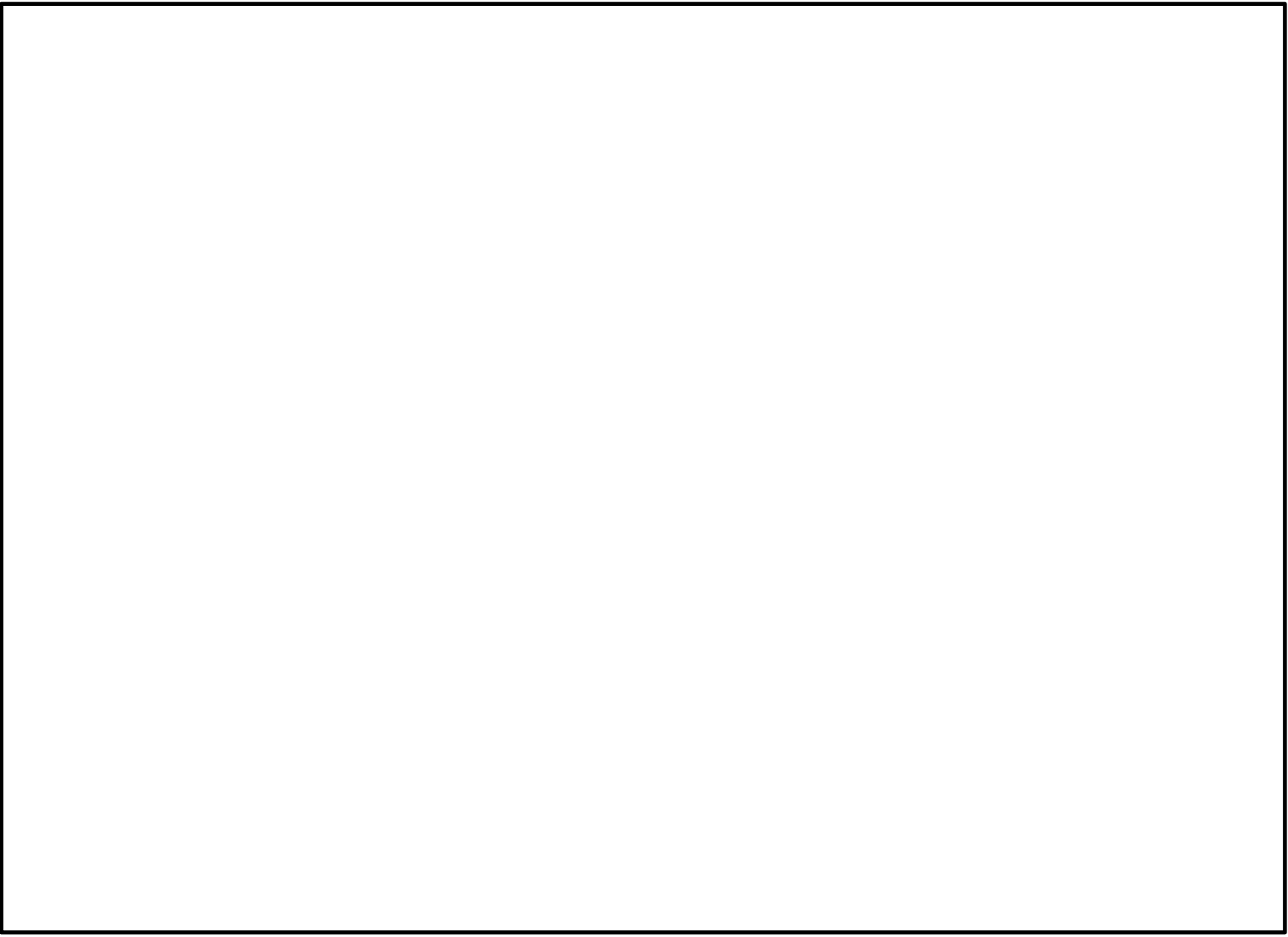


補-3-7-172

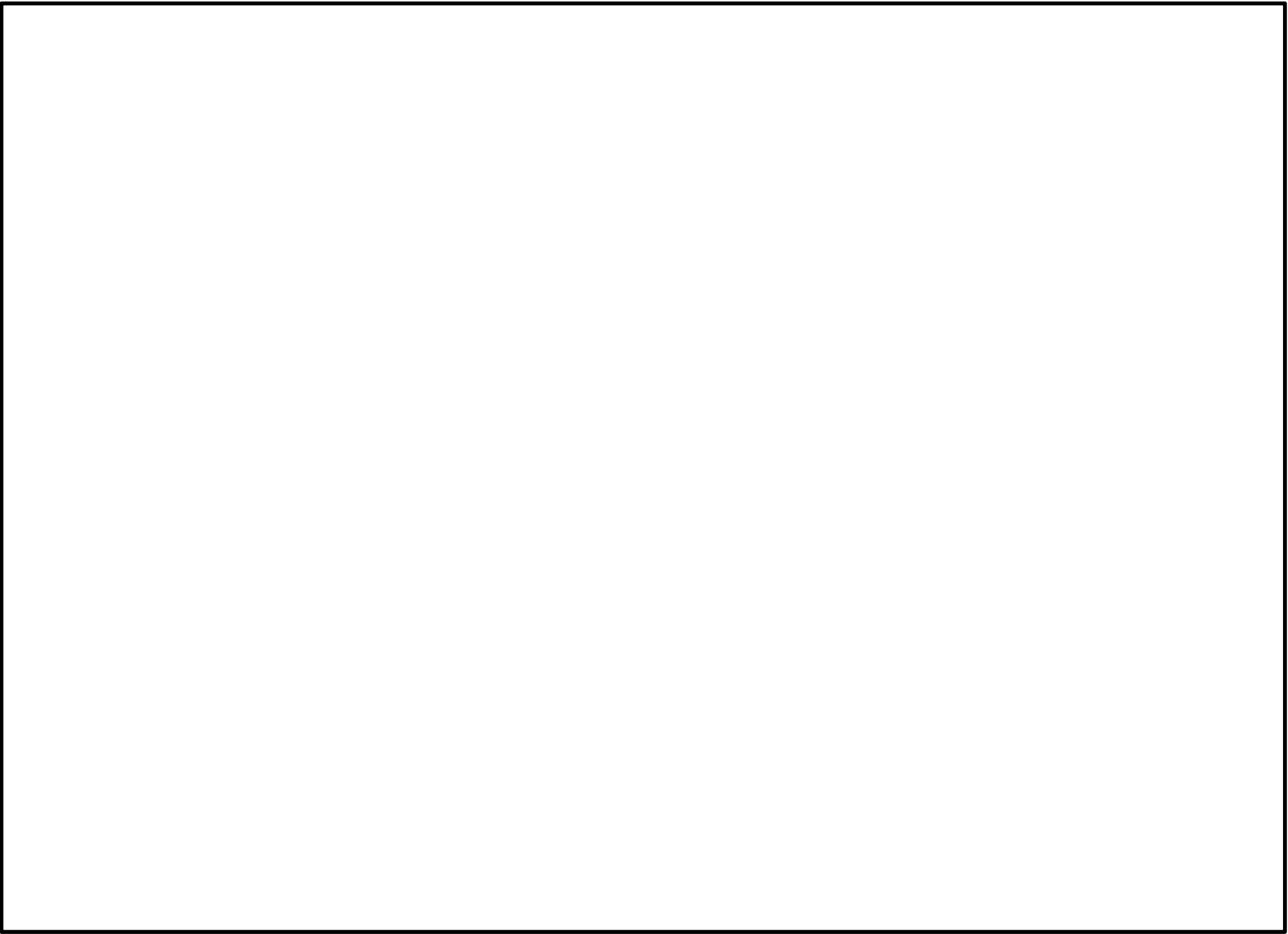


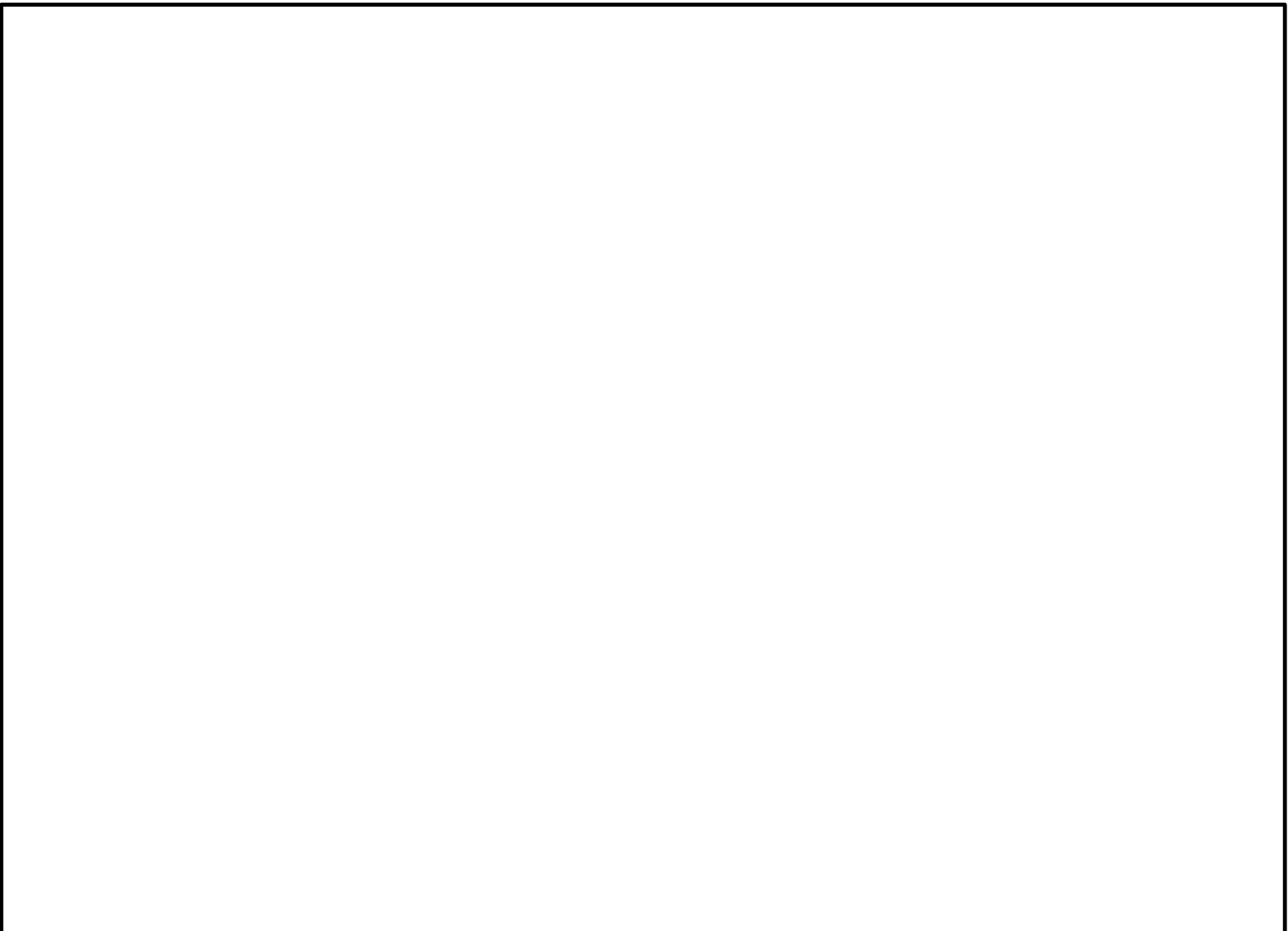
補-3-7-173





補-3-7-175

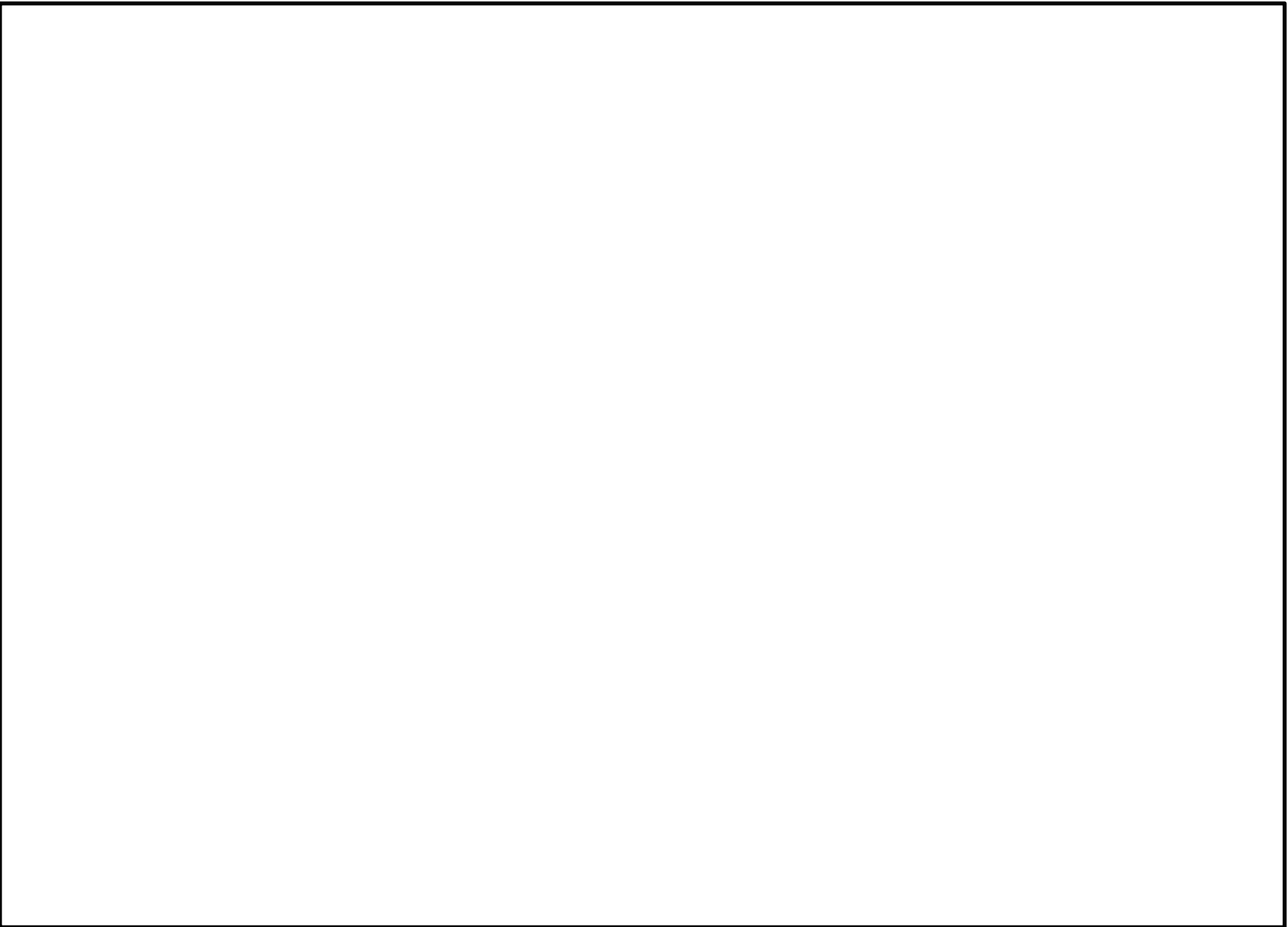




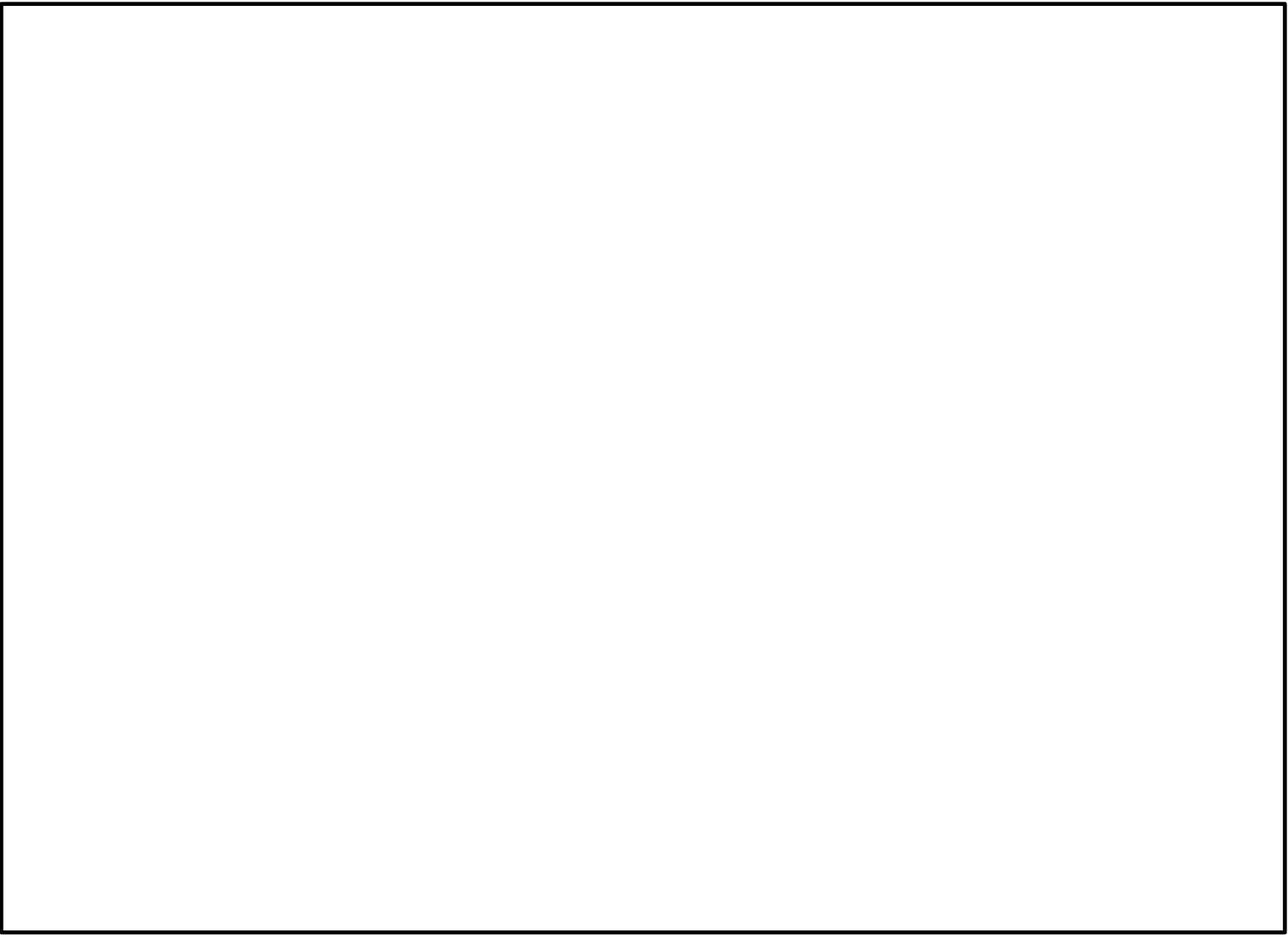
補-3-7-177



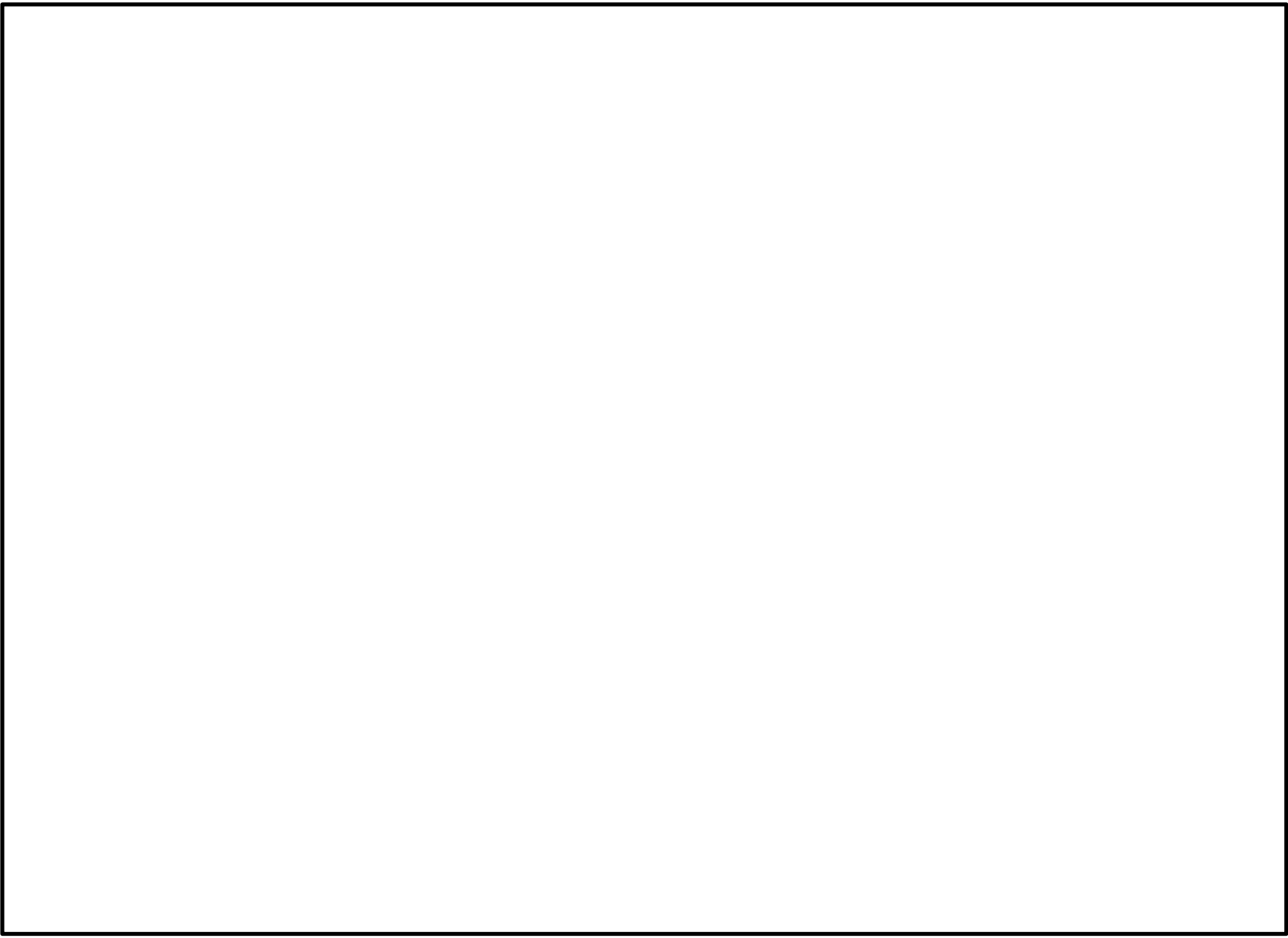
補-3-7-178

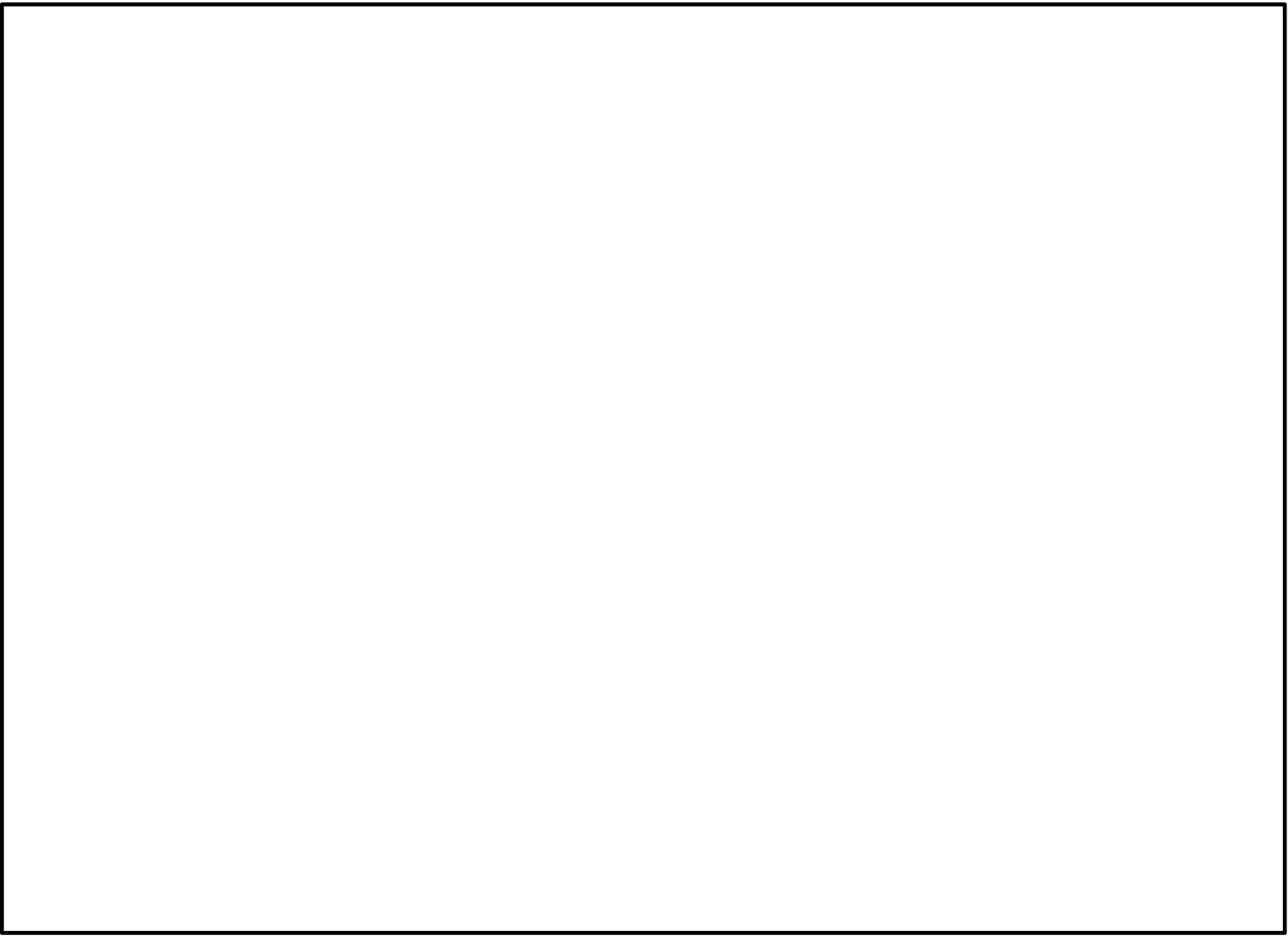


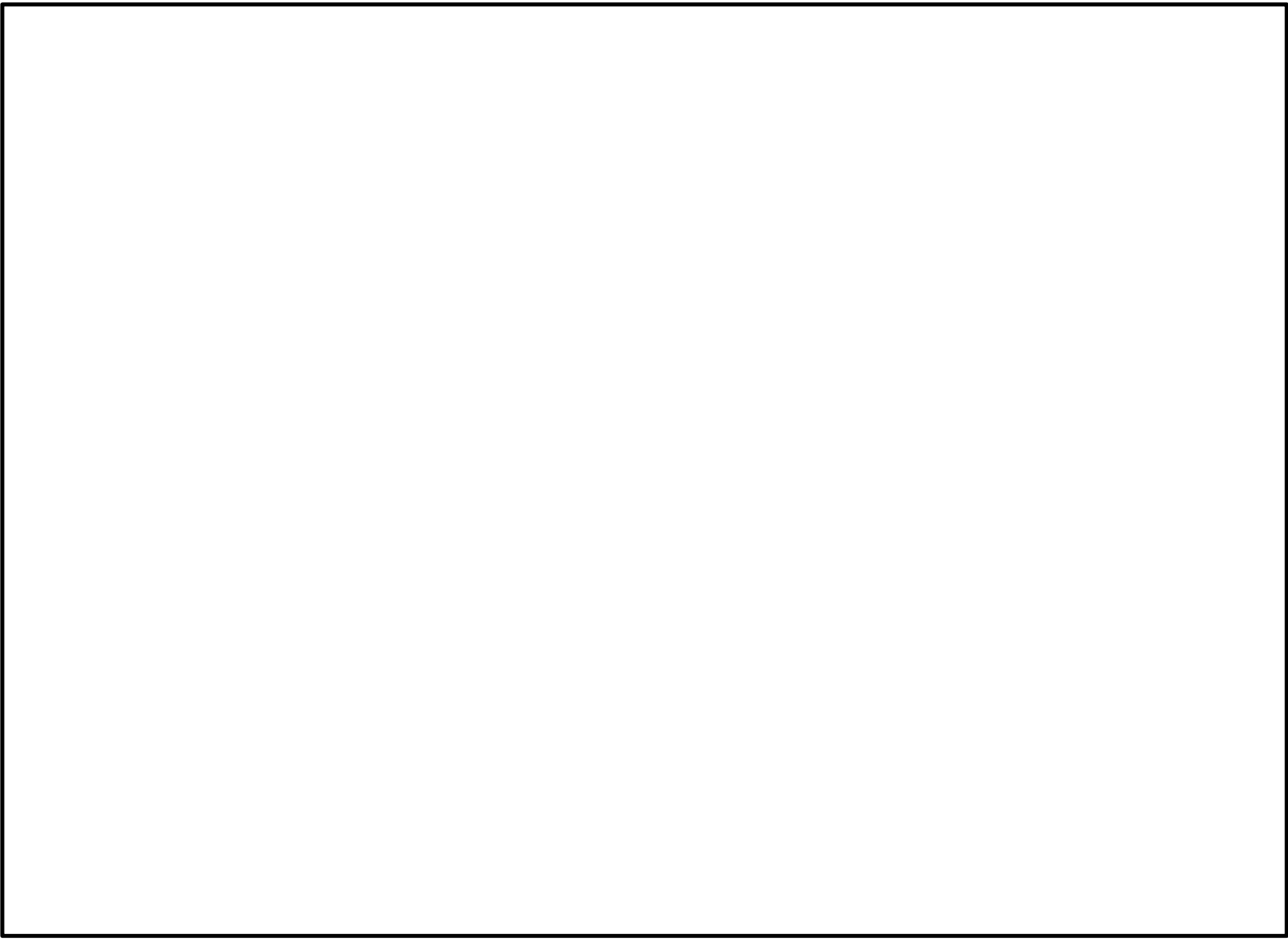
補-3-7-179

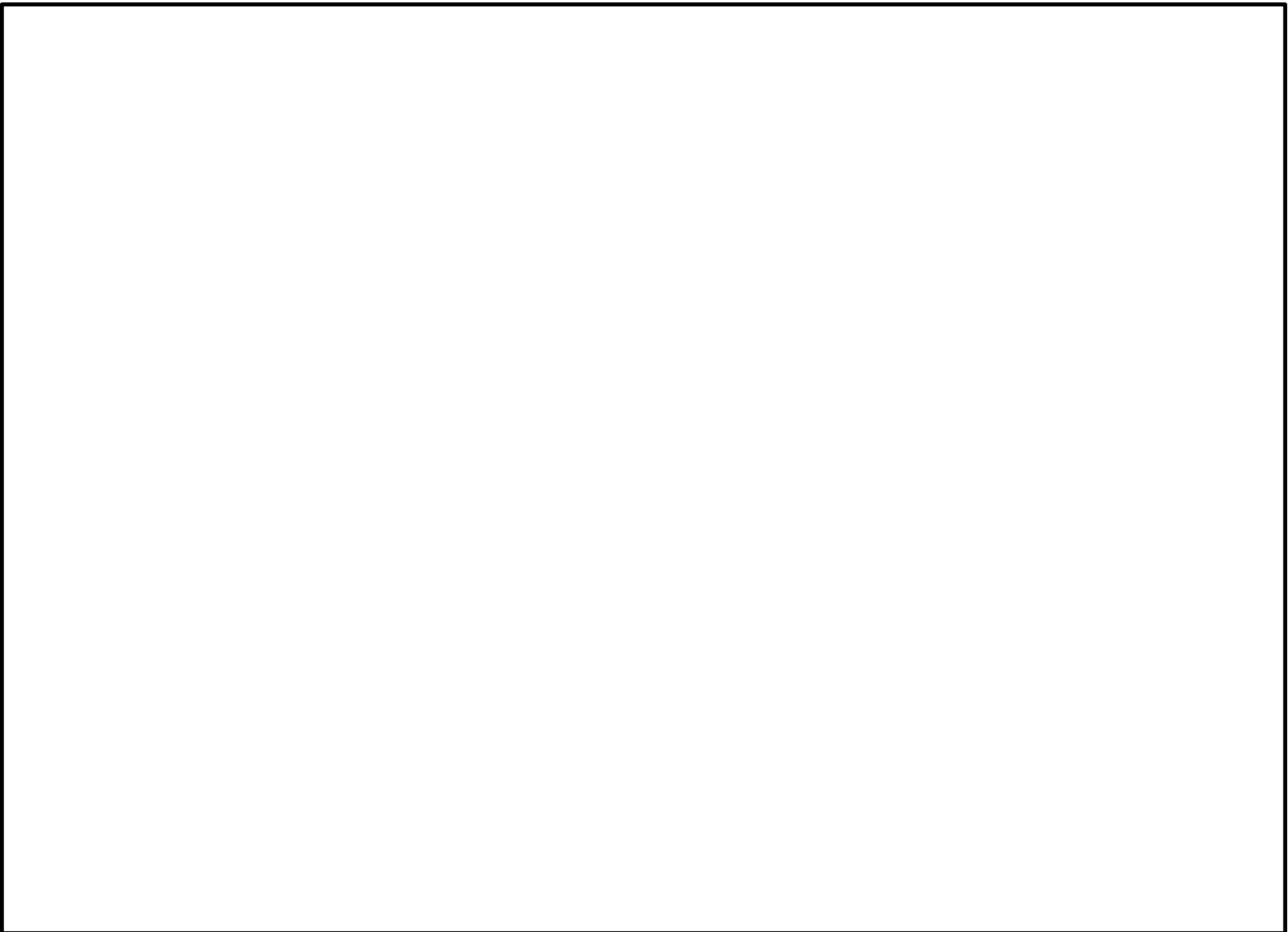


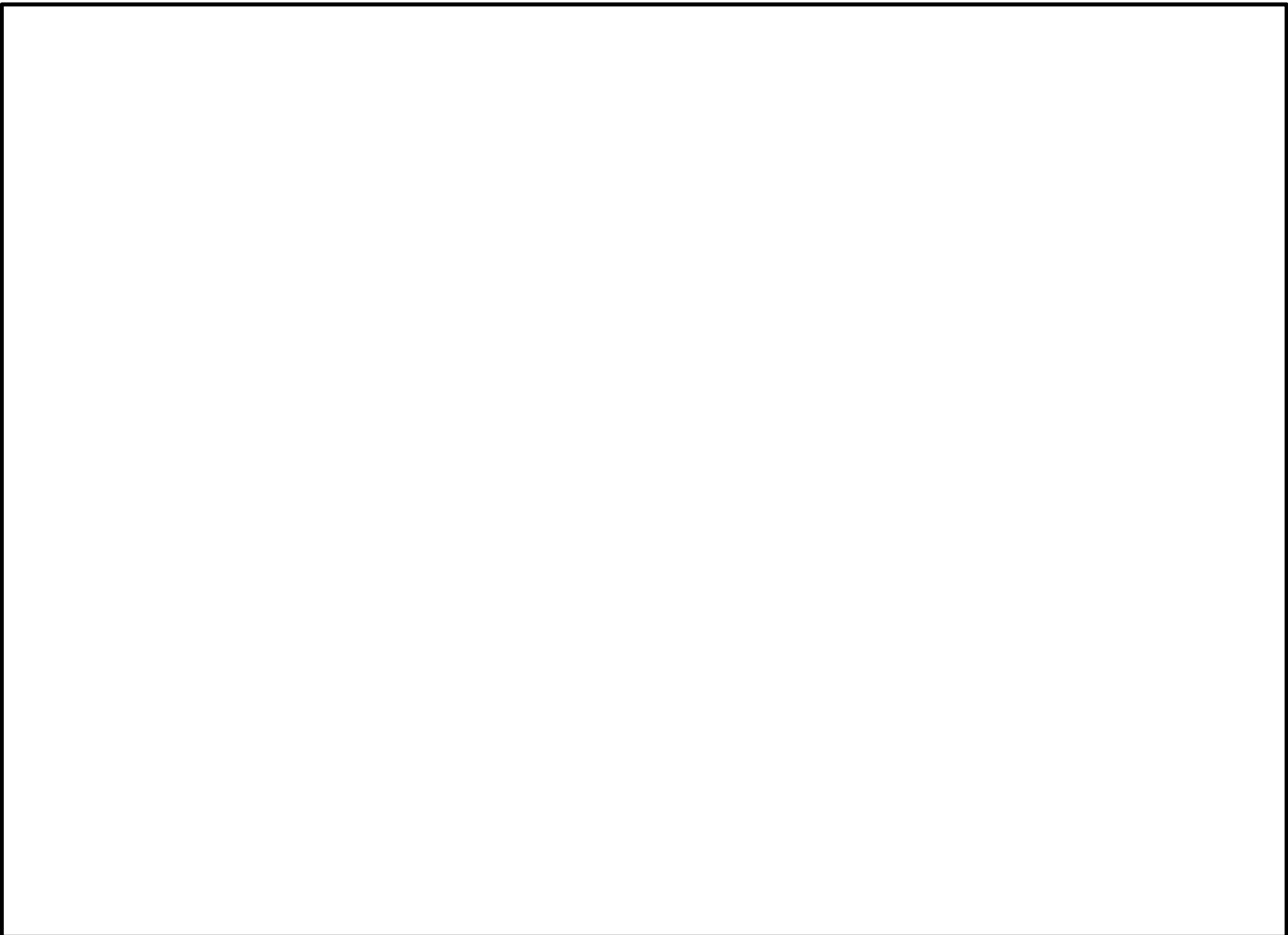
補-3-7-180



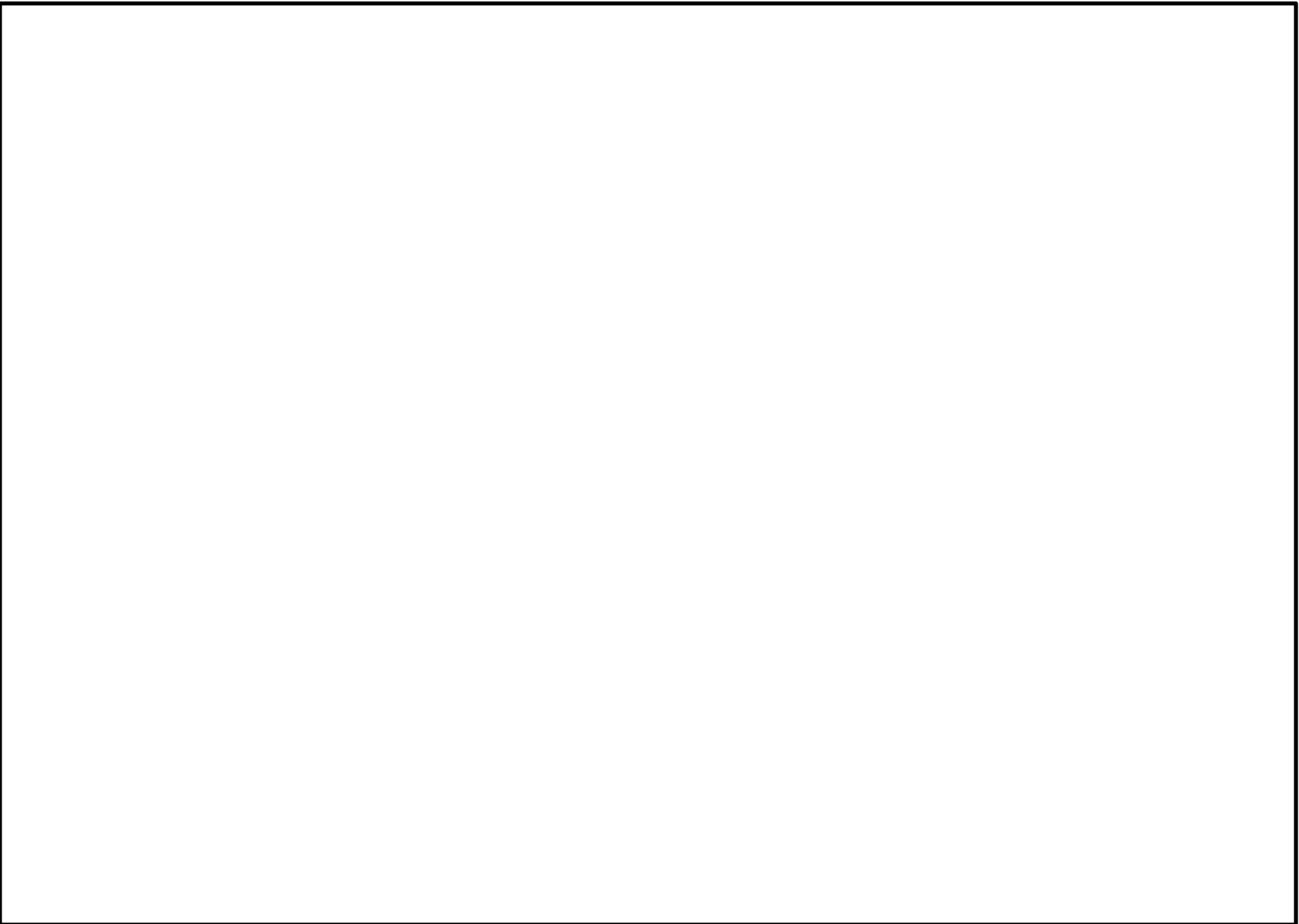


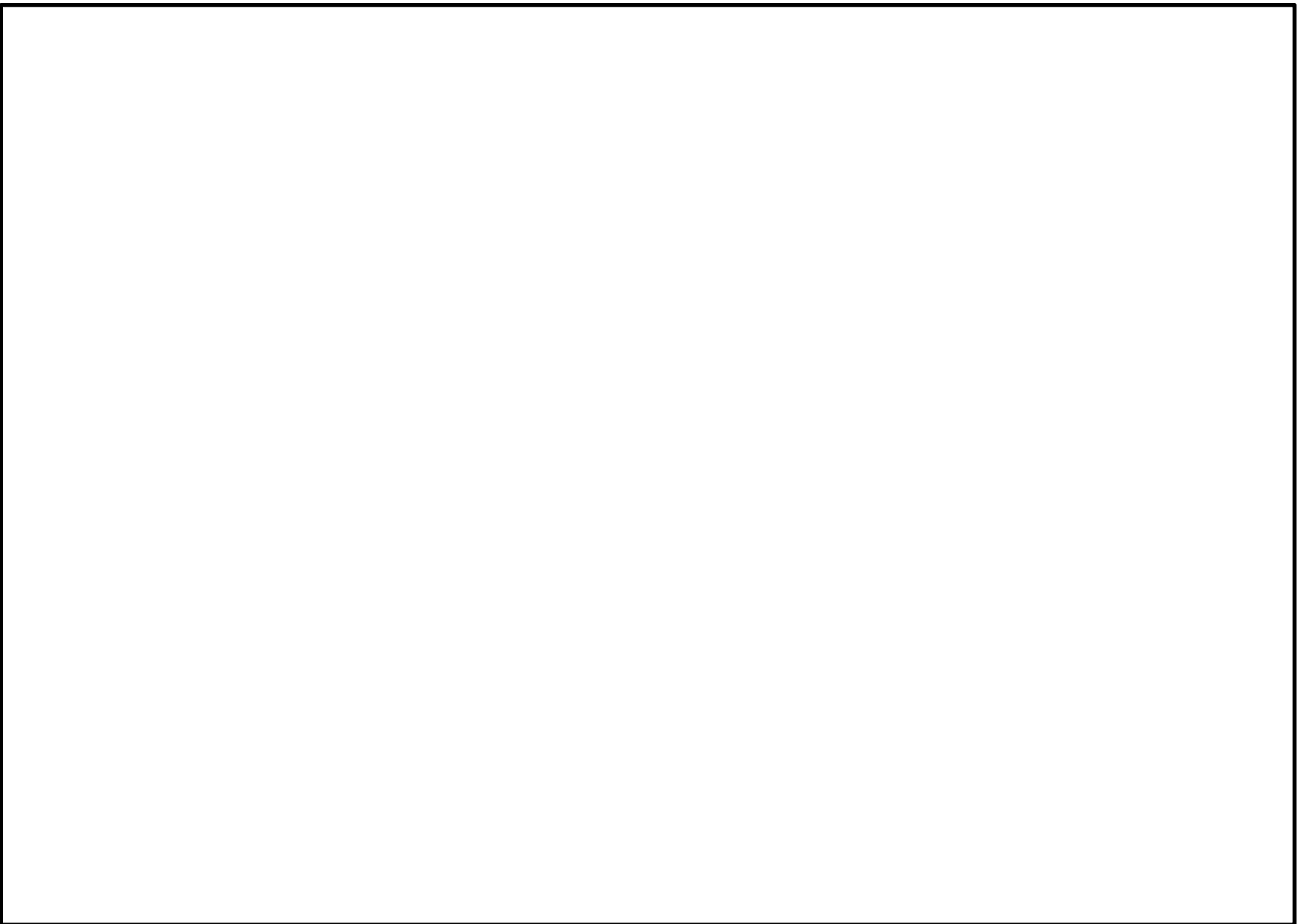


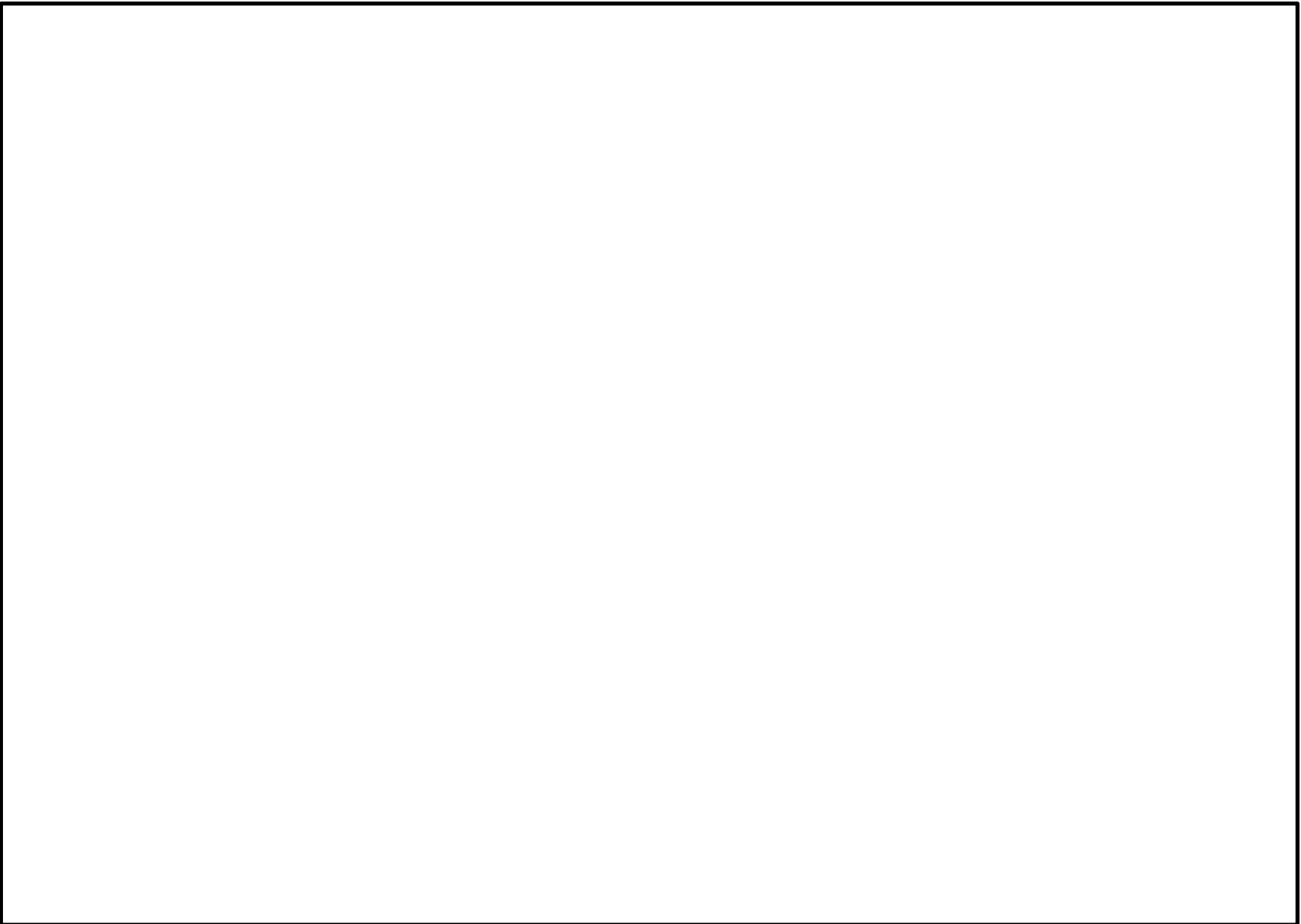




補-3-7-185







補-3-7-188





補-3-7-190

別紙 2
その他エリアの火災感知器の設置状況について

1. 屋外エリア

屋外に設置する屋外仕様の炎感知器及び熱感知カメラは、死角となる場所がないように設置する。屋外仕様の炎感知器及び熱感知カメラの仕様を表1に、設置個数を表2に示す。また、感知器の配置を図1及び図2に示す。

表1 屋外仕様の炎感知器及び熱感知カメラの仕様

項目	炎感知器	熱感知カメラ
検出方式	赤外線	赤外線
監視範囲	45m以内	100m以内
視野角度	100度	90度

表2 屋外仕様の炎感知器及び熱感知カメラの設置個数

部屋番号	名称	炎感知器 設置個数 (個)	熱感知カメラ 設置個数 (個)
Y-24A	原子炉補機海水ポンプ室 (取水槽)	2	2
Y-24B	原子炉補機海水ポンプ室 (取水槽)	2	2
Y-24C	原子炉補機海水ポンプ室 (取水槽)	1	1
Y-39	軽油タンクエリア	3	3

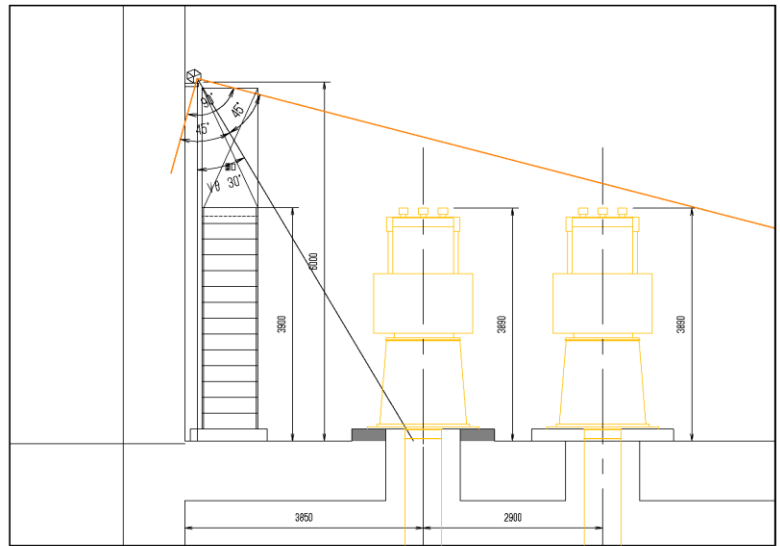
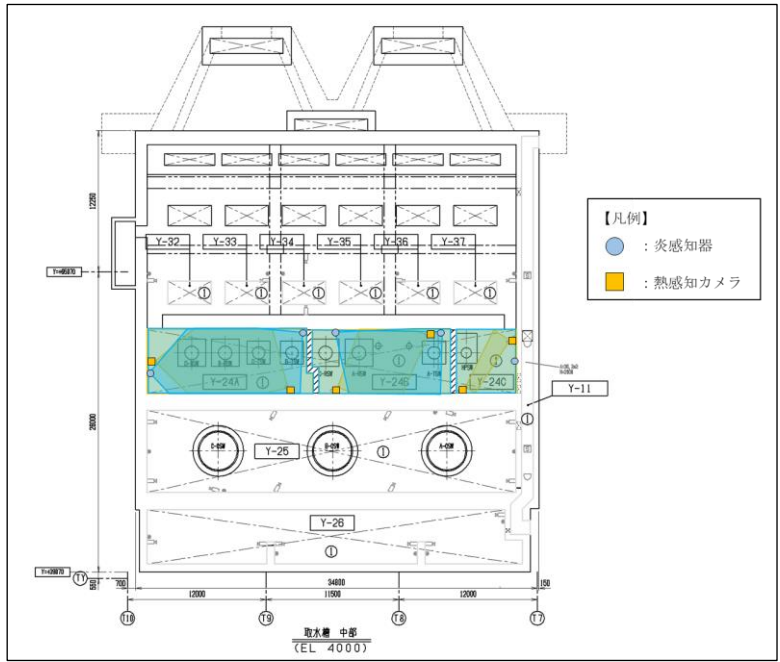


図1 海水ポンプエリアの火災感知器配置

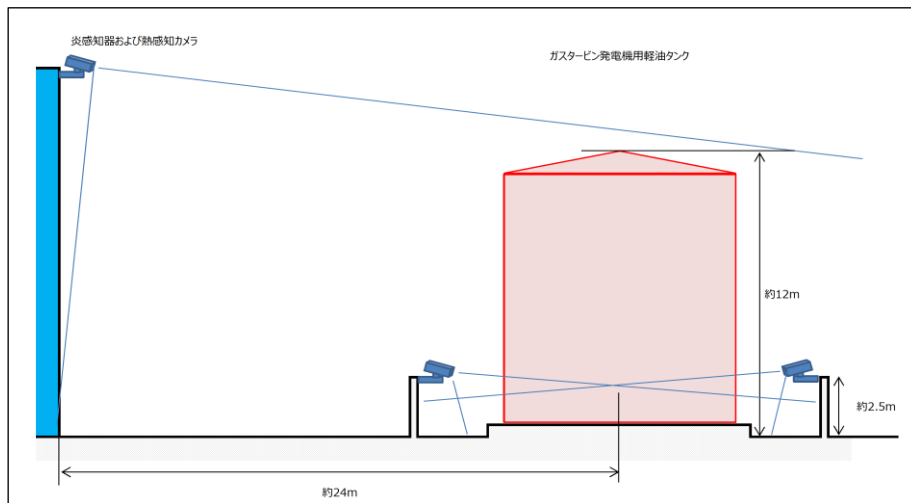
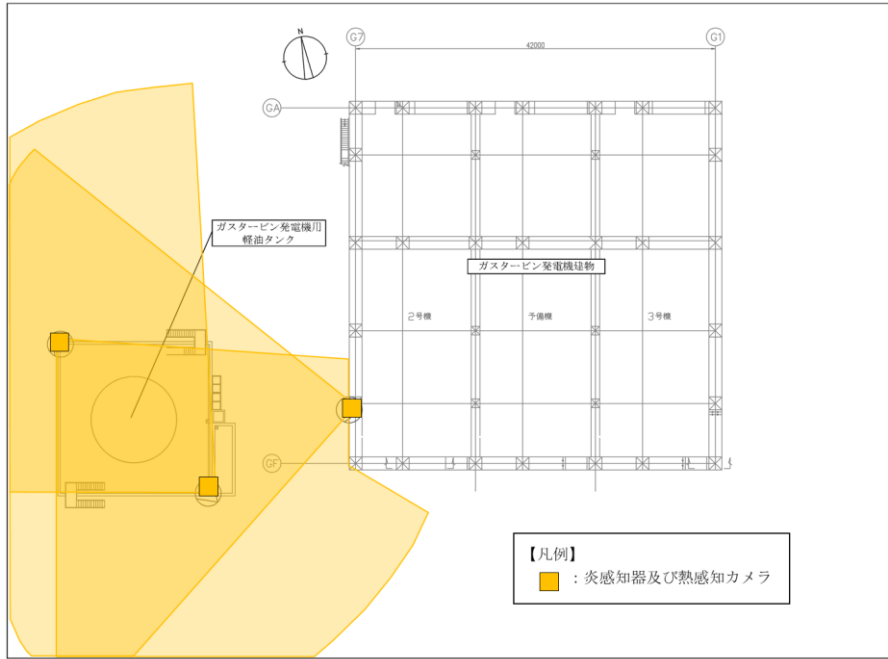


図2 軽油タンクエリアの火災感知器配置

2. 主蒸気管室

主蒸気管室に設置する煙吸引式検出設備は、設置対象となる主蒸気管室での火災を模擬した試験により光電式スポット型感知器と同等の感知性能を有していることを確認しており、有効に感知できるよう設置する。

また、異なる感知方式の感知器として、熱感知器（接点式）を消防法施行規則に従い設置する。

煙吸引式検出設備及び熱感知器（接点式）の仕様を表3に、設置個数を表4に示す。また、感知器の配置を図3に示す。

表3 煙吸引式検出設備及び熱感知器（接点式）の仕様

項目	煙吸引式検出設備	熱感知器（接点式）
検出方式	煙感知器	熱感知器
監視範囲	センサ1台あたり100m ² 以内	定温式感知器に同じ

表4 煙吸引式検出設備及び熱感知器（接点式）の設置個数

部屋番号	名称	煙吸引式検出設備 設置個数（個）	熱感知器（接点式） 設置個数（個）	面積
R-1F-09	主蒸気管室	8	17	330m ²
R-1F-26	主蒸気隔離弁用 アキュムレータ室	2	3	74.5m ²

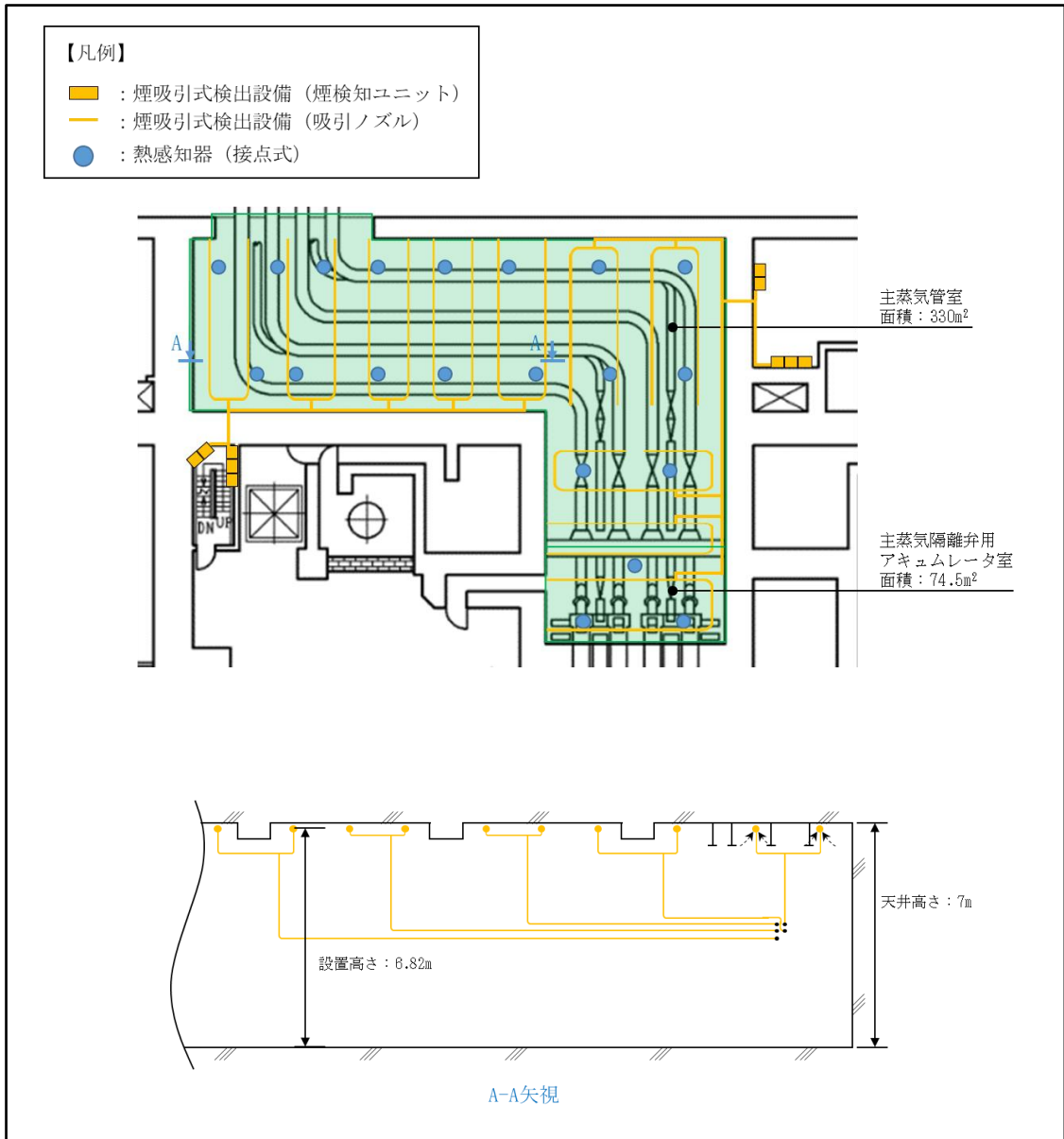


図3 主蒸気管室の火災感知器配置

3. 原子炉建物オペレーティングフロア及びタービン室

原子炉建物オペレーティングフロア及びタービン室は、天井等の高さ 20m 以上の場所であり、消防法施行規則第 23 条第 4 項の適用対象外となるが、いずれの天井等の高さも 20m と同程度であり一定の感知性能が期待されることから、大空間での広く拡散した煙を検知すること並びに平常時の状況(温度、煙の濃度)を監視し、火災現象(急激な温度や煙の濃度上昇)を把握することが可能である光電分離型煙感知器を火災の早期感知の観点から消防法施行規則に準じてエリア全体を網羅的に監視できるように設置する。

また、原子炉建物オペレーティングフロアは異なる感知方式の感知器として、炎感知器を消防法施行規則に従い設置する。

光電分離型煙感知器及び炎感知器の仕様を表 5 に、設置個数を表 6 に示す。また、感知器の配置を図 4 及び図 5 に示す。

表 5 光電分離型煙感知器及び炎感知器の仕様

項目	光電分離型煙感知器	炎感知器
検出方式	煙感知器	赤外線
監視範囲	光軸の水平距離が 14m 以下	45m 以内
視野角度	—	90 度
感知器の種別	1 種	—

表 6 光電分離型煙感知器及び炎感知器の設置個数

部屋番号	名称	光電分離型煙感知器		炎感知器 設置個数 (個)
		設置個数 (個)	設置高さ (天井等の高さ)	
R-1F-09	原子炉建物オペレーティングフロア	6	16.6m (20.5m)	4
R-1F-26	タービン室	11	16.8m (20.7m)	—

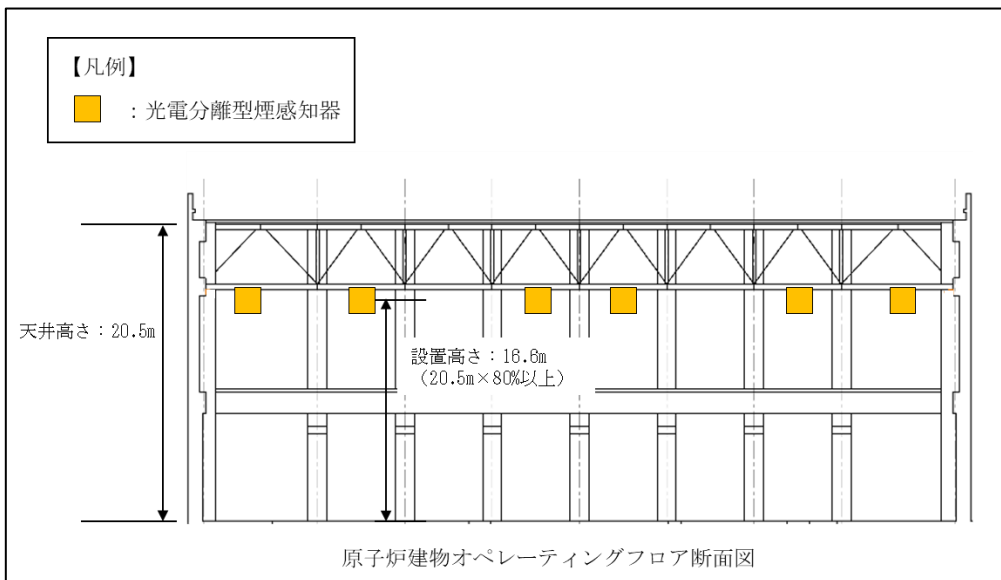
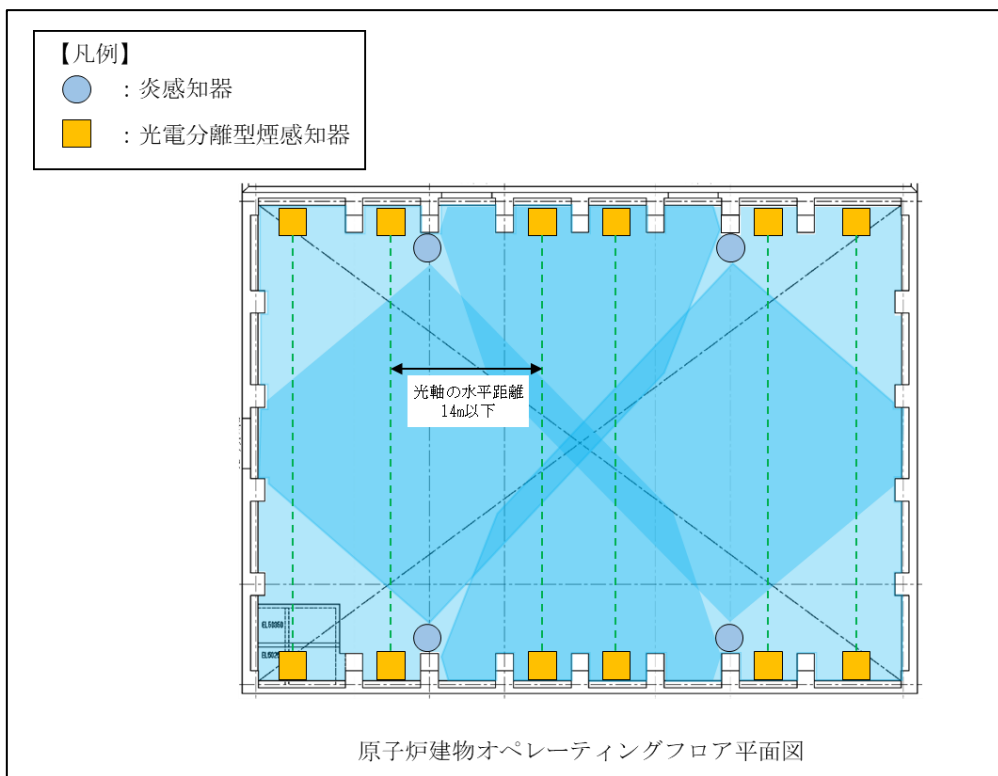


図4 原子炉建物オペレーティングフロアの火災感知器配置

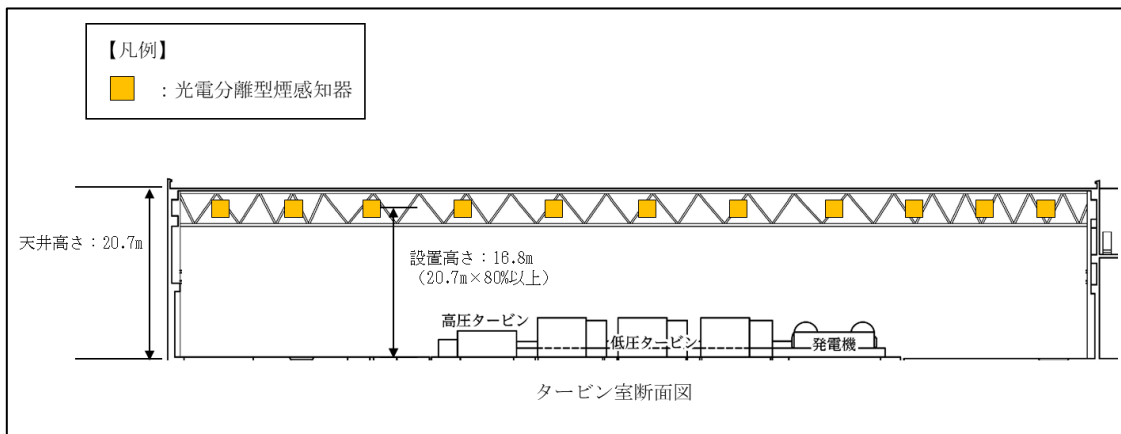
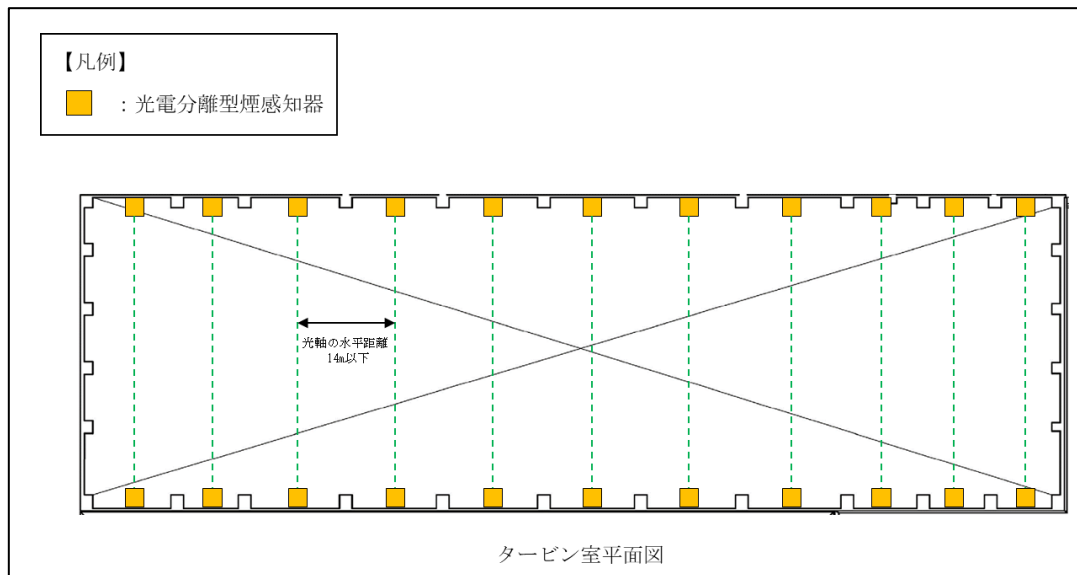


図5 タービン室の火災感知器配置

その他エリアの火災感知器の配置を示した一覧表

部屋番号		部屋名称		熱感知器										煙吸引式検出設備											
				区画	梁高さ 0.4m未満 ※1	取付け高さ※2			区画面積 (m ²)	消防法 設置数	梁高さ	緩和策適用			緩和策 適用数	設置数	合計	備考	区画	設置数	合計	備考			
				4m未満	4m以上 8m未満	8m以上		0.4m以上 1m未満	連続※3 <15m ²	隣接※4 <5m ²	段違い※5 6m未満														
<p>○23条第4項 三 差動式スポット型、定温式スポット型又は補償式スポット型その他の熱複合式スポット型の感知器は、次に定めるところによること。 □ 感知器は、感知区域（それぞれ壁又は取付け面から0.4m以上突出したはり等によって区画された部分をいう。以下同じ。）ごとに、感知器の種別及び取付け面の高さに応じて次の表で定める床面積につき一個以上の個数を、火災を有効に感知するように設けること。 ※1 取付け面から0.4m以上突出した梁等により区画 ※2 取付け面高さ 床面積 4m未満 70m² 4m以上～8m未満 35m²</p> <p>【緩和策：全国消防長会中国支部編集 消防用設備等の技術基準】 ※3 取付面から40cm以上1m未満の梁等により小さい感知区域が連続する場合は、15m²以内で2つ以上の感知区域を同一感知区域とすることができる。 ※4 取付面から40cm以上1m未満の梁等により区画された5m²以下の小区画1つが隣接する場合は、当該小区画も含めて同一感知区域とすることができる。</p> <p>【緩和策：日本火災報知機工業会 自動火災報知設備 工事基準書】 ※5 段違い部分を含む居室等の幅が6m未満であれば、当該居室等を同一感知区域とすることができる。</p> <p>【日本火災報知機工業会 自動火災報知設備 工事基準書】 細長い居室等の場合 感知器を短辺が3m未満の細長い居室等に設ける場合は、歩行距離13mごとに1個以上設けること。</p> <p>上記に記載のない消防法施行規則についても準拠して感知器を設置する。</p>																						○煙感知器と同等の機能を有する機器 (消防法施行規則第23条第4項対象外)			
R-1F-09	主蒸気管室	1	-	-	○	-	53.5	2	○	-	-	-	-	2	15		1	8	8						
		2	-	-	○	-	18.8	1	○	-	-	-	-	1			2								
		3	-	-	○	-	13.4	1	○	-	-	-	-	1			3								
		4	-	-	○	-	13.4	1	○	-	-	-	-	1			4								
		5	-	-	○	-	17.8	1	○	-	-	-	-	1			5								
		6	-	-	○	-	58.2	2	○	-	-	-	-	2			6								
		7	-	-	○	-	58.2	2	○	-	-	-	-	2			7								
		8	-	-	○	-	22.5	1	○	-	-	-	-	1			8								
		9	-	-	○	-	5.8	1	○	-	-	-	-	1			9								
		10	-	-	○	-	11.6	1	○	-	-	-	-	1			10								
		11	-	-	○	-	11.6	1	○	-	-	-	-	1			11								
		12	-	-	○	-	13.4	1	○	-	-	-	-	1			12								
R-1F-26	主蒸気隔離弁用アキュムレータ室	1	-	-	○	-	29.5	2	○	-	-	-	-	2	4		1	2	2						
		2	-	-	○	-	45.0	2	○	-	-	-	-	2			2								

その他エリアの火災感知器の配置を示した一覧表

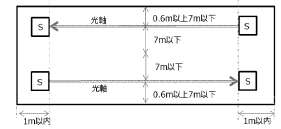
		炎感知器						光電式分離型感知器											
		<p>○ 2.3.3条第4項 七の四 炎感知器（道路の用に供される部分に設けられるものを除く。）は、次に定めるところによること。</p> <p>□ 感知器は、壁によつて区画された区域ごとに、当該区域の床面から高さ一・二メートルまでの空間（以下「監視空間」という。）の各部分から当該感知器までの距離が公称監視距離の範囲内となるように設けること。</p>						<p>○ 2.3.3条第4項 七の三 光電式分離型感知器は、次に定めるところによること。</p> <p>ニ 感知器を設置する区域の天井等（天井の室内に面する部分又は上階の床若しくは屋根の下面をいう。以下同じ。）の高さが二十メートル以上の場所以外の場所に設けること。</p> <p>ホ 感知器の光軸の高さが天井等の高さの八十パーセント以上となるように設けること。</p> <p>ト 感知器は、壁によつて区画された区域ごとに、当該区域の各部分から一の光軸までの水平距離が七メートル以下となるように設けること。</p>											
部屋番号	部屋名称	区画	監視範囲 (m)	視野角 (°)	設置数	合計	備考	区画	天井高さ 20m未満	取付け高さ > 天井高さ × 0.8m	設置条件			消防法設置数	設置数	合計	備考		
R-4F-01	原子炉建物オペレーティングフロア	1	-	90	4	4		1	20500	○	感知器前面と 背部の壁との距離 ≤1.0m	光軸と並行する壁 との距離 0.6~7.0m	光軸間距離 <14m	○	○	5	6	6	

その他エリアの火災感知器の配置を示した一覧表

部屋番号	部屋名称	区画	炎感知器					光電式分離型感知器					消防法設置数	設置数	合計	備考	
			監視範囲 (m)	視野角 (°)	設置数	合計	備考	区画	天井高さ 20m未満	取付け高さ > 天井高さ × 0.8m	設置条件 感知器前面と 背部の壁との距離 ≤1.0m	光軸と並行する壁 との距離 0.6~7.0m					光軸間距離 <14m
T-3F-11	タービン室	2	感知器 二重化不要箇所					1	20700	○	○	○	○	10	11	11	

○23条第4項 七の四 炎感知器（道路の用に供される部分に設けられるものを除く。）は、次に定めるところによること。
 □ 感知器は、壁によつて区画された区域ごとに、当該区域の床面から高さ一・二メートルまでの空間（以下「監視空間」という。）の各部分から当該感知器までの距離が公称監視距離の範囲内となるように設けること。

○23条第4項 七の三 光電式分離型感知器は、次に定めるところによること。
 ニ 感知器を設置する区域の天井等（天井の室内に面する部分又は上階の床若しくは屋根の下面をいう。以下同じ。）の高さが二十メートル以上の場所以外の場所に設けること。
 ホ 感知器の光軸の高さが天井等の高さの八十パーセント以上となるように設けること。
 ト 感知器は、壁によつて区画された区域ごとに、当該区域の各部分から一の光軸までの水平距離が七メートル以下となるように設けること。



補-3-7-202

その他エリアの火災感知器の配置を示した一覧表

部屋番号		部屋名称		炎感知器					熱感知カメラ						
				区画	監視範囲 (m)	視野角 (°)	設置数	合計	備考	区画	監視範囲 (m)	視野角 (°)	設置数	合計	備考
<p>○ 2 3 条第 4 項 七の四 炎感知器（道路の用に供される部分に設けられるものを除く。）は、次に定めるところによること。</p> <p>□ 感知器は、壁によつて区画された区域ごとに、当該区域の床面から高さ一・二メートルまでの空間（以下「監視空間」という。）の各部分から当該感知器までの距離が公称監視距離の範囲内となるように設けること。</p>				<p>○ 熱感知器と同等の機能を有する機器 (消防法施行規則第 2 3 条第 4 項対象外)</p>					<p>○ 2 3 条第 4 項 七の四 炎感知器（道路の用に供される部分に設けられるものを除く。）は、次に定めるところによること。</p> <p>□ 感知器は、壁によつて区画された区域ごとに、当該区域の床面から高さ一・二メートルまでの空間（以下「監視空間」という。）の各部分から当該感知器までの距離が公称監視距離の範囲内となるように設けること。</p>		<p>○ 熱感知器と同等の機能を有する機器 (消防法施行規則第 2 3 条第 4 項対象外)</p>				
									Y-24A	原子炉補機海水ポンプ室（取水槽）	1	-	90	2	2
Y-24B	原子炉補機海水ポンプ室（取水槽）	1	-	90	2	2		1	100	90	2	2			
Y-24C	原子炉補機海水ポンプ室（取水槽）	1	-	90	1	1		1	100	90	2	2			
Y-25	循環水ポンプ室（取水槽）	1	-	90	4	4		1	100	90	10	10			
Y-26	原子炉補機海水ストレナ室（取水槽）	1	-	90	5	5		1	100	90	6	6			
Y-32	ロータリースクリーン設置室(1)	1	-	90	2	2		1	100	90	2	2			
Y-33	ロータリースクリーン設置室(2)	1	-	90			1	100	90						
Y-34	ロータリースクリーン設置室(3)	1	-	90	1	1		1	100	90	2	2			
Y-35	ロータリースクリーン設置室(4)	1	-	90			1	100	90						
Y-36	ロータリースクリーン設置室(5)	1	-	90	2	2		1	100	90	2	2			
Y-37	ロータリースクリーン設置室(6)	1	-	90			1	100	90						

その他エリアの火災感知器の配置を示した一覧表

		炎感知器						熱感知カメラ					
		○ 2 3 条第 4 項 七の四 炎感知器（道路の用に供される部分に設けられるものを除く。）は、次に定めるところによること。 □ 感知器は、壁によつて区画された区域ごとに、当該区域の床面から高さ一・二メートルまでの空間（以下「監視空間」という。）の各部分から当該感知器までの距離が公称監視距離の範囲内となるように設けること。 上記に記載のない消防法施行規則についても準拠して感知器を設置する。						○ 熱感知器と同等の機能を有する機器 （消防法施行規則第 2 3 条第 4 項対象外）					
部屋番号	部屋名称	区画	監視範囲(m)	視野角(°)	設置数	合計	備考	区画	監視範囲(m)	視野角(°)	設置数	合計	備考
Y-39	軽油タンクエリア	①	45	90	2	2		①	100	90	2	2	
Y-40	軽油タンク燃料トレンチ	①	45	90	7	7		①	100	90	7	7	